

太宰府まちづくり市民意識調査

報 告 書

平成 26 年 3 月

太 宰 府 市

目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の性格	1
3. 調査項目	2
第2章 調査結果の分析	5
第1節 回答者の属性	5
1. 性別（問1）	5
2. 年齢（問2）	6
3. 世帯構成（問3）	7
4. 職業（問4）	8
5. 通勤・通学先（問4付問1）	9
6. 小学校区（問5）	10
7. 居住年数（問6）	11
8. 居住形態（問7）	12
第2節 住みやすさについて	13
1. 太宰府市の住みやすさ（問8）	13
2. 継続居住意向（問9）	14
3. 住み続けたい理由（問9付問1）	15
4. 住み続けたくない理由（問9付問2）	17
第3節 日頃の暮らし、行動について	18
1. 総合計画前期基本計画の施策に対する考え方（問10）	18
2. 子育て支援の推進	23
(1) 子育てのしやすさ（問11）	23
3. 高齢者福祉の推進	24
(1) 生きがいの有無（問12）	24
(2) 高齢者福祉サービスの充実度（問13）	25
4. 障がい福祉の推進	26
(1) 障がい者福祉サービスの充実度（問14）	26
(2) 公共施設の配慮に対する意識（問15）	27
(3) 民間施設の配慮に対する意識（問16）	28
5. 地域福祉の推進（問17）	29
6. 生涯健康づくりの推進	30
(1) 健康状態（問18）	30
(2) 健康増進の取り組み状況（問19）	31
(3) 健康診査の受診状況（問20）	32
7. 防災・消防体制の整備充実（問21）	33

8. 防犯・暴力追放運動の推進	35
(1) 防犯面の安心度 (問 22)	35
(2) 防犯上危険と思う場所 (問 22 付問 1)	36
9. 安全な消費生活の推進.....	38
(1) 不当請求や不適正な取引行為の被害状況 (問 23)	38
(2) 被害や不安に感じた内容 (問 23 付問 1)	39
10. 人権を尊重するまちづくりの推進	40
(1) 人権侵害の経験と内容 (問 24、付問 1)	40
(2) 人権問題への認識 (問 25)	41
(3) 同和地区の起源の認識 (問 26)	42
(4) 結婚時の家柄、血筋に対する考え方 (問 27)	43
11. 男女共同参画の推進	44
(1) 固定的役割分担に対する考え方 (問 28)	44
(2) 男女間の地位の平等感 (問 29)	45
(3) 男女間の平等に関する取り組み認知 (問 30)	46
12. 生涯学習の推進	48
(1) 生涯学習活動の取り組み状況 (問 31)	48
(2) 運動・スポーツの取り組み頻度 (問 32)	49
13. 文化芸術の振興 (問 33)	50
14. 生活環境の向上	51
(1) 自宅周辺の衛生環境 (問 34)	51
(2) 環境マナーの順守状況 (問 35)	52
(3) 美化活動への参加状況 (問 36)	53
15. 自然共生社会の構築.....	54
(1) 自然の豊かさについて (問 37)	54
(2) 野鳥や昆虫などとのふれあう場所について (問 38)	55
16. 循環型社会の構築.....	56
(1) 生ごみ堆肥化への取り組み (問 39)	56
(2) 省エネルギー・省資源の活動について (問 40)	57
17. 環境教育・学習の推進 (問 41)	58
18. 未来に伝える景観づくり.....	59
(1) 自然の美しさに対する評価 (問 42)	59
(2) 歴史的景観の美しさへの評価 (問 43)	60
(3) 居住地区のまちなみ評価 (問 44)	61
19. 計画的なまちづくりの推進.....	62
(1) 住環境の快適さへの評価 (問 45)	62
(2) 商業施設等の利便性に対する意識 (問 46)	63
(3) 家の近くにあると便利な施設 (問 46 付問 1)	64
20. 地域交通体系の整備.....	66

(1) バスの利便性に対する評価 (問 47)	66
(2) コミュニティバスの利便性に対する評価 (問 47 付問 1)	67
(3) 鉄道の利便性に対する評価 (問 48)	68
(4) 道路の円滑性に対する評価 (問 49)	69
(5) 外出時の移動手段 (問 50)	70
21. 産業の振興 (問 51)	71
22. 文化遺産の保存と活用 (問 52)	72
23. 観光基盤の整備充実	73
(1) 観光客の来訪についての評価 (問 53)	73
(2) 観光客との交流やおもてなしのためにできること (問 54)	74
24. 国際交流・友好都市交流の推進	75
(1) 外国人との交流頻度 (問 55)	75
(2) 姉妹都市・友好都市の認知 (問 56)	76
(3) 姉妹都市・友好都市との交流頻度 (問 57)	77
(4) 外国人や留学生との交流方法 (問 58)	78
25. 市民参画の推進	79
(1) 自治会活動への参加状況 (問 59)	79
(2) ボランティア活動への参加状況 (問 60)	80
第 4 節 行政サービスについて	81
1. 情報の共有化と活用	81
(1) 市民と行政との情報の共有 (問 61)	81
(2) 行政情報の接触状況 (問 62)	82
(3) 「広報だざいふ」の閲読内容 (問 62 付問 1)	85
(4) 情報公開・提供に対する意識 (問 63)	87
(5) 個人情報の適正な管理 (問 64)	88
(6) パソコンの有無 (問 65)	89
(7) パソコンによるインターネット利用の有無 (問 65 付問 1)	90
(8) 携帯電話の有無 (問 66)	91
(9) 携帯電話によるインターネット利用の有無 (問 66 付問 1)	92
2. 市民のための行政運営	93
(1) 効果的な行政運営 (問 67)	93
(2) 市職員の対応や行動に対する満足度 (問 68)	94
(3) 市役所窓口の利用の有無 (問 69)	95
(4) 事務処理の迅速性に対する意識 (問 69 付問 1)	96
(5) 職員の対応・姿勢に対する満足度 (問 69 付問 2)	97
3. 広域連携の推進 (問 70)	98
第 5 節 まちづくりに対する自由意見	99
附属資料 使用した調査票	110

第1章 調査の概要

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

市民の声を市政に生かし市民参画の行政を進めていくため、市民の生活実態や問題意識、現状の施策に対する評価、今後のまちづくりに対する期待などを把握し、今後のまちづくりの基礎資料とする目的で実施した。

2. 調査の性格

(1) 調査地域

太宰府市全域

(2) 調査対象

太宰府市内に居住する20歳以上の市民

(3) 調査対象者数

1,000 サンプル

(4) 抽出方法

住民基本台帳による単純無作為抽出法

(5) 調査方法

郵送法（お礼兼督促状1回郵送）

(6) 調査期間

配 布：平成26年2月6日（木）

投函締切：平成26年2月21日（金）

（ただし、2月28日到着分まで有効票とした）

(7) 回収状況

回 収 数：483件（回収率48.3%）

うち有効回収数：483件

3. 調査項目

1. 回答者の属性	問1	性別		
	問2	年齢		
	問3	世帯構成		
	問4	職業		
	問4付問1	通勤、通学先		
	問5	小学校校区		
	問6	居住年数		
2. 住みやすさについて	問7	居住形態		
	問8	太宰府市の住みやすさ		
	問9	継続居住意向		
3. 日頃の暮らし、行動について	問9付問1	住み続けたい理由		
	問9付問2	住み続けたくない理由		
	第5次総合計画前期基本計画の施策について	問10	総合計画前期基本計画の施策に対する考え方(全34項目)	
	子育て支援の推進	問11	子育てのしやすさ	
	高齢者福祉の推進	問12	生きがいの有無	
		問13	高齢者福祉サービスの充実度	
	障がい福祉の推進	問14	障がい者福祉サービスの充実度	
		問15	公共施設の配慮に対する意識	
		問16	民間施設の配慮に対する意識	
	地域福祉の推進	問17	地域での福祉活動	
	生涯健康づくりの推進	問18	健康状態	
		問19	健康増進への取り組み状況	
		問20	健康診査の受診状況	
	防災・消防体制の整備充実	問21	災害への備え(全5項目)	
	防犯・暴力追放運動の推進	問22	防犯面の安心度	
		問22付問1	防犯上危険と思う場所	
	安全な消費生活の推進	問23	不当請求や不適正な取引行為の被害状況	
		問23付問1	被害や不安に感じた内容	
	人権を尊重するまちづくりの推進	問24	人権侵害の経験の有無	
		問24付問1	人権侵害の内容	
		問25	人権問題への認識	
		問26	同和地区の起源の認識	
		問27	結婚時の家柄、血筋に対する考え方	
	男女共同参画の推進	問28	固定的な役割分担に対する考え方	
		問29	男女間の地位に対する平等感	
		問30	男女間の平等に関する取り組み認知	
	生涯学習の推進	問31	生涯学習活動への取り組み状況	
		問32	運動・スポーツへの取り組み頻度	
	文化芸術の振興	問33	文化芸術活動の実施頻度	
	生活環境の向上	問34	自宅周辺の衛生環境	
		問35	環境マナーの順守状況	
		問36	美化活動への参加状況	
	自然共生社会の構築	問37	自然の豊かさについて	
		問38	野鳥や昆虫とのふれあう場所について	
	循環型社会の構築	問39	生ごみ堆肥化への取り組み	
		問40	省エネ・省資源活動の実施	
	環境教育・学習の推進	問41	環境に関する学習会・講演会への参加	
	未来に伝える景観づくり	問42	自然の美しさへの評価	
		問43	歴史的景観の美しさへの評価	
		問44	居住地区のまちなみ評価	
	計画的なまちづくりの推進	問45	住環境の快適さへの評価	
		問46	商業施設等の利便性への評価	
		問46付問1	家の近くにあると便利な施設	
	地域交通体系の整備	問47	バスの利便性に対する評価	
		問47付問1	コミュニティバスの利便性に対する評価	
		問48	鉄道の利便性に対する評価	
		問49	道路の円滑性に対する評価	
		問50	外出時の移動手段	
	産業の振興	問51	買物する場所	
	文化遺産の保存と活用	問52	歴史文化遺産の評価	
	観光基盤の整備充実	問53	観光客の来訪についての評価	
		問54	観光客との交流やおもてなしのためにできること	
	国際交流・友好都市交流の推進	問55	外国人との交流頻度	
		問56	姉妹都市、友好都市の認知	
		問57	姉妹都市、友好都市との交流頻度	
		問58	外国人や留学生との交流方法	
	市民参画の推進	問59	自治会活動への参加状況	
		問60	ボランティア活動への参加状況	
	4. 行政サービスについて	情報の共有化と活用	問61	市民と行政との情報共有
			問62	行政情報の接触状況
			問62付問1	「広報ださいふ」の閲読内容
			問63	情報公開・提供への評価
			問64	個人情報管理に対する評価
			問65	パソコンの有無
			問65付問1	インターネット利用の有無
			問66	携帯電話の有無
			問66付問1	携帯電話によるインターネット利用の有無
		市民のための行政運営	問67	効果的な行政運営への評価
			問68	市職員の対応や行動に対する満足度
			問69	市役所窓口利用の有無
		問69付問1	事務処理の迅速化に対する評価	
	問69付問2	職員の対応や姿勢への満足度		
広域連携の推進	問70	広域連携によるサービス向上に対する評価		
自由意見				

4. 調査結果利用上の注意

- (1) 単数回答の集計については、設問ごとに無回答の項目を設けて、これを含めた全体の基数（標本数）を100%としている。なお、回答率は小数点以下第2位を四捨五入しているため、数表、図表に示す回答率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- (2) 2つ以上の回答を要する（複数回答）質問の集計については、項目別に、基数（標本数）に対するその項目を選んだ回答者の割合としている。従って、数表、図表に示す各項目の回答率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 数表、図表、文中に示すN、nは、回答率算出上の基数（標本数）である。
N=標本全数
n=該当数（その質問を回答しなくてよい人を除いた数）
- (4) 付問は前問で特定の回答をした一部の回答者のみに対して続けて行った質問である。この場合の回答者は設問回答の該当者のみである。
- (5) 文中の選択肢の表記は「 」で行い、選択肢のうち、2つ以上のものを合計して表す場合は『 』としている。
- (6) 過去の調査結果と比較検討が可能な設問については、図中ではH22年度調査、H23年度調査、H24年度調査、H25年度調査の表記で掲載している。なお、一部の質問文や選択肢では、過去の調査とは文言が変更になっているものもある。

第2章 調査結果の分析

第2章 調査結果の分析

第1節 回答者の属性

1. 性別（問1）

●回答者の性別は「女性」の方が「男性」よりも多い。

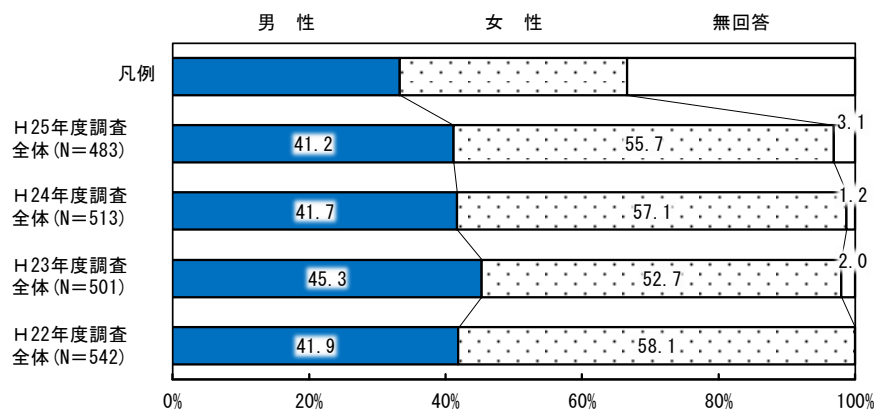
回答者は「男性」が41.2%、「女性」が55.7%で、女性の方が14.5ポイント高くなっている。

過去の調査結果をみると、「女性」の方が多い傾向は変わらない。

年代別にみると、70歳以上を除いて「女性」の方が多く、30歳代、50歳代は6割を超え、40歳代も6割近くになっている。

小学校区別にみると、太宰府南小学校区は「女性」の割合が69.0%と、他の小学校区に比べて高くなっている。

問1. あなたの性別についてお選びください。



		標本数	男性 (%)	女性 (%)	無回答 (%)
全体		483	199	269	15
		100.0	41.2	55.7	3.1
年代別	20歳代	40	45.0	55.0	-
	30歳代	64	34.4	65.6	-
	40歳代	71	38.0	59.2	2.8
	50歳代	60	25.0	73.3	1.7
	60歳代	143	48.3	49.0	2.8
	70歳以上	102	47.1	47.1	5.9
	無回答	3	-	33.3	66.7
	小学校区別	太宰府小学校区	78	53.8	43.6
太宰府東小学校区		38	36.8	57.9	5.3
太宰府南小学校区		42	31.0	69.0	-
水城小学校区		63	34.9	61.9	3.2
水城西小学校区		54	42.6	57.4	-
太宰府西小学校区		89	43.8	55.1	1.1
国分小学校区		56	48.2	46.4	5.4
わからない		55	30.9	63.6	5.5
無回答		8	25.0	50.0	25.0

2. 年齢（問2）

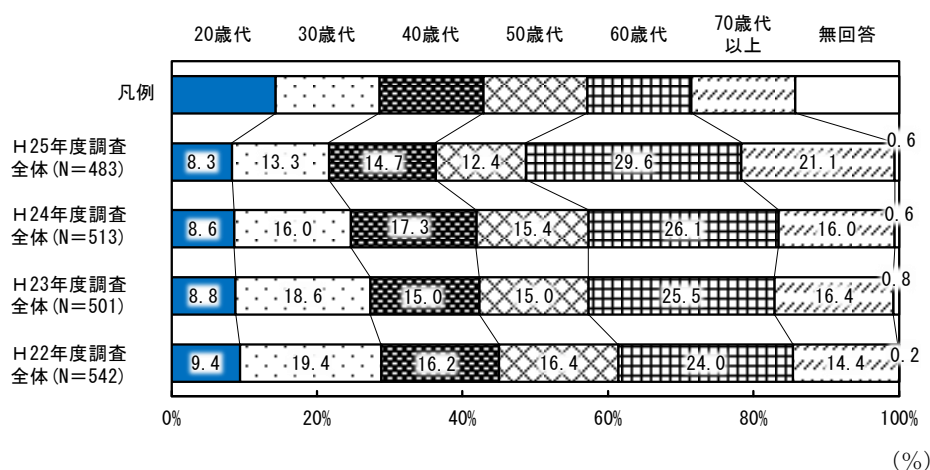
●回答者の年齢はこれまでの調査と同様、60歳代が最も多くなっている。

回答者の年齢は「60歳代」が29.6%で最も高く、次いで「70歳代以上」（21.1%）、「40歳代」（14.7%）、「30歳代」（13.3%）の順となっている。

過去の調査結果と比べると、60歳以上の割合が年々増加している一方、30歳代の割合が減少している。

小学校区別にみると、概ね「60歳代」の割合が多くなっているものの、水城小学校区は「20歳代」（19.0%）が他の校区に比べて高くなっている。また、国分小学校区、水城西小学校区は「30歳代」の割合が他の校区に比べて高くなっている。

問2. あなたの年齢を次の中からお選びください。（平成26年3月末時点で）



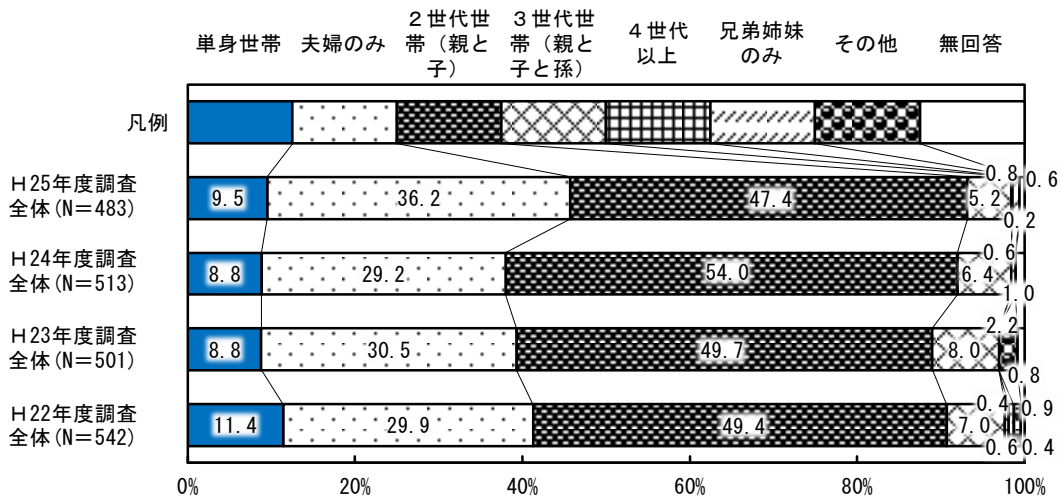
		標本数	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	無回答
全体		483	40	64	71	60	143	102	3
		100.0	8.3	13.3	14.7	12.4	29.6	21.1	0.6
小学校区別	太宰府小学校区	78	6.4	11.5	17.9	10.3	30.8	23.1	-
	太宰府東小学校区	38	5.3	10.5	2.6	13.2	39.5	28.9	-
	太宰府南小学校区	42	2.4	4.8	14.3	7.1	40.5	31.0	-
	水城小学校区	63	19.0	11.1	14.3	19.0	19.0	17.5	-
	水城西小学校区	54	9.3	22.2	18.5	3.7	35.2	11.1	-
	太宰府西小学校区	89	3.4	6.7	10.1	15.7	30.3	33.7	-
	国分小学校区	56	10.7	25.0	14.3	8.9	23.2	16.1	1.8
	わからない	55	10.9	16.4	25.5	20.0	23.6	3.6	-
無回答	8	-	12.5	-	-	37.5	25.0	25.0	

3. 世帯構成（問3）

- 「2世代世帯」が約5割、「夫婦のみ」の世帯が約4割となっている。
- 60歳代以上では「夫婦のみ」の世帯の割合が高い。

「2世代世帯（親と子）」が47.4%で最も高く、次いで「夫婦のみ」（36.2%）となっている。過去の調査結果と比べると、「夫婦のみ」が増加し、「2世代世帯（親と子）」が減少している。年代別にみると、「夫婦のみ」は60歳代、70歳以上で高く、高齢夫婦世帯が多いといえる。

問3. あなたの世帯構成について次の中からお選びください。



		標本数	単身世帯	夫婦のみ	(2世代世帯 (親と子世帯))	(3世代世帯 (親と子と孫))	4世代以上	兄弟姉妹のみ	その他	無回答
全体		483	46	175	229	25	1	4	-	3
性別										
男性	199	7.0	41.2	43.2	6.0	0.5	1.5	-	0.5	
女性	269	10.4	32.7	52.0	4.5	-	0.4	-	-	
無回答	15	26.7	33.3	20.0	6.7	-	-	-	13.3	
年代別										
20歳代	40	12.5	5.0	75.0	7.5	-	-	-	-	
30歳代	64	7.8	15.6	68.8	6.3	1.6	-	-	-	
40歳代	71	8.5	12.7	74.6	4.2	-	-	-	-	
50歳代	60	10.0	20.0	58.3	10.0	-	1.7	-	-	
60歳代	143	4.9	53.1	33.6	5.6	-	2.1	-	0.7	
70歳以上	102	16.7	63.7	18.6	1.0	-	-	-	-	
無回答	3	-	33.3	-	-	-	-	-	66.7	
小学校区別										
太宰府小学校区	78	9.0	37.2	47.4	5.1	1.3	-	-	-	
太宰府東小学校区	38	7.9	42.1	47.4	2.6	-	-	-	-	
太宰府南小学校区	42	7.1	50.0	38.1	2.4	-	2.4	-	-	
水城小学校区	63	7.9	30.2	52.4	7.9	-	1.6	-	-	
水城西小学校区	54	3.7	25.9	59.3	7.4	-	1.9	-	1.9	
太宰府西小学校区	89	9.0	44.9	39.3	6.7	-	-	-	-	
国分小学校区	56	7.1	23.2	62.5	7.1	-	-	-	-	
わからない	55	23.6	34.5	40.0	-	-	1.8	-	-	
無回答	8	12.5	50.0	12.5	-	-	-	-	25.0	

4. 職業（問4）

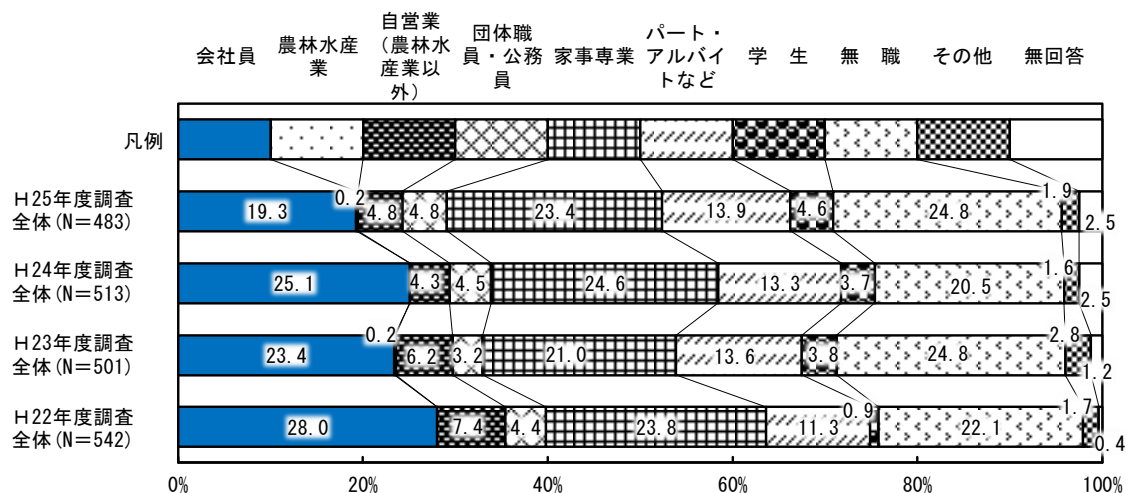
●職業は「無職」（24.8%）、「家事専業」（23.4%）、「会社員」（19.3%）が主である。

回答者の職業は、「無職」が24.8%で最も高く、次いで「家事専業」（23.4%）、「会社員」（19.3%）の順となっている。

過去の調査結果と比較すると、「会社員」の割合が概ね減少傾向となっており、平成24年度調査（以下、「前回調査」と呼ぶ）よりも5.8ポイント減少している。

性別にみると、男性は「無職」（37.2%）、「会社員」（30.7%）の順となっている。一方、女性は「家事専業」（41.3%）、「パート・アルバイトなど」（19.3%）の順となっている。

問4. あなたのご職業を次の中から選びください。（2つ以上あるときは主なもの1つ）



		標本数	会社員	農林水産業	自営業 (農林水産業以外)	団体職員・公務員	家事専業	パート・アルバイトなど	学生	無職	その他	無回答
全体		483	19.3	1	23	23	113	67	22	120	9	12
		100.0	19.3	0.2	4.8	4.8	23.4	13.9	4.6	24.8	1.9	2.5
性別	男性	199	30.7	0.5	8.0	6.5	-	7.5	5.5	37.2	2.0	2.0
	女性	269	11.5	-	2.6	3.3	41.3	19.3	4.1	14.9	1.9	1.1
	無回答	15	6.7	-	-	6.7	13.3	-	-	40.0	-	33.3
性別・年代別	男性:20歳代	18	27.8	-	-	-	-	11.1	61.1	-	-	-
	男性:30歳代	22	59.1	-	-	31.8	-	-	-	9.1	-	-
	男性:40歳代	27	70.4	-	11.1	14.8	-	3.7	-	-	-	-
	男性:50歳代	15	60.0	-	20.0	6.7	-	-	-	6.7	6.7	-
	男性:60歳代	69	20.3	1.4	13.0	-	-	13.0	-	47.8	1.4	2.9
	男性:70歳代以上	48	2.1	-	2.1	-	-	6.3	-	79.2	4.2	4.2
	女性:20歳代	22	13.6	-	4.5	4.5	18.2	9.1	50.0	-	-	-
	女性:30歳代	42	11.9	-	4.8	4.8	40.5	31.0	-	7.1	-	-
	女性:40歳代	42	26.2	-	4.8	7.1	28.6	19.0	-	9.5	2.4	2.4
	女性:50歳代	44	18.2	-	2.3	4.5	31.8	34.1	-	4.5	4.5	-
	女性:60歳代	70	5.7	-	1.4	1.4	52.9	18.6	-	17.1	1.4	1.4
	女性:70歳代以上	48	-	-	-	-	56.3	2.1	-	37.5	2.1	2.1
	女性:無回答	1	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
	女性:無回答	15	6.7	-	-	6.7	13.3	-	-	40.0	-	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	78	17.9	-	7.7	6.4	26.9	5.1	3.8	26.9	3.8	1.3
	太宰府東小学校区	38	10.5	-	5.3	2.6	18.4	10.5	5.3	39.5	5.3	2.6
	太宰府南小学校区	42	4.8	-	2.4	2.4	40.5	16.7	-	28.6	4.8	-
	水城小学校区	63	25.4	1.6	1.6	6.3	22.2	9.5	9.5	20.6	-	3.2
	水城西小学校区	54	22.2	-	7.4	3.7	20.4	20.4	7.4	16.7	-	1.9
	太宰府西小学校区	89	15.7	-	4.5	3.4	22.5	19.1	2.2	29.2	1.1	2.2
	国分小学校区	56	21.4	-	3.6	8.9	23.2	10.7	5.4	25.0	-	1.8
	わからない	55	30.9	-	5.5	3.6	18.2	18.2	3.6	14.5	1.8	3.6
	無回答	8	25.0	-	-	-	-	-	-	25.0	-	25.0

5. 通勤・通学先（問4付問1）

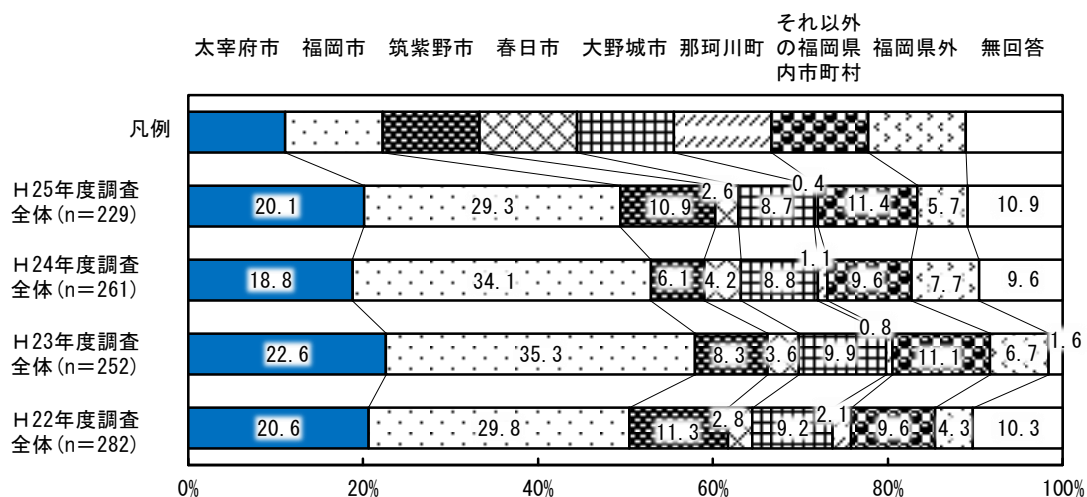
●通勤・通学先は「福岡市」が29.3%、「太宰府市」が20.1%となっている。

通勤・通学先は「福岡市」が29.3%で最も高く、次いで「太宰府市」が20.1%、「それ以外の福岡県内市町村」が11.4%となっている。

過去の調査結果と比べると、ほぼ同様の傾向となっている。

性別にみると、男女ともに「福岡市」が3割前後を占めて最も高くなっている。なお、女性は男性に比べて「太宰府市」の割合が高くなっている。

問4付問1. 【問4で5・8・9と答えた方以外で】通勤先または通学先の所在地を次の中からお選びください。



		標本数	太宰府市	福岡市	筑紫野市	春日市	大野城市	那珂川町	内市福れ町岡以村	そ福岡県外	福岡県外	無回答
全体		229	46	67	25	6	20	1	26	13	25	
性別	男性	117	14.5	28.2	7.7	3.4	5.1	0.9	16.2	9.4	14.5	
	女性	110	25.5	30.9	14.5	1.8	11.8	-	6.4	1.8	7.3	
	無回答	2	50.0	-	-	-	50.0	-	-	-	-	
年代別	20歳代	36	19.4	36.1	8.3	-	2.8	-	11.1	11.1	11.1	
	30歳代	42	19.0	28.6	14.3	4.8	7.1	-	11.9	4.8	9.5	
	40歳代	51	19.6	39.2	7.8	-	3.9	2.0	15.7	3.9	7.8	
	50歳代	39	15.4	30.8	10.3	7.7	20.5	-	2.6	2.6	10.3	
	60歳代	53	22.6	17.0	13.2	-	11.3	-	13.2	7.5	15.1	
	70歳以上	8	37.5	12.5	12.5	12.5	-	-	12.5	-	12.5	
	小学校区別	太宰府小学校区	32	28.1	34.4	15.6	-	3.1	12.5	-	-	3.1
太宰府東小学校区	13	15.4	23.1	7.7	7.7	15.4	-	7.7	15.4	7.7		
太宰府南小学校区	11	36.4	9.1	36.4	-	9.1	-	-	9.1	-		
水城小学校区	34	8.8	41.2	14.7	-	5.9	-	14.7	8.8	5.9		
水城西小学校区	33	18.2	30.3	6.1	-	9.1	-	9.1	6.1	21.2		
太宰府西小学校区	40	17.5	22.5	12.5	2.5	12.5	-	12.5	5.0	15.0		
国分小学校区	28	28.6	25.0	3.6	7.1	3.6	-	10.7	7.1	14.3		
わからない	34	20.6	35.3	5.9	2.9	11.8	-	8.8	2.9	11.8		
無回答	4	-	-	-	25.0	25.0	-	50.0	-	-		

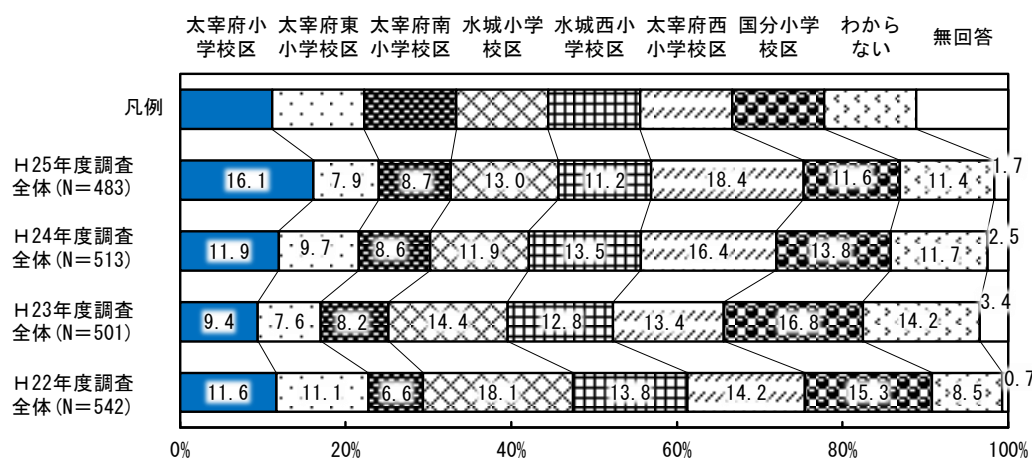
6. 小学校区（問5）

●住んでいる小学校区は「太宰府西小学校区」（18.4%）、「太宰府小学校区」（16.1%）、「水城小学校区」（13.0%）が多くなっている。

回答者の住んでいる小学校区は「太宰府西小学校区」が18.4%で最も高く、次いで「太宰府小学校区」（16.1%）、「水城小学校区」（13.0%）の順となっている。

過去の調査結果と比べると、「太宰府小学校区」、「太宰府西小学校区」は平成23年度から増加傾向となっている。一方、「国分小学校区」は減少傾向がみられる。

問5. あなたの住んでいる小学校区を次の中からお選びください。



		標本数	太宰府小学校区	太宰府東小学校区	太宰府南小学校区	水城小学校区	水城西小学校区	太宰府西小学校区	国分小学校区	わからな	無回答
全体		483	78	38	42	63	54	89	56	55	8
性別	男性	199	21.1	7.0	6.5	11.1	11.6	19.6	13.6	8.5	1.0
	女性	269	12.6	8.2	10.8	14.5	11.5	18.2	9.7	13.0	1.5
	無回答	15	13.3	13.3	-	13.3	-	6.7	20.0	20.0	13.3
年代別	20歳代	40	12.5	5.0	2.5	30.0	12.5	7.5	15.0	15.0	-
	30歳代	64	14.1	6.3	3.1	10.9	18.8	9.4	21.9	14.1	1.6
	40歳代	71	19.7	1.4	8.5	12.7	14.1	12.7	11.3	19.7	-
	50歳代	60	13.3	8.3	5.0	20.0	3.3	23.3	8.3	18.3	-
	60歳代	143	16.8	10.5	11.9	8.4	13.3	18.9	9.1	9.1	2.1
	70歳以上	102	17.6	10.8	12.7	10.8	5.9	29.4	8.8	2.0	2.0
無回答		3	-	-	-	-	-	-	33.3	-	66.7

7. 居住年数（問6）

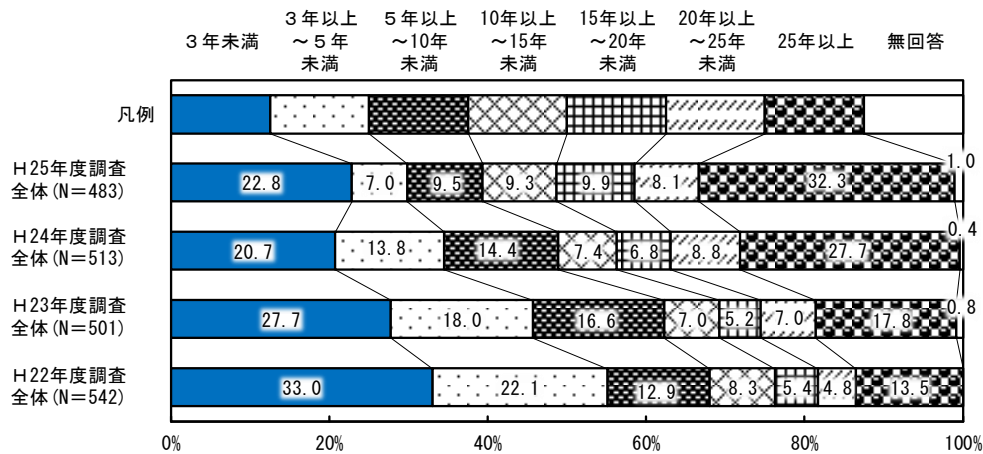
- 居住年数が「25年以上」が3割を占めている。
- これまでの調査と比べ、『15年以上』の居住年数の割合が増えている。

回答者の居住年数は「25年以上」が32.3%で最も高く、次いで「3年未満」（22.8%）と続く。過去の調査結果と比べると、「15年以上～20年未満」、「25年以上」は増加傾向となっている。一方、「3年以上～5年未満」は減少傾向となっている。

年代別にみると、50歳代以下は「3年未満」の割合が最も高い。一方、60歳代以上は「25年以上」が5割を超えて最も高くなっている。

小学校区別にみると、水城小学校区を除いて「25年以上」の割合が最も高い。なお、水城小学校は「3年未満」（22.2%）が最も高くなっているほか、国分小学校区は「3年未満」が30.4%と、他の校区に比べて高くなっている。

問6. あなたは太宰府市に住んで何年になりますか。（平成26年3月末時点で）次の中から
お選びください。



		標本数	3年未満	5年未満以上	10年未満以上	15年未満以上	20年未満以上	25年未満以上	25年以上	無回答
全体		483	22.8	7.0	9.5	9.3	9.9	8.1	32.3	1.0
性別	男性	199	20.1	8.5	7.5	9.5	9.5	9.0	35.2	0.5
	女性	269	25.3	5.9	11.2	9.3	10.0	7.4	30.1	0.7
	無回答	15	13.3	6.7	6.7	6.7	13.3	6.7	33.3	13.3
年代別	20歳代	40	32.5	5.0	10.0	7.5	30.0	15.0	-	-
	30歳代	64	62.5	23.4	6.3	3.1	-	1.6	3.1	-
	40歳代	71	33.8	11.3	28.2	14.1	1.4	2.8	8.5	-
	50歳代	60	26.7	3.3	10.0	18.3	18.3	13.3	10.0	-
	60歳代	143	11.2	4.9	7.7	9.1	4.2	4.2	58.0	0.7
	70歳以上	102	1.0	-	1.0	5.9	17.6	15.7	56.9	2.0
	無回答	3	-	-	-	-	-	-	33.3	66.7
小学校区別	太宰府小学校区	78	23.1	5.1	14.1	5.1	10.3	10.3	30.8	1.3
	太宰府東小学校区	38	13.2	7.9	5.3	13.2	10.5	5.3	44.7	-
	太宰府南小学校区	42	19.0	4.8	-	2.4	2.4	-	71.4	-
	水城小学校区	63	22.2	6.3	3.2	15.9	17.5	14.3	20.6	-
	水城西小学校区	54	18.5	7.4	13.0	11.1	14.8	3.7	31.5	-
	太宰府西小学校区	89	9.0	3.4	10.1	16.9	10.1	11.2	38.2	1.1
	国分小学校区	56	30.4	7.1	5.4	5.4	10.7	8.9	32.1	-
	わからない	55	52.7	18.2	20.0	1.8	-	5.5	1.8	-
無回答	8	12.5	-	12.5	-	12.5	-	25.0	37.5	

8. 居住形態（問7）

●「持ち家・分譲マンション」が71.2%で、割合が年々増加している。

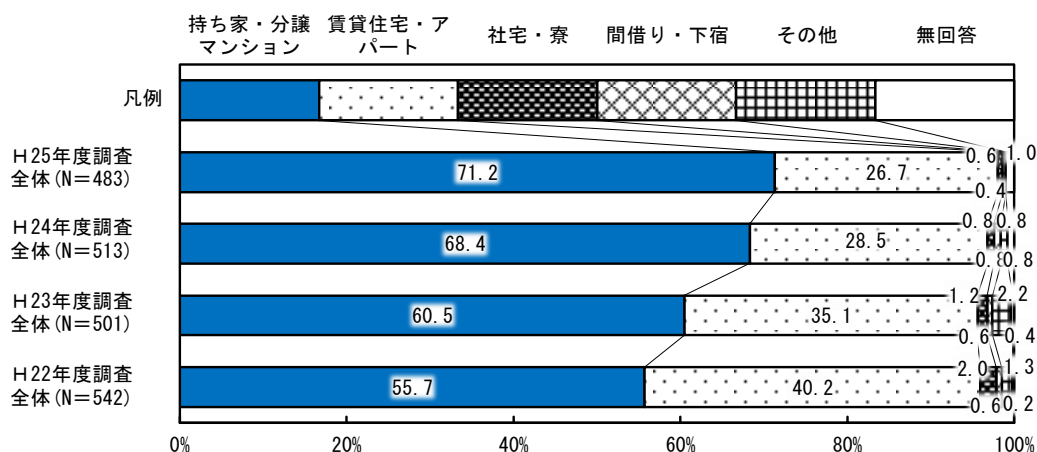
居住形態は「持ち家・分譲マンション」が71.2%で最も高く、次いで「賃貸住宅・アパート」の26.7%となっている。

過去の調査結果と比べると、「持ち家・分譲マンション」の割合が年々増加している一方、「賃貸住宅・アパート」の割合が減少している。

年代別にみると、30歳代以下は「賃貸住宅・アパート」が5割を超えて最も高くなっている。一方、40歳代以上は「持ち家・分譲マンション」の方が高く、60歳代以上は8割を超えている。

小学校区別にみると、いずれも「持ち家・分譲マンション」の割合が最も高いものの、水城小学校区は「賃貸住宅・アパート」が41.3%、水城西小学校区も35.2%と他の小学校区に比べて高くなっている。

問7. あなたのお住まいを次の中から選びください。



		標本数	分譲マンション	賃貸住宅・アパート	社宅・寮	下宿・間借り	その他	無回答
全体		483	344	129	3	2	-	5
		100.0	71.2	26.7	0.6	0.4	-	1.0
性別	男性	199	73.4	25.6	-	-	-	1.0
	女性	269	70.3	27.9	1.1	0.4	-	0.4
	無回答	15	60.0	20.0	-	6.7	-	13.3
年代別	20歳代	40	45.0	55.0	-	-	-	-
	30歳代	64	40.6	56.3	-	1.6	-	1.6
	40歳代	71	63.4	33.8	2.8	-	-	-
	50歳代	60	70.0	28.3	-	-	-	1.7
	60歳代	143	84.6	14.7	-	-	-	0.7
	70歳以上	102	89.2	8.8	1.0	1.0	-	-
	無回答	3	33.3	-	-	-	-	66.7
小学校区別	太宰府小学校区	78	82.1	16.7	-	-	-	1.3
	太宰府東小学校区	38	92.1	7.9	-	-	-	-
	太宰府南小学校区	42	92.9	7.1	-	-	-	-
	水城小学校区	63	54.0	41.3	1.6	1.6	-	1.6
	水城西小学校区	54	64.8	35.2	-	-	-	-
	太宰府西小学校区	89	88.8	11.2	-	-	-	-
	国分小学校区	56	73.2	21.4	1.8	1.8	-	1.8
	わからない	55	27.3	70.9	1.8	-	-	-
	無回答	8	25.0	50.0	-	-	-	25.0

第2節 住みやすさについて

1. 太宰府市の住みやすさ（問8）

●太宰府市の住みやすさについて『満足派』は72.0%、『不満派』は12.6%となっている。

太宰府市の住みやすさについて、『満足派』（「住みやすい」（30.2%）と「どちらかといえば住みやすい」（41.8%）の合計）の割合は72.0%、一方、『不満派』（「住みにくい」（3.1%）と「どちらかといえば住みにくい」（9.5%）の合計）は12.6%で、『満足派』が7割を占めて高くなっている。

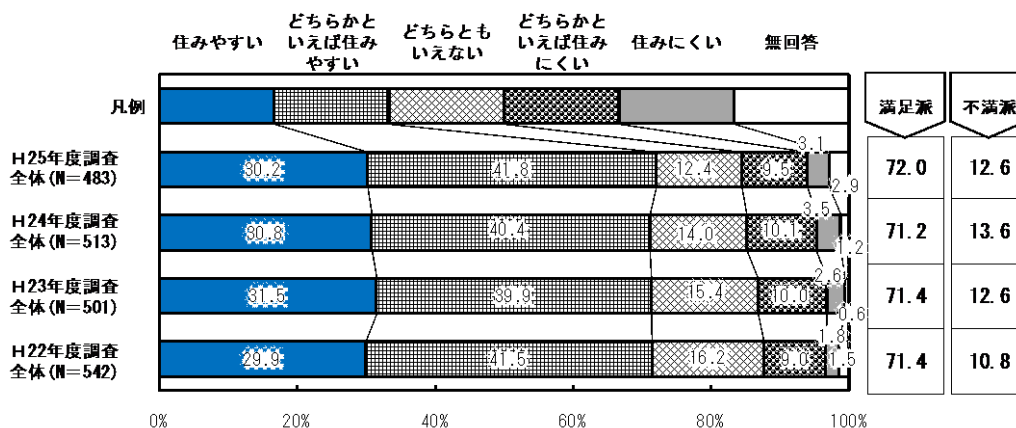
過去の調査結果と比べると、『満足派』が7割を占めている傾向は変わらない。

性別にみると、『満足派』は男性（75.9%）の方が女性（69.6%）よりも高くなっている。

年代別にみると、いずれも『満足派』が6割を超えている。なお、『満足派』が最も高いのは20歳代（85.0%）となっている。

小学校区別にみると、いずれも『満足派』が6割を超えている。なお、『満足派』が最も高いのは水城西小学校区（79.6%）となっている。

問8. あなたは太宰府市が住みやすいまちだと思いますか。（○は1つ）



(%)

	標本数	住みやすい	どちらかといえば住みやすい	どちらともいえない	どちらかといえば住みにくい	住みにくい	無回答	満足派	不満派
全体	483	146	202	60	46	15	14	348	61
性別									
男性	199	36.2	39.7	9.5	10.1	2.0	2.5	75.9	12.1
女性	269	25.7	43.9	14.5	9.3	3.7	3.0	69.6	13.0
無回答	15	33.3	33.3	13.3	6.7	6.7	6.7	66.6	13.4
年代別									
20歳代	40	37.5	47.5	5.0	10.0	-	-	85.0	10.0
30歳代	64	25.0	53.1	12.5	6.3	1.6	1.6	78.1	7.9
40歳代	71	31.0	43.7	8.5	12.7	2.8	1.4	74.7	15.5
50歳代	60	28.3	38.3	13.3	8.3	5.0	6.7	66.6	13.3
60歳代	143	30.8	39.2	14.0	10.5	4.2	1.4	70.0	14.7
70歳以上	102	30.4	38.2	15.7	8.8	2.9	3.9	68.6	11.7
無回答	3	33.3	-	-	-	-	66.7	33.3	-
小学校区別									
太宰府小学校区	78	20.5	44.9	9.0	15.4	9.0	1.3	65.4	24.4
太宰府東小学校区	38	26.3	39.5	18.4	10.5	2.6	2.6	65.8	13.1
太宰府南小学校区	42	28.6	47.6	14.3	4.8	2.4	2.4	76.2	7.2
水城小学校区	63	33.3	42.9	11.1	9.5	1.6	1.6	76.2	11.1
水城西小学校区	54	35.2	44.4	13.0	3.7	1.9	1.9	79.6	5.6
太宰府西小学校区	89	32.6	40.4	12.4	10.1	1.1	3.4	73.0	11.2
国分小学校区	56	28.6	39.3	16.1	7.1	5.4	3.6	67.9	12.5
わからない	55	36.4	38.2	10.9	10.9	-	3.6	74.6	10.9
無回答	8	37.5	25.0	-	12.5	-	25.0	62.5	12.5

2. 継続居住意向（問9）

●「住み続けたい」は65.4%、「住み続けたくない」は11.4%となっている。

太宰府市に今後も「住み続けたい」と答えた人は65.4%で、「住み続けたくない」（11.4%）よりも高くなっている。

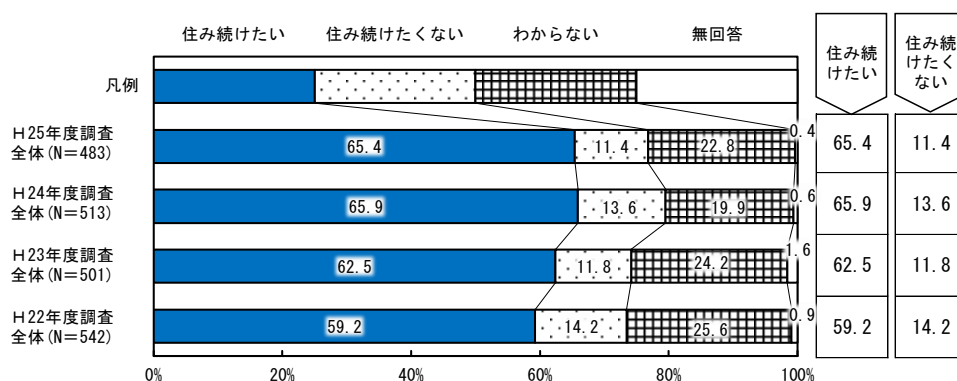
過去の調査結果と比べると、「住み続けたい」の割合は前回調査と同程度となっている。

年代別にみると、「住み続けたい」の割合が最も高いのは60歳代（71.3%）、一方、「住み続けたくない」の割合が最も高いのは20歳代（20.0%）となっている。

小学校区別にみると、「住み続けたい」の割合が最も高いのは太宰府南小学校区（83.3%）、一方、「住み続けたくない」の割合が最も高いのは国分小学校区（16.1%）となっている。

住みやすさ別にみると、住みやすいと感じている人の9割、どちらかといえば住みやすいと感じている人の7割が、それぞれ「住み続けたい」意向を持っている。

問9. あなたはこれからも太宰府市に住み続けたいと思いますか。（○は1つ）



		標本数	住み続けたい (%)	住み続けたくない (%)	わからない (%)	無回答 (%)
全体		483	65.4	11.4	22.8	0.4
性別	男性	199	70.9	12.1	17.1	-
	女性	269	61.3	11.2	27.1	0.4
	無回答	15	66.7	6.7	20.0	6.7
年代別	20歳代	40	52.5	20.0	27.5	-
	30歳代	64	67.2	9.4	23.4	-
	40歳代	71	62.0	14.1	23.9	-
	50歳代	60	53.3	16.7	30.0	-
	60歳代	143	71.3	7.7	21.0	-
	70歳以上	102	70.6	9.8	18.6	1.0
	無回答	3	66.7	-	-	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	78	57.7	15.4	26.9	-
	太宰府東小学校区	38	73.7	2.6	21.1	2.6
	太宰府南小学校区	42	83.3	2.4	14.3	-
	水城小学校区	63	71.4	7.9	20.6	-
	水城西小学校区	54	70.4	11.1	18.5	-
	太宰府西小学校区	89	66.3	13.5	20.2	-
	国分小学校区	56	60.7	16.1	23.2	-
	わからない	55	52.7	14.5	32.7	-
無回答	8	37.5	12.5	37.5	12.5	
住みやすさ別	住みやすい	146	89.7	3.4	6.8	-
	どちらかといえば住みやすい	202	71.3	6.9	21.8	-
	どちらともいえない	60	35.0	1.7	63.3	-
	どちらかといえば住みにくい	46	32.6	47.8	19.6	-
	住みにくい	15	-	66.7	33.3	-
	無回答	14	35.7	21.4	28.6	14.3

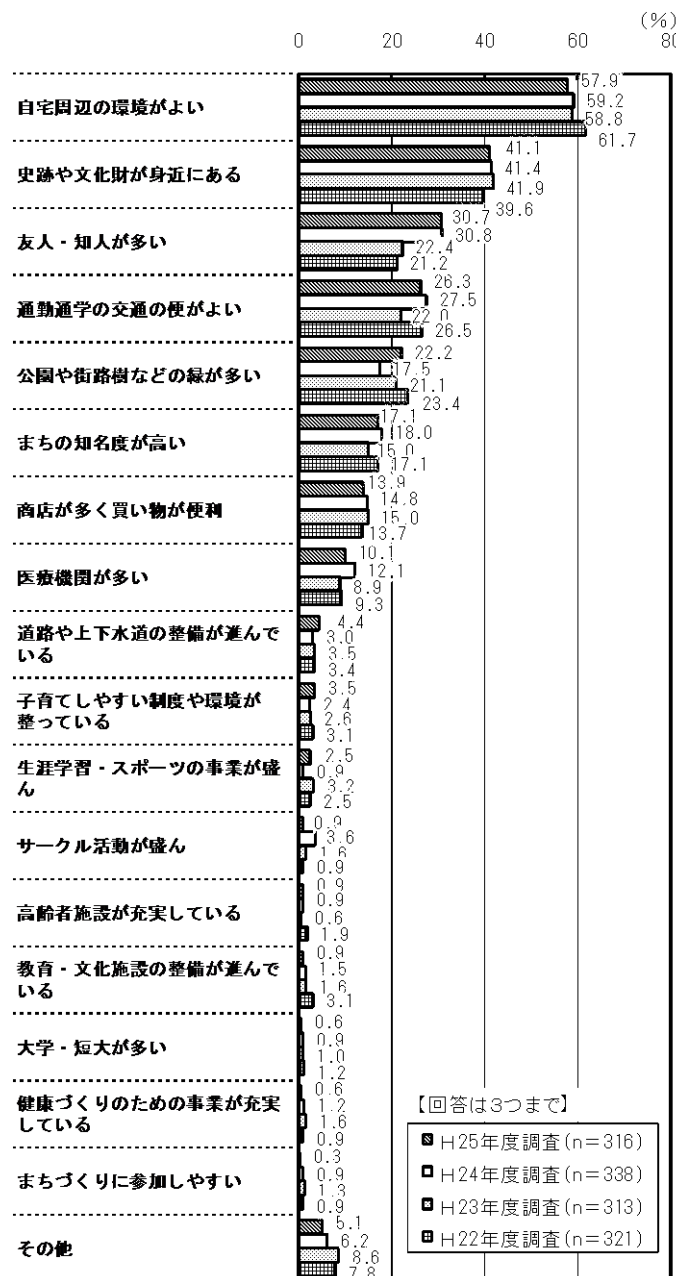
3. 住み続けたい理由（問9付問1）

●住み続けたい理由は、「自宅周辺の環境がよい」（57.9%）が最も高く、次いで「史跡や文化財が身近にある」（41.1%）、「友人・知人が多い」（30.7%）などの順となっている。

「住み続けたい」と回答した理由をみると、「自宅周辺の環境がよい」が57.9%で最も高く、次いで「史跡や文化財が身近にある」（41.1%）、「友人・知人が多い」（30.7%）と続く。

過去の調査結果と比べると、上位の項目は変わっておらず、前回調査と同様の結果となっている。

問9付問1.【住み続けたいと答えた方】におたずねします。「住み続けたい」と思う主な理由は何ですか。（〇は3つまで）



性別にみると、男女ともに1位になっている「自宅周辺の環境がよい」は男性62.4%に対して女性53.9%と、男性の方が女性よりも8.5ポイント上回っている。一方、同3位の「友人・知人が多い」は男性26.2%、女性35.8%で、1位とは反対に女性の方が男性よりも9.6ポイント上回っている。

年代別にみると、20歳代は「通勤通学の交通の便がよい」が52.4%で最も高く、30歳代以上はいずれの年代も「自宅周辺の環境がよい」が最も高くなっている。他の年代の特色としては、40歳代は「通勤通学の交通の便がよい」(40.9%)、50歳代は「公園や街路樹などの緑が多い」(34.4%)、70歳以上は「まちの知名度が高い」(26.4%)がそれぞれ高くなっている。

小学校区別にみると、全ての校区で「自宅周辺の環境がよい」が最も高くなっている。なお、太宰府南小学校区は「友人・知人が多い」、「まちの知名度が高い」など、水城小学校区は「通勤通学の交通の便がよい」、「友人・知人が多い」の割合が他の校区に比べて高くなっている。

(%)

	標本数	自宅周辺の環境がよい	史跡や文化財が身近にある	友人・知人が多い	通勤通学の交通の便がよい	公園や街路樹などの緑が多い	まちの知名度が高い	利便性が高い	商店が多く買い物が便利	医療機関が多い	道路や上下水道の整備が進んでいる	環境が整っている	子育てしやすい制度や環境が整っている	生涯学習・スポーツの施設が盛ん	サークル活動が盛ん	高齢者施設が充実している	教育・文化施設の整備が進んでいる	大学・短大が多い	健康づくりのための事業が充実している	健康づくりのための事業が充実している	すまいづくりに参加しやすい	その他	無回答
全体	316 100.0	183 57.9	130 41.1	97 30.7	83 26.3	70 22.2	54 17.1	44 13.9	32 10.1	14 4.4	11 3.5	8 2.5	3 0.9	3 0.9	3 0.9	2 0.6	2 0.6	1 0.3	16 5.1	2 0.6			
性別																							
男性	141	62.4	41.1	26.2	23.4	22.7	19.9	13.5	7.8	5.0	2.1	4.3	0.7	1.4	1.4	0.7	-	-	-	-	-	3.5	0.7
女性	165	53.9	40.6	35.8	29.1	21.8	14.5	14.5	12.1	4.2	4.8	1.2	1.2	0.6	0.6	0.6	1.2	-	-	-	6.7	0.6	
無回答	10	60.0	50.0	10.0	20.0	20.0	20.0	10.0	10.0	-	-	-	-	-	-	-	-	10.0	-	-	-	-	
年代別																							
20歳代	21	33.3	38.1	28.6	52.4	14.3	23.8	4.8	-	-	9.5	-	-	4.8	-	-	-	-	-	-	-	4.8	-
30歳代	43	48.8	37.2	25.6	32.6	20.9	9.3	14.0	4.7	-	11.6	4.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11.6	-
40歳代	44	59.1	36.4	31.8	40.9	15.9	13.6	11.4	4.5	2.3	6.8	-	2.3	-	-	-	-	2.3	-	-	-	-	-
50歳代	32	53.1	43.8	34.4	34.4	34.4	12.5	6.3	12.5	-	-	3.1	-	-	-	-	-	-	3.1	-	-	3.1	-
60歳代	102	59.8	40.2	33.3	22.5	23.5	15.7	18.6	13.7	6.9	1.0	3.9	1.0	1.0	2.0	2.0	-	-	-	1.0	-	5.9	-
70歳以上	72	69.4	48.6	29.2	6.9	19.4	26.4	15.3	13.9	8.3	-	1.4	1.4	1.4	1.4	-	-	-	-	-	-	2.8	2.8
無回答	2	50.0	-	-	50.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-
小学校区別																							
太宰府小学校区	45	64.4	44.4	28.9	17.8	22.2	17.8	6.7	4.4	-	6.7	2.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.7	2.2
太宰府東小学校区	28	57.1	35.7	35.7	10.7	21.4	14.3	14.3	17.9	7.1	3.6	14.3	3.6	-	3.6	3.6	-	-	-	-	-	3.6	-
太宰府南小学校区	35	54.3	34.3	45.7	17.1	17.1	34.3	8.6	8.6	5.7	2.9	-	-	-	2.9	-	-	-	-	-	-	5.7	-
水城小学校区	45	55.6	46.7	40.0	44.4	20.0	8.9	6.7	-	-	2.2	-	2.2	-	-	-	-	2.2	-	-	-	2.2	-
水城西小学校区	38	55.3	28.9	34.2	36.8	18.4	13.2	21.1	7.9	2.6	7.9	5.3	2.6	5.3	-	2.6	-	-	-	-	-	2.6	-
太宰府西小学校区	59	62.7	35.6	32.2	22.0	20.3	16.9	23.7	15.3	13.6	-	-	-	1.7	1.7	-	-	-	-	-	-	3.4	1.7
国分小学校区	34	67.6	50.0	20.6	17.6	23.5	20.6	5.9	5.9	-	5.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11.8	-
わからない	29	37.9	62.1	3.4	37.9	37.9	13.8	24.1	17.2	3.4	-	3.4	-	-	-	-	-	3.4	3.4	-	6.9	-	
無回答	3	66.7	-	-	66.7	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

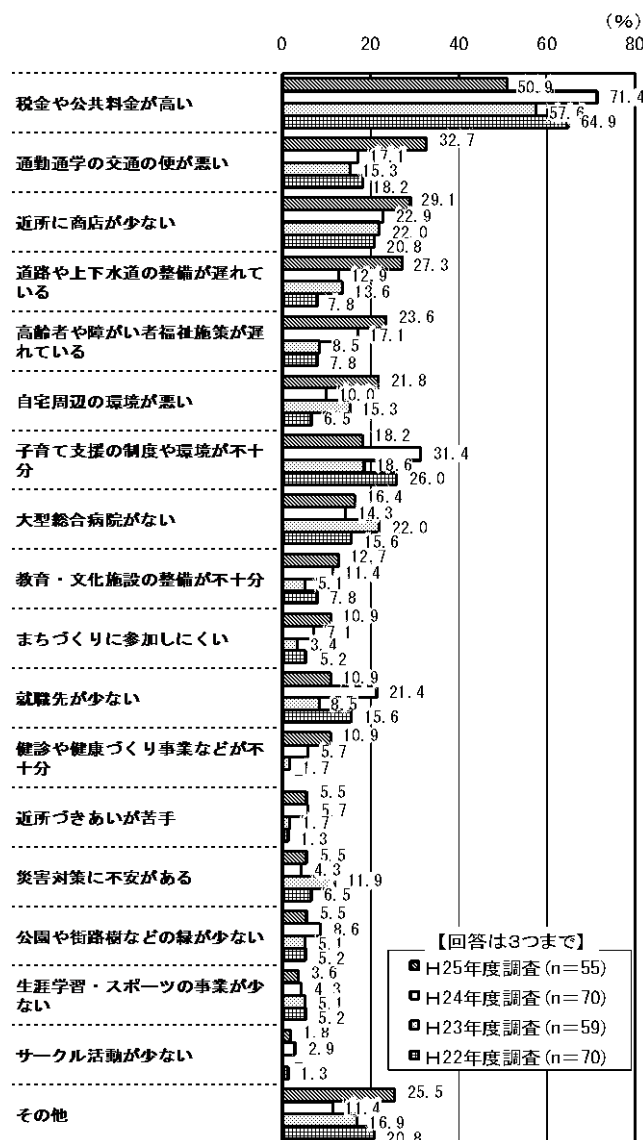
4. 住み続けたくない理由（問9付問2）

●住み続けたくない理由は、「税金や公共料金が高い」（50.9%）が最も高い。

一方、「住み続けたくない」理由としては、「税金や公共料金が高い」（50.9%）が最も高く、次いで「通勤通学の交通の便が悪い」（32.7%）、「近所に商店が少ない」（29.1%）、「道路や上下水道の整備が遅れている」（27.3%）の順となっている。

過去の調査結果と比べると、前回に比べて「通勤通学の交通の便が悪い」（15.6ポイント増）や「道路や上下水道の整備が遅れている」（14.4ポイント増）、「住宅周辺の環境が悪い」（11.8ポイント増）などが大きく増加し、一方で、「税金や公共料金が高い」（20.5ポイント減）や「子育て支援の制度や環境が不十分」（13.2ポイント減）、「就職先が少ない」（10.5ポイント減）などが大きく減少している。

問9付問2.【住み続けたくないと答えた方】におたずねします。「住み続けたくない」と思う主な理由は何ですか。（〇は3つまで）



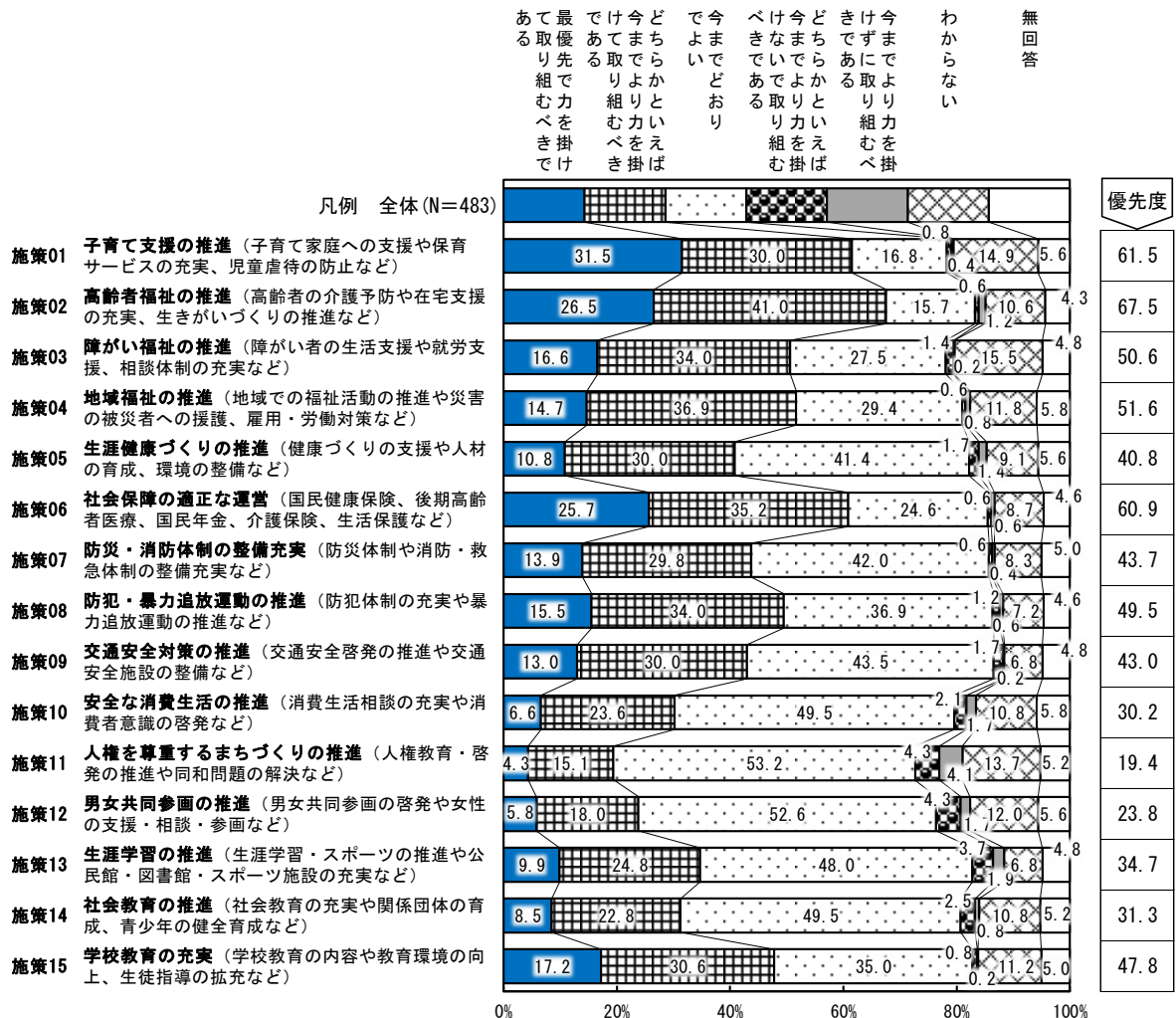
第3節 日頃の暮らし、行動について

1. 総合計画前期基本計画の施策に対する考え方（問10）

●「施策01 子育て支援策の推進」「施策02 高齢者福祉の推進」「施策06 社会保障の適正な運営」などの優先度が高い。

第五次太宰府市総合計画前期基本計画の施策に掲げた34項目への取り組みについて、「最優先で力を掛けて取り組むべきである」割合が高いのは「施策01 子育て支援の推進」(31.5%)、「施策02 高齢者福祉の推進」(26.5%)、「施策06 社会保障の適切な運営」(25.7%)などで、この3施策は「どちらかといえば今までより力を掛けて取り組むべきである」を合わせた『優先度』が6割を超えて高くなっている。一方、『優先度』が低い施策としては、「施策11 人権を尊重するまちづくりの推進」(19.4%)や「施策34 広域連携の推進」(20.1%)、「施策30 国際交流・友好都市交流の推進」(22.2%)、「施策31 市民参画の推進」(22.8%)などがあげられる。

問10. あなたは第五次太宰府市総合計画前期基本計画に掲げた次の34の施策について、今後どのように取り組むべきだと思いますか。(○は施策ごとに1つ)



第2章 調査結果の分析

全体		1位	2位	3位	4位	5位
		施策02 高齢者福祉の推進 67.5	施策01 子育て支援の推進 61.5	施策06 社会保障の適正な運営 60.9	施策25 良質な水道水の安定供給 55.1	施策04 地域福祉の推進 51.6
性別	男性 199	施策02 高齢者福祉の推進 67.8	施策01 子育て支援の推進 62.9	施策06 社会保障の適正な運営 59.3	施策08 防犯・暴力追放運動の推進 58.3	施策25 良質な水道水の安定供給 55.8
	女性 269	施策02 高齢者福祉の推進 67.6	施策06 社会保障の適正な運営 63.5	施策01 子育て支援の推進 61.4	施策25 良質な水道水の安定供給 55.4	施策04 地域福祉の推進 53.9
年代別	20歳代 40	施策01 子育て支援の推進 57.5	施策02 高齢者福祉の推進 55.0	施策03 障がい福祉の推進 55.0	施策15 学校教育の充実 55.0	施策04 地域福祉の推進
	30歳代 64	施策01 子育て支援の推進 86.0	施策02 高齢者福祉の推進 施策15 学校教育の充実 61.0		施策06 社会保障の適正な運営 59.4	施策03 障がい福祉の推進 48.5
	40歳代 71	施策02 高齢者福祉の推進 70.5	施策01 子育て支援の推進 64.8	施策06 社会保障の適正な運営 63.3	施策04 地域福祉の推進 施策17 生活環境の向上 56.4	
	50歳代 60	施策02 高齢者福祉の推進 75.0	施策06 社会保障の適正な運営 66.7	施策01 子育て支援の推進 施策25 良質な水道水の安定供給 63.3		施策04 地域福祉の推進 61.6
	60歳代 143	施策02 高齢者福祉の推進 69.3	施策01 子育て支援の推進 60.2	施策06 社会保障の適正な運営 58.8	施策25 良質な水道水の安定供給 55.3	施策04 地域福祉の推進 施策08 防犯・暴力追放運動の推進 52.5
	70歳以上 102	施策02 高齢者福祉の推進 69.6	施策06 社会保障の適正な運営 68.7	施策25 良質な水道水の安定供給 62.7	施策24 地域交通体系の整備 56.9	施策08 防犯・暴力追放運動の推進 51.0
	小学校区別	太宰府小学校区 78	施策02 高齢者福祉の推進 70.5	施策24 地域交通体系の整備 66.7	施策01 子育て支援の推進 62.9	施策04 地域福祉の推進 58.9
	太宰府東小学校区 38	施策01 子育て支援の推進 施策02 高齢者福祉の推進 施策06 社会保障の適正な運営 63.2			施策25 良質な水道水の安定供給 60.6	施策24 地域交通体系の整備 50.0
	太宰府南小学校区 42	施策02 高齢者福祉の推進 73.8	施策06 社会保障の適正な運営 施策25 良質な水道水の安定供給 69.1		施策01 子育て支援の推進 61.9	施策24 地域交通体系の整備 59.6
	水城小学校区 63	施策02 高齢者福祉の推進 63.5	施策01 子育て支援の推進 施策06 社会保障の適正な運営 58.7		施策03 障がい福祉の推進 施策15 学校教育の充実 54.0	
	水城西小学校区 54	施策25 良質な水道水の安定供給 66.6	施策01 子育て支援の推進 64.8	施策02 高齢者福祉の推進 61.1	施策20 低炭素社会の構築 50.0	施策04 地域福祉の推進 施策06 社会保障の適正な運営 施策19 循環型社会の構築 48.2
	太宰府西小学校区 89	施策02 高齢者福祉の推進 66.3	施策06 社会保障の適正な運営 64.0	施策25 良質な水道水の安定供給 57.3	施策04 地域福祉の推進 56.2	施策01 子育て支援の推進 53.9
	国分小学校区 56	施策02 高齢者福祉の推進 75.0	施策01 子育て支援の推進 71.4	施策06 社会保障の適正な運営 67.9	施策15 学校教育の充実 64.3	施策03 障がい福祉の推進 60.7
	わからない 55	施策02 高齢者福祉の推進 69.1	施策01 子育て支援の推進 63.6	施策06 社会保障の適正な運営 61.8	施策17 生活環境の向上 49.1	施策25 良質な水道水の安定供給 47.3

また、各施策について、第五次総合計画に掲げた市民意識調査による成果指標と目標値の今年度の達成状況を整理してみると、以下の表のとおりとなる。

	優先度	指標	基準値 (平成21年度)	目標値 (平成27年度)	今回調査 結果	
施策01	子育て支援の推進(子育て家庭への支援や保育サービスの充実、児童虐待の防止など)	61.5% (2位)	子育てをしやすいと感じる保護者の割合	52.6%	70.0%	66.3%
施策02	高齢者福祉の推進(高齢者の介護予防や在宅支援の充実、生きがいづくりの推進など)	67.5% (1位)	生きがいを感じている高齢者の割合	80.7%	85.0%	73.6%
			高齢者福祉サービスが充実していると感じる市民の割合	24.9%	35.0%	15.1%
施策03	障がい福祉の推進(障がい者の生活支援や就労支援、相談体制の充実など)	50.6% (7位)	障がい福祉サービスが充実していると感じる市民の割合	23.5%	33.0%	32.8%
施策04	地域福祉の推進(地域での福祉活動の推進や災害の被災者への援護、雇用・労働対策など)	51.6% (5位)	地域の福祉活動が活発に行われていると感じる市民の割合	29.6%	50.0%	38.6%
施策05	生涯健康づくりの推進(健康づくりの支援や人材の育成、環境の整備など)	40.8% (16位)	健康状態が良好な市民の割合	77.0%	80.0%	76.6%
			健康増進に取り組んでいる市民の割合	53.5%	60.0%	52.2%
施策06	社会保障の適正な運営(国民健康保険、後期高齢者医療、国民年金、介護保険、生活保護など)	60.9% (3位)	特定健康診査受診率	23.0%	65.0%	58.4%
施策07	防災・消防体制の整備充実(防災体制や消防・救急体制の整備充実など)	43.7% (11位)	日頃から災害に備えている市民の割合	47.4%	60.0%	43.7%
施策08	防犯・暴力追放運動の推進(防犯体制の充実や暴力追放運動の推進など)	49.5% (8位)	—	—	—	—
施策09	交通安全対策の推進(交通安全啓発の推進や交通安全施設の整備など)	43.0% (13位)	—	—	—	—
施策10	安全な消費生活の推進(消費生活相談の充実や消費者意識の啓発など)	30.2% (28位)	この1年間に消費生活に関する不安を感じたりトラブルを受けた市民の割合	17.3%	15.0%	11.4%
施策11	人権を尊重するまちづくりの推進(人権教育・啓発の推進や同和問題の解決など)	19.4% (34位)	この1年間に人権侵害を受けたことがある市民の割合	2.8%	1.0%	3.5%
			同和問題をはじめあらゆる人権が尊重されていると感じる市民の割合	80.3%	90.0%	77.3%
施策12	男女共同参画の推進(男女共同参画の啓発や女性の支援・相談・参画など)	23.8% (30位)	男は仕事、女は家庭という役割分担意識を持たない市民の割合	60.5% (男性56.4%) (女性64.3%)	65.0% (男性60.0%) (女性70.0%)	61.3% (男性59.8%) (女性63.6%)
施策13	生涯学習の推進(生涯学習・スポーツの推進や公民館・図書館・スポーツ施設の充実など)	34.7% (22位)	日頃から学習テーマを持って生涯学習に取り組んでいる市民の割合	16.2%	20.0%	16.5%
			日頃からスポーツに取り組んでいる市民の割合	33.9%	40.0%	40.9%
施策14	社会教育の推進(社会教育の充実や関係団体の育成、青少年の健全育成など)	31.3% (27位)	—	—	—	—
施策15	学校教育の充実(学校教育の内容や教育環境の向上、生徒指導の拡充など)	47.8% (9位)	—	—	—	—
施策16	文化芸術の振興(文化芸術活動の育成・支援や市史の活用など)	28.8% (29位)	文化芸術活動を月数回以上行っている市民の割合	14.5%	20.0%	16.1%
施策17	生活環境の向上(生活環境の保全や環境マナーの向上、環境美化の推進など)	45.8% (10位)	自宅周辺の環境が清潔で衛生的と感じる市民の割合	73.7%	80.0%	80.1%
			環境マナーが守られていると感じる市民の割合	62.8%	70.0%	68.7%
			地域の美化活動に参加している市民の割合	52.2%	60.0%	74.7%
施策18	自然共生社会の構築(みどりや水環境の保全と創造、水とみどりのネットワークづくりなど)	36.4% (19位)	自然環境が豊かであると感じる市民の割合	88.1%	93.0%	83.9%
施策19	循環型社会の構築(ごみの減量やリサイクルの推進、廃棄物の適正処理など)	40.9% (15位)	—	—	—	—
施策20	低炭素社会の構築(省エネ対策や新エネルギー導入の促進、温室効果ガスの排出抑制など)	42.6% (14位)	省エネルギー・省資源を実践している市民の割合	82.1%	90.0%	82.8%
施策21	環境教育・学習の推進(環境教育・学習の推進や環境に優しいライフスタイルの推進など)	35.2% (21位)	環境学習会や環境講演会等に参加したことがある市民の割合	12.3%	25.0%	10.2%

第2章 調査結果の分析

		優先度	指標	基準値 (平成21年度)	目標値 (平成27年度)	今回調査 結果
施策22	未来に伝える景観づくり(景観形成のための仕組みづくりや個性ある地域景観の保全など)	37.5% (17位)	自然が美しいと感じる市民の割合	85.5%	85.5%	84.5%
			歴史的景観が美しいと感じる市民の割合	91.3%	91.3%	91.3%
			良好なまちなみと感じる市民の割合	76.8%	80.0%	79.9%
施策23	計画的なまちづくり(秩序ある土地利用の推進や市街地の整備、公園機能の向上など)	43.3% (12位)	道路や公園などの都市基盤が周辺に整えられ、快適で住環境がよいと感じる市民の割合	69.6%	75.0%	71.0%
			商店や学校、病院等が周辺にあり、生活するうえで便利と感じる市民の割合	69.7%	75.0%	66.7%
施策24	地域交通体系の整備(幹線道路や生活道路の整備や公共交通の利便性の向上など)	51.5% (6位)	公共交通機関(鉄道・バス)の利便性に満足を感じる市民の割合	鉄道63.7% バス31.1%	鉄道65.0% バス50.0%	鉄道70.6% バス41.5%
施策25	良質な水道水の安定供給(水道施設の整備・維持や健全経営など)	55.1% (4位)	—	—	—	—
施策26	下水道の整備と普及促進(下水道施設の整備・維持や健全経営など)	37.3% (18位)	—	—	—	—
施策27	産業の振興(商工業の振興や都市近郊農業の推進など)	32.7% (25位)	主に市内で買物している市民の割合	67.8%	75.0%	64.4%
施策28	文化遺産の保存と活用(史跡地の公有化や文化財の調査・保護・整備、市民遺産の活用など)	33.2% (24位)	—	—	—	—
施策29	観光基盤の整備充実(観光宣伝の充実や観光資源の整備、太宰府ブランドの展開など)	35.4% (20位)	—	—	—	—
施策30	国際交流・友好都市交流の推進(国際交流活動の推進や友好都市交流の推進など)	22.2% (32位)	日頃から市内在住外国人と交流している市民の割合	5.3%	10.0%	5.3%
			姉妹都市・友好都市を認知している市民の割合	33.0%	50.0%	42.7%
施策31	市民参画の推進(自治基本条例の制定や地域コミュニティ活動、NPO・ボランティア支援など)	22.8% (31位)	—	—	—	—
施策32	情報の共有化と活用(行政情報の開示や情報セキュリティの確保、広聴・広報の充実など)	31.5% (26位)	市民と行政の情報共有がなされていると感じる市民の割合	36.7%	50.0%	31.0%
			広報だざいふを読んでいる市民の割合	83.0%	90.0%	83.3%
			市公式ホームページを見ている市民の割合	29.0%	50.0%	27.7%
施策33	市民のための行政運営(行政改革や財政健全化の推進、行政職員の能力開発資質向上など)	34.6% (23位)	効果的に行政運営が行われていると感じる市民の割合	48.9%	80.0%	52.4%
			職員の応対や行動などの仕事に対する取組に満足している市民の割合	65.7%	100.0%	64.8%
施策34	広域連携の推進(広域行政の推進や道州制・市町村合併の調査・研究など)	20.1% (33位)	広域化により住民サービスが向上したと感じる市民の割合	28.2%	40.0%	39.6%

2. 子育て支援の推進

(1) 子育てのしやすさ (問 11)

●『子育てがしやすい派』は 66.3%、『子育てがしにくい派』は 33.7%となっている。

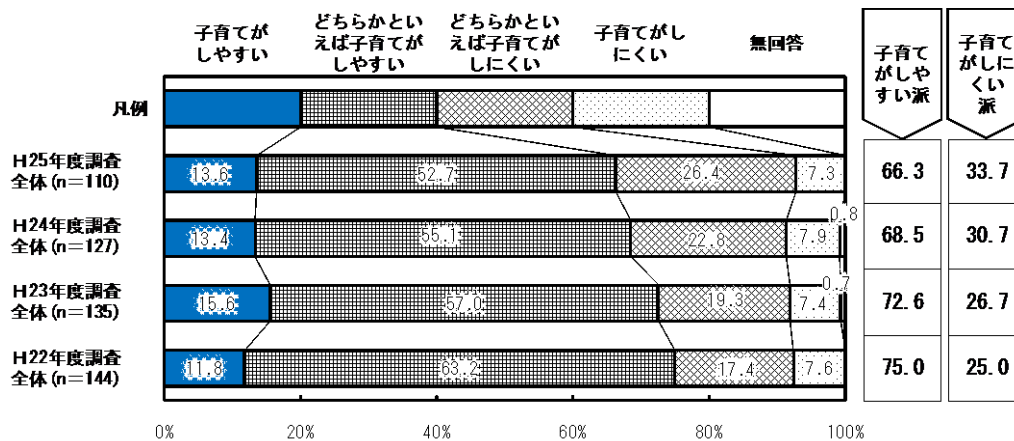
中学生以下の子どもがいる 110 人を対象にした質問で、子育てがしやすいと思う『子育てがしやすい派』(「子育てがしやすい」(13.6%)と「どちらかと言えば子育てがしやすい」(52.7%)の合計)は 66.3%、一方、『子育てがしにくい派』(「子育てがしにくい」(7.3%)と「どちらかと言えば子育てがしにくい」(26.4%)の合計)は 33.7%で、『子育てがしやすい派』の方が『子育てがしにくい派』よりも高くなっている。

過去の調査結果と比べると、『子育てがしやすい派』の割合は年々減少している一方、『子育てがしにくい派』は増加傾向がみられる。

性別にみると、『子育てがしやすい派』は男性(69.2%)の方が女性(64.3%)よりも高くなっている。

【中学生までの子どもをお持ちの保護者の方だけにおたずねします。】

問 11. あなたは太宰府市では子育てがしやすいと思いますか。(○は1つ)



	標本数	子育てのしやすさ (%)					
		子育てがしやすい	どちらかと言えば子育てがしやすい	どちらかと言えば子育てがしにくい	子育てがしにくい	子育てがしやすい派	子育てがしにくい派
全体	110	13.6	52.7	26.4	7.3	66.3	33.7
性別	男性	12.8	56.4	23.1	7.7	69.2	30.8
	女性	14.3	50.0	28.6	7.1	64.3	35.7
	無回答	-	100.0	-	-	100.0	-
年代別	20歳代	30.0	40.0	20.0	10.0	70.0	30.0
	30歳代	11.6	48.8	27.9	11.6	60.4	39.5
	40歳代	7.7	61.5	25.6	5.1	69.2	30.7
	50歳代	18.2	45.5	36.4	-	63.7	36.4
	60歳代	40.0	60.0	-	-	100.0	-
	70歳以上	-	50.0	50.0	-	50.0	50.0
小学校区別	太宰府小学校区	10.5	57.9	10.5	21.1	68.4	31.6
	太宰府東小学校区	16.7	33.3	16.7	33.3	50.0	50.0
	太宰府南小学校区	16.7	50.0	16.7	16.7	66.7	33.4
	水城小学校区	10.0	60.0	30.0	-	70.0	30.0
	水城西小学校区	26.3	47.4	26.3	-	73.7	26.3
	太宰府西小学校区	23.1	61.5	15.4	-	84.6	15.4
	国分小学校区	-	61.1	33.3	5.6	61.1	38.9
わからない	11.1	22.2	66.7	-	33.3	66.7	

3. 高齢者福祉の推進

(1) 生きがいの有無 (問 12)

●生きがいを感じている『充実派』は73.6%となっている。

65歳以上(174人)を対象に生きがいの有無をたずねたところ、『充実派』(「とても感じている」(21.3%)と「どちらかと言えば感じている」(52.3%)の合計)は73.6%で、65歳以上の約7割が感じていると回答している。一方、『不満派』(「全く感じていない」(3.4%)と「どちらかといえば感じていない」(21.3%)の合計)は24.7%で、『充実派』は『不満派』の約3倍と高くなっている。

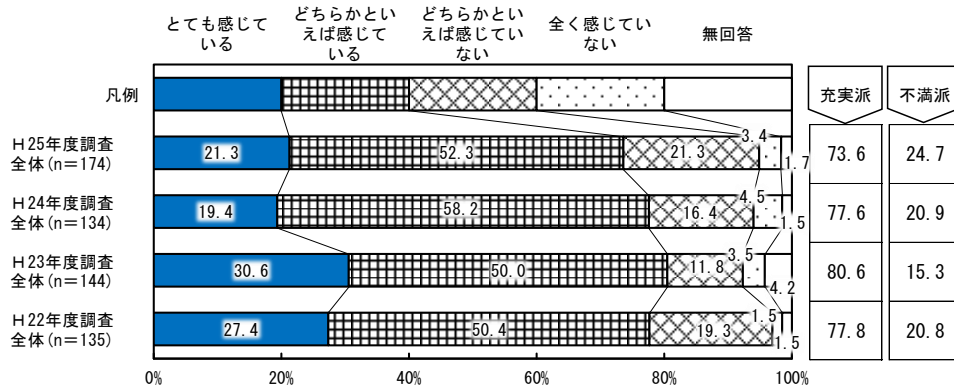
過去の調査結果と比べると、「とても感じている」は前回調査よりも1.9ポイント増加しているものの、『充実派』は平成23年度から減少傾向となっている。

性別にみると、生きがいを「とても感じている」は男女ともに2割となっているが、『充実派』の割合は女性(75.3%)の方が男性(71.8%)よりも高くなっている。

年代別にみると、60歳代(76.4%)の方が70歳以上(71.6%)よりも『充実派』がやや高くなっている。

【次の2問は、65歳以上の方だけにおたずねします。】

問 12. あなたは日頃から生きがいを感じて生活していますか。(〇は1つ)



		標本数	とても感じている (%)	どちらかと言えば感じている (%)	どちらかといえば感じていない (%)	全く感じていない (%)	無回答 (%)	充実派 (%)	不満派 (%)
全体		174	21.3	52.3	21.3	3.4	1.7	73.6	24.7
性別	男性	85	21.2	50.6	23.5	2.4	2.4	71.8	25.9
	女性	81	21.0	54.3	18.5	4.9	1.2	75.3	23.4
	無回答	8	25.0	50.0	25.0	-	-	75.0	25.0
年代別	60歳代	72	22.2	54.2	18.1	4.2	1.4	76.4	22.3
	70歳以上	102	20.6	51.0	23.5	2.9	2.0	71.6	26.4
小学校区別	太宰府小学校区	30	23.3	56.7	10.0	6.7	3.3	80.0	16.7
	太宰府東小学校区	18	27.8	33.3	33.3	-	5.6	61.1	33.3
	太宰府南小学校区	22	22.7	68.2	9.1	-	-	90.9	9.1
	水城小学校区	18	-	66.7	27.8	5.6	-	66.7	33.4
	水城西小学校区	18	33.3	33.3	27.8	5.6	-	66.6	33.4
	太宰府西小学校区	42	19.0	50.0	26.2	2.4	2.4	69.0	28.6
	国分小学校区	16	18.8	56.3	25.0	-	-	75.1	25.0
	わからない	6	-	83.3	16.7	-	-	83.3	16.7
無回答	4	75.0	-	-	25.0	-	75.0	25.0	

(2) 高齢者福祉サービスの充実度 (問 13)

●高齢者福祉サービスについて『充実派』は 15.1%、『不足派』は 26.9%となっている。

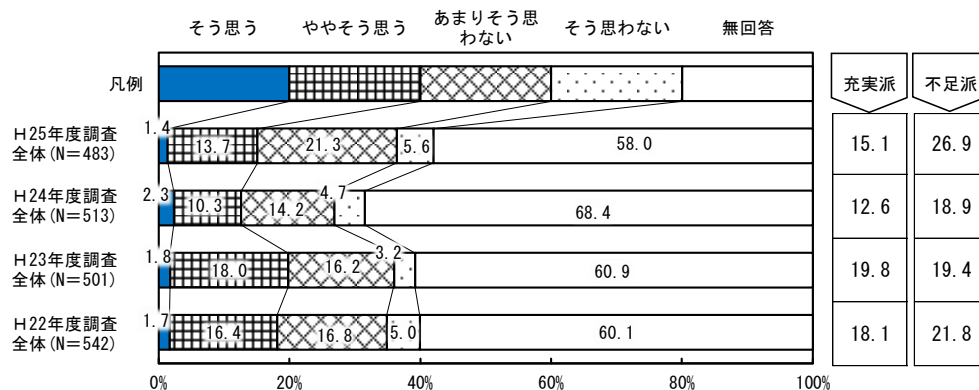
高齢者福祉サービスの充実度について、『充実派』(「そう思う」(1.4%)と「ややそう思う」(13.7%)の合計)は 15.1%、一方、『不足派』(「そう思わない」(5.6%)と「あまりそう思わない」(21.3%)の合計)は 26.9%で、『不足派』の方が『充実派』よりも高くなっている。

過去の調査結果と比べると、『充実派』は前回調査(12.6%)より 2.5ポイント増加しているものの、平成 23 年度の 19.8%までは戻っていない。一方『不足派』は、前回調査よりも 8ポイント増加している。

性別にみると、『充実派』は男女ともに 15%前後となっているが、『不足派』は男性(33.1%)の方が女性(21.2%)よりも高くなっている。

小学校区別にみると、全ての校区で『不足派』の方が『充実派』よりも高く、太宰府、太宰府東、太宰府南、太宰府西の 4 小学校区は『不足派』が 3 割を超えている。なお、『充実派』が最も高いのは太宰府南小学校区(23.8%)となっている。

問 13. あなたは太宰府市の高齢者福祉サービスは充実していると思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	充実派	不足派
全体		483	7	66	103	27	280	73	130
性別	男性	199	1.0	13.6	26.6	6.5	52.3	14.6	33.1
	女性	269	1.9	13.4	16.0	5.2	63.6	15.3	21.2
	無回答	15	-	20.0	46.7	-	33.3	20.0	46.7
年代別	20歳代	40	-	5.0	7.5	-	87.5	5.0	7.5
	30歳代	64	-	3.1	3.1	1.6	92.2	3.1	4.7
	40歳代	71	-	7.0	4.2	-	88.7	7.0	4.2
	50歳代	60	1.7	5.0	1.7	-	91.7	6.7	1.7
	60歳代	143	0.7	18.2	27.3	8.4	45.5	18.9	35.7
	70歳以上	102	4.9	26.5	53.9	13.7	1.0	31.4	67.6
	無回答	3	-	33.3	-	-	66.7	33.3	-
小学校区別	太宰府小学校区	78	-	12.8	26.9	7.7	52.6	12.8	34.6
	太宰府東小学校区	38	5.3	10.5	31.6	5.3	47.4	15.8	36.9
	太宰府南小学校区	42	-	23.8	26.2	7.1	42.9	23.8	33.3
	水城小学校区	63	-	15.9	17.5	1.6	65.1	15.9	19.1
	水城西小学校区	54	3.7	11.1	18.5	5.6	61.1	14.8	24.1
	太宰府西小学校区	89	2.2	16.9	28.1	5.6	47.2	19.1	33.7
	国分小学校区	56	-	14.3	16.1	5.4	64.3	14.3	21.5
	わからない	55	1.8	5.5	3.6	1.8	87.3	7.3	5.4
		無回答	8	-	-	25.0	37.5	-	62.5

4. 障がい福祉の推進

(1) 障がい者福祉サービスの充実度 (問 14)

●障がい者福祉サービスについて『充実派』は54.5%で、『不足派』(32.8%)よりも高い。

障がい者福祉サービスの充実度について、『充実派』(「そう思う」(4.6%)と「ややそう思う」(28.2%)の合計)は32.8%、『不足派』(「そう思わない」(7.5%)と「あまりそう思わない」(47.0%)の合計)は54.5%で、『不足派』の方が『充実派』よりも高くなっている。

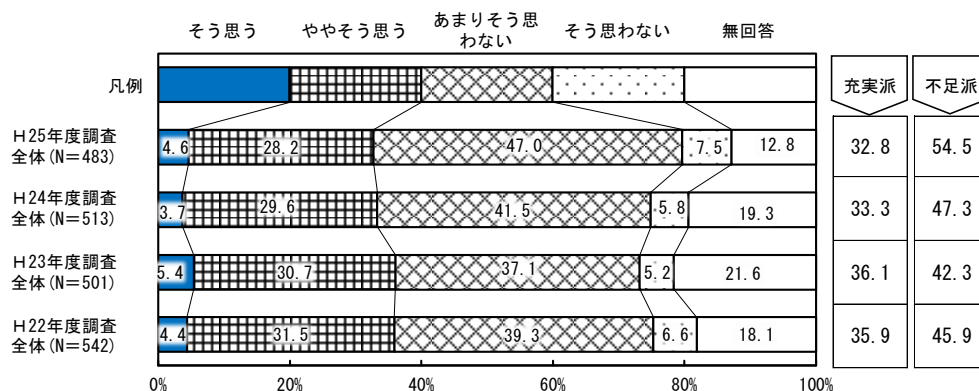
過去の調査結果と比べると、『充実派』は3割程度の横ばい傾向であるが、『不足派』は平成23年度から増加傾向がみられる。

性別にみると、『充実派』は女性(34.6%)の方が男性(30.1%)よりも高くなっている。

年代別にみると、20歳代は『充実派』の方が『不足派』よりも高くなっているが、30歳代以上は『不足派』が5割を超えて高く、特に30歳代では6割を超えている。

小学校区別にみると、水城小学校区を除いて『不足派』の方が『充実派』よりも高く、特に太宰府と太宰府西の2小学校区は『不足派』が6割を超えている。なお、水城小学校区はわずかではあるものの『充実派』の方が『不足派』よりも上回っている。

問 14. あなたは太宰府市の障がい者福祉サービスは充実していると思いますか。



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	充実派	不足派
全体		483	22	136	227	36	62	158	263
		100.0	4.6	28.2	47.0	7.5	12.8	32.8	54.5
性別	男性	199	3.5	26.6	52.3	9.0	8.5	30.1	61.3
	女性	269	5.6	29.0	43.5	6.3	15.6	34.6	49.8
	無回答	15	-	33.3	40.0	6.7	20.0	33.3	46.7
年代別	20歳代	40	5.0	50.0	35.0	2.5	7.5	55.0	37.5
	30歳代	64	7.8	20.3	56.3	4.7	10.9	28.1	61.0
	40歳代	71	4.2	35.2	46.5	8.5	5.6	39.4	55.0
	50歳代	60	6.7	23.3	53.3	3.3	13.3	30.0	56.6
	60歳代	143	2.8	25.2	44.1	10.5	17.5	28.0	54.6
	70歳以上	102	3.9	26.5	47.1	8.8	13.7	30.4	55.9
	無回答	3	-	33.3	33.3	-	33.3	33.3	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	78	1.3	26.9	53.8	9.0	9.0	28.2	62.8
	太宰府東小学校区	38	2.6	39.5	39.5	5.3	13.2	42.1	44.8
	太宰府南小学校区	42	4.8	23.8	52.4	7.1	11.9	28.6	59.5
	水城小学校区	63	6.3	36.5	39.7	1.6	15.9	42.8	41.3
	水城西小学校区	54	1.9	40.7	40.7	7.4	9.3	42.6	48.1
	太宰府西小学校区	89	5.6	22.5	50.6	11.2	10.1	28.1	61.8
	国分小学校区	56	3.6	25.0	46.4	8.9	16.1	28.6	55.3
	わからない	55	10.9	18.2	49.1	7.3	14.5	29.1	56.4
	無回答	8	-	12.5	37.5	-	50.0	12.5	37.5

(2) 公共施設の配慮に対する意識 (問 15)

●公共施設の配慮について『否定派』は52.8%で、『肯定派』(40.0%)よりも高い。

公共施設が高齢者や障がい者などに配慮されているかどうかについて、配慮されているという『肯定派』(「そう思う」(7.9%)と「ややそう思う」(32.1%)の合計)は40.0%、一方、『否定派』(「そう思わない」(9.9%)と「あまりそう思わない」(42.9%)の合計)は52.8%で、『否定派』の方が『肯定派』よりも高くなっている。

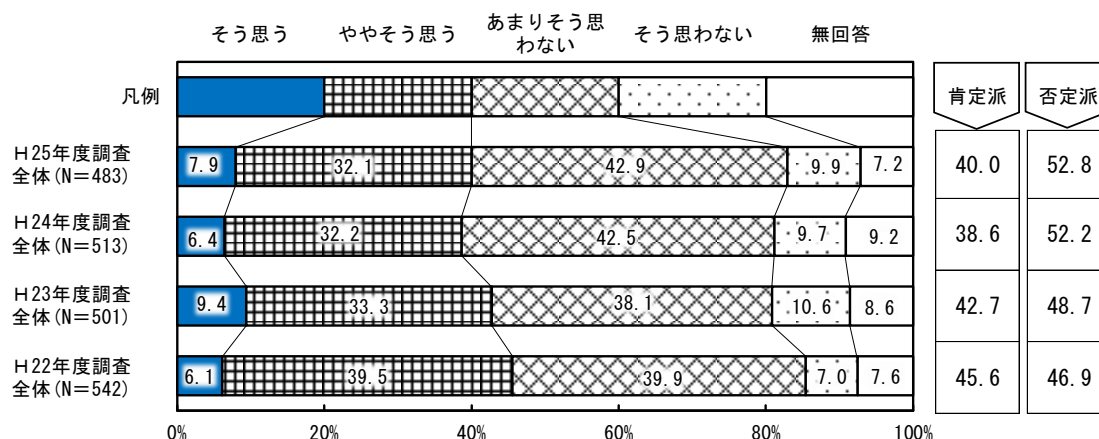
過去の調査結果と比べると、平成22年度から減少傾向にあった『肯定派』が今回は増加している。一方、『否定派』は増加傾向となっている。

性別にみると、男女ともに『否定派』の方が『肯定派』よりも高くなっている。

年代別にみると、20歳代は『肯定派』の方が『否定派』よりも高くなっているが、30歳代以上は『否定派』の方が『肯定派』よりも高くなっている。

小学校区別にみると、太宰府東小学校区を除いて『否定派』の方が『肯定派』よりも上回っている。

問 15. あなたは市内の公共施設(駅、市役所等)が高齢者や障がい者などに配慮されていると思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う (%)	ややそう思う (%)	あまりそう思わない (%)	そう思わない (%)	無回答 (%)	肯定派 (%)	否定派 (%)
全体		483	7.9	32.1	42.9	9.9	7.2	40.0	52.8
性別	男性	199	10.1	29.6	44.2	11.6	4.5	39.7	55.8
	女性	269	6.7	34.2	41.6	8.9	8.6	40.9	50.5
	無回答	15	-	26.7	46.7	6.7	20.0	26.7	53.4
年代別	20歳代	40	15.0	42.5	27.5	7.5	7.5	57.5	35.0
	30歳代	64	6.3	32.8	45.3	6.3	9.4	39.1	51.6
	40歳代	71	2.8	38.0	45.1	9.9	4.2	40.8	55.0
	50歳代	60	3.3	35.0	46.7	5.0	10.0	38.3	51.7
	60歳代	143	6.3	30.8	43.4	11.9	7.7	37.1	55.3
	70歳以上	102	13.7	24.5	43.1	13.7	4.9	38.2	56.8
	無回答	3	33.3	-	33.3	-	33.3	33.3	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	78	5.1	39.7	39.7	10.3	5.1	44.8	50.0
	太宰府東小学校区	38	13.2	39.5	34.2	5.3	7.9	52.7	39.5
	太宰府南小学校区	42	2.4	33.3	50.0	11.9	2.4	35.7	61.9
	水城小学校区	63	11.1	33.3	46.0	3.2	6.3	44.4	49.2
	水城西小学校区	54	9.3	29.6	46.3	9.3	5.6	38.9	55.6
	太宰府西小学校区	89	7.9	27.0	44.9	13.5	6.7	34.9	58.4
	国分小学校区	56	7.1	33.9	35.7	10.7	12.5	41.0	46.4
	わからない	55	7.3	25.5	45.5	10.9	10.9	32.8	56.4
	無回答	8	12.5	12.5	37.5	25.0	12.5	25.0	62.5

(3) 民間施設の配慮に対する意識 (問 16)

●民間施設の配慮について『否定派』は64.4%で、『肯定派』(27.3%)よりも高い。

民間施設が高齢者や障がい者などに配慮されているかどうかについて、『肯定派』(「そう思う」(3.9%)と「ややそう思う」(23.4%)の合計)は27.3%、一方、『否定派』(「そう思わない」(9.7%)と「あまりそう思わない」(54.7%)の合計)は64.4%で、『否定派』の方が『肯定派』よりも高くなっている。

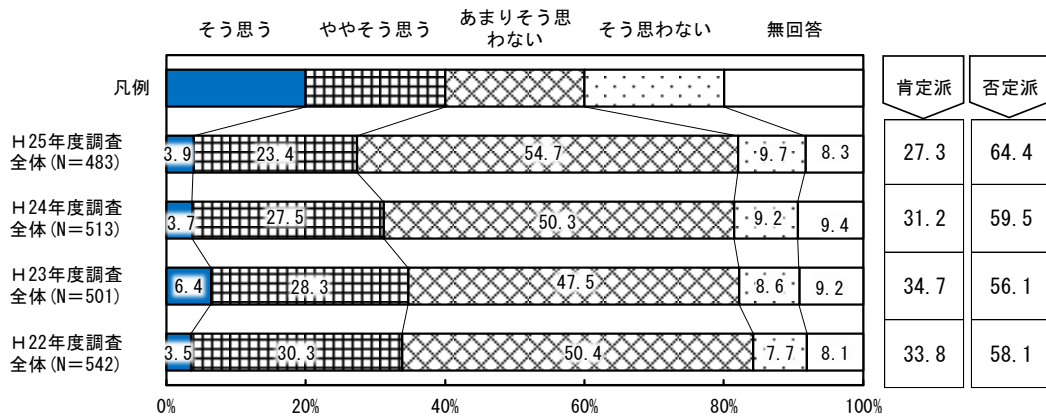
過去の調査結果と比べると、平成23年度から『肯定派』は減少している一方、『否定派』は増加傾向となっている。

性別にみると、男女ともに『否定派』の方が『肯定派』よりも高くなっている。

年代別にみると、20歳代は『肯定派』の方が『否定派』よりも高くなっているが、30歳代以上は『否定派』の方が『肯定派』よりも高くなっており、年代によって意識の違いがみられる。

小学校区別でみると、いずれも『否定派』の方が『肯定派』よりも上回っており、特に太宰府東と国分以外の5小学校区は『否定派』が7割近くを占めている。

問 16. あなたは市内の民間施設(商業施設等)が高齢者や障がい者などに配慮されていると思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派	否定派
全体		483	19	113	264	47	40	132	311
		100.0	3.9	23.4	54.7	9.7	8.3	27.3	64.4
性別	男性	199	5.0	20.1	57.3	12.1	5.5	25.1	69.4
	女性	269	3.3	26.4	52.4	8.2	9.7	29.7	60.6
	無回答	15	-	13.3	60.0	6.7	20.0	13.3	66.7
年代別	20歳代	40	10.0	37.5	42.5	2.5	7.5	47.5	45.0
	30歳代	64	4.7	25.0	51.6	7.8	10.9	29.7	59.4
	40歳代	71	1.4	26.8	57.7	9.9	4.2	28.2	67.6
	50歳代	60	5.0	15.0	65.0	5.0	10.0	20.0	70.0
	60歳代	143	2.8	21.7	55.2	10.5	9.8	24.5	65.7
	70歳以上	102	3.9	21.6	52.9	15.7	5.9	25.5	68.6
	無回答	3	-	33.3	33.3	-	33.3	33.3	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	78	2.6	19.2	64.1	6.4	7.7	21.8	70.5
	太宰府東小学校区	38	2.6	39.5	44.7	5.3	7.9	42.1	50.0
	太宰府南小学校区	42	-	28.6	57.1	11.9	2.4	28.6	69.0
	水城小学校区	63	4.8	20.6	58.7	7.9	7.9	25.4	66.6
	水城西小学校区	54	7.4	18.5	57.4	9.3	7.4	25.9	66.7
	太宰府西小学校区	89	2.2	22.5	59.6	9.0	6.7	24.7	68.6
	国分小学校区	56	7.1	21.4	41.1	17.9	12.5	28.5	59.0
	わからない	55	5.5	23.6	50.9	9.1	10.9	29.1	60.0
	無回答	8	-	37.5	12.5	25.0	25.0	37.5	37.5

5. 地域福祉の推進（問17）

●地域での福祉活動が活発に行われているかについて『否定派』が57.5%で、『肯定派』(38.6%)よりも高い。

地域での住民相互の支え合いなどによる福祉活動が活発に行われているかどうかについて、『肯定派』（「そう思う」（7.5%）と「ややそう思う」（31.1%）の合計）は38.6%、一方、『否定派』（「そう思わない」（12.2%）と「あまりそう思わない」（45.3%）の合計）は57.5%で、『否定派』の方が『肯定派』よりも高くなっている。

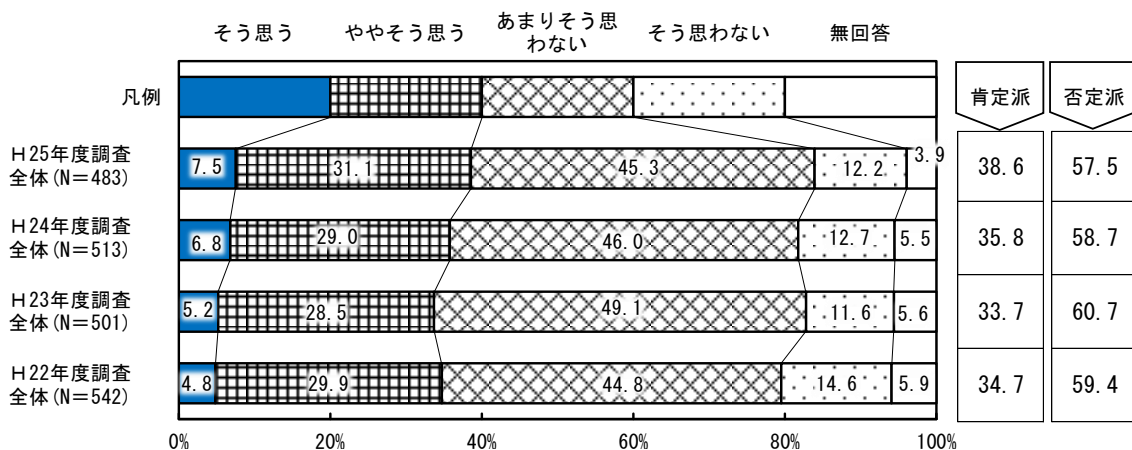
過去の調査結果と比べると、平成23年度から『肯定派』は増加傾向となっている。

性別にみると、『肯定派』は男女ともに約4割となっており、差はみられない。

年代別にみると、60歳以上は『肯定派』が4割を超えており、50歳代以下と比べて高くなっている。なお、50歳代の『肯定派』は23.4%で最も低くなっている。

小学校区別にみると、太宰府南小学校区、太宰府西小学校区は『肯定派』が5割で、他の小学校区に比べて高くなっている。

問17. あなたがお住まいの地域では、地域での住民相互の支え合いなどによる福祉活動が活発に行われていると思いますか。（○は1つ）



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そう思わない	無回答	肯定派	否定派
全体		483	36	150	219	59	19	186	278
		100.0	7.5	31.1	45.3	12.2	3.9	38.6	57.5
性別	男性	199	6.5	33.2	43.7	15.6	1.0	39.7	59.3
	女性	269	7.8	30.5	45.7	10.0	5.9	38.3	55.7
	無回答	15	13.3	13.3	60.0	6.7	6.7	26.6	66.7
年代別	20歳代	40	5.0	32.5	40.0	22.5	-	37.5	62.5
	30歳代	64	4.7	29.7	54.7	7.8	3.1	34.4	62.5
	40歳代	71	2.8	31.0	57.7	5.6	2.8	33.8	63.3
	50歳代	60	1.7	21.7	63.3	8.3	5.0	23.4	71.6
	60歳代	143	8.4	35.7	36.4	14.7	4.9	44.1	51.1
	70歳以上	102	15.7	31.4	34.3	14.7	3.9	47.1	49.0
	無回答	3	-	-	66.7	-	33.3	-	66.7
小学校区別	太宰府小学校区	78	5.1	35.9	38.5	17.9	2.6	41.0	56.4
	太宰府東小学校区	38	15.8	26.3	42.1	10.5	5.3	42.1	52.6
	太宰府南小学校区	42	4.8	45.2	40.5	9.5	-	50.0	50.0
	水城小学校区	63	3.2	30.2	49.2	14.3	3.2	33.4	63.5
	水城西小学校区	54	7.4	25.9	51.9	11.1	3.7	33.3	63.0
	太宰府西小学校区	89	10.1	40.4	41.6	4.5	3.4	50.5	46.1
	国分小学校区	56	8.9	25.0	50.0	14.3	1.8	33.9	64.3
	わからない	55	7.3	14.5	52.7	14.5	10.9	21.8	67.2
	無回答	8	-	25.0	37.5	25.0	12.5	25.0	62.5

6. 生涯健康づくりの推進

(1) 健康状態 (問 18)

●ここ数週間の健康状態は『健康』は76.6%、『不調』は22.4%となっている。

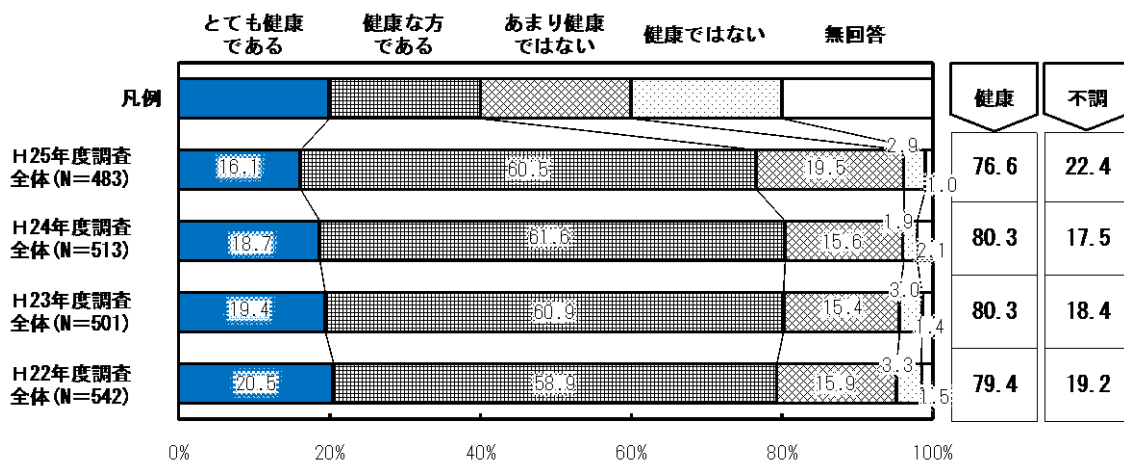
ここ数週間の健康状態について、『健康』（「とても健康である」(16.1%)と「健康な方である」(60.5%)の合計)は76.6%、一方、『不調』（「健康ではない」(2.9%)と「あまり健康ではない」(19.5%)の合計)は22.4%で、『健康』が7割を超えて高くなっている。

過去の調査結果と比べると、『健康』は前回調査よりも3.7ポイント減少、反対に『不調』は4.9ポイント増加している。

性別にみると、『健康』は女性(78.1%)の方が男性(73.9%)より高くなっている。

年代別にみると、いずれも『健康』は7割を超えている。

問 18. あなたのここ数週間の健康状態はいかがですか。(○は1つ)



		標本数	とても健康である	健康な方である	あまり健康ではない	健康ではない	無回答	健康	不調
全体		483	16.1	60.5	19.5	2.9	1.0	76.6	22.4
性別	男性	199	15.6	58.3	20.6	5.0	0.5	73.9	25.6
	女性	269	16.0	62.1	19.3	1.5	1.1	78.1	20.8
	無回答	15	26.7	60.0	6.7	-	6.7	86.7	6.7
年代別	20歳代	40	35.0	50.0	15.0	-	-	85.0	15.0
	30歳代	64	21.9	62.5	10.9	3.1	1.6	84.4	14.0
	40歳代	71	22.5	53.5	22.5	1.4	-	76.0	23.9
	50歳代	60	13.3	63.3	21.7	1.7	-	76.6	23.4
	60歳代	143	9.1	65.7	19.6	4.9	0.7	74.8	24.5
	70歳以上	102	12.7	59.8	22.5	2.9	2.0	72.5	25.4
	無回答	3	-	33.3	33.3	-	33.3	33.3	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	78	19.2	65.4	14.1	1.3	-	84.6	15.4
	太宰府東小学校区	38	15.8	52.6	26.3	2.6	2.6	68.4	28.9
	太宰府南小学校区	42	16.7	64.3	16.7	2.4	-	81.0	19.1
	水城小学校区	63	19.0	61.9	14.3	3.2	1.6	80.9	17.5
	水城西小学校区	54	20.4	66.7	9.3	3.7	-	87.1	13.0
	太宰府西小学校区	89	9.0	61.8	24.7	3.4	1.1	70.8	28.1
	国分小学校区	56	14.3	60.7	21.4	3.6	-	75.0	25.0
	わからない	55	16.4	50.9	27.3	3.6	1.8	67.3	30.9
	無回答	8	25.0	25.0	37.5	-	12.5	50.0	37.5

(2) 健康増進の取り組み状況 (問 19)

●健康増進のために取り組んでいるものが「ある」は52.2%で、健康状態が良好なほど取り組んでいる割合が高い。

健康増進のために日頃から取り組んでいるものが「ある」と答えた人の割合は52.2%、「ない」は46.6%で、「ある」の方が「ない」よりも高くなっている。

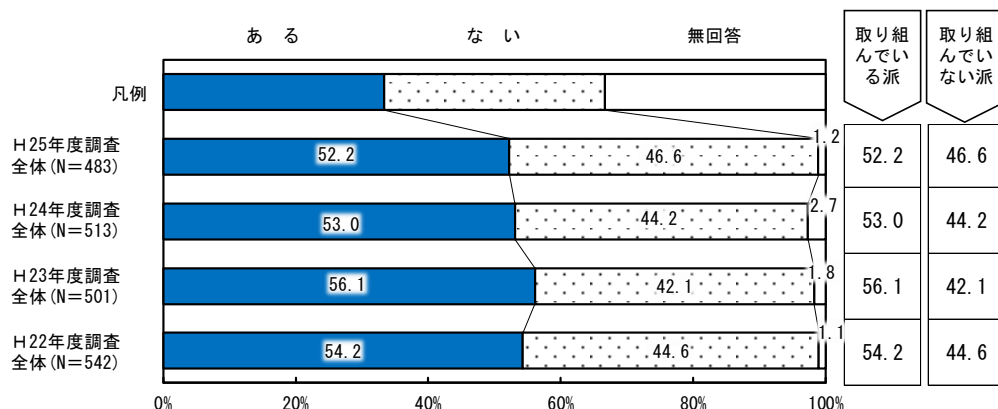
過去の調査結果と比べると、平成23年度以降『取り組んでいる派』の減少傾向と『取り組んでいない派』の増加傾向がみられるため、「ある」と「ない」の差が縮まる傾向となっている。

性別にみると、「ある」と答えた人の割合は男性(59.3%)の方が女性(46.8%)よりも高くなっている。

年代別にみると、年齢が高くなるほど「ある」は増える傾向がみられ、70歳以上は「ある」が68.6%で最も高くなっている。

健康状態別にみると、健康増進のための取り組みが「ある」と回答した人の割合が、健康である人は5割を超えて、健康でない人(約4割)よりも高くなっている。

問 19. あなたは健康増進のために日頃から取り組んでいるものがありますか。(〇は1つ)



		標本数	ある (%)	ない (%)	無回答 (%)
全体		483	52.2	46.6	1.2
性別	男性	199	59.3	40.7	-
	女性	269	46.8	51.7	1.5
	無回答	15	53.3	33.3	13.3
年代別	20歳代	40	30.0	70.0	-
	30歳代	64	35.9	62.5	1.6
	40歳代	71	39.4	60.6	-
	50歳代	60	50.0	48.3	1.7
	60歳代	143	62.2	37.1	0.7
	70歳以上	102	68.6	29.4	2.0
	無回答	3	-	66.7	33.3
健康状態別	とても健康である	78	52.6	46.2	1.3
	健康な方である	292	57.2	42.1	0.7
	あまり健康でない	94	40.4	59.6	-
	健康ではない	14	42.9	57.1	-
	無回答	5	-	40.0	60.0
小学校区別	太宰府小学校区	78	61.5	38.5	-
	太宰府東小学校区	38	39.5	57.9	2.6
	太宰府南小学校区	42	61.9	35.7	2.4
	水城小学校区	63	55.6	44.4	-
	水城西小学校区	54	55.6	42.6	1.9
	太宰府西小学校区	89	57.3	41.6	1.1
	国分小学校区	56	46.4	53.6	-
	わからない	55	34.5	63.6	1.8
	無回答	8	25.0	62.5	12.5

(3) 健康診査の受診状況 (問 20)

●この一年間の健康診査の受診率は 58.4%となっているが、20 歳代の男女と 30 歳代の女性の受診率は他の年代に比べ低い。

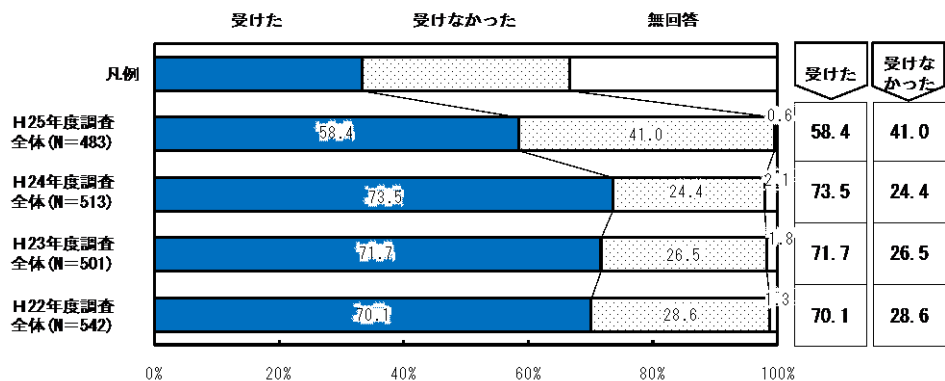
この一年間の健康診査の受診状況をみると、「受けた」が 58.4%、「受けなかった」は 41.0%で、「受けた」人の方が高くなっている。

過去の調査結果と比べると、「受けた」は前回調査よりも 15.1 ポイントと大幅に減少している。

性別・年代別にみると、受診率は概ね男性の方が女性よりも高くなっている。なお、20 歳代の男女と 30 歳代の女性は、他の性・年代に比べて受診率が低くなっている。

健康状態別に受診率をみると、健康な人の方が健康でない人よりも受診率が高くなっている。

問 20. あなたはこの一年間に、「健康診査」(がん検診、人間ドッグを含む)を受けましたか。(○は1つ)



		標本数	受けた (%)	か受けたな (%)	無回答 (%)
全体		483	282	198	3
		100.0	58.4	41.0	0.6
性別・年代別	男性:20歳代	18	27.8	72.2	-
	男性:30歳代	22	72.7	27.3	-
	男性:40歳代	27	70.4	29.6	-
	男性:50歳代	15	66.7	33.3	-
	男性:60歳代	69	62.3	37.7	-
	男性:70歳代以上	48	70.8	29.2	-
	女性:20歳代	22	22.7	77.3	-
	女性:30歳代	42	38.1	59.5	2.4
	女性:40歳代	42	57.1	42.9	-
	女性:50歳代	44	61.4	38.6	-
女性:60歳代	70	60.0	40.0	-	
女性:70歳代以上	48	62.5	33.3	4.2	
女性:無回答	1	100.0	-	-	
無回答	15	66.7	33.3	-	
健康状態別	とても健康である	78	57.7	42.3	-
	健康な方である	292	59.6	40.4	-
	あまり健康でない	94	57.4	41.5	1.1
	健康ではない	14	50.0	50.0	-
	無回答	5	40.0	20.0	40.0
小学校区別	太宰府小学校区	78	53.8	46.2	-
	太宰府東小学校区	38	57.9	39.5	2.6
	太宰府南小学校区	42	57.1	42.9	-
	水城小学校区	63	58.7	41.3	-
	水城西小学校区	54	61.1	38.9	-
	太宰府西小学校区	89	65.2	33.7	1.1
	国分小学校区	56	60.7	39.3	-
	わからない	55	47.3	52.7	-
	無回答	8	75.0	12.5	12.5

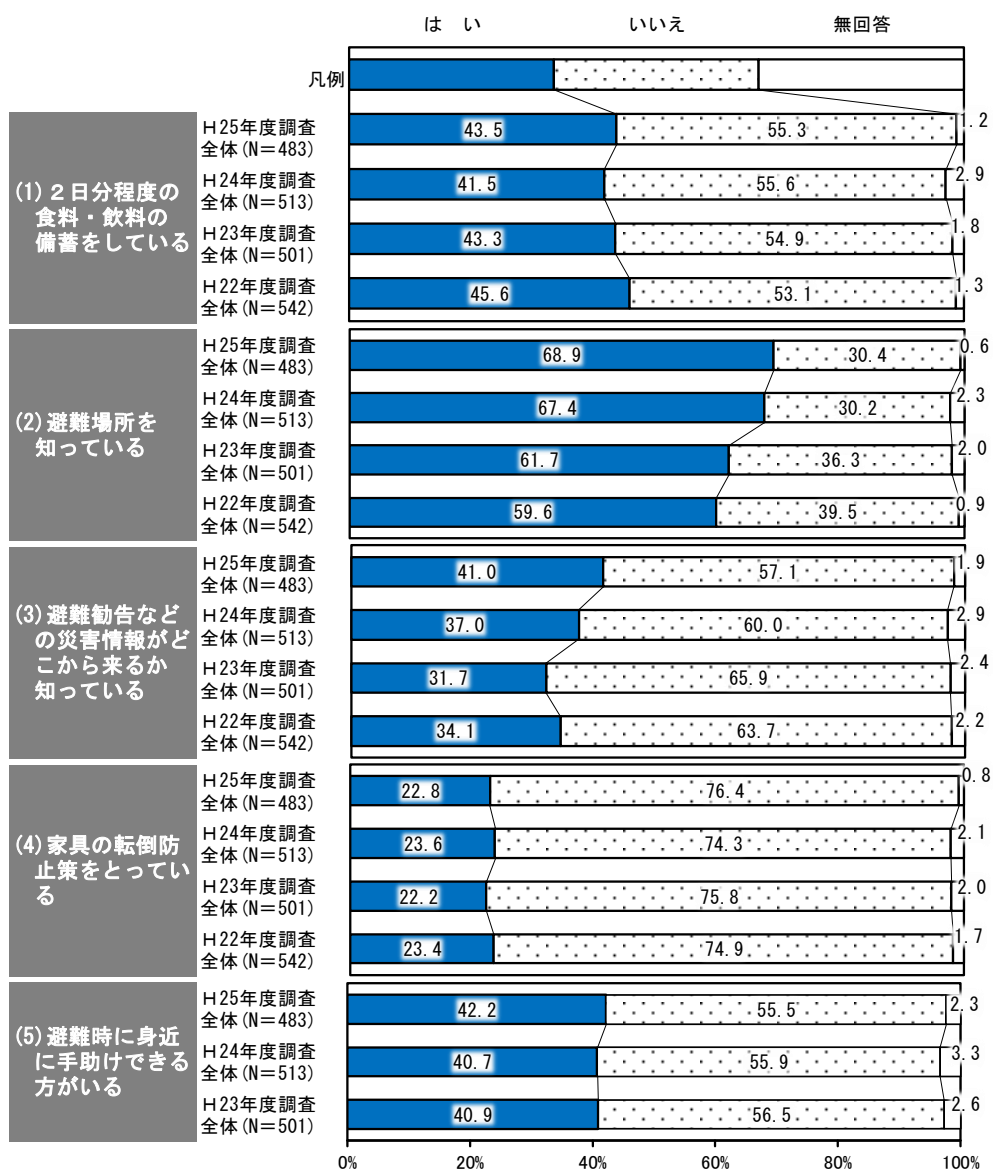
7. 防災・消防体制の整備充実（問 21）

●日頃の災害に対する備えができているのは「(2) 避難場所を知っている」、「(1) 食料の備蓄」、「(5) 避難時に身近に手助けできる方がいる」、「(3) 災害情報源の認知」、「(4) 家具の転倒防止策」の順となっている。

日頃の災害に対する備えについて実施率（「はい」の割合）をみると「(2) 避難場所を知っている」（68.9%）が最も高く、次いで「(1) 食料の備蓄」（43.5%）、「(5) 避難時に身近に手助けできる方がいる」（42.2%）、「(3) 災害情報源の認知」（41.0%）、「(4) 家具の転倒防止策」（22.8%）の順である。なお、「(2) 避難場所を知っている」以外は備えができていない人（「いいえ」と回答した人）の方が多くなっている。

過去の調査結果と比べると、実施率は「(2) 避難場所を知っている」、「(3) 災害情報源の認知」で増加傾向がみられる。

問 21. あなたは日頃から災害に対する備えをしていますか。以下の項目について、「はい」か「いいえ」のいずれかを選んでください。（○はそれぞれ1つ）



第2章 調査結果の分析

性別にみると、男女間で割合に差がみられるのは「(3) 避難勧告などの災害情報がどこから来るのか知っている」で、男性の方が女性よりも12ポイント上回っている。

年代別にみると、70歳以上は「(1) 2日分程度の食料・飲料の備蓄をしている」、「(2) 避難場所を知っている」で他の年代よりも高く、概ね年代が上の層において実施率が高くなっている。

小学校区別にみると、「(2) 避難場所を知っている」はすべての小学校区が7～8割と高くなっている。一方、「(4) 家具の転倒防止策をとっている」はすべての小学校区で最も低くなっている。

(%)

	標本数	(1)2日分程度の食料・飲料の備蓄をしている			(2)避難場所を知っている			(3)避難勧告などの災害情報がどこから来るか知っている			(4)家具の転倒防止策をとっている			(5)避難時に身近に手助けできる方がいる		
		はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答
全体	483	210	267	6	333	147	3	198	276	9	110	369	4	204	268	11
	100.0	43.5	55.3	1.2	68.9	30.4	0.6	41.0	57.1	1.9	22.8	76.4	0.8	42.2	55.5	2.3
性別																
男性	199	44.2	55.3	0.5	67.8	32.2	-	47.7	51.3	1.0	22.1	77.4	0.5	43.7	54.8	1.5
女性	269	43.5	55.0	1.5	69.1	30.1	0.7	35.7	62.1	2.2	23.0	75.8	1.1	41.6	55.8	2.6
無回答	15	33.3	60.0	6.7	80.0	13.3	6.7	46.7	46.7	6.7	26.7	73.3	-	33.3	60.0	6.7
年代別																
20歳代	40	35.0	65.0	-	55.0	45.0	-	25.0	75.0	-	25.0	75.0	-	45.0	55.0	-
30歳代	64	28.1	70.3	1.6	53.1	43.8	3.1	14.1	84.4	1.6	9.4	89.1	1.6	40.6	57.8	1.6
40歳代	71	33.8	64.8	1.4	57.7	42.3	-	29.6	69.0	1.4	18.3	80.3	1.4	36.6	59.2	4.2
50歳代	60	46.7	50.0	3.3	76.7	23.3	-	33.3	65.0	1.7	21.7	78.3	-	31.7	66.7	1.7
60歳代	143	49.0	51.0	-	73.4	26.6	-	56.6	42.0	1.4	27.3	72.0	0.7	52.4	45.5	2.1
70歳以上	102	53.9	45.1	1.0	81.4	18.6	-	53.9	43.1	2.9	27.5	71.6	1.0	39.2	58.8	2.0
無回答	3	33.3	33.3	33.3	66.7	-	33.3	66.7	-	33.3	33.3	66.7	-	-	66.7	33.3
小学校区別																
太宰府小学校区	78	52.6	46.2	1.3	76.9	21.8	1.3	56.4	43.6	-	21.8	78.2	-	41.0	56.4	2.6
太宰府東小学校区	38	44.7	55.3	-	71.1	28.9	-	31.6	65.8	2.6	34.2	63.2	2.6	44.7	52.6	2.6
太宰府南小学校区	42	57.1	42.9	-	76.2	23.8	-	40.5	59.5	-	31.0	69.0	-	45.2	54.8	-
水城小学校区	63	34.9	65.1	-	68.3	31.7	-	36.5	63.5	-	20.6	79.4	-	47.6	50.8	1.6
水城西小学校区	54	44.4	55.6	-	70.4	29.6	-	33.3	63.0	3.7	14.8	83.3	1.9	44.4	51.9	3.7
太宰府西小学校区	89	43.8	53.9	2.2	76.4	22.5	1.1	49.4	48.3	2.2	32.6	66.3	1.1	47.2	50.6	2.2
国分小学校区	56	37.5	62.5	-	71.4	28.6	-	39.3	57.1	3.6	16.1	83.9	-	44.6	53.6	1.8
わからない	55	34.5	61.8	3.6	40.0	60.0	-	25.5	72.7	1.8	10.9	87.3	1.8	25.5	72.7	1.8
無回答	8	37.5	50.0	12.5	37.5	50.0	12.5	50.0	37.5	12.5	25.0	75.0	-	12.5	75.0	12.5

8. 防犯・暴力追放運動の推進

(1) 防犯面の安心度 (問 22)

●防犯面について『安心派』は56.5%、『不安派』は42.2%となっている。

市内の防犯面について、『安心派』(「とても安心している」(2.5%)と「どちらかといえば安心している」(54.0%)の合計)は56.5%、一方、『不安派』(「とても不安である」(4.1%)と「どちらかといえば不安である」(38.3%)の合計)は42.4%で、『安心派』の方が『不安派』よりも高くなっている。

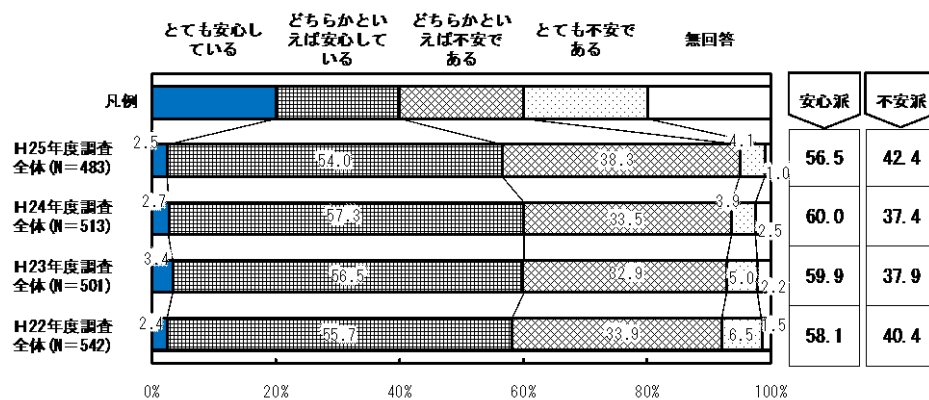
過去の調査結果と比べると、『安心派』は前回調査よりも3.5ポイント減少、反対に『不安派』は5.0ポイント増加しており、『安心派』と『不安派』の差がこれまでで最も小さくなっている。

性別にみると、『安心派』は男女ともに約6割となっており、差はみられない。

年代別にみると、『安心派』は70歳以上が61.8%みられ、他の年代と比べて最も高くなっている。

小学校区別にみると、『安心派』が6割を超えて高くなっているのは太宰府、太宰府東、太宰府南の3小学校区、一方、5割を下回っているのは水城、水城西、国分の3小学校区となっている。

問 22. あなたは市内に住むことに対して防犯の面で安心していますか。(○は1つ)



		標本数	とても安心している	どちらかといえば安心している	どちらかといえば不安である	とても不安である	無回答	安心派	不安派
全体		483	12	261	185	20	5	273	205
		100.0	2.5	54.0	38.3	4.1	1.0	56.5	42.4
性別	男性	199	1.5	56.3	38.7	3.0	0.5	57.8	41.7
	女性	269	3.3	52.8	37.2	5.2	1.5	56.1	42.4
	無回答	15	-	46.7	53.3	-	-	46.7	53.3
年代別	20歳代	40	2.5	50.0	42.5	5.0	-	52.5	47.5
	30歳代	64	3.1	51.6	42.2	1.6	1.6	54.7	43.8
	40歳代	71	5.6	42.3	50.7	1.4	-	47.9	52.1
	50歳代	60	-	58.3	33.3	6.7	1.7	58.3	40.0
	60歳代	143	2.1	55.9	39.2	2.8	-	58.0	42.0
	70歳以上	102	2.0	59.8	27.5	7.8	2.9	61.8	35.3
無回答		3	-	66.7	33.3	-	-	66.7	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	78	3.8	56.4	35.9	3.8	-	60.2	39.7
	太宰府東小学校区	38	-	65.8	28.9	-	5.3	65.8	28.9
	太宰府南小学校区	42	7.1	59.5	28.6	4.8	-	66.6	33.4
	水城小学校区	63	-	49.2	47.6	3.2	-	49.2	50.8
	水城西小学校区	54	1.9	44.4	48.1	5.6	-	46.3	53.7
	太宰府西小学校区	89	1.1	58.4	34.8	3.4	2.2	59.5	38.2
	国分小学校区	56	1.8	46.4	44.6	5.4	1.8	48.2	50.0
	わからない	55	5.5	50.9	36.4	7.3	-	56.4	43.7
無回答		8	-	75.0	25.0	-	-	75.0	25.0

(2) 防犯上危険と思う場所 (問 22 付問 1)

小学校区	性別	年代	問22付問1.家の周囲や市内において、防犯上危険と思われるような場所
太宰府	男性	30歳代	内山交差点からかまど神社の間
太宰府	男性	40歳代	御笠川。
太宰府	男性	40歳代	水城跡付近の夜間
太宰府	男性	40歳代	街灯が暗い。
太宰府	男性	60歳代	五条2丁目朱雀1丁目の高架バイパスの下。
太宰府	男性	60歳代	高架下が暗い。道路の水はけが悪く、下水溝に流れ込んでいない。
太宰府	男性	60歳代	暗い夜道。
太宰府	男性	60歳代	酒乱気味の方、精神的に問題の方が近くに住んでおられる。警察は不介入との事でした。
太宰府	男性	70歳代	夜間照明灯の不足。空き家・廃屋が散在している。
太宰府	女性	30歳代	太宰府小から先の坂の上、街灯が少なく夜帰宅することが多いので少し怖い。
太宰府	女性	30歳代	街灯が少ない
太宰府	女性	30歳代	街灯があまりない。暗い。人通りの少ない道が多い。
太宰府	女性	40歳代	夜、街灯もなく真っ暗な道がある。人目につかないので、高校生がタバコを吸っていたりする場所がある。
太宰府	女性	40歳代	ところどころ街灯がなく暗く危ない。
太宰府	女性	50歳代	四王寺山に上がる道や道路の街灯が暗かったり、まったくなかったりして怖くて危ないと思う。オレンジや青色の電灯では、防犯上も交通安全の面でも危険なので、明るいLEDに替えてほしい。
太宰府	女性	60歳代	住宅街は道幅が狭く緊急車両が入れない。車いすはどれも安心して通れない。
太宰府	女性	60歳代	街灯の数が少ない。全体的に住宅地周辺。
太宰府	女性	60歳代	三条3丁目に住んでいますが、外灯が少なく夜の帰宅の際足元が不安です。
太宰府	女性	60歳代	春の森。
太宰府	女性	70歳代	周辺部に家がないので危険言われるとそう思います。
太宰府	女性	70歳代	人通りが少ない所にやぶ等がある。
太宰府東	男性	40歳代	星ヶ丘入口、3号線から五条6丁目へ向かう坂道。外灯がない。
太宰府東	女性	50歳代	自宅斜め前に宿泊施設があり、色んな人が出入りされる。
太宰府東	不明	70歳代	街灯が暗い。
太宰府南	男性	60歳代	防犯カメラ等が設置されていないため、いつも不安に思っている。
太宰府南	女性	60歳代	国道3号線、高雄郵便局近くのトンネル通路、昼間でも暗い。
水城	男性	20歳代	観世音寺1丁目にある公園の柵が片面しかフェンスがないため、日中の野球やボール遊びのボールが、周辺の家の窓ガラスに当たるのではと危険に感じる。
水城	男性	20歳代	道が狭く、学生や車の通りが多い。
水城	男性	20歳代	街灯が少ない。西鉄二日市駅から榎社脇を通過してR3に抜ける道など。この道は、幼稚園や中高など学生や子どもが通る道なのに、速度を出して通り抜けていく車がとても多く、とても危険なので速度規制もしてほしい。歩行者に配慮するべき。
水城	男性	30歳代	都府楼駅東口南側の高架下が夜間は暗い
水城	男性	30歳代	マンションに不法投棄する人がいる。チラシを散らかす人がいる。
水城	男性	30歳代	家の周辺の街灯が少なく、暗い。
水城	男性	40歳代	全般的に街灯が少ない。
水城	男性	40歳代	太宰府国分クロネコヤマト宅急便センター付近から洗出信号機・都府楼前駅信号機・通古賀北信号機付近の歩行者道路が夜暗いので、女性歩行者は危険と考える。
水城	男性	60歳代	神社(大城)。
水城	男性	60歳代	ピンポンダッシュ。
水城	女性	20歳代	JR都府楼南駅周辺の住宅街が暗過ぎる。灯りがほしいです。
水城	女性	20歳代	都府楼駅の周辺、パチンコ屋が定休日の時、周囲の灯りがなくなるので、真っ暗になる。
水城	女性	40歳代	夜外灯(街灯)が暗い。学校近辺はもう少し明るくしても良いのではないかと。
水城	女性	40歳代	もっとガードミラーを設置してほしい。
水城	女性	40歳代	通古賀近隣公園の植え込み？あずまや周辺(小さな子どもが遊べるすべり台のあたり)死角になっている気がします。
水城	女性	40歳代	政庁跡の山側の奥。集合分譲マンションの駐車場の死角。
水城	女性	50歳代	都府楼前駅から観世音寺自宅までの道が暗いので遅くなる時は灯りを持参しています。途中コンビニ等があると安心な気がします。都府楼跡の前の大きな道と川に沿った道が交差する所で横断歩道がないため、とても不便。イキイキ情報センターから西鉄ストアへ渡るのもとても危険。踏切が多くとても危険だと感じています。水城小から消防署へ渡る道も危険。郵便局2ヶ所とも道路に出る時人道があるので危険です。
水城	女性	50歳代	水城病院駐車場。
水城	女性	50歳代	西鉄二日市駅東口から太宰府線沿線の道が暗くて危険。(いこいの家までの)
水城	女性	60歳代	何年か前、発砲事件があり隣の町内の家の壁に弾丸のあとがある。又近くに暴力団の屋敷あり。
水城	女性	70歳代	車上荒らしや自動販売機荒らし。
水城西	男性	30歳代	街灯が少ない、暗い
水城西	男性	30歳代	太宰府駅周辺。
水城西	男性	60歳代	歴史スポーツ公園の夜がこわい。
水城西	男性	60歳代	アパート多くなり変なのが住んでいる。
水城西	男性	60歳代	街灯が少ない。
水城西	男性	60歳代	水城堤防
水城西	女性	30歳代	高速道路の高架下(全体的に暗い道が多い)。
水城西	女性	40歳代	西鉄都府楼前から幸都地区までの御笠川沿いの道路は夜、人通りが少なく暗い。
水城西	女性	40歳代	二日市から家までの途中の生長の家の付近が暗い。
水城西	女性	60歳代	北部地域には防犯灯あるんでしょうか。三条、内山、北谷など。
水城西	女性	70歳代	夜は防犯灯が点いているので真っ暗ではない公園なども。
水城西	女性	70歳代	周辺に空き家が多いので事故が起きないか不安。

第3節 日頃の暮らし、行動について

小学校区	性別	年代	問22付問1. 家の周囲や市内において、防犯上危険と思われるような場所
太宰府西	男性	60歳代	公園内。
太宰府西	男性	60歳代	近所の小さな公園。夜間の照明がない。
太宰府西	男性	70歳代	今までに4回泥棒に入られました。5号線からも入られるため、5号線の緑の方に逃げられるため。
太宰府西	男性	70歳代	夜22時以降の不良者等小集団の大きな話声。団地内の道路での自動車の高速運転及び車内からの捨てゴミの発生。
太宰府西	女性	20歳代	水城駅から吉松の住宅街が灯りがなくて暗い。
太宰府西	女性	60歳代	一般的に道路が暗い所。
太宰府西	女性	60歳代	空家。
太宰府西	女性	60歳代	夜の運動公園
太宰府西	女性	60歳代	庭が草に覆われている。留守に見える。景観が悪く気分が悪い。10年以上車を放置している。車底が錆びて湿気がある。
太宰府西	女性	70歳代	別がない。
太宰府西	女性	70歳代	道路、暗い所がある。
太宰府西	女性	70歳代	「あきす」を心配しています。
太宰府西	女性	70歳代	夜間の公園。
国分	男性	20歳代	歩道に木などが自宅から出ており、歩行しにくい。警察の方にも言ってもしてもらえない。国分の警察の近くの自宅。セブンの近く。
国分	男性	20歳代	曲がり角が多い
国分	男性	40歳代	防犯ではないが、県道の国分寺前交差点は青の時間が大変短く、子どもや高齢者には危険。警察に改善を申し出てほしい。
国分	男性	40歳代	坂本公民館～坂本公園～坂本3-20の貯め池周辺までの道に街灯が少なく、夜暗すぎる。
国分	男性	70歳代	水城ヶ丘の砂防ダム of 日常管理を十分実施し、ダムからの出水に対応できるようダム内の土砂の撤去を年1回実施すること。
国分	女性	20歳代	国分の倒壊しそうな家。テナント募集中の店舗の後ろにゴミが散らばっていて汚い。
国分	女性	30歳代	水城ヶ丘の街灯が暗い。
国分	女性	40歳代	電柱についている街灯が少なく家の前の道がとても暗い。夜、人通りも車通りも多いが暗すぎて見にくい事やびっくりする事が多々ある。
国分	女性	40歳代	国分寺前公園付近の夜の街灯。大谷川沿いの街灯。夜暗い。
国分	女性	50歳代	夜間の時、西鉄都府楼駅から国分5丁目に上がって行く道が暗くて怖い。
国分	女性	60歳代	街灯が少ない
国分	女性	70歳代	西鉄下大利駅から水城台方面に歩いていると街の暗さに驚く。
国分	不明	60歳代	公園回りの生け垣は低いものも含めて取り除き、回りから公園内が全て見通せるように、又灯りを増やしてほしい。夜通る時に若い女性は不安に感じると思う。コンクリート会社前のコンビニミニストップ横の川沿いの道路を上っていくと左手にある公園。
不明	男性	40歳代	青山付近、バス通りなのに歩道が片側車線にしかない！
不明	男性	40歳代	太宰府市吉松は街灯が少なすぎる。
不明	男性	50歳代	通古賀の交差点。
不明	女性	20歳代	全体的に街灯が少なく暗い。
不明	女性	20歳代	西鉄ストアの所で深夜たむろしている若者が多い。
不明	女性	20歳代	西鉄二日市西口側の天神方面への路線沿い。街灯も少なく、夜とても暗い。
不明	女性	30歳代	暗い所が多い。
不明	女性	30歳代	家の周りは暗い。
不明	女性	40歳代	下大利駅から水城地区まで徒歩しかない。外灯がない。人通りもない。道も狭い。安心な場所がない。
不明	女性	40歳代	三条付近、街灯が少なくて暗い。
不明	女性	40歳代	街灯がない。
不明	女性	50歳代	住宅密集地の路地など。
不明	女性	50歳代	人通りが少ないので危ない。
不明	女性	50歳代	街灯が少なく夜、町のイメージは真っ暗。女子大生が通学されている姿を見かけて心配。九博に行く道路は特に街灯が暗い。
不明	女性	60歳代	天満宮駐車場。
不明	女性	60歳代	高雄郵便局の横の道路がトンネルの所が夜になったら危ないです。

9. 安全な消費生活の推進

(1) 不当請求や不適正な取引行為の被害状況 (問 23)

●不当請求や不適正な取引行為の被害を受けたのは0.8%、被害はないが不安を感じたのは10.6%となっている。

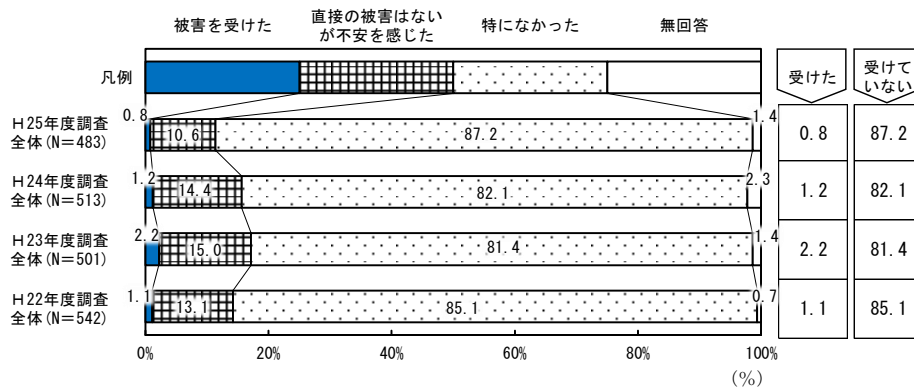
この1年間に架空・不当請求や不適正な取引行為の「被害を受けた」は0.8%、「直接の被害はないが不安を感じた」は10.6%となっている。なお、「特になかった」は87.2%であった。

過去の調査結果と比べると、「特になかった」と答えた人が8割を超えている傾向は変わらない。

性別・年代別にみると、「被害を受けた」は男女ともに高齢層となっている。また、「直接の被害はないが不安を感じた」は女性の70歳代以上で16.7%みられ、高くなっている。

小学校区別にみると、太宰府小学校区と太宰府東小学校区で被害を受けた人がみられる。

問 23. あなたやあなたの家族が、この1年間に架空・不当請求や不適正な取引行為（点検商法やキャッチセールス等）の被害を受けたり、被害にあいそうな不安を感じたことがありますか。（○は1つ）



		標本数	受被害を受けたを	感が害直 じ不は接 た安なの をい被	な特 かに った	無 回 答
全体		483	4	51	421	7
		100.0	0.8	10.6	87.2	1.4
性別	男性	199	1.0	11.6	86.4	1.0
	女性	269	0.7	10.4	87.4	1.5
	無回答	15	-	-	93.3	6.7
性別・年代別	男性:20歳代	18	-	11.1	88.9	-
	男性:30歳代	22	-	13.6	86.4	-
	男性:40歳代	27	-	14.8	85.2	-
	男性:50歳代	15	-	6.7	93.3	-
	男性:60歳代	69	1.4	10.1	85.5	2.9
	男性:70歳代以上	48	2.1	12.5	85.4	-
	女性:20歳代	22	-	13.6	86.4	-
	女性:30歳代	42	-	4.8	90.5	4.8
	女性:40歳代	42	-	9.5	90.5	-
	女性:50歳代	44	2.3	9.1	88.6	-
	女性:60歳代	70	1.4	10.0	87.1	1.4
女性:70歳代以上	48	-	16.7	81.3	2.1	
女性:無回答	1	-	-	100.0	-	
無回答	15	-	-	93.3	6.7	
小学校区別	太宰府小学校区	78	3.8	5.1	88.5	2.6
	太宰府東小学校区	38	2.6	15.8	81.6	-
	太宰府南小学校区	42	-	7.1	92.9	-
	水城小学校区	63	-	14.3	85.7	-
	水城西小学校区	54	-	11.1	88.9	-
	太宰府西小学校区	89	-	9.0	88.8	2.2
	国分小学校区	56	-	17.9	80.4	1.8
	わからない	55	-	9.1	89.1	1.8
無回答	8	-	-	87.5	12.5	

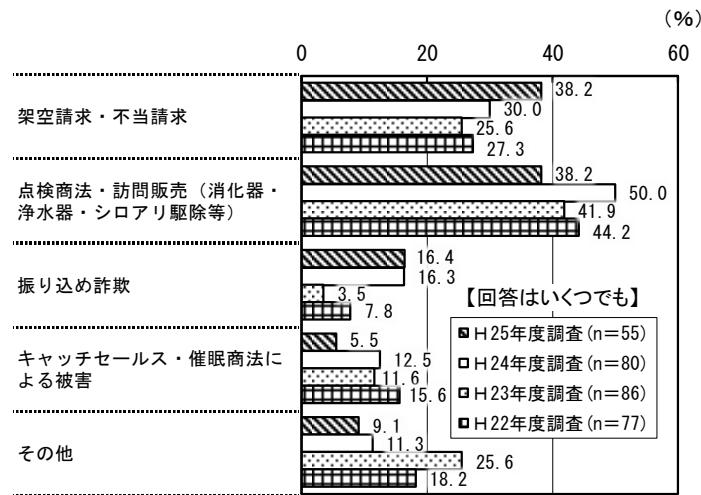
(2) 被害や不安に感じた内容 (問 23 付問 1)

● 「架空請求・不当請求」、「点検商法・訪問販売」の被害や不安が最も多い。

実際に被害を受けたり不安を感じた内容をみると、「架空請求・不当請求」、「点検商法・訪問販売（消火器・浄水器・シロアリ駆除等）」がともに 38.2%で最も高く、次いで「振り込み詐欺」が 16.4%で続いている。

過去の調査結果と比べると、「架空請求・不当請求」は平成 23 年度から増加傾向となっている。一方、「キャッチセールス・催眠商法による被害」は減少傾向となっている。なお、「点検商法・訪問販売」は前回の 50.0%から今回は 38.2%と、11.8 ポイント減少している。

問 23 付問 1. 【被害を受けた・直接の被害はないが不安を感じたと答えた方】におたずねします。具体的には、どのような被害や不安ですか。(〇はいくつでも)



		標本数	架空請求・不当請求	点検商法・訪問販売 (消火器・浄水器・シロアリ駆除)	振り込み詐欺	キャッチセールス・催眠商法による被害	その他	無回答
全体		55	21	21	9	3	5	5
		100.0	38.2	38.2	16.4	5.5	9.1	9.1
性別	男性	25	36.0	32.0	20.0	12.0	8.0	8.0
	女性	30	40.0	43.3	13.3	-	10.0	10.0
年代別	20歳代	5	20.0	40.0	-	20.0	-	20.0
	30歳代	5	60.0	20.0	20.0	-	-	-
	40歳代	8	50.0	25.0	12.5	25.0	-	-
	50歳代	6	50.0	66.7	16.7	-	-	-
	60歳代	16	31.3	50.0	18.8	-	25.0	6.3
	70歳以上	15	33.3	26.7	20.0	-	6.7	20.0
小学校区別	太宰府小学校区	7	28.6	28.6	28.6	-	-	14.3
	太宰府東小学校区	7	-	28.6	28.6	14.3	14.3	14.3
	太宰府南小学校区	3	66.7	33.3	-	-	-	33.3
	水城小学校区	9	33.3	66.7	-	11.1	-	11.1
	水城西小学校区	6	66.7	66.7	33.3	-	16.7	-
	太宰府西小学校区	8	25.0	25.0	25.0	-	25.0	12.5
	国分小学校区	10	60.0	30.0	10.0	-	-	-
わからない	5	40.0	20.0	-	20.0	20.0	-	

10. 人権を尊重するまちづくりの推進

(1) 人権侵害の経験と内容 (問 24、付問 1)

●人権を侵害されたことが「ある」は3.5%となっている。

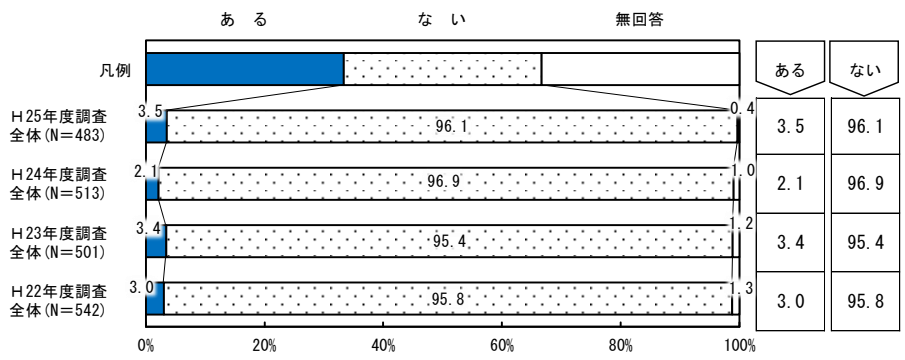
この1年間に人権を侵害されたことについては、「ない」と答えた人が96.1%と大半を占めている。なお、「ある」と答えた人は3.5%となっている。

過去の調査結果と比べると、「ない」と答えた人が9割を超えている傾向は変わらない。

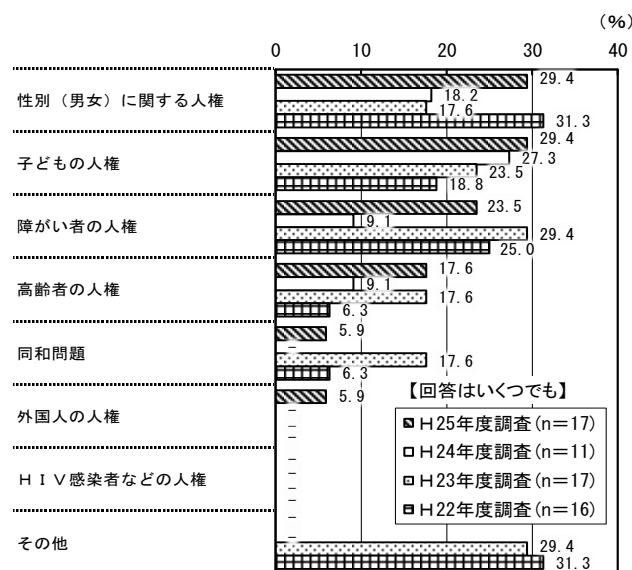
人権を侵害されたその内容をみると、「性別に関する人権」と「子どもの人権」がともに29.4%で最も高く、以下「障がい者の人権」(23.5%)、「高齢者の人権」(17.6%)と続いている。

過去の調査結果と比べると、増加した項目としては、「障がい者の人権」、「性別に関する人権」、「高齢者の人権」があり、特に「障がい者の人権」は前回調査と比べて14.4ポイント上回っている。また今回は「外国人への人権」が5.9%となっているほか、前回0%であった「同和問題」が今回5.9%となっている。

問 24. あなたやあなたの家族が、この1年間に人権を侵害されたことがありますか。



問 24 付問 1. 【あると答えた方】におたずねします。それはどのような人権侵害ですか。(〇はいくつでも)



(2) 人権問題への認識 (問 25)

●人権が『尊重されている派』は 77.3%、『尊重されていない派』は 12.5%となっている。

同和問題をはじめとするあらゆる人権の尊重意識について、『尊重されている派』（「尊重されている」(13.5%)と「どちらかといえば尊重されている」(63.8%)の合計)は77.3%、一方で『尊重されていない派』（「尊重されていない」(1.7%)と「どちらかといえば尊重されていない」(10.8%)の合計)は12.5%で、『尊重されている派』が7割を超えて高くなっている。

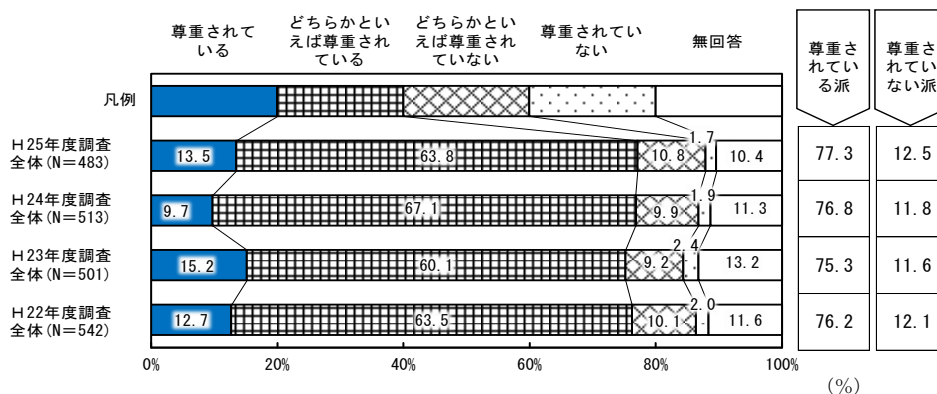
過去の調査結果と比べると、『尊重されている派』が7割を超えている傾向は変わらない。

性別にみると、『尊重されている派』は男女ともに7割を超えており、差はみられない。

年代別にみると、20歳代は『尊重されている派』が92.5%で、他の年代に比べて高くなっている。

小学校区別にみると、『尊重されている派』が最も高いのは水城小学校区(87.3%)、一方、最も低いのは太宰府東小学校区(68.4%)となっている。

問 25. あなたは今の太宰府市では同和問題をはじめ、あらゆる人権が尊重されていると思いますか。(○は1つ)



		標本数	尊重されている	どちらかといえば尊重されている	どちらかといえば尊重されていない	尊重されていない	無回答	尊重されている派	尊重されていない派
全体		483	65	308	52	8	50	373	60
		100.0	13.5	63.8	10.8	1.7	10.4	77.3	12.5
性別	男性	199	14.6	62.8	13.1	1.0	8.5	77.4	14.1
	女性	269	12.6	64.7	9.7	1.9	11.2	77.3	11.6
	無回答	15	13.3	60.0	-	6.7	20.0	73.3	6.7
年代別	20歳代	40	10.0	82.5	7.5	-	-	92.5	7.5
	30歳代	64	1.6	76.6	12.5	3.1	6.3	78.2	15.6
	40歳代	71	14.1	60.6	15.5	2.8	7.0	74.7	18.3
	50歳代	60	8.3	66.7	16.7	-	8.3	75.0	16.7
	60歳代	143	14.0	59.4	9.1	2.8	14.7	73.4	11.9
	70歳以上	102	24.5	55.9	6.9	-	12.7	80.4	6.9
	無回答	3	-	33.3	-	-	66.7	33.3	-
小学校区別	太宰府小学校区	78	15.4	65.4	10.3	1.3	7.7	80.8	11.6
	太宰府東小学校区	38	10.5	57.9	15.8	2.6	13.2	68.4	18.4
	太宰府南小学校区	42	16.7	61.9	9.5	2.4	9.5	78.6	11.9
	水城小学校区	63	15.9	71.4	11.1	-	1.6	87.3	11.1
	水城西小学校区	54	11.1	64.8	13.0	-	11.1	75.9	13.0
	太宰府西小学校区	89	16.9	60.7	6.7	1.1	14.6	77.6	7.8
	国分小学校区	56	16.1	64.3	10.7	1.8	7.1	80.4	12.5
	わからない	55	3.6	61.8	14.5	3.6	16.4	65.4	18.1
	無回答	8	-	62.5	-	12.5	25.0	62.5	12.5

(3) 同和地区の起源の認識 (問 26)

●同和地区の起源についての受け止め方は、「中世から近世にかけての封建時代に社会的・政治的につくられた」が56.3%で最も高い。

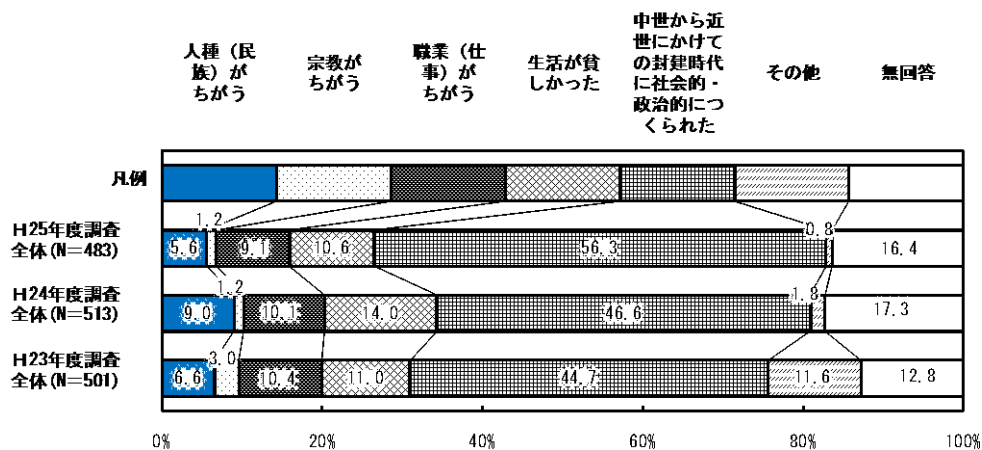
同和地区の起源をどのように受け止めているかを尋ねたところ、「中世から近世にかけての封建時代に社会的・政治的につくられた」が56.3%で最も高く、次いで「生活が貧しかった」(10.6%)、「職業(仕事)がちがう」(9.1%)となっている。

性別にみると、「中世から近世にかけての封建時代に社会的・政治的につくられた」は、男性(59.8%)の方が女性(54.6%)よりも高くなっている。

年代別にみると、「中世から近世にかけての封建時代に社会的・政治的につくられた」は50歳代以上で高く、20歳代で低くなっている。また40歳代は「生活が貧しかった」(21.1%)、20歳代は「職業(仕事)がちがう」(15.0%)が、それぞれ他の年代に比べて高くなっている。

小学校区別にみると、「中世から近世にかけての封建時代に社会的・政治的につくられた」は太宰府小学校区(73.1%)が最も高くなっている。

問 26. 同和地区の起源について、あなたはどのように受けとめていますか。(〇は1つ)



	標本数	人種(民族)がちがう	宗教が違	職業(仕事)が違	生活が貧しかった	中世から近世にかけての封建時代に社会的・政治的につくられた	その他	無回答
全体	483	27	6	44	51	272	4	79
性別								
男性	199	6.0	0.5	9.5	9.5	59.8	1.0	13.6
女性	269	5.2	1.5	8.9	11.9	54.6	0.7	17.1
無回答	15	6.7	6.7	6.7	-	40.0	-	40.0
年代別								
20歳代	40	5.0	-	15.0	10.0	40.0	2.5	27.5
30歳代	64	6.3	6.3	10.9	12.5	51.6	-	12.5
40歳代	71	4.2	-	8.5	21.1	53.5	2.8	9.9
50歳代	60	3.3	1.7	6.7	18.3	61.7	-	8.3
60歳代	143	7.7	0.7	7.7	7.7	60.8	0.7	14.7
70歳以上	102	3.9	-	9.8	2.0	59.8	-	24.5
無回答	3	33.3	-	-	-	-	-	66.7
小学校区別								
太宰府小学校区	78	5.1	-	7.7	5.1	73.1	1.3	7.7
太宰府東小学校区	38	2.6	-	10.5	10.5	55.3	2.6	18.4
太宰府南小学校区	42	2.4	-	7.1	14.3	57.1	-	19.0
水城小学校区	63	3.2	1.6	12.7	12.7	54.0	-	15.9
水城西小学校区	54	9.3	1.9	11.1	-	55.6	-	22.2
太宰府西小学校区	89	9.0	1.1	6.7	12.4	53.9	1.1	15.7
国分小学校区	56	5.4	1.8	8.9	14.3	46.4	1.8	21.4
わからない	55	3.6	1.8	9.1	16.4	54.5	-	14.5
無回答	8	12.5	12.5	12.5	12.5	25.0	-	25.0

(4) 結婚時の家柄、血筋に対する考え方 (問 27)

●結婚を決めるときの家柄や血筋を問題にすることについて「不合理だから、なくしていかなければならないと思う」が62.1%となっている。

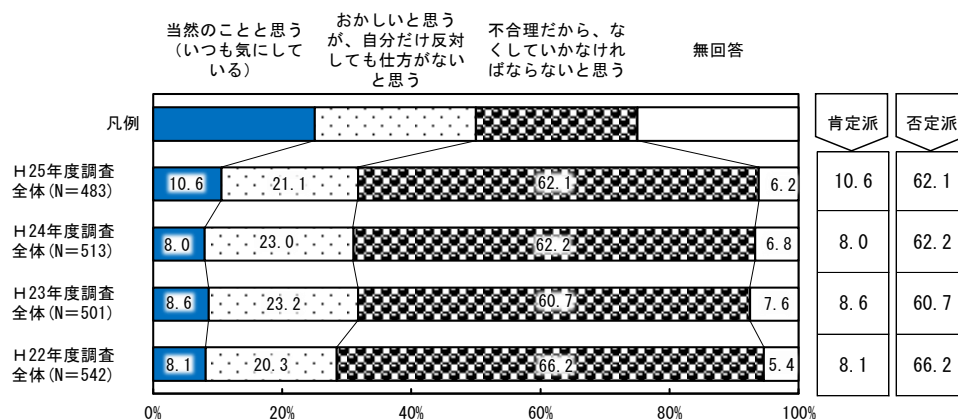
結婚を決めるときに家柄や血筋を問題にすることについて、「不合理だから、なくしていかなければならないと思う」が62.1%で最も高く、次いで「おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う」(21.1%)、「当然のことと思う(いつも気にしている)」(10.6%)の順となっている。

過去の調査結果と比べると、『肯定派』が1割程度となっている傾向は変わらない。

性別にみると、『肯定派』は女性(13.0%)の方が男性(6.5%)よりも高くなっている。

年代別にみると、『肯定派』は60歳以上の高齢層で比較的高くなっている。

問 27. あなたは結婚を決めるときに、家柄とか血筋を問題にする風習についてどのように思いますか。(○は1つ)



		標本数	てつと当然のことも思っている(○は1つ)	思仕けうおう方がか対、しなして分ともだ思	うないら不合理的なないかとれしか思ばて	無回答
全体		483	51	102	300	30
性別	男性	199	6.5	22.1	64.8	6.5
	女性	269	13.0	20.4	61.3	5.2
	無回答	15	20.0	20.0	40.0	20.0
年代別	20歳代	40	7.5	12.5	75.0	5.0
	30歳代	64	6.3	21.9	70.3	1.6
	40歳代	71	8.5	23.9	62.0	5.6
	50歳代	60	8.3	21.7	70.0	-
	60歳代	143	11.2	23.1	58.7	7.0
	70歳以上	102	15.7	18.6	53.9	11.8
無回答		3	33.3	33.3	-	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	78	9.0	21.8	66.7	2.6
	太宰府東小学校区	38	10.5	23.7	47.4	18.4
	太宰府南小学校区	42	16.7	16.7	59.5	7.1
	水城小学校区	63	14.3	19.0	63.5	3.2
	水城西小学校区	54	3.7	14.8	77.8	3.7
	太宰府西小学校区	89	9.0	25.8	59.6	5.6
	国分小学校区	56	7.1	26.8	60.7	5.4
	わからない	55	12.7	20.0	58.2	9.1
	無回答	8	37.5	-	50.0	12.5

11. 男女共同参画の推進

(1) 固定的役割分担に対する考え方 (問 28)

● 固定的な役割分担に『非同感派』が61.3%で、『同感派』(36.4%)よりも高い。

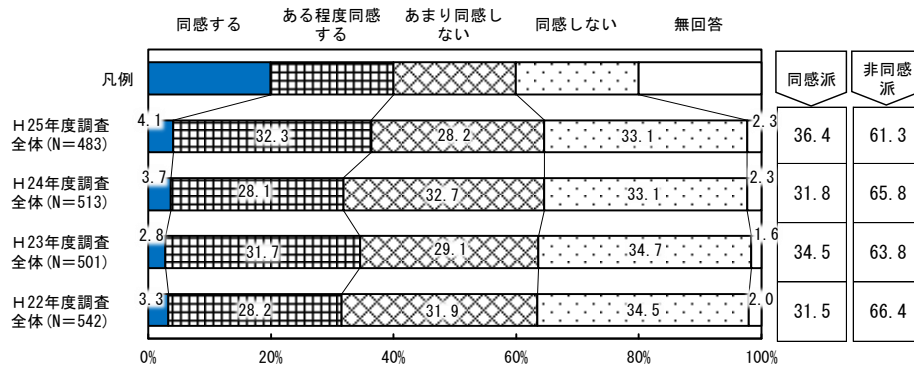
「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担意識について、『同感派』(「同感する」(4.1%)と「ある程度同感する」(32.3%)の合計)は36.4%、一方、『非同感派』(「同感しない」(33.1%)と「あまり同感しない」(28.2%)の合計)は61.3%で、『非同感派』の方が『同感派』よりも高くなっている。

過去の調査結果と比べると、『同感派』は前回調査よりも4.6ポイント増加しており、このうち「ある程度同感する」が前回調査よりも4.2ポイント増加している。

性別・年代別にみると、『同感派』は女性の70歳以上(60.4%)が最も高く、次いで男性の50歳代(53.3%)の順となっている。

小学校区別にみると、太宰府、水城、国分の3小学校区で、『同感派』の割合が4割を超えて高くなっている。

問 28. あなたは「男は仕事、女は家庭」というように、性別によって固定化された役割分業の考え方にどの程度同感しますか。(〇は1つ)



	標本数	同感する	同感する程度	あまり同感しない	同感しない	無回答	同感派	非同感派
全体	483	4.1	32.3	28.2	33.1	2.3	36.4	61.3
性別								
男性	199	5.5	33.7	26.6	33.2	1.0	39.2	59.8
女性	269	3.3	30.9	29.4	34.2	2.2	34.2	63.6
無回答	15	-	40.0	26.7	13.3	20.0	40.0	40.0
性別×年代別								
男性:20歳代	18	-	33.3	27.8	38.9	-	33.3	66.7
男性:30歳代	22	4.5	31.8	36.4	27.3	-	36.3	63.7
男性:40歳代	27	3.7	29.6	29.6	37.0	-	33.3	66.6
男性:50歳代	15	13.3	40.0	20.0	26.7	-	53.3	46.7
男性:60歳代	69	7.2	27.5	27.5	37.7	-	34.7	65.2
男性:70歳以上	48	4.2	43.8	20.8	27.1	4.2	48.0	47.9
女性:20歳代	22	-	27.3	40.9	31.8	-	27.3	72.7
女性:30歳代	42	4.8	28.6	21.4	45.2	-	33.4	66.6
女性:40歳代	42	2.4	33.3	23.8	38.1	2.4	35.7	61.9
女性:50歳代	44	-	25.0	29.5	45.5	-	25.0	75.0
女性:60歳代	70	-	22.9	40.0	34.3	2.9	22.9	74.3
女性:70歳以上	48	12.5	47.9	20.8	12.5	6.3	60.4	33.3
女性:無回答	1	-	100.0	-	-	-	100.0	-
無回答	15	-	40.0	26.7	13.3	20.0	40.0	40.0
小学校区別								
太宰府小学校区	78	7.7	35.9	30.8	25.6	-	43.6	56.4
太宰府東小学校区	38	5.3	28.9	28.9	28.9	7.9	34.2	57.8
太宰府南小学校区	42	-	38.1	35.7	26.2	-	38.1	61.9
水城小学校区	63	4.8	36.5	31.7	27.0	-	41.3	58.7
水城西小学校区	54	5.6	29.6	31.5	33.3	-	35.2	64.8
太宰府西小学校区	89	4.5	27.0	22.5	41.6	4.5	31.5	64.1
国分小学校区	56	3.6	42.9	19.6	32.1	1.8	46.5	51.7
わからない	55	-	21.8	30.9	43.6	3.6	21.8	74.5
無回答	8	-	25.0	12.5	50.0	12.5	25.0	62.5

(2) 男女間の地位の平等感 (問 29)

●男女の地位の平等感は、『男性優位』意識が74.3%と高く、前回調査よりも23.3ポイント増加している。

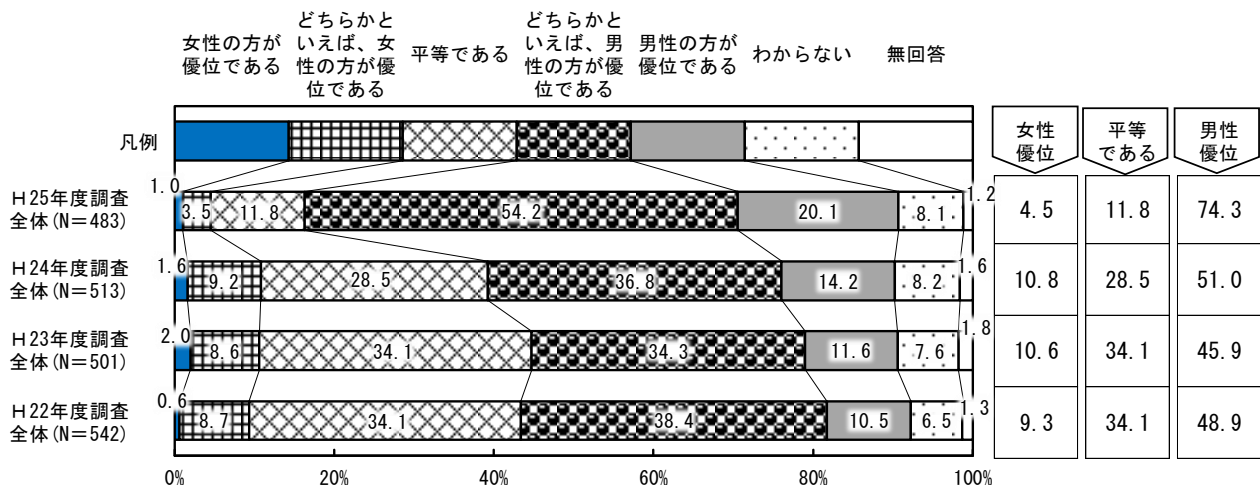
普段の生活の中で感じる男女間の地位の平等について、『女性優位』（「女性の方が優位である」(1.0%)と「どちらかといえば、女性の方が優位である」(3.5%)の合計)は4.5%、一方、『男性優位』（「男性の方が優位である」(20.1%)と「どちらかといえば、男性の方が優位である」(54.2%)の合計)は74.3%で、『男性優位』が7割を超えている。

過去の調査結果と比べると、前回調査と比べて『女性優位』（6.3ポイント減）、『平等である』（16.7ポイント減）が減少し、『男性優位』（23.3ポイント増）が大きく増加している。

性別・年代別にみると、全体的に60歳代以外は『男性優位』の意識は女性の方が男性よりも高くなっており、特に女性の30歳代と50歳代は『男性優位』が8割を超えている。

問 29. あなたは社会全体でみた場合、男女の地位は平等になっていると思いますか。

(○は1つ)



		標本数	女性優位 女性の方が優位である	女性優位 どちらかといえば、女性の方が優位である	平等である	男性優位 男性の方が優位である	男性優位 どちらかといえば、男性の方が優位である	わからない	無回答	女性優位	男性優位
全体		483	5	17	57	262	97	39	6	22	359
		100.0	1.0	3.5	11.8	54.2	20.1	8.1	1.2	4.5	74.3
性別×年代別	男性:20歳代	18	-	22.2	11.1	38.9	16.7	11.1	-	22.2	55.6
	男性:30歳代	22	-	13.6	9.1	50.0	9.1	18.2	-	13.6	59.1
	男性:40歳代	27	3.7	-	11.1	40.7	37.0	7.4	-	3.7	77.7
	男性:50歳代	15	-	13.3	13.3	53.3	20.0	-	-	13.3	73.3
	男性:60歳代	69	2.9	4.3	7.2	53.6	26.1	5.8	-	7.2	79.7
	男性:70歳以上	48	2.1	2.1	25.0	52.1	12.5	6.3	-	4.2	64.6
	女性:20歳代	22	4.5	-	13.6	68.2	9.1	4.5	-	4.5	77.3
	女性:30歳代	42	-	-	7.1	59.5	23.8	9.5	-	-	83.3
	女性:40歳代	42	-	2.4	4.8	64.3	14.3	14.3	-	2.4	78.6
	女性:50歳代	44	-	2.3	11.4	52.3	29.5	4.5	-	2.3	81.8
女性:60歳代	70	-	1.4	11.4	52.9	22.9	8.6	2.9	1.4	75.8	
女性:70歳以上	48	-	2.1	10.4	64.6	12.5	6.3	4.2	2.1	77.1	
女性:無回答	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-	100.0	
無回答	15	-	-	33.3	26.7	13.3	13.3	13.3	-	40.0	
小学校区別	太宰府小学校区	78	-	2.6	11.5	50.0	24.4	11.5	-	2.6	74.4
	太宰府東小学校区	38	2.6	5.3	21.1	39.5	21.1	5.3	5.3	7.9	60.6
	太宰府南小学校区	42	-	2.4	7.1	64.3	16.7	9.5	-	2.4	81.0
	水城小学校区	63	4.8	1.6	7.9	58.7	15.9	11.1	-	6.4	74.6
	水城西小学校区	54	-	-	7.4	68.5	22.2	1.9	-	-	90.7
	太宰府西小学校区	89	1.1	3.4	11.2	55.1	21.3	5.6	2.2	4.5	76.4
	国分小学校区	56	-	8.9	10.7	55.4	17.9	5.4	1.8	8.9	73.3
	わからない	55	-	5.5	18.2	45.5	18.2	12.7	-	5.5	63.7
無回答	8	-	-	25.0	25.0	25.0	12.5	12.5	-	50.0	

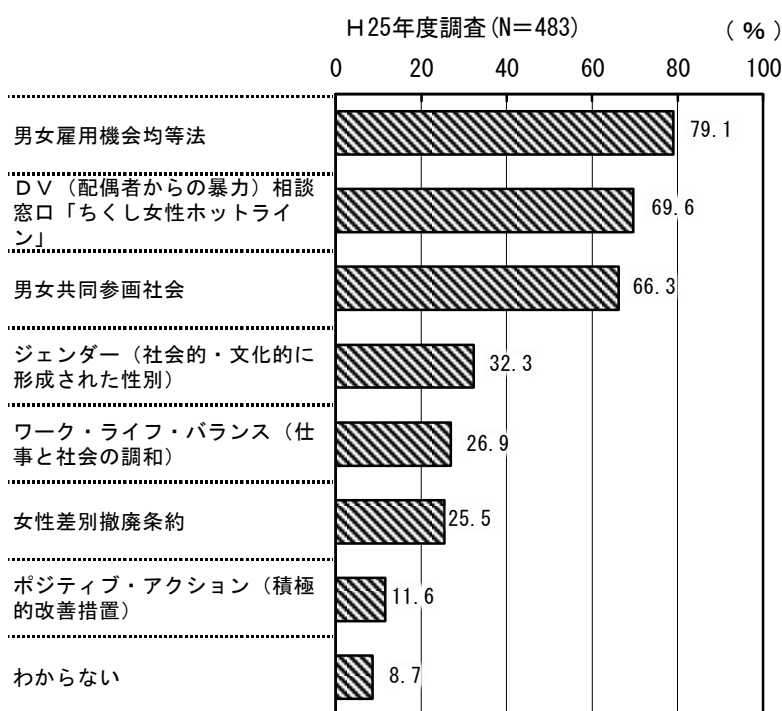
(3) 男女間の平等に関する取り組み認知 (問 30)

●男女共同参画に関する条例や文言では、「男女雇用機会均等法」が79.1%、「DV相談窓口「ちくしホットライン」」が69.6%、「男女共同参画社会」が66.3%で高い。

男女共同参画に関連して見聞きしたことがある条例や文言をみると、「男女雇用機会均等法」(79.1%)が最も高く、以下、「DV(配偶者からの暴力)相談窓口「ちくし女性ホットライン」」(69.6%)、「男女共同参画社会」(66.3%)と続いている。

一方「わからない」(8.7%)と回答したのは1割未満にとどまり、何らかの条例や文言が市民に認知されていることが伺える。

問 30. 次の言葉のうち、あなたが見たり聞いたりしたことがありますか。(〇はいくつでも)



性別・年代別にみると、女性の30歳代を除いて「男女雇用機会均等法」の認知率が最も高くなっている。なお、女性の30歳代と40歳代はともに「DV（配偶者からの暴力）相談窓口「ちくし女性ホットライン」」（78.6%）が他の年代に比べ高くなっている。

小学校区別にみると、全ての小学校区において「男女雇用機会均等法」の認知率が最も高くなっている。なお、「DV（配偶者からの暴力）相談窓口「ちくし女性ホットライン」」は太宰府南小学校区（81.0%）が他の小学校区に比べて高くなっているほか、「男女共同参画社会」は太宰府小学校区（76.9%）、「ジェンダー（社会的・文化的に形成された性別）」は水城小学校区（42.9%）が、それぞれ他の小学校区に比べて高くなっている。

		(%)									
		標本数	男女雇用機会均等法	女性（DV相談窓口「ちくし女性ホットライン」）	男女共同参画社会	ジェンダー（社会的・文化的に形成された性別）	ワーク（仕事と社会のバランス）	女性差別撤廃条約	ポジティブな改善措置	わからない	無回答
全体		483 100.0	382 79.1	336 69.6	320 66.3	156 32.3	130 26.9	123 25.5	56 11.6	42 8.7	12 2.5
性別×年代別	男性:20歳代	18	72.2	61.1	66.7	27.8	16.7	38.9	11.1	11.1	-
	男性:30歳代	22	90.9	72.7	59.1	63.6	50.0	50.0	18.2	9.1	-
	男性:40歳代	27	88.9	66.7	63.0	40.7	44.4	25.9	14.8	7.4	-
	男性:50歳代	15	73.3	66.7	73.3	60.0	20.0	40.0	20.0	-	-
	男性:60歳代	69	78.3	60.9	66.7	15.9	18.8	23.2	14.5	7.2	5.8
	男性:70歳以上	48	87.5	75.0	81.3	20.8	27.1	29.2	12.5	10.4	-
	女性:20歳代	22	81.8	63.6	72.7	54.5	27.3	36.4	4.5	9.1	-
	女性:30歳代	42	73.8	78.6	54.8	47.6	23.8	19.0	7.1	7.1	-
	女性:40歳代	42	85.7	78.6	73.8	57.1	38.1	26.2	7.1	2.4	-
	女性:50歳代	44	72.7	72.7	65.9	34.1	27.3	25.0	11.4	9.1	2.3
	女性:60歳代	70	78.6	75.7	58.6	20.0	21.4	11.4	14.3	10.0	2.9
	女性:70歳以上	48	75.0	62.5	66.7	16.7	27.1	20.8	10.4	10.4	10.4
女性:無回答	1	100.0	100.0	100.0	-	-	100.0	-	-	-	
無回答	15	60.0	46.7	60.0	20.0	20.0	33.3	-	26.7	-	
小学校区別	太宰府小学校区	78	82.1	75.6	76.9	41.0	28.2	29.5	7.7	3.8	1.3
	太宰府東小学校区	38	71.1	68.4	57.9	28.9	31.6	15.8	13.2	13.2	5.3
	太宰府南小学校区	42	83.3	81.0	64.3	21.4	21.4	23.8	11.9	9.5	-
	水城小学校区	63	82.5	63.5	71.4	42.9	34.9	28.6	11.1	7.9	1.6
	水城西小学校区	54	83.3	61.1	72.2	31.5	20.4	24.1	11.1	1.9	7.4
	太宰府西小学校区	89	76.4	69.7	62.9	22.5	23.6	24.7	13.5	12.4	4.5
	国分小学校区	56	83.9	75.0	66.1	32.1	30.4	33.9	10.7	5.4	-
	わからない	55	70.9	65.5	56.4	38.2	25.5	20.0	14.5	14.5	-
無回答	8	62.5	50.0	37.5	12.5	25.0	12.5	12.5	25.0	-	

12. 生涯学習の推進

(1) 生涯学習活動の取り組み状況 (問 31)

●生涯学習の『週1回以上の実施率』は16.5%となっている。

生涯学習活動の取り組みをみると、『週1回以上の実施率』（「ほぼ毎日取り組んでいる」（9.7%）と「週に1回程度取り組んでいる」（6.8%）の合計）は16.5%となっている。一方、「ほとんど取り組んでいない」は65.8%となっている。

過去の調査結果と比べると、『週1回以上の実施率』は15～17%で推移しており、特に変化はみられない。

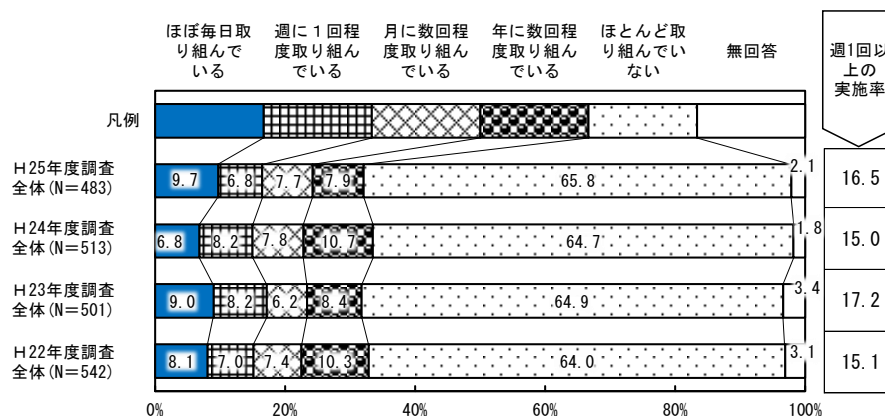
性別にみると、『週1回以上の実施率』は男女ともに16%程度で差がみられないものの、「ほぼ毎日取り組んでいる」は男性（12.1%）の方が女性（7.8%）よりも高くなっている。

年代別にみると、『週1回以上の実施率』は70歳以上が27.4%で最も高くなっている。

小学校区別にみると、『週1回以上の実施率』は太宰府東小学校区（34.3%）が最も高くなっている。

問 31. あなたは日頃から学習テーマを持って生涯学習活動に取り組んでいますか。

(○は1つ)



		標本数	ほぼ毎日	週に1回	月に数回	年に数回	ほとんど	無回答	実施率
		(%)	取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいない	(%)	週1回以上の
全体		483	47	33	37	38	318	10	80
		100.0	9.7	6.8	7.7	7.9	65.8	2.1	16.5
性別	男性	199	12.1	4.0	8.5	6.5	68.8	-	16.1
	女性	269	7.8	8.9	7.4	8.6	63.6	3.7	16.7
	無回答	15	13.3	6.7	-	13.3	66.7	-	20.0
年代別	20歳代	40	5.0	2.5	5.0	2.5	85.0	-	7.5
	30歳代	64	9.4	6.3	3.1	6.3	75.0	-	15.7
	40歳代	71	4.2	4.2	11.3	14.1	64.8	1.4	8.4
	50歳代	60	6.7	5.0	-	10.0	76.7	1.7	11.7
	60歳代	143	12.6	5.6	9.1	8.4	62.9	1.4	18.2
	70歳以上	102	13.7	13.7	11.8	3.9	51.0	5.9	27.4
無回答	3	-	-	-	33.3	66.7	-	-	
小学校区別	太宰府小学校区	78	11.5	3.8	12.8	5.1	66.7	-	15.3
	太宰府東小学校区	38	21.1	13.2	10.5	2.6	47.4	5.3	34.3
	太宰府南小学校区	42	11.9	11.9	4.8	9.5	59.5	2.4	23.8
	水城小学校区	63	9.5	9.5	6.3	11.1	61.9	1.6	19.0
	水城西小学校区	54	3.7	5.6	7.4	11.1	72.2	-	9.3
	太宰府西小学校区	89	9.0	5.6	4.5	7.9	70.8	2.2	14.6
	国分小学校区	56	10.7	3.6	12.5	3.6	67.9	1.8	14.3
	わからない	55	5.5	5.5	3.6	10.9	72.7	1.8	11.0
	無回答	8	-	12.5	-	12.5	50.0	25.0	12.5

(2) 運動・スポーツの取り組み頻度 (問 32)

●運動・スポーツの『週1回以上の実施率』は40.9%で、60歳代以上は5割を超えている。

運動・スポーツを行う頻度について、『週に1回以上の実施率』（「ほぼ毎日行っている」（14.9%）と「週に2回程度行っている」（16.1%）、「週に1回程度行っている」（9.9%）の合計）は40.9%となっている。

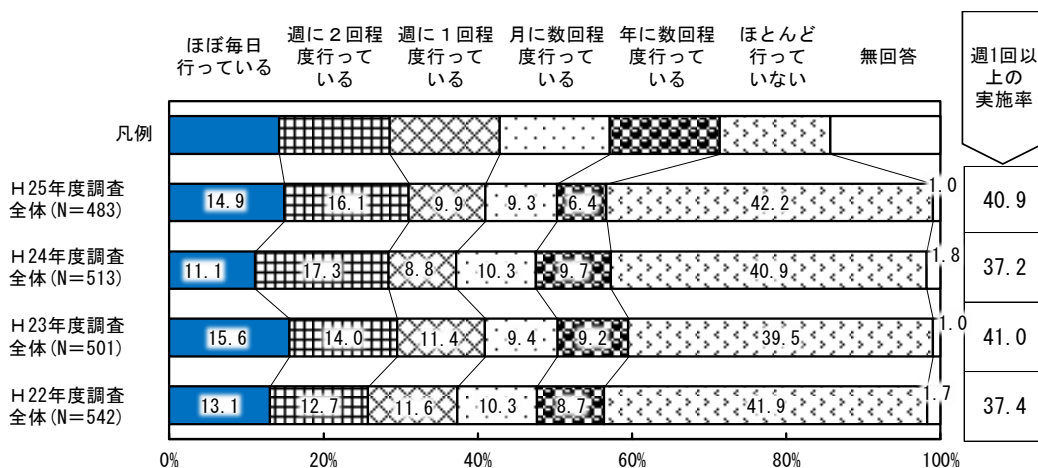
過去の調査結果と比べると、『週1回以上の実施率』は約4割で推移しており、特に変化はみられない。

性別にみると、『週1回以上の実施率』は男性（47.7%）の方が女性（35.7%）よりも高くなっている。

年代別にみると、『週1回以上の実施率』は70歳以上が59.8%で最も高く、次いで60歳代（51.1%）の順で、60歳以上は5割を超えている。なお、最も低いのは30歳代（20.3%）となっている。

小学校区別にみると、『週1回以上の実施率』が最も高いのは太宰府小学校区（52.6%）、一方、最も低いのは太宰府東小学校区（31.6%）となっている。

問 32. あなたは運動・スポーツをどれくらいの頻度で行っていますか。(○は1つ)



	標本数	ほぼ毎日行っている	週に2回程度行っている	週に1回程度行っている	月に数回程度行っている	年に数回程度行っている	ほとんど行っていない	無回答	週1回以上の実施率
全体	483	72	78	48	45	31	204	5	198
	100.0	14.9	16.1	9.9	9.3	6.4	42.2	1.0	40.9
性別									
男性	199	18.1	20.1	9.5	13.1	9.0	30.2	-	47.7
女性	269	11.5	13.4	10.8	6.7	4.5	51.7	1.5	35.7
無回答	15	33.3	13.3	-	6.7	6.7	33.3	6.7	46.6
年代別									
20歳代	40	10.0	15.0	2.5	22.5	7.5	42.5	-	27.5
30歳代	64	1.6	10.9	7.8	6.3	6.3	67.2	-	20.3
40歳代	71	9.9	11.3	12.7	7.0	14.1	45.1	-	33.9
50歳代	60	6.7	10.0	10.0	10.0	11.7	50.0	1.7	26.7
60歳代	143	16.8	23.1	11.2	9.8	4.2	34.3	0.7	51.1
70歳以上	102	31.4	17.6	10.8	5.9	1.0	30.4	2.9	59.8
無回答	3	-	-	-	33.3	-	66.7	-	-
小学校区別									
太宰府小学校区	78	20.5	16.7	15.4	9.0	7.7	30.8	-	52.6
太宰府東小学校区	38	18.4	7.9	5.3	2.6	2.6	57.9	5.3	31.6
太宰府南小学校区	42	16.7	19.0	9.5	7.1	2.4	45.2	-	45.2
水城小学校区	63	9.5	15.9	9.5	11.1	11.1	42.9	-	34.9
水城西小学校区	54	14.8	18.5	7.4	13.0	9.3	37.0	-	40.7
太宰府西小学校区	89	13.5	19.1	15.7	7.9	3.4	38.2	2.2	48.3
国分小学校区	56	14.3	16.1	1.8	12.5	10.7	44.6	-	32.2
わからない	55	12.7	12.7	7.3	7.3	3.6	54.5	1.8	32.7
無回答	8	12.5	12.5	12.5	25.0	-	37.5	-	37.5

13. 文化芸術の振興（問 33）

●文化芸術活動について「ほとんど行っていない」が5割を占めており、実施していても「年に数回程度」が中心である。

日頃から文化芸術活動をしているかどうかをたずねたところ、『月数回以上の実施率』（「ほぼ毎日行っている」（3.1%）と「週に1回程度行っている」（4.3%）、「月に数回程度行っている」（8.7%）の合計）は16.1%となっている。なお、「年に数回程度行っている」は34.2%、「ほとんど行っていない」は48.9%となっている。

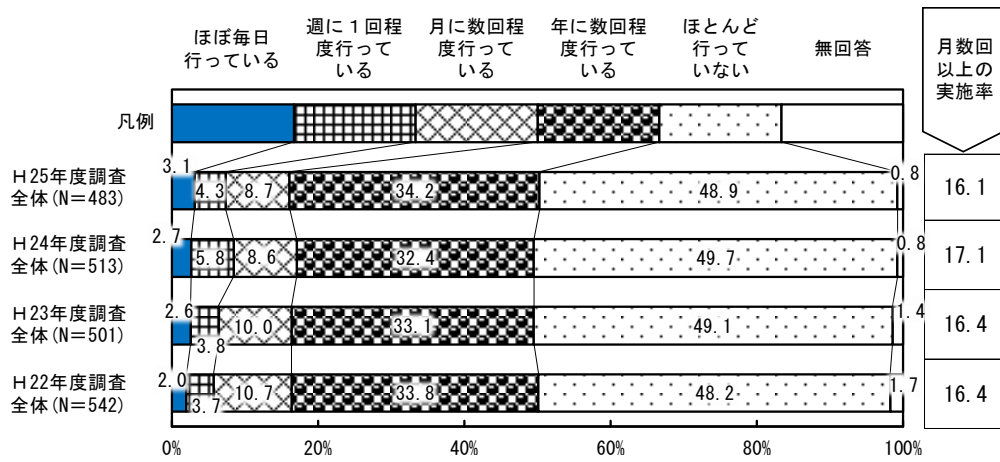
過去の調査結果と比べると、『月数回以上の実施率』は16～17%で推移しており、特に変化はみられない。

性別にみると、『月数回以上の実施率』は女性（17.9%）の方が男性（14.0%）よりも高くなっている。

年代別にみると、20歳代と70歳以上で『月数回以上の実施率』が2割を超えて高くなっている。

小学校区別にみると、『月数回以上の実施率』が最も高いのは太宰府東小学校区（29.0%）となっている。

問 33. あなたは日頃から文化芸術活動（鑑賞、参加等を含む）をしていますか。（○は1つ）



	標本数	ほぼ毎日行っている	週に1回程度行っている	月に数回程度行っている	年に数回程度行っている	ほとんど行っていない	無回答	月数回以上の実施率
全体	483	15	21	42	165	236	4	78
性別	100.0	3.1	4.3	8.7	34.2	48.9	0.8	16.1
男性	199	3.0	5.0	6.0	30.2	55.8	-	14.0
女性	269	3.0	4.1	10.8	37.2	43.5	1.5	17.9
無回答	15	6.7	-	6.7	33.3	53.3	-	13.4
年代別								
20歳代	40	5.0	12.5	7.5	17.5	57.5	-	25.0
30歳代	64	1.6	3.1	4.7	34.4	56.3	-	9.4
40歳代	71	1.4	4.2	2.8	42.3	49.3	-	8.4
50歳代	60	1.7	1.7	8.3	40.0	46.7	1.7	11.7
60歳代	143	4.2	1.4	12.6	34.3	46.9	0.7	18.2
70歳以上	102	3.9	7.8	10.8	31.4	44.1	2.0	22.5
無回答	3	-	-	-	33.3	66.7	-	-
小学校区別								
太宰府小学校区	78	6.4	5.1	12.8	42.3	33.3	-	24.3
太宰府東小学校区	38	7.9	7.9	13.2	21.1	44.7	5.3	29.0
太宰府南小学校区	42	2.4	4.8	9.5	31.0	52.4	-	16.7
水城小学校区	63	-	3.2	6.3	39.7	50.8	-	9.5
水城西小学校区	54	3.7	5.6	11.1	24.1	55.6	-	20.4
太宰府西小学校区	89	2.2	3.4	7.9	32.6	52.8	1.1	13.5
国分小学校区	56	1.8	1.8	5.4	42.9	48.2	-	9.0
わからない	55	1.8	5.5	3.6	30.9	56.4	1.8	10.9
無回答	8	-	-	12.5	37.5	50.0	-	12.5

14. 生活環境の向上

(1) 自宅周辺の衛生環境 (問 34)

●自宅周辺の衛生環境について『肯定派』は80.1%、『否定派』は18.6%となっている。

自宅周辺の環境が清潔で衛生的かどうかについて、『肯定派』(「そう思う」(32.3%)と「ややそう思う」(47.8%)の合計)は80.1%、一方、『否定派』(「そう思わない」(3.3%)と「あまりそう思わない」(15.3%)の合計)は18.6%で、『肯定派』が8割を占めて高くなっている。

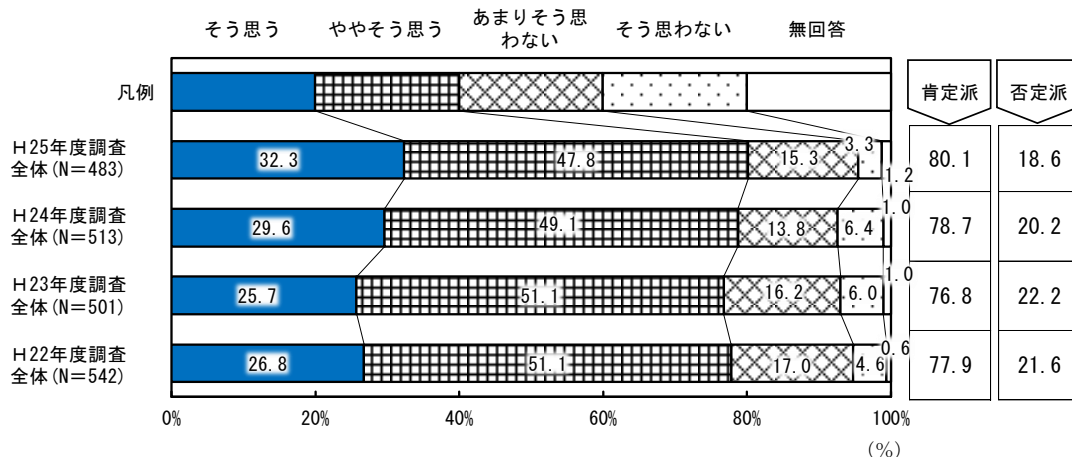
過去の調査結果と比べると、『肯定派』は前回調査に比べて1.4ポイント増加、一方、『否定派』は1.6ポイント減少しており、『肯定派』の割合が過去最も高くなっている。

性別にみると、『肯定派』は男女ともに8割で、差はみられない。

年代別にみると、『肯定派』が最も高いのは30歳代(84.4%)、一方、『否定派』が最も高いのは40歳代(25.3%)となっている。

小学校区別にみると、いずれも『肯定派』が7割を超えている。なお、『肯定派』が最も高いのは太宰府東小学校区(94.7%)となっている。

問 34. あなたは自宅周辺の環境は清潔で衛生的だと思いますか。(○は1つ)



	標本数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派	否定派
全体	483	156	231	74	16	6	387	90
	100.0	32.3	47.8	15.3	3.3	1.2	80.1	18.6
性別								
男性	199	33.2	47.7	14.6	3.5	1.0	80.9	18.1
女性	269	31.6	48.7	15.6	3.3	0.7	80.3	18.9
無回答	15	33.3	33.3	20.0	-	13.3	66.6	20.0
年代別								
20歳代	40	35.0	47.5	12.5	5.0	-	82.5	17.5
30歳代	64	31.3	53.1	12.5	1.6	1.6	84.4	14.1
40歳代	71	18.3	56.3	22.5	2.8	-	74.6	25.3
50歳代	60	26.7	53.3	16.7	3.3	-	80.0	20.0
60歳代	143	31.5	50.3	13.3	4.2	0.7	81.8	17.5
70歳以上	102	47.1	32.4	14.7	2.9	2.9	79.5	17.6
無回答	3	-	33.3	33.3	-	33.3	33.3	33.3
小学校区別								
太宰府小学校区	78	25.6	52.6	16.7	3.8	1.3	78.2	20.5
太宰府東小学校区	38	34.2	60.5	-	2.6	2.6	94.7	2.6
太宰府南小学校区	42	42.9	35.7	16.7	2.4	2.4	78.6	19.1
水城小学校区	63	38.1	44.4	14.3	1.6	1.6	82.5	15.9
水城西小学校区	54	27.8	48.1	20.4	3.7	-	75.9	24.1
太宰府西小学校区	89	39.3	40.4	15.7	4.5	-	79.7	20.2
国分小学校区	56	28.6	50.0	17.9	3.6	-	78.6	21.5
わからない	55	23.6	52.7	18.2	3.6	1.8	76.3	21.8
無回答	8	25.0	62.5	-	-	12.5	87.5	-

(2) 環境マナーの順守状況 (問 35)

●地域の環境マナーについて『守られている』は68.7%、『守られていない』は30.0%となっている。

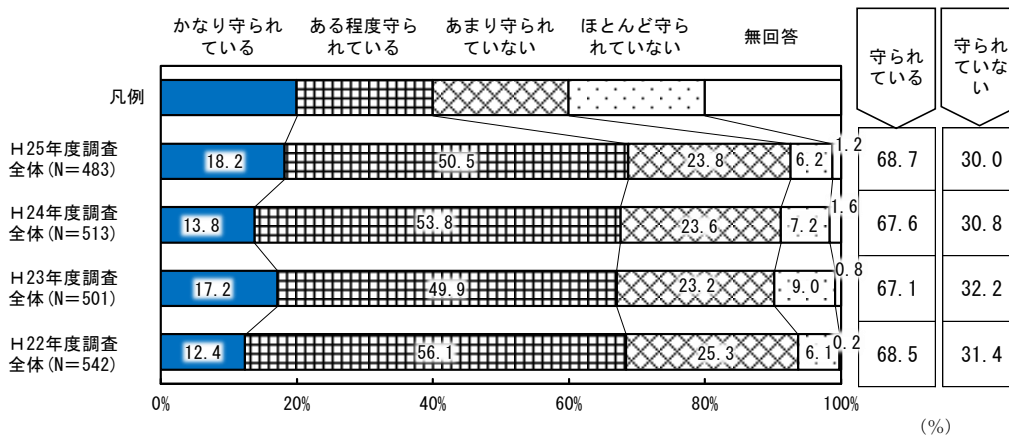
地域での環境マナーについて、『守られている』(「かなり守られている」(18.2%)と「ある程度守られている」(50.5%)の合計)は68.7%、一方、『守られていない』(「ほとんど守られていない」(6.2%)と「あまり守られていない」(23.8%)の合計)は30.0%で、『守られている』の方が『守られていない』よりも高くなっている。

過去の調査結果と比べると、『守られている』が7割程度を占めている傾向は変わらない。性別にみると、『守られている』は男女ともに7割程度で、差はみられない。

年代別にみると、『守られている』が最も高いのは50歳代(75.0%)、一方、『守られていない』が最も高いのは40歳代(35.2%)となっている。

小学校区別にみると、『守られている』が最も高いのは太宰府東小学校区(73.7%)、一方、『守られていない』が最も高いのは国分小学校区(41.0%)となっている。

問 35. あなたがお住まいの地域では環境マナー(ごみ出しのマナー、ごみのポイ捨て、犬・猫の飼い方、雑草など空き地の管理、近隣騒音など)が守られていると思いますか。(○は1つ)



	標本数	るらか れな てり い守	い守あ るら れ程 て度	ならあ いれ ま てり い守	い守ほ なら いと いれ ん ど	無 回 答	い 守 ら れ て	い 守 ら れ て い な い
全体	483	88	244	115	30	6	332	145
	100.0	18.2	50.5	23.8	6.2	1.2	68.7	30.0
性別								
男性	199	18.1	50.8	22.1	8.0	1.0	68.9	30.1
女性	269	18.2	51.7	24.2	5.2	0.7	69.9	29.4
無回答	15	20.0	26.7	40.0	-	13.3	46.7	40.0
年代別								
20歳代	40	10.0	62.5	20.0	7.5	-	72.5	27.5
30歳代	64	10.9	60.9	20.3	7.8	-	71.8	28.1
40歳代	71	12.7	52.1	29.6	5.6	-	64.8	35.2
50歳代	60	15.0	60.0	21.7	3.3	-	75.0	25.0
60歳代	143	22.4	46.9	23.8	6.3	0.7	69.3	30.1
70歳以上	102	26.5	37.3	25.5	6.9	3.9	63.8	32.4
無回答	3	-	66.7	-	-	33.3	66.7	-
小学校区別								
太宰府小学校区	78	12.8	53.8	26.9	3.8	2.6	66.6	30.7
太宰府東小学校区	38	15.8	57.9	21.1	2.6	2.6	73.7	23.7
太宰府南小学校区	42	19.0	52.4	16.7	9.5	2.4	71.4	26.2
水城小学校区	63	19.0	54.0	19.0	7.9	-	73.0	26.9
水城西小学校区	54	18.5	53.7	22.2	5.6	-	72.2	27.8
太宰府西小学校区	89	27.0	41.6	24.7	6.7	-	68.6	31.4
国分小学校区	56	12.5	46.4	32.1	8.9	-	58.9	41.0
わからない	55	16.4	50.9	27.3	3.6	1.8	67.3	30.9
無回答	8	25.0	50.0	-	12.5	12.5	75.0	12.5

15. 自然共生社会の構築

(1) 自然の豊かさについて (問 37)

●自然の豊かさについて『肯定派』は83.9%、『否定派』は14.5%となっている。

太宰府市内の自然は豊かであるかどうかについて、『肯定派』（「そう思う」(40.4%)と「ややそう思う」(43.5%)の合計)は83.9%、一方、『否定派』（「そう思わない」(2.3%)と「あまりそう思わない」(12.2%)の合計)は14.5%で、『肯定派』が8割を超えて高くなっている。

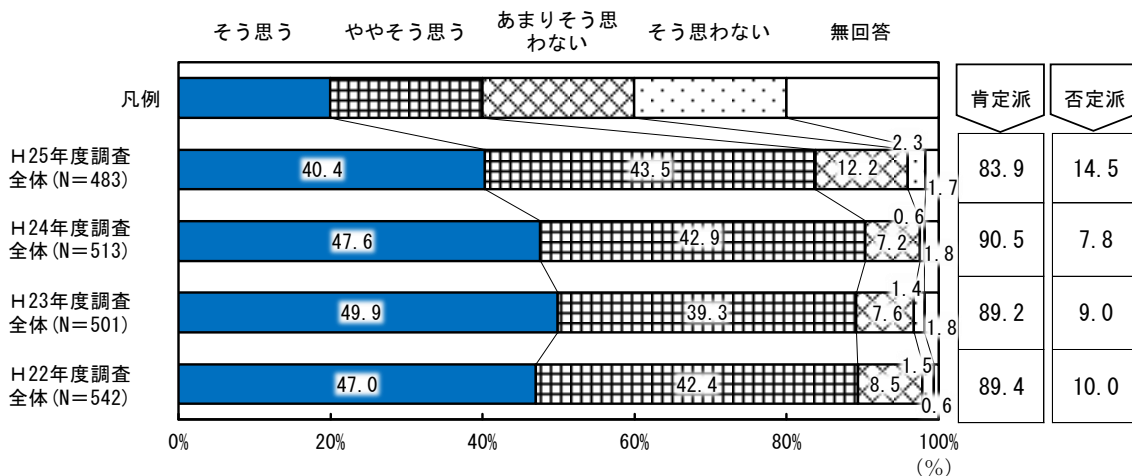
過去の調査結果と比べると、『肯定派』は前回調査(90.5%)から6.6ポイント減少している一方、『否定派』が6.7ポイント増加している。

性別にみると、『肯定派』は女性(86.6%)の方が男性(80.9%)よりも高くなっている。

年代別にみると、いずれも『肯定派』は8割程度を占めている。

小学校区別にみると、いずれも『肯定派』が7割を超えている。なお、『肯定派』が最も高いのは国分小学校区(91.0%)となっている。

問 37. あなたは市内の自然は豊かであると感じますか。(〇は1つ)



	標本数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派	否定派	
全体	483	195	210	59	11	8	83.9	14.5	
性別	男性	199	35.7	45.2	13.6	4.0	1.5	80.9	17.6
	女性	269	44.6	42.0	11.2	1.1	1.1	86.6	12.3
	無回答	15	26.7	46.7	13.3	-	13.3	73.4	13.3
年代別	20歳代	40	45.0	40.0	15.0	-	-	85.0	15.0
	30歳代	64	42.2	37.5	15.6	3.1	1.6	79.7	18.7
	40歳代	71	38.0	47.9	11.3	2.8	-	85.9	14.1
	50歳代	60	41.7	43.3	15.0	-	-	85.0	15.0
	60歳代	143	42.0	44.8	9.1	2.8	1.4	86.8	11.9
	70歳以上	102	36.3	44.1	12.7	2.9	3.9	80.4	15.6
	無回答	3	33.3	33.3	-	-	33.3	66.6	-
小学校区別	太宰府小学校区	78	50.0	39.7	6.4	2.6	1.3	89.7	9.0
	太宰府東小学校区	38	39.5	36.8	18.4	-	5.3	76.3	18.4
	太宰府南小学校区	42	31.0	50.0	14.3	2.4	2.4	81.0	16.7
	水城小学校区	63	50.8	38.1	7.9	3.2	-	88.9	11.1
	水城西小学校区	54	33.3	46.3	16.7	3.7	-	79.6	20.4
	太宰府西小学校区	89	32.6	46.1	16.9	2.2	2.2	78.7	19.1
	国分小学校区	56	33.9	57.1	7.1	1.8	-	91.0	8.9
	わからない	55	47.3	34.5	14.5	1.8	1.8	81.8	16.3
	無回答	8	50.0	37.5	-	-	12.5	87.5	-

(2) 野鳥や昆虫などとのふれあう場所について (問 38)

●市内で野鳥や昆虫などを「観察したり、ふれあう場所があり、満足している」は46.8%となっている。

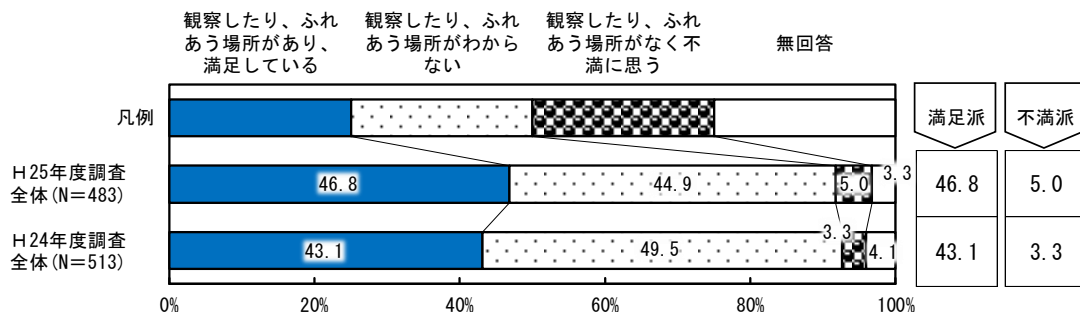
太宰府市内で野鳥や昆虫などを「観察したり、ふれあう場所があり、満足している」と答えた人の割合は46.8%となっている。なお、「観察したり、ふれあう場所がわからない」は44.9%、「観察したり、ふれあう場所がなく、不満に思う」は5.0%となっている。

性別にみると、「観察したり、ふれあう場所があり、満足している」は女性(50.6%)の方が男性(44.2%)よりも高くなっている。

年代別にみると、「観察したり、ふれあう場所があり、満足している」は30歳代以上で4割台となっているが、20歳代(37.5%)はやや低くなっている。なお、20~30歳代は「観察したり、ふれあう場所がわからない」が5割を超えて高くなっている。

小学校区別にみると、「観察したり、ふれあう場所があり、満足している」が最も高いのは太宰府小学校区(67.9%)となっている。なお、太宰府東小学校区は「観察したり、ふれあう場所がわからない」が最も高くなっている。

問 38. あなたは市内で、野鳥や昆虫などを観察したり、ふれあう場所がありますか。
(○は1つ)



		標本数	観察したり、ふれあう場所があり、満足している (%)	観察したり、ふれあう場所がわからない (%)	観察したり、ふれあう場所がなく、不満に思う (%)	無回答 (%)	満足派 (%)	不満派 (%)
全体		483	46.8	44.9	5.0	3.3	46.8	5.0
性別	男性	199	44.2	45.7	6.5	3.5	44.2	6.5
	女性	269	50.6	43.5	4.1	1.9	50.6	4.1
	無回答	15	13.3	60.0	-	26.7	13.3	-
年代別	20歳代	40	37.5	55.0	7.5	-	37.5	7.5
	30歳代	64	45.3	50.0	4.7	-	45.3	4.7
	40歳代	71	47.9	46.5	4.2	1.4	47.9	4.2
	50歳代	60	48.3	48.3	3.3	-	48.3	3.3
	60歳代	143	49.0	39.9	6.3	4.9	49.0	6.3
	70歳以上	102	46.1	43.1	3.9	6.9	46.1	3.9
	無回答	3	66.7	-	-	33.3	66.7	-
小学校区別	太宰府小学校区	78	67.9	26.9	3.8	1.3	67.9	3.8
	太宰府東小学校区	38	36.8	52.6	2.6	7.9	36.8	2.6
	太宰府南小学校区	42	50.0	42.9	2.4	4.8	50.0	2.4
	水城小学校区	63	47.6	49.2	1.6	1.6	47.6	1.6
	水城西小学校区	54	40.7	50.0	3.7	5.6	40.7	3.7
	太宰府西小学校区	89	40.4	49.4	9.0	1.1	40.4	9.0
	国分小学校区	56	46.4	42.9	7.1	3.6	46.4	7.1
	わからない	55	38.2	52.7	5.5	3.6	38.2	5.5
	無回答	8	37.5	37.5	12.5	12.5	37.5	12.5

16. 循環型社会の構築

(1) 生ごみ堆肥化への取り組み (問 39)

●生ごみ堆肥化への取り組みについて『実践派』は 19.4%で、『非実践派』(79.5%)の方が多い。

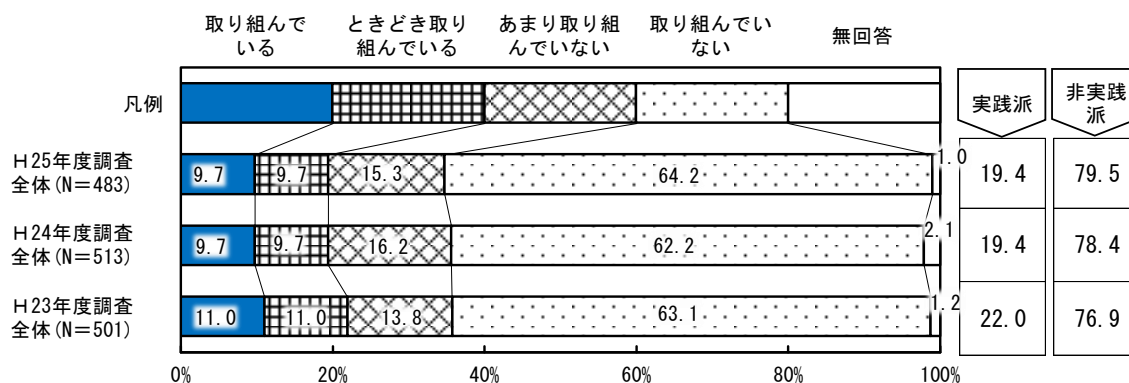
日頃から、生ごみの堆肥化に取り組んでいるかについて、『実践派』(「取り組んでいる」(9.7%)と「ときどき取り組んでいる」(9.7%)の合計)は 19.4%、一方、『非実践派』(「取り組んでいない」(64.2%)と「あまり取り組んでいない」(15.3%)の合計)は 79.5%で、『非実践派』が8割を占めて高くなっている。

過去の調査結果と比べると、『実践派』は2割程度で推移しており、特に変化はみられない。性別にみると、『実践派』は男女ともに2割程度で、差はみられない。

年代別にみると、いずれも『非実践派』が7割を超えている。なお、『実践派』が最も高いのは60歳代(25.9%)、次いで70歳以上(23.5%)となっている。

小学校区別にみると、いずれも『非実践派』が7割を超えている。

問 39. あなたは日頃から、生ごみの堆肥化に取り組んでいますか。(〇は1つ)



		標本数	で取 い り 組 ん だ り ん	で取 い り き る 組 ん だ り ん き	で取 い り ま い り な 組 ん だ り ん い	で取 い り な 組 ん だ り ん い	無 回 答	実 践 派	非 実 践 派
全体		483	47	47	74	310	5	94	384
		100.0	9.7	9.7	15.3	64.2	1.0	19.4	79.5
性別	男性	199	9.5	9.5	14.6	65.8	0.5	19.0	80.4
	女性	269	10.4	10.0	14.9	63.6	1.1	20.4	78.5
	無回答	15	-	6.7	33.3	53.3	6.7	6.7	86.6
年代別	20歳代	40	7.5	7.5	12.5	72.5	-	15.0	85.0
	30歳代	64	4.7	3.1	12.5	79.7	-	7.8	92.2
	40歳代	71	9.9	7.0	12.7	70.4	-	16.9	83.1
	50歳代	60	11.7	5.0	15.0	68.3	-	16.7	83.3
	60歳代	143	11.9	14.0	15.4	57.3	1.4	25.9	72.7
	70歳以上	102	9.8	13.7	17.6	55.9	2.9	23.5	73.5
	無回答	3	-	-	100.0	-	-	-	100.0
小学校区別	太宰府小学校区	78	6.4	11.5	16.7	64.1	1.3	17.9	80.8
	太宰府東小学校区	38	15.8	7.9	15.8	55.3	5.3	23.7	71.1
	太宰府南小学校区	42	4.8	14.3	16.7	61.9	2.4	19.1	78.6
	水城小学校区	63	12.7	3.2	14.3	69.8	-	15.9	84.1
	水城西小学校区	54	13.0	13.0	11.1	63.0	-	26.0	74.1
	太宰府西小学校区	89	7.9	13.5	16.9	61.8	-	21.4	78.7
	国分小学校区	56	16.1	5.4	17.9	60.7	-	21.5	78.6
	わからない	55	1.8	9.1	9.1	78.2	1.8	10.9	87.3
	無回答	8	25.0	-	37.5	37.5	-	25.0	75.0

(2) 省エネルギー・省資源の活動について (問 40)

●省エネルギー・省資源の活動について『実践派』は82.8%、『非実践派』は16.3%となっている。

節電や節水、エコバックや簡易包装を日頃からこころがけているかについて、『実践派』（「行っている」(34.4%)と「ある程度行っている」(48.4%)の合計)は82.8%、一方、『非実践派』（「ほとんど行っていない」(3.5%)と「あまり行っていない」(12.8%)の合計)は16.3%で、『実践派』が8割を超えて高くなっている。

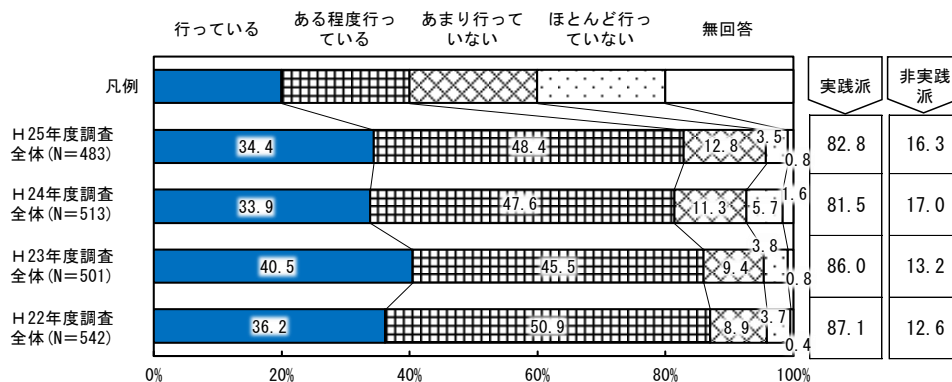
過去の調査結果と比べると、『実践派』が8割を超えている傾向は変わらない。

性別にみると、『実践派』は女性(85.1%)の方が男性(79.9%)よりも高くなっている。

年代別にみると、年齢が高い層で『実践派』の割合が概ね高く、70歳以上(90.2%)は9割に達している。

小学校区別にみると、いずれも『実践派』が7割を超えている。なお、『非実践派』が最も高いのは太宰府東小学校区(26.3%)となっている。

問 40. あなたは日頃から、省エネルギー・省資源の活動(節電・節水や、エコバックや簡易包装をこころがけるなど)を行っていますか。(〇は1つ)



		標本数	行っている	ある程度行っている	な行あ いっま てり い	な行ほ いっど てん いど	無回答	実践派	非実践派
全体		483	166	234	62	17	4	82.8	16.3
性別	男性	199	26.1	53.8	14.1	5.5	0.5	79.9	19.6
	女性	269	39.4	45.7	12.3	2.2	0.4	85.1	14.5
	無回答	15	53.3	26.7	6.7	-	13.3	80.0	6.7
年代別	20歳代	40	35.0	32.5	20.0	12.5	-	67.5	32.5
	30歳代	64	20.3	54.7	18.8	6.3	-	75.0	25.1
	40歳代	71	32.4	50.7	16.9	-	-	83.1	16.9
	50歳代	60	28.3	53.3	15.0	3.3	-	81.6	18.3
	60歳代	143	39.2	46.9	9.8	3.5	0.7	86.1	13.3
	70歳以上	102	41.2	49.0	6.9	1.0	2.0	90.2	7.9
	無回答	3	33.3	33.3	-	-	33.3	66.6	-
小学校区別	太宰府小学校区	78	38.5	42.3	9.0	9.0	1.3	80.8	18.0
	太宰府東小学校区	38	31.6	42.1	18.4	7.9	-	73.7	26.3
	太宰府南小学校区	42	33.3	50.0	11.9	2.4	2.4	83.3	14.3
	水城小学校区	63	47.6	36.5	15.9	-	-	84.1	15.9
	水城西小学校区	54	27.8	57.4	14.8	-	-	85.2	14.8
	太宰府西小学校区	89	34.8	50.6	12.4	2.2	-	85.4	14.6
	国分小学校区	56	33.9	51.8	10.7	3.6	-	85.7	14.3
	わからない	55	25.5	56.4	12.7	3.6	1.8	81.9	16.3
	無回答	8	12.5	62.5	12.5	-	12.5	75.0	12.5

17. 環境教育・学習の推進（問41）

●環境に関する学習会や講習会に参加したことがある人は10.2%となっている。

環境に関する学習会や講習会への参加状況について、『参加率』（「年に2回以上参加している」（2.1%）と「年に1回程度は参加している」（8.1%）の合計）は10.2%で、全体の1割にとどまる。なお、「参加したことはない」は88.2%となっている。

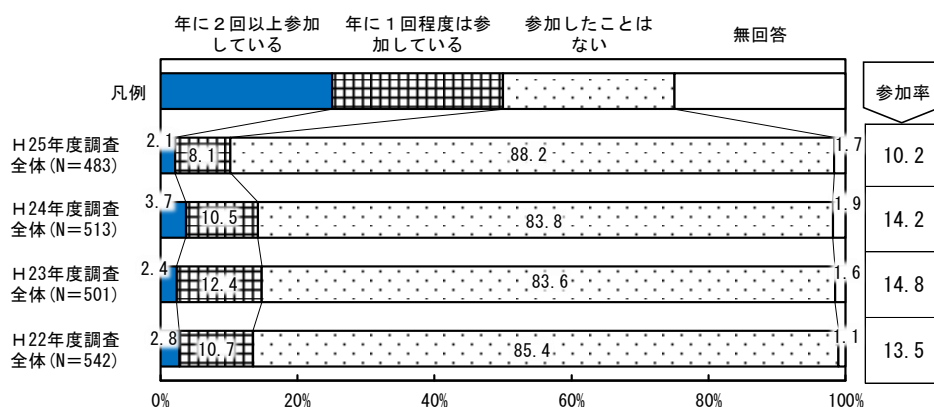
過去の調査結果と比べると、『参加率』は1割程度で推移しているが、今回は若干減少している。

性別にみると、『参加率』は男女ともに1割となっており、差はみられない。

年代別にみると、年齢が高い層で『参加率』は概ね高く、70歳以上（17.6%）が最も高くなっている。

小学校区別にみると、『参加率』が最も高いのは太宰府小学校区（15.3%）、一方、最も低いのは太宰府南小学校区（4.8%）となっている。

問41. あなたはこの1年間で、環境に関する学習会や講演会等に参加したことがありますか。
（○は1つ）



		標本数	い上年に参 加2し回 て以	て度年 いはに る参1 加回 し程	と参 は加 ない たこ	無 回 答	参 加 率
全体		483	10	39	426	8	49
		100.0	2.1	8.1	88.2	1.7	10.2
性別	男性	199	2.0	8.0	88.4	1.5	10.0
	女性	269	2.2	8.6	87.7	1.5	10.8
	無回答	15	-	-	93.3	6.7	-
年代別	20歳代	40	-	5.0	95.0	-	5.0
	30歳代	64	-	3.1	96.9	-	3.1
	40歳代	71	1.4	5.6	91.5	1.4	7.0
	50歳代	60	5.0	1.7	93.3	-	6.7
	60歳代	143	2.1	10.5	84.6	2.8	12.6
	70歳以上	102	2.9	14.7	79.4	2.9	17.6
	無回答	3	-	-	100.0	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	78	3.8	11.5	83.3	1.3	15.3
	太宰府東小学校区	38	2.6	10.5	81.6	5.3	13.1
	太宰府南小学校区	42	-	4.8	92.9	2.4	4.8
	水城小学校区	63	1.6	6.3	92.1	-	7.9
	水城西小学校区	54	1.9	7.4	87.0	3.7	9.3
	太宰府西小学校区	89	4.5	9.0	86.5	-	13.5
	国分小学校区	56	-	7.1	91.1	1.8	7.1
	わからない	55	-	5.5	92.7	1.8	5.5
	無回答	8	-	12.5	87.5	-	12.5

18. 未来に伝える景観づくり

(1) 自然の美しさに対する評価 (問 42)

●市内の自然が美しいと感じている人は 84.5%となっている。

市内の自然は美しいと思うかどうかについて、『肯定派』(「そう思う」(26.5%)と「どちらかといえばそう思う」(58.0%)の合計)は84.5%、一方、『否定派』(「そう思わない」(3.5%)と「どちらかといえばそう思わない」(10.1%)の合計)は13.6%で、『肯定派』が8割を占めて高くなっている。

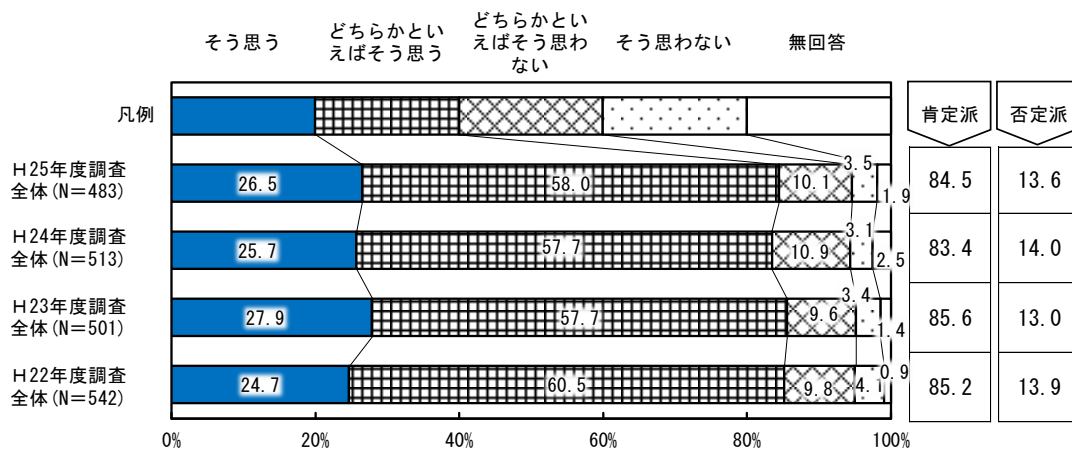
過去の調査結果と比べると、『肯定派』が85%程度で変化はみられない。

性別にみると、『肯定派』は女性(90.3%)の方が男性(77.9%)よりも高くなっている。

年代別にみると、いずれも『肯定派』が8割を超えている。

小学校区別にみると、いずれも『肯定派』が太宰府東小学校区(76.4%)を除き8割を超えている。なお、『肯定派』が最も高いのは水城小学校区(90.4%)となっている。

問 42. あなたは市内の自然は美しいと思いますか。(〇は1つ)



	標本数	そう思う (%)	どちらかといえばそう思う (%)	どちらかといえばそう思わない (%)	そう思わない (%)	無回答 (%)	肯定派 (%)	否定派 (%)
全体	483	26.5	58.0	10.1	3.5	1.9	84.5	13.6
性別								
男性	199	22.6	55.3	15.1	6.5	0.5	77.9	21.6
女性	269	29.7	60.6	5.9	1.5	2.2	90.3	7.4
無回答	15	20.0	46.7	20.0	-	13.3	66.7	20.0
年代別								
20歳代	40	37.5	52.5	10.0	-	-	90.0	10.0
30歳代	64	25.0	59.4	10.9	3.1	1.6	84.4	14.0
40歳代	71	28.2	54.9	9.9	5.6	1.4	83.1	15.5
50歳代	60	26.7	60.0	8.3	3.3	1.7	86.7	11.6
60歳代	143	23.1	60.1	11.2	4.2	1.4	83.2	15.4
70歳以上	102	27.5	56.9	9.8	2.9	2.9	84.4	12.7
無回答	3	-	66.7	-	-	33.3	66.7	-
小学校区別								
太宰府小学校区	78	33.3	52.6	7.7	5.1	1.3	85.9	12.8
太宰府東小学校区	38	21.1	55.3	15.8	5.3	2.6	76.4	21.1
太宰府南小学校区	42	19.0	64.3	11.9	2.4	2.4	83.3	14.3
水城小学校区	63	31.7	58.7	7.9	1.6	-	90.4	9.5
水城西小学校区	54	22.2	63.0	7.4	5.6	1.9	85.2	13.0
太宰府西小学校区	89	20.2	61.8	13.5	3.4	1.1	82.0	16.9
国分小学校区	56	28.6	55.4	14.3	1.8	-	84.0	16.1
わからない	55	34.5	50.9	5.5	3.6	5.5	85.4	9.1
無回答	8	12.5	75.0	-	-	12.5	87.5	-

(2) 歴史的景観の美しさへの評価 (問 43)

●歴史的な景観が美しいと感じている人は91.3%となっている。

市内の歴史的な景観は美しいと思うかについて、『肯定派』(「そう思う」(41.6%)と「どちらかといえばそう思う」(49.7%)の合計)は91.3%、一方、『否定派』(「そう思わない」(1.2%)と「どちらかといえばそう思わない」(5.8%)の合計)は7.0%で、『肯定派』が9割を占めて高くなっている。

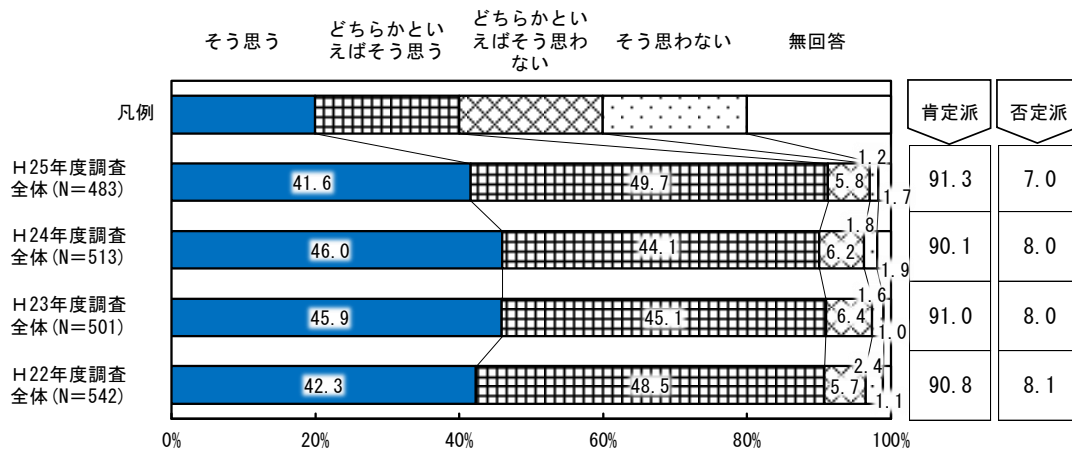
過去の調査結果と比べると、『肯定派』が9割を占めている傾向は変わらない。

性別にみると、『肯定派』は女性(93.7%)の方が男性(89.0%)よりもやや高くなっている。

年代別にみると、いずれも『肯定派』が9割を占めている。

小学校区別にみると、いずれも『肯定派』が9割程度を占めている。

問 43. あなたは史跡地・神社仏閣及びその周辺など、市内の歴史的な景観は美しいと思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う (%)	どちらかといえばそう思う (%)	どちらかといえばそう思わない (%)	そう思わない (%)	無回答 (%)	肯定派 (%)	否定派 (%)
全体		483	41.6	49.7	5.8	1.2	8	91.3	7.0
性別	男性	199	34.2	54.8	9.0	1.5	0.5	89.0	10.5
	女性	269	47.2	46.5	3.3	1.1	1.9	93.7	4.4
	無回答	15	40.0	40.0	6.7	-	13.3	80.0	6.7
年代別	20歳代	40	60.0	30.0	10.0	-	-	90.0	10.0
	30歳代	64	48.4	45.3	3.1	3.1	-	93.7	6.2
	40歳代	71	38.0	53.5	7.0	-	1.4	91.5	7.0
	50歳代	60	45.0	45.0	6.7	1.7	1.7	90.0	8.4
	60歳代	143	38.5	53.1	6.3	1.4	0.7	91.6	7.7
	70歳以上	102	36.3	54.9	3.9	1.0	3.9	91.2	4.9
	無回答	3	-	66.7	-	-	-	33.3	66.7
小学校区別	太宰府小学校区	78	47.4	42.3	6.4	1.3	2.6	89.7	7.7
	太宰府東小学校区	38	31.6	55.3	7.9	2.6	2.6	86.9	10.5
	太宰府南小学校区	42	35.7	54.8	7.1	-	2.4	90.5	7.1
	水城小学校区	63	46.0	50.8	1.6	1.6	-	96.8	3.2
	水城西小学校区	54	50.0	46.3	3.7	-	-	96.3	3.7
	太宰府西小学校区	89	37.1	52.8	9.0	1.1	-	89.9	10.1
	国分小学校区	56	39.3	50.0	7.1	1.8	1.8	89.3	8.9
	わからない	55	45.5	45.5	3.6	1.8	3.6	91.0	5.4
	無回答	8	12.5	75.0	-	-	12.5	87.5	-

(3) 居住地区のまちなみ評価 (問 44)

●住んでいる地区のまちなみは良好だと思える人は79.9%となっている。

住んでいる地区のまちなみが良好だと思えるかについて、『肯定派』(「そう思う」(21.9%)と「どちらかといえばそう思う」58.0%)の合計は79.9%、一方、『否定派』(「そう思わない」(4.6%)と「どちらかといえばそう思わない」(13.9%)の合計)は18.5%で、『肯定派』が8割を占めて高くなっている。

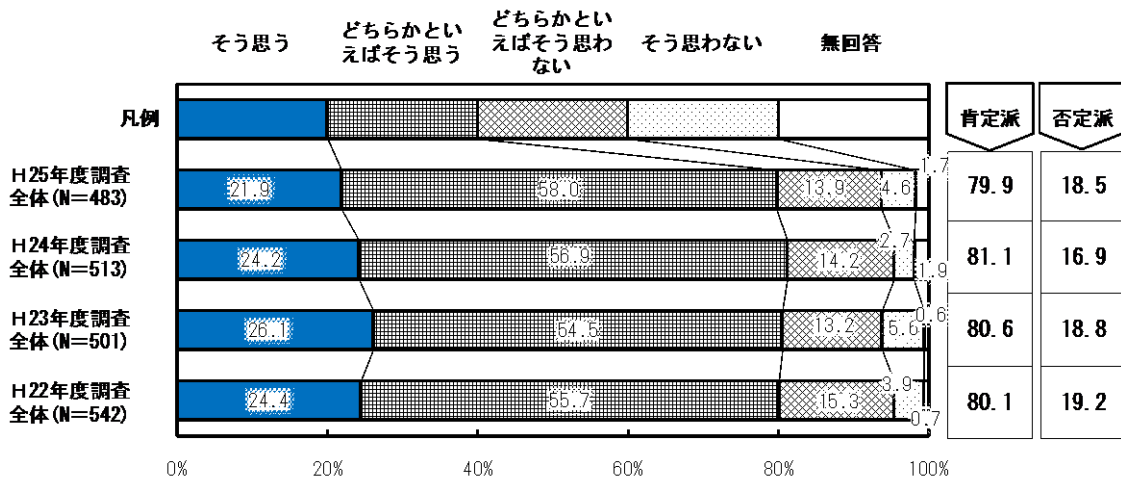
過去の調査結果と比べると、『肯定派』が8割を占めている傾向は変わらない。

性別にみると、『肯定派』は男女ともに8割となっており、差はみられない。

年代別にみると、いずれも『肯定派』が7割を超えている。

小学校区別にみると、いずれも『肯定派』が7割を超えている。なお、『肯定派』が最も高いのは水城小学校区(85.7%)となっている。

問 44. あなたが住んでいる地区は、良好なまちなみだと思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派	否定派
全体		483	106	280	67	22	8	386	89
		100.0	21.9	58.0	13.9	4.6	1.7	79.9	18.5
性別	男性	199	22.1	57.3	15.6	4.5	0.5	79.4	20.1
	女性	269	22.7	58.7	12.6	4.1	1.9	81.4	16.7
	無回答	15	6.7	53.3	13.3	13.3	13.3	60.0	26.6
年代別	20歳代	40	27.5	47.5	22.5	2.5	-	75.0	25.0
	30歳代	64	15.6	65.6	14.1	4.7	-	81.2	18.8
	40歳代	71	21.1	57.7	15.5	4.2	1.4	78.8	19.7
	50歳代	60	20.0	56.7	20.0	3.3	-	76.7	23.3
	60歳代	143	23.8	58.0	11.9	4.9	1.4	81.8	16.8
	70歳以上	102	23.5	57.8	8.8	5.9	3.9	81.3	14.7
	無回答	3	-	66.7	-	-	33.3	66.7	-
小学校区別	太宰府小学校区	78	28.2	51.3	10.3	9.0	1.3	79.5	19.3
	太宰府東小学校区	38	18.4	63.2	13.2	2.6	2.6	81.6	15.8
	太宰府南小学校区	42	19.0	64.3	9.5	4.8	2.4	83.3	14.3
	水城小学校区	63	22.2	63.5	14.3	-	-	85.7	14.3
	水城西小学校区	54	18.5	63.0	14.8	3.7	-	81.5	18.5
	太宰府西小学校区	89	23.6	61.8	13.5	1.1	-	85.4	14.6
	国分小学校区	56	17.9	53.6	17.9	8.9	1.8	71.5	26.8
	わからない	55	21.8	50.9	18.2	5.5	3.6	72.7	23.7
	無回答	8	25.0	25.0	12.5	12.5	25.0	50.0	25.0

19. 計画的なまちづくりの推進

(1) 住環境の快適さへの評価 (問 45)

●都市基盤が整備され快適な住環境であると思う人は71.0%となっている。

住まい周辺の道路や公園などの都市基盤が整備され快適な住環境であるかどうかについて、『肯定派』(「そう思う」(17.0%)と「どちらかといえばそう思う」(54.0%)の合計)は71.0%、一方、『否定派』(「そう思わない」(8.7%)と「どちらかといえばそう思わない」(19.0%)の合計)は27.7%で、『肯定派』が7割を占めて高くなっている。

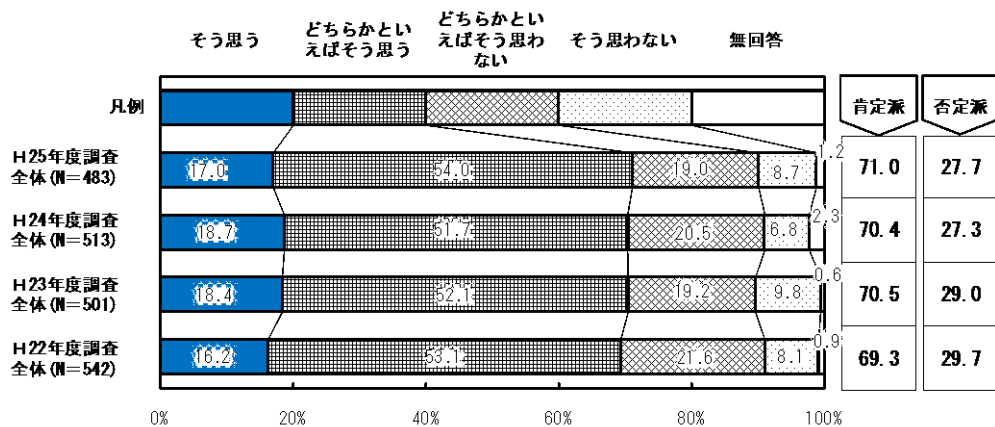
過去の調査結果と比べると、『肯定派』が7割程度を占めている傾向は変わらない。

性別にみると、『肯定派』は女性(74.7%)の方が男性(67.4%)よりも高くなっている。

年代別にみると、『肯定派』が最も高いのは20歳代(80.0%)、一方、『否定派』が最も高いのは40歳代(42.3%)となっている。

小学校区別にみると、『肯定派』が最も高いのは太宰府西小学校区(84.3%)で、最も肯定的な「そう思う」と答えた人の割合が31.5%と、他の小学校区に比べて高くなっている。

問 45. あなたのお住まいの周辺地域は、道路や公園などの都市基盤が整えられるなど、快適で住環境がよいところだと思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派 (%)	否定派 (%)
全体		483	82	261	92	42	6	71.0	27.7
性別	男性	199	14.1	53.3	21.1	10.6	1.0	67.4	31.7
	女性	269	19.3	55.4	17.5	7.1	0.7	74.7	24.6
	無回答	15	13.3	40.0	20.0	13.3	13.3	53.3	33.3
年代別	20歳代	40	22.5	57.5	15.0	5.0	-	80.0	20.0
	30歳代	64	18.8	56.3	17.2	7.8	-	75.1	25.0
	40歳代	71	5.6	52.1	28.2	14.1	-	57.7	42.3
	50歳代	60	10.0	61.7	23.3	5.0	-	71.7	28.3
	60歳代	143	18.9	53.1	15.4	11.9	0.7	72.0	27.3
	70歳以上	102	23.5	50.0	17.6	4.9	3.9	73.5	22.5
	無回答	3	-	33.3	33.3	-	33.3	33.3	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	78	14.1	48.7	16.7	19.2	1.3	62.8	35.9
	太宰府東小学校区	38	10.5	60.5	21.1	2.6	5.3	71.0	23.7
	太宰府南小学校区	42	11.9	61.9	14.3	9.5	2.4	73.8	23.8
	水城小学校区	63	19.0	61.9	15.9	3.2	-	80.9	19.1
	水城西小学校区	54	14.8	59.3	18.5	7.4	-	74.1	25.9
	太宰府西小学校区	89	31.5	52.8	12.4	3.4	-	84.3	15.8
	国分小学校区	56	8.9	46.4	32.1	12.5	-	55.3	44.6
	わからない	55	12.7	49.1	29.1	7.3	1.8	61.8	36.4
	無回答	8	25.0	37.5	-	25.0	12.5	62.5	25.0

(2) 商業施設等の利便性に対する意識 (問 46)

●商業施設等が周辺にあり、利便性を感じている人は 66.7%となっている。

商店や学校、病院等が周辺にあり、生活するうえで便利だと思うかについて、『肯定派』(「そう思う」(23.0%)と「どちらかといえばそう思う」(43.7%)の合計)は 66.7%、一方、『否定派』(「そう思わない」(9.7%)と「どちらかといえばそう思わない」(22.2%)の合計)は 31.9%で、『肯定派』の方が『否定派』よりも高くなっている。

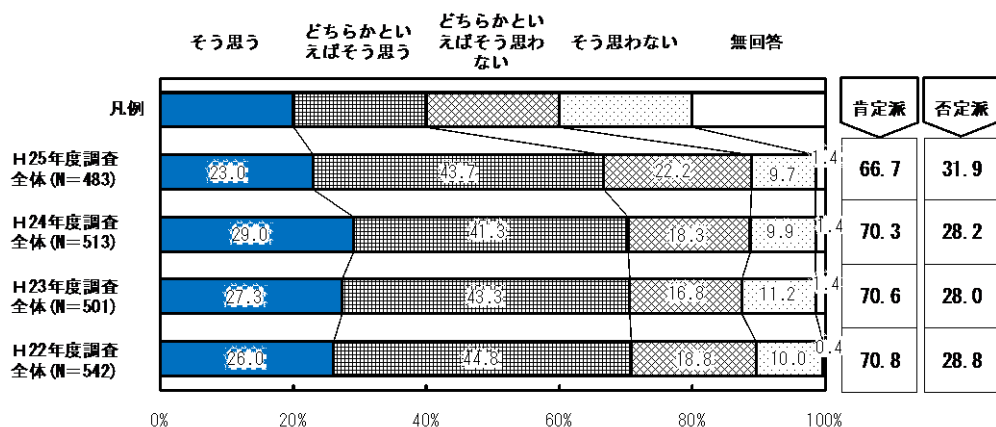
過去の調査結果と比べると、『肯定派』は前回調査(70.3%)から 3.6ポイント減少している一方、『否定派』が 3.7ポイント増加している。

性別にみると、『肯定派』は男性(73.3%)の方が女性(62.4%)よりも高くなっている。

年代別にみると、『肯定派』が最も高いのは 20歳代(80.0%)、一方、『否定派』が最も高いのは 50歳代(48.4%)となっている。

小学校区別にみると、『肯定派』が最も高いのは太宰府西小学校区(83.1%)、一方、『否定派』が最も高いのは国分小学校区(51.8%)で、『肯定派』(46.4%)よりも上回っている。

問 46. あなたは商店や学校、病院等が周辺にあり、生活するうえで便利だと思いますか。(〇は1つ)



		標本数	そう思う	そとど ういち 思えら うばか	なそとど いういち 思えら わばか	なそ う 思 わ	無 回 答	肯 定 派	否 定 派
全体		483	23.0	43.7	22.2	9.7	1.4	66.7	31.9
性別	男性	199	23.6	49.7	18.6	7.0	1.0	73.3	25.6
	女性	269	23.4	39.0	25.3	11.2	1.1	62.4	36.5
	無回答	15	6.7	46.7	13.3	20.0	13.3	53.4	33.3
年代別	20歳代	40	30.0	50.0	10.0	10.0	-	80.0	20.0
	30歳代	64	18.8	50.0	18.8	12.5	-	68.8	31.3
	40歳代	71	11.3	45.1	29.6	14.1	-	56.4	43.7
	50歳代	60	21.7	30.0	36.7	11.7	-	51.7	48.4
	60歳代	143	25.9	49.0	16.8	7.0	1.4	74.9	23.8
	70歳以上	102	27.5	37.3	22.5	7.8	4.9	64.8	30.3
	無回答	3	33.3	33.3	33.3	-	-	66.6	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	78	23.1	35.9	21.8	16.7	2.6	59.0	38.5
	太宰府東小学校区	38	18.4	39.5	34.2	2.6	5.3	57.9	36.8
	太宰府南小学校区	42	21.4	35.7	33.3	7.1	2.4	57.1	40.4
	水城小学校区	63	20.6	57.1	17.5	4.8	-	77.7	22.3
	水城西小学校区	54	22.2	55.6	11.1	11.1	-	77.8	22.2
	太宰府西小学校区	89	39.3	43.8	13.5	3.4	-	83.1	16.9
	国分小学校区	56	7.1	39.3	39.3	12.5	1.8	46.4	51.8
	わからない	55	18.2	40.0	21.8	18.2	1.8	58.2	40.0
	無回答	8	37.5	50.0	-	12.5	-	87.5	12.5

第2章 調査結果の分析

(3) 家の近くにあると便利な施設（問46付問1）

問46S1.家の近くにあると便利 だと思う施設	計	男性								女性								不明		
		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	不明	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	不明	70歳代	60歳代	
商業施設・商店・商店街																				
スーパーマーケット	39	3	3	1	2	5				2	3	4	4	8	3					1
商店（個人商店を含む）	8			1	1	1							1	1	3					
書店	5	1			1	1							1	1						
大型商業施設	4			2							1	1								
明治屋	3	1					2													
マルキョウ	2									1				1						
商業施設（イオン、ゆめタウン等）	2									1										1
ショッピングセンター・モール	2		1					1												
商店街	2					1						1								
ルミエール	1					1														
大型スーパー	1												1							
イオンモール	1												1							
売店（スーパーやコンビニなど）	1																1			
食料品店	1																			1
ショッピング店	1													1						
土産品店	1												1							
雑貨店	1													1						
和菓子店	1																			
パン屋	1																			
文具店	1													1						
レンタルショップ	1																			1
時計店	1						1													
ニトリ	1			1																
ユニクロ	1			1																
小計	82	5	6	4	4	12	1	0	0	4	6	6	10	13	8	0	0	1	2	
文化施設関連																				
図書館（子供向けを含む）	12			2		2	1				3	2	1		1					
公民館	3					1					1			1						
文化的施設	1													1						
太宰府館	1														1					
小学校のコミュニティセンター	1										1									
市の特産物を売る店を含む総合施設	1											1								
学習センター	1			1																
市営プール	1						1													
小計	21	0	0	3	0	4	1	0	0	0	5	3	1	2	2	0	0	0	0	
公園																				
子どもが遊べる公園	5			1							3	1								
水辺公園	4						2							1	1					
公園	3					1								2						
歴史スポーツ公園	1						1													
大きな公園	1												1							
公園便所	1						1													
近隣公園	1																1			
スポーツ公園	1																	1		
梅林公園	1																		1	
浦ノ城公園	1																		1	
遊歩道	1						1													
小計	20	0	0	1	0	2	4	0	0	0	3	1	1	3	5	0	0	0	0	
福祉関連施設																				
いきいき情報センター	9			1		2	2				1	1		1						1
子育て支援センター等（親子が気軽に 立ち寄れる場所を含む）	2									1	1									
デイサービス	1					1														
福祉健康センター	1												1							
保育所	1											1								
子育てサロン（ずっと保育士が在住 しており、10時から17時頃まで利用 できる場所）	1											1								
小計	15	0	0	1	0	3	2	0	0	1	4	1	1	1	0	0	0	0	1	
病院																				
病院	10	1				3	1			1	1		1	1	1					
総合病院	9				1	2	2			1			1	1						1
眼科の病院	1						1													
小児科	1		1																	
聖愛病院	1														1					
バセドウ病専門病院	1				1															
産婦人科病院	1											1								
小計	24	1	1	0	2	5	4	0	0	2	2	0	2	3	1	0	0	0	0	
コンビニエンス																				
コンビニエンスストア	11	2	4	1							2	1		1						
市民税納付、住民票発行などが出来 るコンビニ	1			1																
セブンイレブン	1										1									
小計	13	2	4	2	0	0	0	0	0	0	3	1	0	1	0	0	0	0	0	
公共交通機関関連																				
バス停	5					1						2		1	1					
JR駅（太宰府駅の新設を含む）	3					1	1							1						
駅	3					1					1	1								
西鉄	1		1																	
西鉄バス	1												1							
路線バス	1													1						
交通機関	1						1													
100円バス（まほろば号）	1																		1	
小計	16	0	1	0	0	3	2	0	0	0	1	3	1	3	2	0	0	0	0	

第3節 日頃の暮らし、行動について

問46S1. 家の近くにあると便利だと思う施設	計	男性								女性								不明	
		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	不明	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	不明	70歳代	60歳代
飲食関連																			
カフェ（喫茶店）	3			1								2							
レストラン	2					1								1					
ファミレス	1		1																
ファーストフード店	1		1																
飲食店	1													1					
食堂（普通の味を出してくれる店）	1						1												
小計	9	0	2	1	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0
薬局・ドラッグストア																			
薬局	3		1										1						1
ドラッグストア	3		1	1								1							
ドラッグ・コスモス	2										1	1							
ドラッグストア・コスモス	1													1					
小計	9	0	2	1	0	0	0	0	0	1	2	0	1	1	0	0	0	1	0
銀行・金融機関																			
銀行	2												2						
福岡銀行（窓口を含む）	3	1		1								1							
銀行関係	1												1						
銀行ATMの集まり	2											2							
小計	8	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	1	2	0	0	0	0	0
郵便局																			
郵便局	7		1				1			1			1	1	2				
郵便ポスト	1		1																
小計	8	0	2	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	1	2	0	0	0	0
市役所関連施設																			
市役所（支所を含む）	6					1	1				1		1	1	1				
24時間の市役所	1			1															
小計	7	0	0	1	0	1	1	0	0	0	1	0	1	1	1	0	0	0	0
娯楽施設																			
総合レクリエーションセンター	1													1					
トレーニングルームやお風呂やカラオケ等総合的娯楽運動施設	1													1					
みかさの湯（温泉）	1														1				
温泉（水中ウォーキングスペース有）	1													1					
映画館	1										1								
小計	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	1	0	0	0	0
学校関連																			
学校	3					1					1								1
小学校	1						1												
小計	4	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0
駐車場関連																			
コインパーキング	2											2							
駐車場	2											1		1					
小計	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0
派出書																			
交番・派出所	3												1		2				
小計	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0
スポーツ施設																			
屋内運動施設（フィットネス的空間、公民館の一部を利用する運動具の設置等）	1						1												
健康スポーツセンター	1													1					
ジム	1	1																	
小計	3	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
その他																			
太宰府天満宮	2		1																1
かまど神社	1																		1
災害時に使用出来る井戸水	1											1							
ゆめ畑	1													1					
ガラス張りで眺める場所	1													1					
スタジオ	1	1																	
イベントができる広場	1						1												
小計	8	1	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	1	2	0	0	0	0

20. 地域交通体系の整備

(1) バスの利便性に対する評価 (問 47)

●バスの利便性について『肯定派』は41.5%、『否定派』は28.3%となっている。

市内のバスは便利だと思うかについて、『肯定派』(「そう思う」(19.3%)と「どちらかといえばそう思う」(22.2%)の合計)は41.5%、一方、『否定派』(「そう思わない」(18.6%)と「どちらかといえばそう思わない」(9.7%)の合計)は28.3%で、『肯定派』の方が『否定派』よりも高くなっている。なお、「バスを利用しないのでわからない」は29.2%となっている。

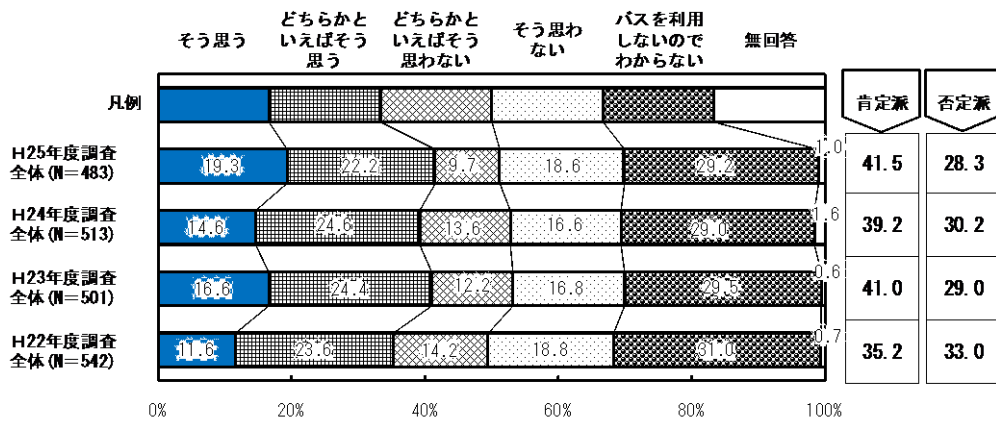
過去の調査結果と比べると、平成23年度以降、『肯定派』が4割程度、『否定派』が3割程度で推移しており、特に変化はみられない。

性別にみると、『肯定派』は男性(43.2%)の方が女性(39.7%)よりも高くなっている。

年代別にみると、『肯定派』が最も高いのは70歳以上(57.8%)、次いで60歳代(46.9%)の順となっている。

小学校区別にみると、『肯定派』が最も高いのは太宰府南小学校区(59.5%)、一方、『否定派』が最も高いのは国分小学校区(41.1%)で、『肯定派』(26.8%)よりも上回っている。

問 47. あなたは市内のバスは便利だと思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	バスを利用しないのでわからない	無回答	肯定派	否定派
全体		483	19.3	22.2	9.7	18.6	29.2	1.0	41.5	28.3
性別	男性	199	19.1	24.1	8.0	19.1	29.1	0.5	43.2	27.1
	女性	269	19.3	20.4	11.5	18.6	29.0	1.1	39.7	30.1
	無回答	15	20.0	26.7	-	13.3	33.3	6.7	46.7	13.3
年代別	20歳代	40	22.5	22.5	10.0	15.0	30.0	-	45.0	25.0
	30歳代	64	10.9	17.2	12.5	21.9	37.5	-	28.1	34.4
	40歳代	71	7.0	22.5	5.6	28.2	36.6	-	29.5	33.8
	50歳代	60	10.0	16.7	11.7	20.0	38.3	3.3	26.7	31.7
	60歳代	143	25.2	21.7	11.9	12.6	28.7	-	46.9	24.5
	70歳以上	102	28.4	29.4	6.9	18.6	13.7	2.9	57.8	25.5
	無回答	3	33.3	-	-	33.3	33.3	-	33.3	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	78	11.5	28.2	11.5	14.1	33.3	1.3	39.7	25.6
	太宰府東小学校区	38	23.7	15.8	13.2	23.7	21.1	2.6	39.5	36.9
	太宰府南小学校区	42	26.2	33.3	11.9	19.0	9.5	-	59.5	30.9
	水城小学校区	63	22.2	20.6	9.5	9.5	36.5	1.6	42.8	19.0
	水城西小学校区	54	18.5	16.7	13.0	22.2	29.6	-	35.2	35.2
	太宰府西小学校区	89	25.8	24.7	5.6	22.5	19.1	2.2	50.5	28.1
	国分小学校区	56	14.3	12.5	10.7	30.4	32.1	-	26.8	41.1
	わからない	55	12.7	18.2	7.3	10.9	50.9	-	30.9	18.2
	無回答	8	25.0	50.0	-	12.5	12.5	-	75.0	12.5

(2) コミュニティバスの利便性に対する評価 (問 47 付問 1)

●コミュニティバスの利便性について『肯定派』は 43.5%、『否定派』は 18.2%となっている。

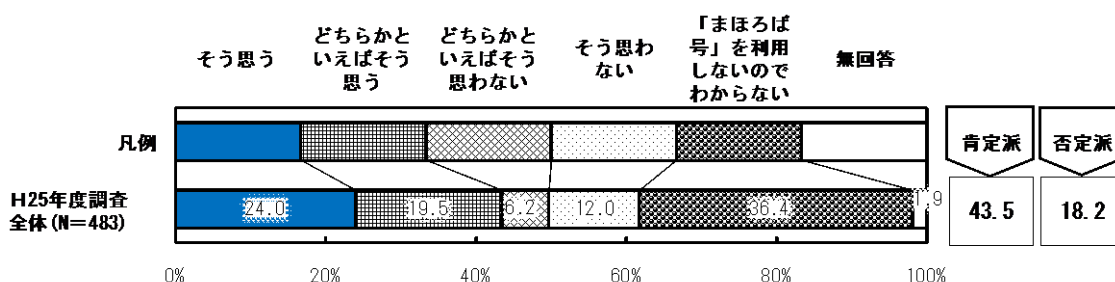
コミュニティバスまほろば号は便利だと思うかについて、『肯定派』(「そう思う」(24.0%)と「どちらかといえばそう思う」(19.5%)の合計)は 43.5%、一方、『否定派』(「そう思わない」(12.0%)と「どちらかといえばそう思わない」(6.2%)の合計)は 18.2%で、『肯定派』の方が『否定派』よりも高くなっている。

性別にみると、『肯定派』は男女ともに4割を超えており、差はみられない。

年代別にみると、30歳代を除いて『肯定派』の方が『否定派』よりも上回っている。『肯定派』が最も高いのは70歳以上(60.7%)となっている。なお、30歳代は『肯定派』と『否定派』(いずれも28.2%)が同程度となっている。

小学校区別にみると、いずれも『肯定派』の方が『否定派』よりも上回っている。『肯定派』が最も高いのは太宰府西小学校区(56.1%)となっている。

問 47 付問 1. 市内のバスの中でコミュニティバスまほろば号についておたずねします。
まほろば号は便利だと思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	思いど うえら ばそう と	思いど わえち なばら いそか と	いそ う思 わな い	わし号 かな ーま ほろ ばの 利用 ば	無 回 答	肯 定 派	否 定 派
全体		483	24.0	19.5	6.2	12.0	36.4	1.9	43.5	18.2
性別	男性	199	23.6	20.6	6.0	12.6	36.2	1.0	44.2	18.6
	女性	269	24.9	18.6	6.7	11.9	36.1	1.9	43.5	18.6
	無回答	15	13.3	20.0	-	6.7	46.7	13.3	33.3	6.7
年代別	20歳代	40	27.5	15.0	5.0	15.0	37.5	-	42.5	20.0
	30歳代	64	14.1	14.1	9.4	18.8	42.2	1.6	28.2	28.2
	40歳代	71	8.5	22.5	7.0	16.9	43.7	1.4	31.0	23.9
	50歳代	60	20.0	16.7	8.3	11.7	40.0	3.3	36.7	20.0
	60歳代	143	26.6	21.0	4.9	7.7	39.9	-	47.6	12.6
	70歳以上	102	38.2	22.5	4.9	9.8	20.6	3.9	60.7	14.7
	無回答	3	33.3	-	-	-	33.3	33.3	33.3	-
小学校区別	太宰府小学校区	78	21.8	32.1	5.1	7.7	32.1	1.3	53.9	12.8
	太宰府東小学校区	38	13.2	15.8	2.6	13.2	50.0	5.3	29.0	15.8
	太宰府南小学校区	42	14.3	14.3	4.8	16.7	50.0	-	28.6	21.5
	水城小学校区	63	30.2	11.1	7.9	1.6	47.6	1.6	41.3	9.5
	水城西小学校区	54	24.1	22.2	7.4	16.7	29.6	-	46.3	24.1
	太宰府西小学校区	89	34.8	21.3	5.6	16.9	19.1	2.2	56.1	22.5
	国分小学校区	56	19.6	21.4	10.7	16.1	30.4	1.8	41.0	26.8
	わからない	55	21.8	9.1	5.5	9.1	52.7	1.8	30.9	14.6
無回答	8	25.0	25.0	-	12.5	25.0	12.5	50.0	12.5	

(3) 鉄道の利便性に対する評価 (問 48)

●鉄道の利便性について『肯定派』は 70.6%となっており、利便性はバス(41.5%)よりも高い。

市内の鉄道が便利かどうかについて、『肯定派』(「そう思う」(31.9%)と「どちらかといえばそう思う」(38.7%)の合計)は 70.6%、一方、『否定派』(「そう思わない」(11.6%)と「どちらかといえばそう思わない」(7.2%)の合計)は 18.8%で、『肯定派』が7割を占めて高くなっている。

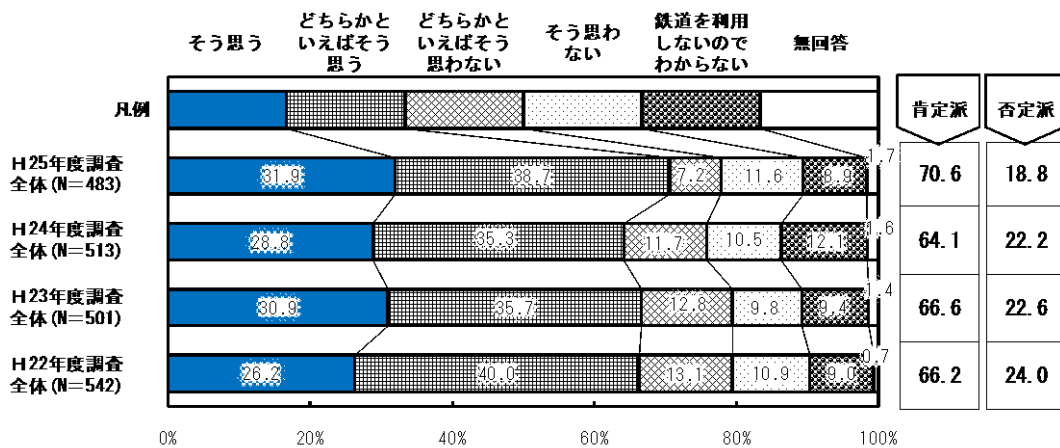
過去の調査結果と比べると、『肯定派』は前回調査(64.1%)から 6.5ポイント増加している一方、『否定派』が 3.4ポイント減少している。

性別にみると、『肯定派』は男女ともに7割を占めており、差はみられない。

年代別にみると、『肯定派』はいずれも6割を超えており、最も高いのは20歳代(77.5%)、次いで40歳代(77.4%)となっている。

小学校区別にみると、いずれも『肯定派』の方が『否定派』よりも高くなっている。なお、『肯定派』が最も高いのは水城小学校区(79.3%)となっている。

問 48. あなたは市内の鉄道は便利だと思いますか。(○は1つ)



	標本数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	鉄道を利用しないのでわからない	無回答	肯定派	否定派
全体	483	154	187	35	56	43	8	341	91
性別									
男性	199	31.7	39.7	7.5	11.1	9.0	1.0	71.4	18.6
女性	269	32.7	37.5	7.1	11.9	8.9	1.9	70.2	19.0
無回答	15	20.0	46.7	6.7	13.3	6.7	6.7	66.7	20.0
年代別									
20歳代	40	35.0	42.5	7.5	10.0	5.0	-	77.5	17.5
30歳代	64	32.8	35.9	14.1	10.9	6.3	-	68.7	25.0
40歳代	71	36.6	40.8	2.8	8.5	11.3	-	77.4	11.3
50歳代	60	26.7	38.3	11.7	10.0	10.0	3.3	65.0	21.7
60歳代	143	32.2	39.2	4.2	14.0	9.8	0.7	71.4	18.2
70歳以上	102	28.4	38.2	6.9	12.7	8.8	4.9	66.6	19.6
無回答	3	66.7	-	33.3	-	-	-	66.7	33.3
小学校区別									
太宰府小学校区	78	39.7	32.1	10.3	7.7	7.7	2.6	71.8	18.0
太宰府東小学校区	38	31.6	34.2	7.9	10.5	10.5	5.3	65.8	18.4
太宰府南小学校区	42	26.2	35.7	11.9	9.5	16.7	-	61.9	21.4
水城小学校区	63	46.0	33.3	4.8	9.5	4.8	1.6	79.3	14.3
水城西小学校区	54	40.7	37.0	5.6	7.4	9.3	-	77.7	13.0
太宰府西小学校区	89	20.2	37.1	4.5	25.8	10.1	2.2	57.3	30.3
国分小学校区	56	19.6	51.8	8.9	8.9	8.9	1.8	71.4	17.8
わからない	55	29.1	52.7	5.5	7.3	5.5	-	81.8	12.8
無回答	8	50.0	25.0	12.5	-	12.5	-	75.0	12.5

(4) 道路の円滑性に対する評価 (問 49)

●道路の円滑性について『否定派』が58.2%で、『肯定派』(35.6%)よりも高い。

市内の道路は渋滞もなく円滑に移動できるかについて、『肯定派』(「そう思う」(5.0%)と「どちらかといえばそう思う」(30.6%)の合計)は35.6%、一方、『否定派』(「そう思わない」(37.9%)と「どちらかといえばそう思わない」(20.3%)の合計)は58.2%で、『否定派』の方が『肯定派』よりも高くなっている。

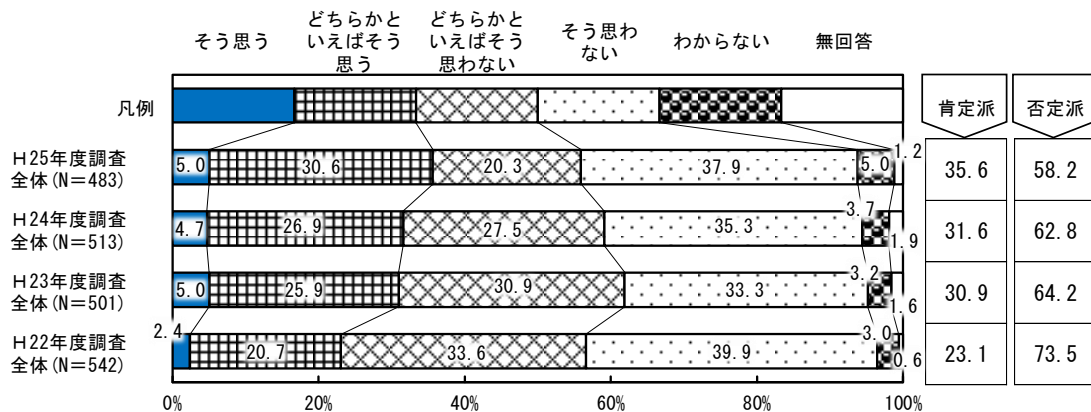
過去の調査結果と比べると、『肯定派』は増加傾向となっている。

性別にみると、男女ともに『否定派』の方が『肯定派』よりも上回っている。

年代別にみると、いずれも『否定派』の方が『肯定派』よりも上回っている。なお、『肯定派』が最も高いのは70歳以上(42.1%)となっている。

小学校区別にみると、いずれも『否定派』の方が『肯定派』よりも上回っている。なお、『否定派』が高いのは太宰府小学校区(78.2%)、太宰府東小学校区(65.8%)となっている。

問 49. あなたは市内の道路全般について、渋滞もなく円滑に移動できると思いますか。
(○は1つ)



		標本数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない	無回答	肯定派	否定派
全体		483	5.0	30.6	20.3	37.9	5.0	6	172	281
性別	男性	199	3.5	30.7	22.1	40.2	3.0	0.5	34.2	62.3
	女性	269	6.3	30.5	19.0	36.4	6.3	1.5	36.8	55.4
	無回答	15	-	33.3	20.0	33.3	6.7	6.7	33.3	53.3
年代別	20歳代	40	5.0	30.0	25.0	35.0	5.0	-	35.0	60.0
	30歳代	64	6.3	25.0	28.1	37.5	3.1	-	31.3	65.6
	40歳代	71	-	33.8	18.3	45.1	2.8	-	33.8	63.4
	50歳代	60	3.3	30.0	20.0	38.3	5.0	3.3	33.3	58.3
	60歳代	143	4.9	30.1	21.7	35.7	7.7	-	35.0	57.4
	70歳以上	102	7.8	34.3	13.7	37.3	3.9	2.9	42.1	51.0
	無回答	3	33.3	-	-	33.3	-	33.3	33.3	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	78	3.8	15.4	17.9	60.3	1.3	1.3	19.2	78.2
	太宰府東小学校区	38	7.9	15.8	21.1	44.7	5.3	5.3	23.7	65.8
	太宰府南小学校区	42	7.1	31.0	19.0	40.5	2.4	-	38.1	59.5
	水城小学校区	63	1.6	41.3	20.6	28.6	6.3	1.6	42.9	49.2
	水城西小学校区	54	5.6	33.3	18.5	38.9	3.7	-	38.9	57.4
	太宰府西小学校区	89	6.7	36.0	18.0	34.8	3.4	1.1	42.7	52.8
	国分小学校区	56	3.6	35.7	30.4	25.0	5.4	-	39.3	55.4
	わからない	55	3.6	30.9	21.8	29.1	14.5	-	34.5	50.9
	無回答	8	12.5	50.0	-	25.0	-	12.5	62.5	25.0

(5) 外出時の移動手段 (問 50)

●日頃の外出時の交通手段は「自家用車」(58.8%)が最も多い。

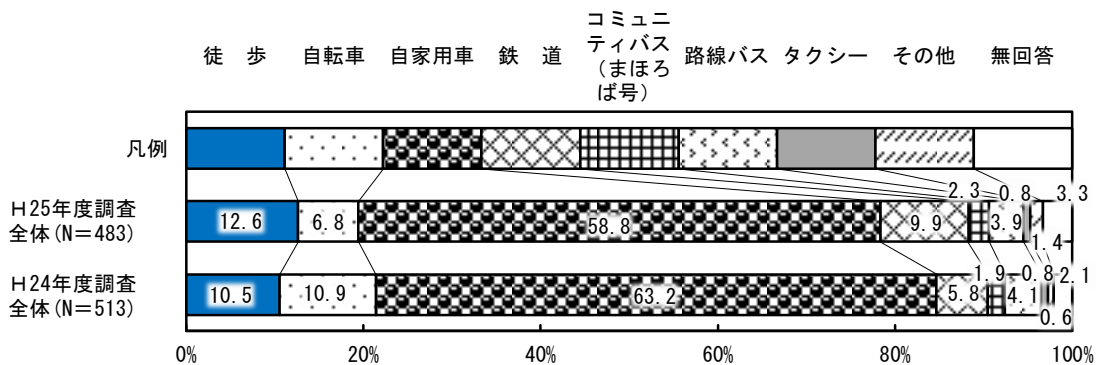
日頃の外出時における交通手段は、「自家用車」が 58.8%で最も高く、他に比べて突出している。次いで「徒歩」(12.6%)、「鉄道」(9.9%)、「自転車」(6.8%)、「路線バス」(3.9%)の順となっている。

性別にみると、男女ともに「自家用車」が最も高いが、男性は 71.4%、女性は 50.6%と差がみられる。

年代別にみると、いずれも「自家用車」が最も高いが、20 歳代は 35.0%と他の年代に比べ低く、その代替として「鉄道」(30.0%)が高くなっている。

小学校区別にみると、いずれも「自家用車」が最も高いが、水城小学校区(42.9%)、太宰府東小学校区(47.4%)は比較的低く、その代替として「鉄道」や「路線バス」の利用がみられる。

問 50. あなたは日頃、どのような手段で外出しますか。(○は1つ)



		標本数	徒歩	自転車	自家用車	鉄道	バス (まほろば号)	路線バス	タクシー	その他	無回答
全体		483	12.6	6.8	58.8	9.9	2.3	3.9	0.8	1.4	3.3
性別	男性	199	12.1	6.5	71.4	5.5	1.0	2.0	0.5	-	1.0
	女性	269	12.3	6.7	50.6	13.4	3.0	5.6	0.7	2.6	5.2
	無回答	15	26.7	13.3	40.0	6.7	6.7	-	6.7	-	-
年代別	20歳代	40	17.5	7.5	35.0	30.0	-	-	-	-	10.0
	30歳代	64	10.9	12.5	64.1	6.3	3.1	1.6	-	-	1.6
	40歳代	71	8.5	4.2	67.6	14.1	1.4	-	-	1.4	2.8
	50歳代	60	5.0	8.3	58.3	15.0	3.3	5.0	-	-	5.0
	60歳代	143	13.3	7.0	63.6	6.3	2.8	4.2	-	2.1	0.7
	70歳以上	102	16.7	3.9	52.9	3.9	2.0	8.8	3.9	2.9	4.9
	無回答	3	66.7	-	33.3	-	-	-	-	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	78	16.7	6.4	53.8	12.8	2.6	-	1.3	2.6	3.8
	太宰府東小学校区	38	15.8	2.6	47.4	7.9	-	21.1	-	-	5.3
	太宰府南小学校区	42	9.5	4.8	73.8	-	-	11.9	-	-	-
	水城小学校区	63	15.9	11.1	42.9	22.2	1.6	-	1.6	3.2	1.6
	水城西小学校区	54	14.8	9.3	63.0	9.3	1.9	-	-	1.9	-
	太宰府西小学校区	89	7.9	5.6	68.5	4.5	3.4	4.5	1.1	2.2	2.2
	国分小学校区	56	10.7	5.4	64.3	3.6	5.4	-	1.8	-	8.9
	わからない	55	10.9	9.1	58.2	18.2	-	1.8	-	-	1.8
無回答	8	12.5	-	37.5	-	12.5	12.5	-	-	25.0	

21. 産業の振興（問 51）

●日頃買い物する場所は「太宰府市」（64.4％）が最も高い。
 ●太宰府南小学校区は「筑紫野市」の方が高く、他の小学校区と傾向が異なる。

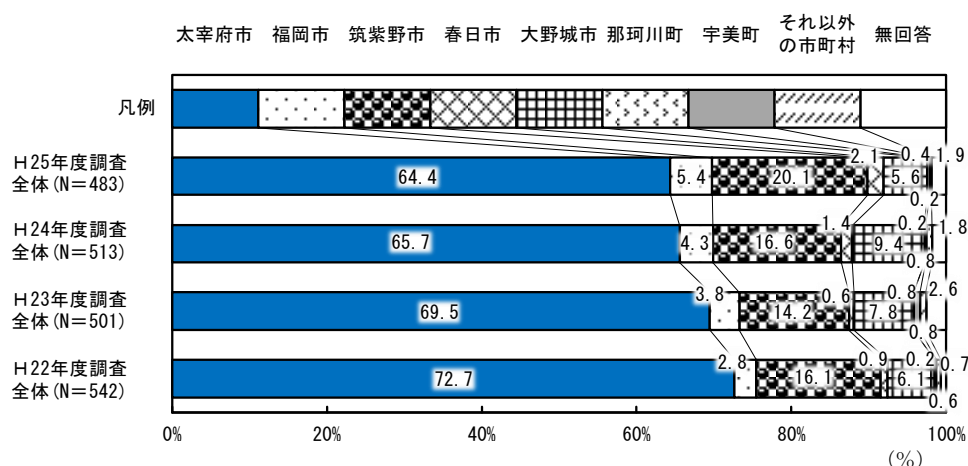
日頃主に買い物する場所については、「太宰府市」が 64.4％で最も高く、全体の 6 割を超えている。次いで「筑紫野市」（20.1％）、「大野城市」（5.6％）、「福岡市」（5.4％）の順となっている。

過去の調査結果と比べると、「太宰府市」は減少傾向となっている。一方、「筑紫野市」は平成 23 年度以降、増加傾向となっている。

年代別でみると、いずれも「太宰府市」が最も高くなっているものの、2 位は 20 歳代が「福岡市」、30～70 歳以上は「筑紫野市」となっている。

小学校区別にみると、太宰府南小学校区を除いて「太宰府市」が最も高くなっている。なお、太宰府南小学校区は「筑紫野市」（66.7％）が最も高くなっている。

問 51. あなたは日頃、主にどこで買い物していますか。（〇は 1 つ）



	標本数	太宰府市	福岡市	筑紫野市	春日市	大野城市	那珂川町	宇美町	のそ市れ町以外	無回答
全体	483	64.4	5.4	20.1	2.1	5.6	-	0.4	0.2	1.9
性別										
男性	199	63.8	6.0	20.1	2.0	6.5	-	-	-	1.5
女性	269	64.3	5.2	20.1	2.2	5.2	-	0.7	0.4	1.9
無回答	15	73.3	-	20.0	-	-	-	-	-	6.7
年代別										
20歳代	40	60.0	22.5	12.5	-	5.0	-	-	-	-
30歳代	64	60.9	9.4	20.3	4.7	3.1	-	-	-	1.6
40歳代	71	59.2	2.8	23.9	1.4	7.0	-	1.4	1.4	2.8
50歳代	60	61.7	5.0	20.0	1.7	8.3	-	-	-	3.3
60歳代	143	69.2	2.1	22.4	0.7	5.6	-	-	-	-
70歳以上	102	66.7	2.9	16.7	3.9	4.9	-	1.0	-	3.9
無回答	3	66.7	-	33.3	-	-	-	-	-	-
小学校区別										
太宰府小学校区	78	67.9	6.4	16.7	2.6	1.3	-	1.3	1.3	2.6
太宰府東小学校区	38	63.2	5.3	26.3	-	2.6	-	-	-	2.6
太宰府南小学校区	42	33.3	-	66.7	-	-	-	-	-	-
水城小学校区	63	61.9	7.9	20.6	3.2	4.8	-	-	-	1.6
水城西小学校区	54	79.6	5.6	9.3	-	5.6	-	-	-	-
太宰府西小学校区	89	74.2	3.4	6.7	4.5	7.9	-	-	-	3.4
国分小学校区	56	64.3	10.7	7.1	1.8	16.1	-	-	-	-
わからない	55	56.4	3.6	29.1	1.8	3.6	-	1.8	-	3.6
無回答	8	62.5	-	25.0	-	12.5	-	-	-	-

22. 文化遺産の保存と活用（問 52）

●市の歴史文化遺産を誇りに思っている人は 92.9%となっている。

市の歴史文化遺産を誇りに思うかについて、『肯定派』（「そう思う」（59.2%）と「どちらかといえばそう思う」（33.7%）の合計）は 92.9%、一方、『否定派』（「そう思わない」（1.9%）と「どちらかといえばそう思わない」（3.3%）の合計）は 5.2%で、『肯定派』が 9 割を占めて高くなっている。

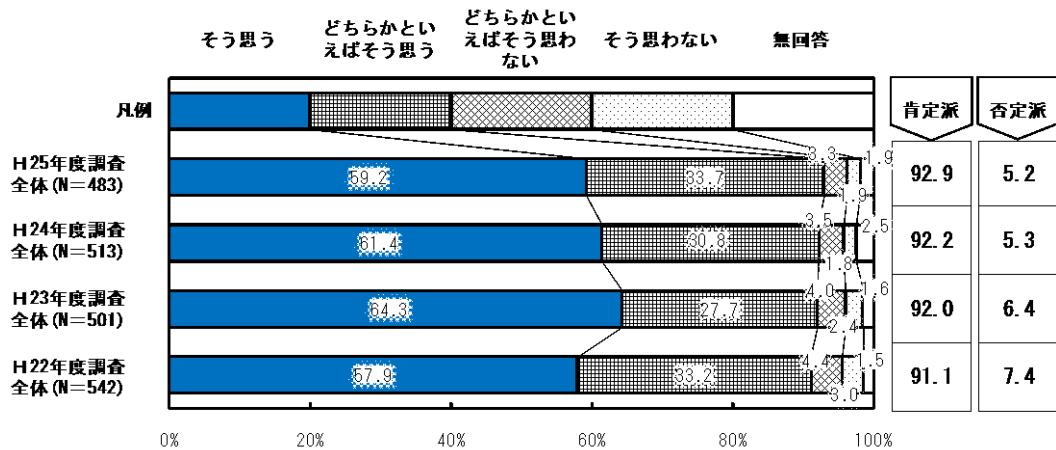
過去の調査結果と比べると、『肯定派』が 9 割を占めている傾向は変わらない。

性別にみると、男女ともに『肯定派』が 9 割を占めているが、最も肯定的な「そう思う」の割合は女性（61.3%）の方が男性（56.8%）よりも高くなっている。

年代別にみると、いずれも『肯定派』が 9 割を超えている。

小学校区別にみると、太宰府東（86.8%）と国分（87.5%）の 2 小学校区を除き、『肯定派』が 9 割を超えている。

問 52. あなたは市内の歴史文化遺産を誇りに思いますか。（○は 1 つ）



		標本数	そう思う	思いど うえち ばらそ うと	思いど えちな ばらそ うと	いそう 思わな	無回 答	肯定 派	否定 派
全体		483	59.2	33.7	3.3	1.9	9	449	25
性別	男性	199	56.8	37.2	2.5	2.5	1.0	94.0	5.0
	女性	269	61.3	31.6	4.1	1.1	1.9	92.9	5.2
	無回答	15	53.3	26.7	-	6.7	13.3	80.0	6.7
年代別	20歳代	40	60.0	32.5	7.5	-	-	92.5	7.5
	30歳代	64	56.3	34.4	6.3	3.1	-	90.7	9.4
	40歳代	71	45.1	47.9	5.6	1.4	-	93.0	7.0
	50歳代	60	48.3	43.3	3.3	1.7	3.3	91.6	5.0
	60歳代	143	62.9	31.5	2.1	2.8	0.7	94.4	4.9
	70歳以上	102	72.5	21.6	-	1.0	4.9	94.1	1.0
	無回答	3	33.3	33.3	-	-	33.3	66.6	-
小学校区別	太宰府小学校区	78	53.8	38.5	3.8	2.6	1.3	92.3	6.4
	太宰府東小学校区	38	50.0	36.8	5.3	-	7.9	86.8	5.3
	太宰府南小学校区	42	69.0	31.0	-	-	-	100.0	-
	水城小学校区	63	65.1	30.2	1.6	1.6	1.6	95.3	3.2
	水城西小学校区	54	55.6	37.0	3.7	1.9	1.9	92.6	5.6
	太宰府西小学校区	89	65.2	31.5	1.1	-	2.2	96.7	1.1
	国分小学校区	56	64.3	23.2	8.9	3.6	-	87.5	12.5
	わからない	55	50.9	41.8	1.8	5.5	-	92.7	7.3
無回答	8	37.5	37.5	12.5	-	12.5	75.0	12.5	

23. 観光基盤の整備充実

(1) 観光客の来訪についての評価 (問 53)

●観光客の来訪について好ましいと思っている人は86.7%となっている。

観光客が訪れることをどのように思うかについて、『好ましい』（「地域の活気や発展につながり、好ましいと思う」）（57.3%）と「どちらかといえば好ましいと思う」（29.4%）の合計は86.7%、一方、『好ましくない』（「ごみや渋滞などが発生し、好ましくない」）（6.8%）と「どちらかといえば好ましくない」（3.1%）の合計は9.9%で、『好ましい』が8割を占めて高くなっている。

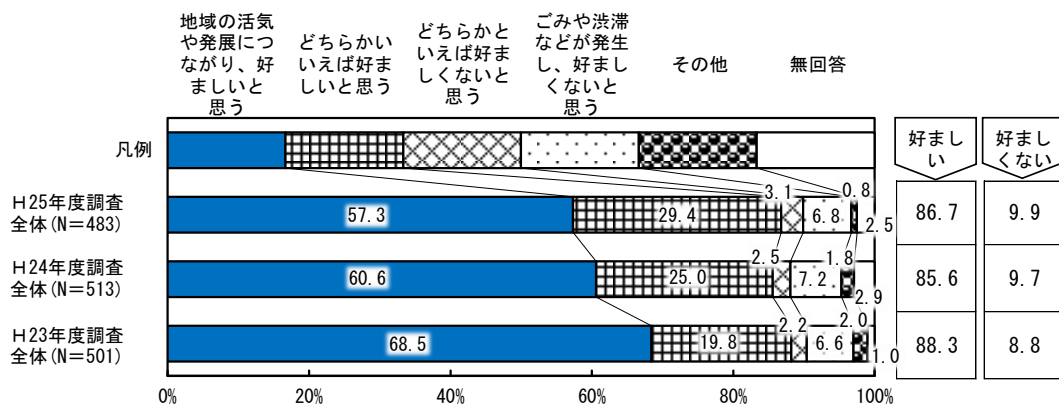
過去の調査結果と比べると、『好ましい』が8割を超えている傾向は変わらないものの、最も肯定的な「地域の活気や発展につながり、好ましいと思う」の割合は減少している。

性別にみると、『好ましい』は女性（89.9%）の方が男性（83.4%）よりも高くなっている。

年代別にみると、いずれも『好ましい』が8割を超えている。

学校区別にみると、太宰府東（76.3%）、太宰府（77.0%）、国分（80.4%）を除き、いずれも『好ましい』が9割を超えている。なお、最も肯定的な「地域の活気や発展につながり、好ましいと思う」の割合は水城西小学校区（75.9%）が最も高くなっている。

問 53. あなたは市内に多くの観光客が訪れることについてどのように思いますか。(〇は1つ)



		標本数	まなや地 しが発城 いり展の に活 好つ気	しいど いえち ばら 好か まと	しいど くえち なばら い好か まと	い好 ごま み生 しや くし 渋 滞	そ 他	無 回 答	好 ま し い	好 ま し く な い
全体		483	277	142	15	33	4	12	419	48
		100.0	57.3	29.4	3.1	6.8	0.8	2.5	86.7	9.9
性別	男性	199	58.8	24.6	4.5	8.5	1.0	2.5	83.4	13.0
	女性	269	57.2	32.7	1.9	5.6	0.7	1.9	89.9	7.5
	無回答	15	40.0	33.3	6.7	6.7	-	13.3	73.3	13.4
年代別	20歳代	40	52.5	27.5	2.5	12.5	5.0	-	80.0	15.0
	30歳代	64	65.6	23.4	3.1	4.7	1.6	1.6	89.0	7.8
	40歳代	71	53.5	39.4	1.4	5.6	-	-	92.9	7.0
	50歳代	60	55.0	38.3	-	3.3	-	3.3	93.3	3.3
	60歳代	143	58.0	26.6	4.9	8.4	0.7	1.4	84.6	13.3
	70歳以上	102	56.9	26.5	3.9	6.9	-	5.9	83.4	10.8
	無回答	3	66.7	-	-	-	-	33.3	66.7	-
小学校区別	太宰府小学校区	78	46.2	30.8	9.0	11.5	-	2.6	77.0	20.5
	太宰府東小学校区	38	44.7	31.6	5.3	10.5	-	7.9	76.3	15.8
	太宰府南小学校区	42	52.4	40.5	-	4.8	-	2.4	92.9	4.8
	水城西小学校区	63	57.1	33.3	1.6	6.3	-	1.6	90.4	7.9
	水城西小学校区	54	75.9	16.7	-	5.6	-	1.9	92.6	5.6
	太宰府西小学校区	89	65.2	25.8	1.1	3.4	1.1	3.4	91.0	4.5
	国分小学校区	56	50.0	30.4	5.4	8.9	5.4	-	80.4	14.3
	わからない	55	61.8	32.7	1.8	3.6	-	-	94.5	5.4
	無回答	8	62.5	12.5	-	12.5	-	12.5	75.0	12.5

(2) 観光客との交流やおもてなしのためにできること (問 54)

●「観光客に笑顔で接する」が44.3%で最も高い。

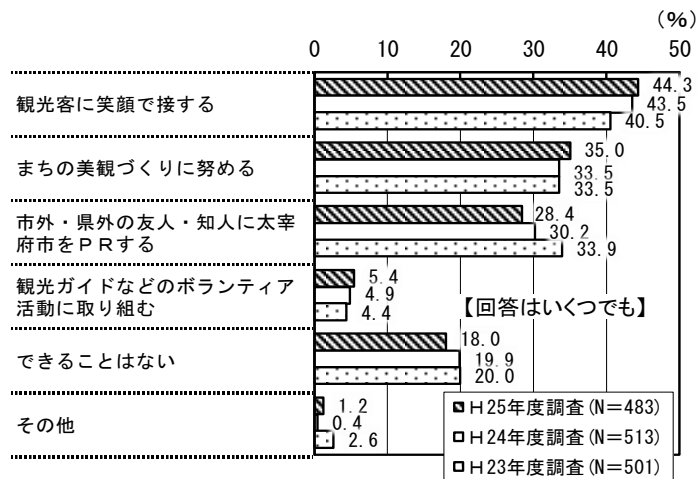
観光客にできることについて、「観光客に笑顔で接する」が44.3%で最も高く、次いで、「まちの美観づくりに努める」(35.0%)、「市外・県外の友人・知人に太宰府市をPRする」(28.4%)と続いている。なお、「できることはない」は18.0%となっている。

性別にみると、女性は「観光客に笑顔で接する」(50.2%)が最も高く、一方、男性は「まちの美観づくりに努める」(38.7%)が最も高くなっている。

年代別にみると、年代別に意見が分かれており、一定の傾向は見られない。

小学校区別にみると、太宰府小学校区を除いて「観光客に笑顔で接する」が最も高く、太宰府小学校区は「まちの景観づくりに努める」(43.6%)が最も高くなっている。なお、太宰府東小学校区は「できることはない」が31.6%で、他の小学校区に比べて高くなっている。

問 54. 市内を訪れた観光客との交流やおもてなしのために、あなた自身ができることがありますか。(〇はいくつでも)



	標本数	(%)						
		で観光客に笑顔	くまにの美観	R太友市取取観な	取友市取取観な	なで	そ	無
全体	483	214	169	137	26	87	6	18
	100.0	44.3	35.0	28.4	5.4	18.0	1.2	3.7
性別								
男性	199	37.2	38.7	32.7	8.0	19.6	0.5	3.5
女性	269	50.2	33.5	25.3	3.7	15.6	1.9	3.3
無回答	15	33.3	13.3	26.7	-	40.0	-	13.3
年代別								
20歳代	40	47.5	42.5	27.5	-	17.5	-	-
30歳代	64	43.8	45.3	25.0	-	12.5	-	1.6
40歳代	71	43.7	45.1	23.9	4.2	14.1	-	-
50歳代	60	50.0	35.0	33.3	6.7	18.3	1.7	3.3
60歳代	143	38.5	30.8	28.0	7.7	22.4	2.1	3.5
70歳以上	102	50.0	25.5	32.4	7.8	17.6	2.0	7.8
無回答	3	-	-	-	-	33.3	-	66.7
小学校区別								
太宰府小学校区	78	35.9	43.6	32.1	6.4	16.7	2.6	2.6
太宰府東小学校区	38	44.7	18.4	15.8	5.3	31.6	-	13.2
太宰府南小学校区	42	50.0	23.8	31.0	7.1	14.3	-	2.4
水城小学校区	63	57.1	46.0	30.2	4.8	12.7	1.6	1.6
水城西小学校区	54	40.7	40.7	22.2	3.7	14.8	1.9	1.9
太宰府西小学校区	89	44.9	37.1	29.2	9.0	14.6	1.1	5.6
国分小学校区	56	42.9	33.9	30.4	1.8	19.6	-	1.8
わからない	55	45.5	25.5	32.7	3.6	21.8	1.8	1.8
無回答	8	12.5	12.5	12.5	-	50.0	-	12.5

24. 国際交流・友好都市交流の推進

(1) 外国人との交流頻度 (問 55)

●市内在住の外国人との交流は、9割以上が「ほとんどしていない」。

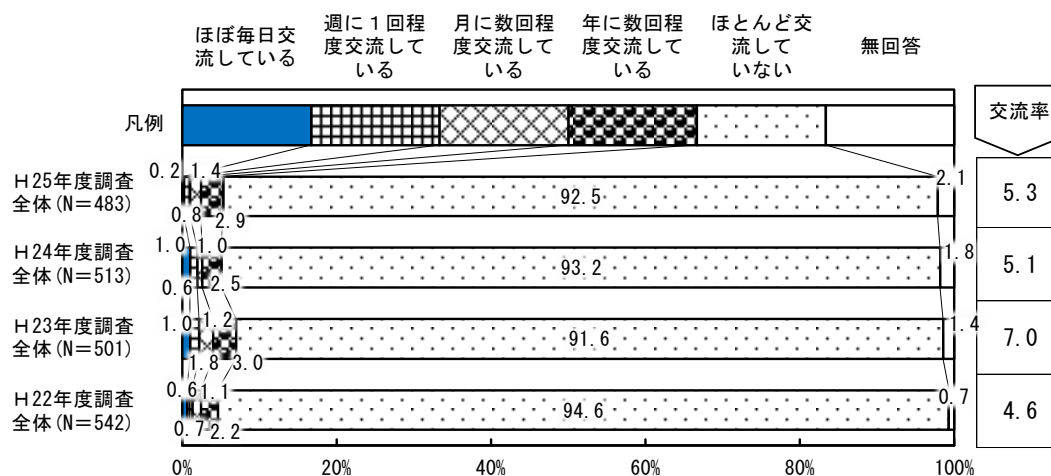
市内在住の外国人との交流について、『交流率』（「年に数回程度交流している」以上の交流頻度の合計）は5.3%と低く、「ほとんど交流していない」が92.5%と高くなっている。

過去の調査結果と比べると、『交流率』は5~7%で推移しており、特に変化はみられない。性別にみると、『交流率』は男性3.5%、女性6.7%で、ともに1割未満となっている。

年代別にみると、『交流率』が最も高いのは20歳代（10.0%）、次いで40歳代（8.4%）の順となっている。

小学校区別にみると、『交流率』が最も高いのは水城西小学校区（11.2%）となっている。

問 55. あなたは日頃から市内在住の外国人と交流していますか。(〇は1つ)



		標本数	ほぼ毎日交流している	週に1回程度交流している	月に数回程度交流している	年に数回程度交流している	ほとんど交流していない	無回答	交流率
全体		483	0.2	1.4	0.8	2.9	92.5	2.1	5.3
性別	男性	199	-	1.0	1.5	1.0	95.0	1.5	3.5
	女性	269	0.4	0.7	1.5	4.1	91.4	1.9	6.7
	無回答	15	-	-	-	6.7	80.0	13.3	6.7
年代別	20歳代	40	2.5	-	5.0	2.5	90.0	-	10.0
	30歳代	64	-	-	1.6	1.6	96.9	-	3.2
	40歳代	71	-	1.4	2.8	4.2	91.5	-	8.4
	50歳代	60	-	-	1.7	1.7	93.3	3.3	3.4
	60歳代	143	-	1.4	0.7	2.8	94.4	0.7	4.9
	70歳以上	102	-	1.0	-	3.9	89.2	5.9	4.9
	無回答	3	-	-	-	-	66.7	33.3	-
小学校区別	太宰府小学校区	78	-	-	3.8	1.3	93.6	1.3	5.1
	太宰府東小学校区	38	-	2.6	-	2.6	86.8	7.9	5.2
	太宰府南小学校区	42	-	2.4	-	7.1	90.5	-	9.5
	水城西小学校区	63	-	1.6	3.2	-	92.1	3.2	4.8
	水城西小学校区	54	-	1.9	-	9.3	88.9	-	11.2
	太宰府西小学校区	89	-	-	1.1	-	95.5	3.4	1.1
	国分小学校区	56	-	-	1.8	1.8	96.4	-	3.6
	わからない	55	1.8	-	-	3.6	94.5	-	5.4
	無回答	8	-	-	-	12.5	75.0	12.5	12.5

(2) 姉妹都市・友好都市の認知 (問 56)

●太宰府市の姉妹都市・友好都市締結については約 6 割が「どれも知らなかった」と回答している。

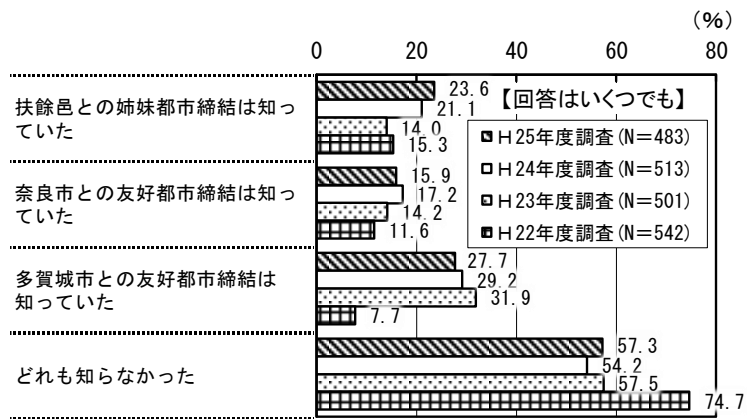
太宰府市の姉妹都市・友好都市締結の認知度について、「扶餘郡との姉妹都市締結は知っていた」は 23.6%、「奈良市との友好都市締結は知っていた」は 15.9%、「多賀城市との友好都市締結は知っていた」は 27.7%となっている。なお、「どれも知らなかった」は 57.3%で、約 6 割を占めて高くなっている。

過去の調査結果と比べると、「扶餘郡との姉妹都市締結は知っていた」は平成 23 年度から増加している一方、「多賀城市との友好都市締結は知っていた」は減少傾向がみられる。「奈良市との友好都市締結は知っていた」は前回まで増加していたが、今回は減少に転じている。

年代別にみると、40 歳代と 70 歳以上は「多賀城市との友好都市締結は知っていた」が高く、50～60 歳代は「扶餘郡との姉妹都市締結は知っていた」が高くなっている。なお、70 歳以上は「扶餘郡との姉妹都市締結は知っていた」や「奈良市との友好都市締結は知っていた」も比較的高くなっている。

小学校区別にみると、太宰府南、水城西、太宰府西の 3 小学校区は「扶餘郡との姉妹都市締結は知っていた」が最も高く、そのほかの 4 小学校区は「多賀城市との友好都市締結は知っていた」が最も高くなっている。

問 56. あなたは太宰府市が大韓民国の扶餘郡と姉妹都市を、奈良県奈良市と宮城県多賀城市とは友好都市をそれぞれ締結していることをご存知でしたか。(〇はいくつでも)



	標本数	認知内容 (%)				無回答 (%)
		扶餘郡との姉妹都市締結は知っていた	奈良市との友好都市締結は知っていた	多賀城市との友好都市締結は知っていた	どれも知らなかった	
全体	483	23.6	15.9	27.7	57.3	1.4
性別						
男性	199	24.6	16.1	30.2	57.8	1.0
女性	269	23.4	16.4	26.8	56.1	1.5
無回答	15	13.3	6.7	13.3	73.3	6.7
年代別						
20歳代	40	7.5	10.0	15.0	72.5	2.5
30歳代	64	6.3	14.1	17.2	78.1	-
40歳代	71	15.5	15.5	36.6	57.7	-
50歳代	60	23.3	11.7	20.0	60.0	1.7
60歳代	143	35.7	14.7	30.1	51.0	0.7
70歳以上	102	30.4	24.5	35.3	46.1	2.0
無回答	3	-	-	-	33.3	66.7
小学校区別						
太宰府小学校区	78	24.4	23.1	48.7	43.6	-
太宰府東小学校区	38	13.2	15.8	23.7	60.5	7.9
太宰府南小学校区	42	31.0	16.7	19.0	54.8	-
水城西小学校区	63	11.1	15.9	23.8	61.9	1.6
水城西小学校区	54	38.9	24.1	31.5	50.0	1.9
太宰府西小学校区	89	43.8	11.2	29.2	48.3	-
国分小学校区	56	16.1	14.3	28.6	58.9	1.8
わからない	55	1.8	9.1	9.1	87.3	-
無回答	8	-	-	-	87.5	12.5

(3) 姉妹都市・友好都市との交流頻度 (問 57)

● 姉妹・友好都市の人と交流している人は2%程度で、あまり交流はなされていない。

太宰府市の姉妹都市・友好都市の人との交流について、『交流率』(「年に数回程度交流している」以上の交流頻度の合計)は2.1%と低く、「ほとんど交流していない」が96.5%と高くなっている。

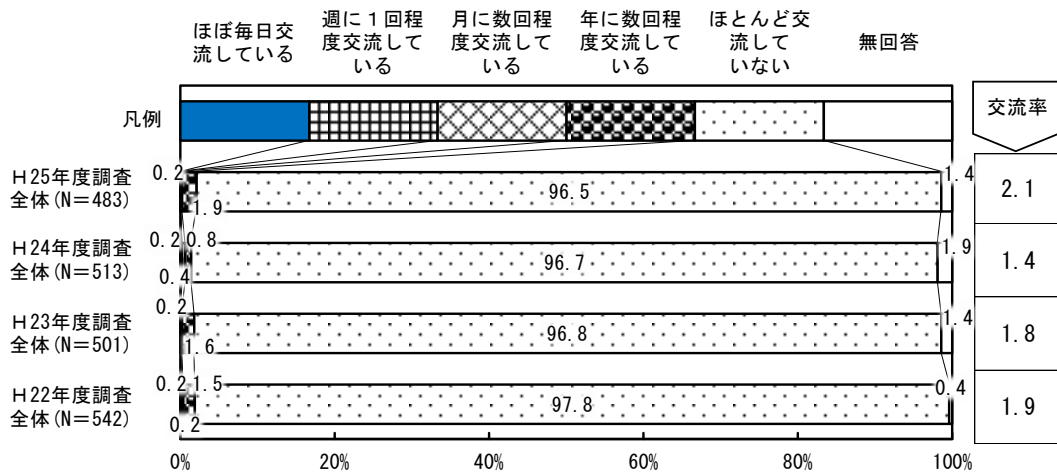
過去の調査結果と比べると、『交流率』は1~2%で推移しており、特に変化はみられない。

性別にみると、『交流率』は男性2.5%、女性1.9%で、いずれも低くなっている。

年代別にみると、いずれも『交流率』は低くなっている。

小学校区別にみると、いずれも『交流率』は低くなっている。

問 57. あなたは日頃から市の姉妹都市である大韓民国の扶餘郡や友好都市である奈良市、多賀城市の人たちと交流をしていますか。(○は1つ)



		標本数	い交流ほ	し程週	し程月	し程年	い交ほ	無回答	交流率
			る流ほ	て度に	て度に	て度年	な流と		
			し毎	い交1	い交数	い交数	いしん		
			て日	る流回	る流回	る流回	てど		
全体		483	-	-	1	9	466	7	10
		100.0	-	-	0.2	1.9	96.5	1.4	2.1
性別	男性	199	-	-	0.5	2.0	96.0	1.5	2.5
	女性	269	-	-	-	1.9	97.0	1.1	1.9
	無回答	15	-	-	-	-	93.3	6.7	-
年代別	20歳代	40	-	-	-	-	100.0	-	-
	30歳代	64	-	-	-	-	100.0	-	-
	40歳代	71	-	-	-	1.4	98.6	-	1.4
	50歳代	60	-	-	1.7	3.3	93.3	1.7	5.0
	60歳代	143	-	-	-	2.8	95.8	1.4	2.8
	70歳以上	102	-	-	-	2.0	96.1	2.0	2.0
	無回答	3	-	-	-	-	33.3	66.7	-
小学校区別	太宰府小学校区	78	-	-	-	1.3	98.7	-	1.3
	太宰府東小学校区	38	-	-	-	-	92.1	7.9	-
	太宰府南小学校区	42	-	-	-	4.8	95.2	-	4.8
	水城小学校区	63	-	-	-	1.6	95.2	3.2	1.6
	水城西小学校区	54	-	-	-	3.7	96.3	-	3.7
	太宰府西小学校区	89	-	-	1.1	3.4	95.5	-	4.5
	国分小学校区	56	-	-	-	-	98.2	1.8	-
	わからない	55	-	-	-	-	100.0	-	-
	無回答	8	-	-	-	-	87.5	12.5	-

(4) 外国人や留学生との交流方法 (問 58)

●外国人や留学生との交流を希望する内容は「語学講座」「意見交換会」「スポーツ交流」。

外国人や留学生と交流してみたい内容については、「語学講座」が 30.6%で最も高く、以下「意見交換会」(17.8%)、「スポーツ交流」(15.7%)、「ホームステイ」(10.6%)の順となっている。

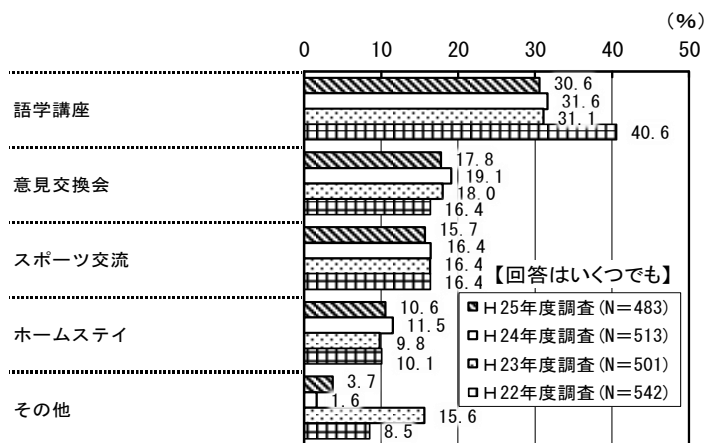
過去の調査結果と比べると、いずれの内容も前回調査と同程度となっている。

性別にみると、「語学講座」は男女ともに1位となっている他、全体と同じ順位となっている。

年代別にみると、各年代とも1位は「語学講座」であるが、20歳代は「スポーツ交流」と「ホームステイ」が高くなっている。また、30～40歳代は「スポーツ交流」が比較的高い。

小学校区別にみると、「語学講座」は水城小学校区と水城西小学校区、「意見交換」は太宰府南小学校区、「スポーツ交流」は水城西小学校区、「ホームステイ」は国分小学校区が、それぞれ他の小学校区に比べて高くなっている。

問 58. あなたは外国人や留学生とどのような交流をしたいですか。(〇はいくつでも)



		標本数	語学講座 (%)	意見交換 (%)	スポーツ交流 (%)	ホームステイ (%)	その他 (%)	無回答 (%)
全体		483	148	86	76	51	18	193
性別	男性	199	30.7	19.6	17.6	12.6	4.5	35.7
	女性	269	31.2	17.1	14.9	9.3	3.0	42.4
	無回答	15	20.0	6.7	6.7	6.7	6.7	53.3
年代別	20歳代	40	40.0	20.0	40.0	30.0	2.5	12.5
	30歳代	64	46.9	17.2	21.9	17.2	1.6	23.4
	40歳代	71	39.4	19.7	28.2	18.3	2.8	26.8
	50歳代	60	33.3	25.0	8.3	6.7	3.3	41.7
	60歳代	143	24.5	16.1	14.0	6.3	4.2	45.5
	70歳以上	102	17.6	14.7	1.0	2.0	5.9	60.8
	無回答	3	33.3	-	-	-	-	66.7
小学校区別	太宰府小学校区	78	20.5	24.4	16.7	9.0	5.1	41.0
	太宰府東小学校区	38	18.4	13.2	-	5.3	2.6	71.1
	太宰府南小学校区	42	23.8	26.2	16.7	7.1	2.4	33.3
	水城小学校区	63	39.7	23.8	15.9	14.3	3.2	36.5
	水城西小学校区	54	38.9	11.1	22.2	13.0	5.6	29.6
	太宰府西小学校区	89	29.2	14.6	18.0	10.1	3.4	39.3
	国分小学校区	56	32.1	14.3	16.1	16.1	1.8	39.3
	わからない	55	41.8	16.4	16.4	9.1	5.5	32.7
	無回答	8	25.0	-	-	-	-	75.0

25. 市民参画の推進

(1) 自治会活動への参加状況 (問 59)

●自治会活動に参加しているのは40.9%で、増加傾向がみられる。
 ●20歳代は他の年代に比べて参加率が極めて低い。

自治会活動について、『参加派』(「積極的に参加している」(7.2%)と「どちらかといえば参加している」(33.7%)の合計)は40.9%、一方、『不参加派』(「参加していない」(41.4%)と「どちらかといえば参加していない」(16.4%)の合計)は57.8%で、『不参加派』の方が『参加派』よりも高くなっている。

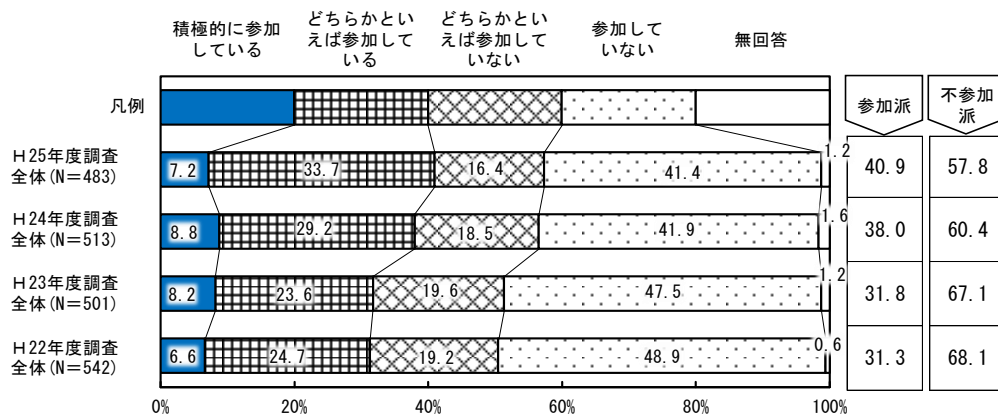
過去の調査結果と比べると、『参加派』は増加傾向がみられる。

性別にみると、『参加派』は男女ともに約4割で、差はみられない。

年代別にみると、年齢が高い層で『参加派』の割合が高く、70歳以上(52.9%)は5割を超えている。一方、20歳代は『参加派』が2.5%と特に低くなっている。

小学校区別にみると、太宰府(50.0%)と太宰府西(51.7%)の2小学校区で『参加派』が5割を超えて高くなっている。

問 59. あなたは自治会活動に参加していますか。(○は1つ)



		標本数	積極的に参加している	どちらかといえば参加している	どちらかといえば参加していない	参加していない	無回答	参加派	不参加派
全体		483	7.2	33.7	16.4	41.4	1.2	40.9	57.8
性別	男性	199	7.0	33.2	14.6	44.2	1.0	40.2	58.8
	女性	269	7.4	34.9	17.1	39.0	1.5	42.3	56.1
	無回答	15	6.7	20.0	26.7	46.7	-	26.7	73.4
年代別	20歳代	40	-	2.5	7.5	90.0	-	2.5	97.5
	30歳代	64	4.7	28.1	9.4	57.8	-	32.8	67.2
	40歳代	71	5.6	35.2	16.9	42.3	-	40.8	59.2
	50歳代	60	1.7	33.3	23.3	38.3	3.3	35.0	61.6
	60歳代	143	9.1	40.6	21.0	28.7	0.7	49.7	49.7
	70歳以上	102	13.7	39.2	12.7	32.4	2.0	52.9	45.1
	無回答	3	-	33.3	33.3	-	33.3	33.3	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	78	15.4	34.6	19.2	30.8	-	50.0	50.0
	太宰府東小学校区	38	5.3	39.5	13.2	36.8	5.3	44.8	50.0
	太宰府南小学校区	42	7.1	38.1	16.7	35.7	2.4	45.2	52.4
	水城小学校区	63	3.2	28.6	15.9	50.8	1.6	31.8	66.7
	水城西小学校区	54	9.3	37.0	13.0	40.7	-	46.3	53.7
	太宰府西小学校区	89	9.0	42.7	15.7	31.5	1.1	51.7	47.2
	国分小学校区	56	5.4	41.1	12.5	39.3	1.8	46.5	51.8
	わからない	55	-	3.6	20.0	76.4	-	3.6	96.4
	無回答	8	-	50.0	37.5	12.5	-	50.0	50.0

(2) ボランティア活動への参加状況 (問 60)

●ボランティア活動に参加しているのは 15.3%となっている。
 ●60 歳代以上では 2 割前後がボランティア活動に参加している。

ボランティア活動への参加について、『参加派』(「積極的に参加している」(5.2%)と「どちらかと言えば参加している」(10.1%)の合計)は15.3%、一方、『不参加派』(「参加していない」(70.0%)と「どちらかと言えば参加していない」(13.5%)の合計)は83.5%で、『不参加派』が8割を超えて高くなっている。

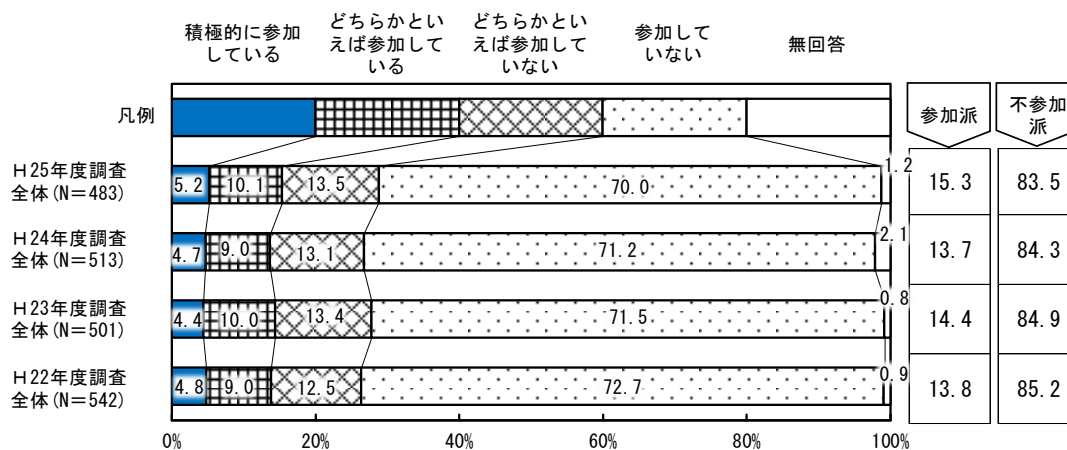
過去の調査結果と比べると、『参加派』は14~15%で推移しており、特に変化はみられない。

性別にみると、『参加派』は男性16.6%、女性15.2%で、差はみられない。

年代別にみると、年齢が高い層で『参加派』の割合が高く、最も高いのは70歳以上(24.5%)となっている。

小学校区別にみると、『参加派』が最も高いのは太宰府南小学校区(21.4%)となっている。

問 60. あなたは自治会活動以外のボランティア活動に参加していますか。(○は1つ)



		標本数	積極的に参加している	どちらかと言えば参加している	どちらかと言えば参加していない	参加していない	無回答	参加派	不参加派
全体		483	25	49	65	338	6	74	403
		100.0	5.2	10.1	13.5	70.0	1.2	15.3	83.5
性別	男性	199	5.5	11.1	14.6	67.8	1.0	16.6	82.4
	女性	269	5.2	10.0	11.9	71.4	1.5	15.2	83.3
	無回答	15	-	-	26.7	73.3	-	-	100.0
年代別	20歳代	40	-	-	5.0	95.0	-	-	100.0
	30歳代	64	1.6	6.3	3.1	89.1	-	7.9	92.2
	40歳代	71	4.2	9.9	16.9	69.0	-	14.1	85.9
	50歳代	60	3.3	11.7	16.7	66.7	1.7	15.0	83.4
	60歳代	143	7.7	9.8	15.4	66.4	0.7	17.5	81.8
	70歳以上	102	7.8	16.7	16.7	55.9	2.9	24.5	72.6
	無回答	3	-	-	-	66.7	33.3	-	66.7
小学校区別	太宰府小学校区	78	9.0	10.3	17.9	62.8	-	19.3	80.7
	太宰府東小学校区	38	7.9	5.3	2.6	76.3	7.9	13.2	78.9
	太宰府南小学校区	42	9.5	11.9	19.0	59.5	-	21.4	78.5
	水城小学校区	63	3.2	11.1	12.7	71.4	1.6	14.3	84.1
	水城西小学校区	54	5.6	13.0	7.4	74.1	-	18.6	81.5
	太宰府西小学校区	89	6.7	12.4	15.7	64.0	1.1	19.1	79.7
	国分小学校区	56	-	12.5	16.1	69.6	1.8	12.5	85.7
	わからない	55	-	1.8	10.9	87.3	-	1.8	98.2
	無回答	8	-	12.5	12.5	75.0	-	12.5	87.5

第4節 行政サービスについて

1. 情報の共有化と活用

(1) 市民と行政との情報の共有（問 61）

●市民と行政の情報の共有ができていないかについて『否定派』が 60.2%で、『肯定派』（31.0%）よりも多い。

市民と行政の情報の共有ができていないかについて、『肯定派』（「そう思う」（3.7%）と「どちらかといえばそう思う」（27.3%）の合計）は 31.0%、一方、『否定派』（「そう思わない」（20.9%）との合計）は 60.2%で、『否定派』の方が『肯定派』よりも高くなっている。

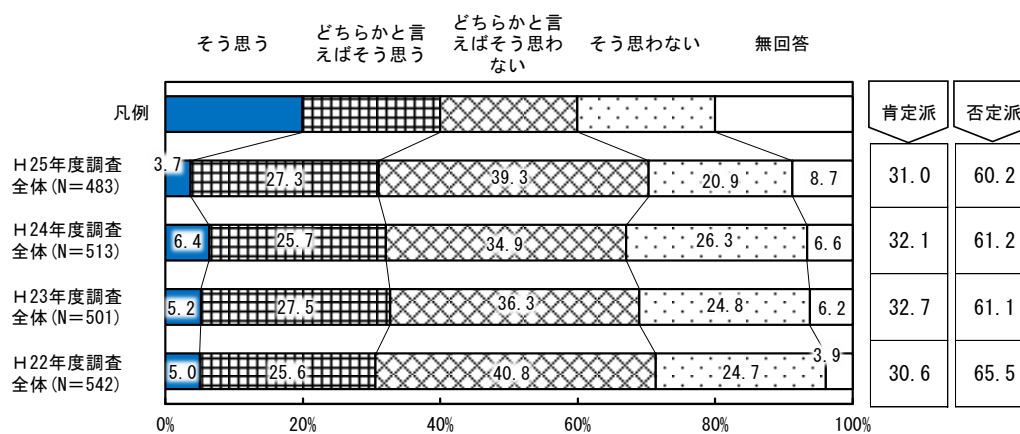
過去の調査結果と比べると、概ね『肯定派』は 3 割、『否定派』は 6 割で推移しており、特に変化はみられない。

性別にみると、男女ともに『否定派』の方が『肯定派』よりも高くなっており、性差はみられない。

年代別にみると、いずれも『否定派』の方が『肯定派』よりも高くなっている。

小学校区別にみると、いずれも『否定派』の方が『肯定派』よりも高くなっている。

問 61. あなたは市民と行政とがお互いに情報を共有できていると思いますか。（○は1つ）



	標本数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえば思わない	そう思わない	無回答	肯定派	否定派
全体	483	3.7	27.3	39.3	20.9	8.7	31.0	60.2
性別								
男性	199	4.0	26.6	37.7	23.6	8.0	30.6	61.3
女性	269	3.7	29.0	40.9	18.2	8.2	32.7	59.1
無回答	15	-	6.7	33.3	33.3	26.7	6.7	66.6
年代別								
20歳代	40	-	32.5	47.5	17.5	2.5	32.5	65.0
30歳代	64	1.6	23.4	40.6	29.7	4.7	25.0	70.3
40歳代	71	1.4	25.4	49.3	19.7	4.2	26.8	69.0
50歳代	60	1.7	36.7	45.0	10.0	6.7	38.4	55.0
60歳代	143	4.2	28.7	37.1	23.8	6.3	32.9	60.9
70歳以上	102	8.8	22.5	29.4	19.6	19.6	31.3	49.0
無回答	3	-	-	-	33.3	66.7	-	33.3
小学校区別								
太宰府小学校区	78	7.7	21.8	38.5	28.2	3.8	29.5	66.7
太宰府東小学校区	38	2.6	23.7	42.1	21.1	10.5	26.3	63.2
太宰府南小学校区	42	2.4	28.6	33.3	26.2	9.5	31.0	59.5
水城小学校区	63	3.2	28.6	44.4	12.7	11.1	31.8	57.1
水城西小学校区	54	5.6	29.6	40.7	18.5	5.6	35.2	59.2
太宰府西小学校区	89	4.5	31.5	37.1	13.5	13.5	36.0	50.6
国分小学校区	56	-	30.4	33.9	28.6	7.1	30.4	62.5
わからない	55	1.8	23.6	49.1	18.2	7.3	25.4	67.3
無回答	8	-	25.0	12.5	50.0	12.5	25.0	62.5

(2) 行政情報の接触状況 (問 62)

「広報だざいふ」

● 「広報だざいふ」の閲読率は83.3%となっている。

「広報だざいふ」について、『閲読率』(「いつも読んでいる」(52.0%)と「たまに読んでいる」(31.3%)の合計)は83.3%、一方、『非閲読率』(「読まない」(6.2%)と「ほとんど読まない」(7.9%)の合計)は14.1%で、『閲読率』は8割を超えて高くなっている。

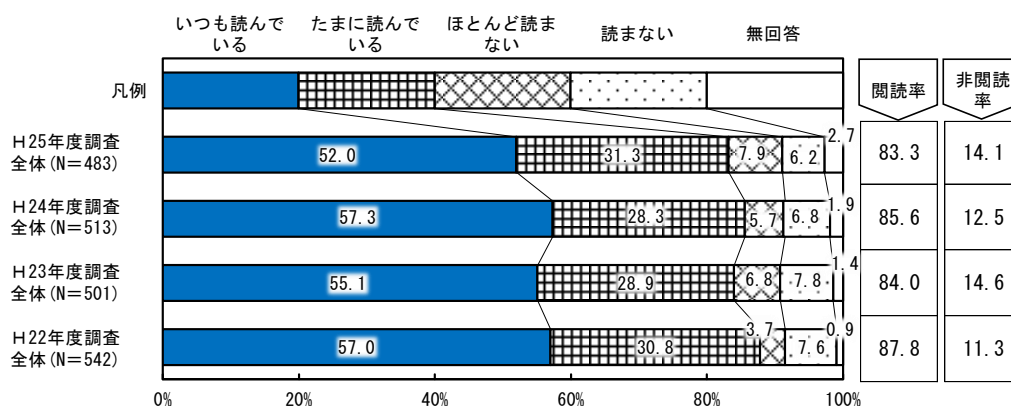
過去の調査結果と比べると、『閲読率』は前回調査(85.6%)から2.3ポイント減少している。

性別にみると、『閲読率』は女性(87.4%)の方が男性(79.4%)よりも高くなっている。

年代別にみると、20歳代を除いて『閲読率』は8割を超えている。なお、20歳代は60.0%で、特に「いつも読んでいる」は15.0%と、他の年代に比べて低くなっている。

小学校区別にみると、いずれも『閲読率』は8割を超えている。

問 62. あなたは「広報だざいふ」を読んでいますか。(○は1つ)



		標本数	いつも読んでいる	たまに読んでいる	ほとんど読まない	読まない	無回答	閲読率	非閲読率	
全体		483	251	151	38	30	13	402	68	
		100.0	52.0	31.3	7.9	6.2	2.7	83.3	14.1	
性別	男性	199	44.7	34.7	9.0	9.5	2.0	79.4	18.5	
	女性	269	58.0	29.4	7.1	3.3	2.2	87.4	10.4	
	無回答	15	40.0	20.0	6.7	13.3	20.0	60.0	20.0	
年代別	20歳代	40	15.0	45.0	17.5	22.5	-	60.0	40.0	
	30歳代	64	45.3	39.1	7.8	6.3	1.6	84.4	14.1	
	40歳代	71	59.2	29.6	2.8	7.0	1.4	88.8	9.8	
	50歳代	60	51.7	28.3	10.0	8.3	1.7	80.0	18.3	
	60歳代	143	55.2	33.6	6.3	2.8	2.1	88.8	9.1	
	70歳以上	102	62.7	20.6	8.8	2.9	4.9	83.3	11.7	
	無回答	3	-	33.3	-	-	66.7	33.3	-	
小学校区別	太宰府小学校区	78	64.1	20.5	5.1	7.7	2.6	84.6	12.8	
	太宰府東小学校区	38	52.6	28.9	7.9	2.6	7.9	81.5	10.5	
	太宰府南小学校区	42	54.8	38.1	7.1	-	-	92.9	7.1	
	水城小学校区	63	47.6	33.3	7.9	7.9	3.2	80.9	15.8	
	水城西小学校区	54	59.3	29.6	11.1	-	-	88.9	11.1	
	太宰府西小学校区	89	50.6	39.3	4.5	3.4	2.2	89.9	7.9	
	国分小学校区	56	46.4	37.5	5.4	7.1	3.6	83.9	12.5	
	わからない	55	40.0	21.8	16.4	20.0	1.8	61.8	36.4	
		無回答	8	37.5	37.5	12.5	-	12.5	75.0	12.5

「議会だより」

●「議会だより」の閲読率は54.3%となっている。

「議会だより」について、『閲読率』（「いつも読んでいる」（19.9%）と「たまに読んでいる」（34.4%）の合計）は54.3%、一方、『非閲読率』（「読まない」（16.6%）と「ほとんど読まない」（20.3%）の合計）は36.9%で、『閲読率』は5割を超えている。

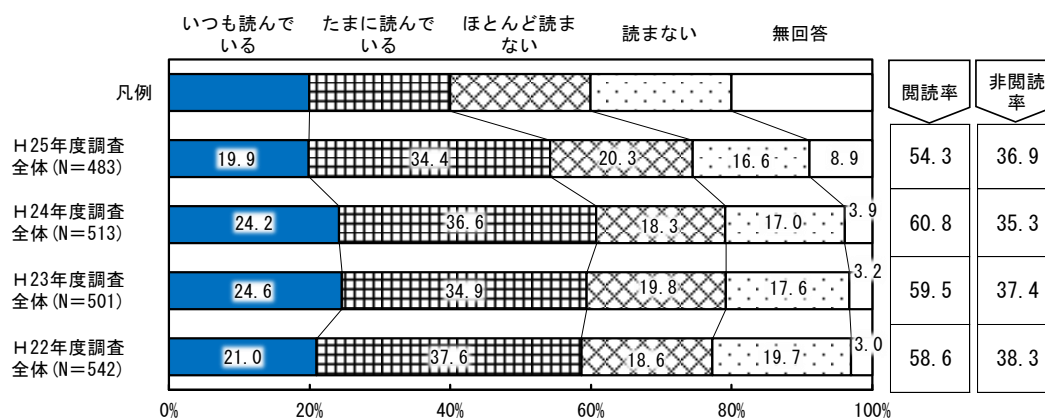
過去の調査結果と比べると、『閲読率』は前回調査（60.8%）から6.5ポイント減少している。

性別にみると、『閲読率』は男性（56.3%）の方が女性（53.9%）よりもやや高くなっている。

年代別にみると、年齢が高い層で『閲読率』が高くなっており、最も高いのは70歳以上（64.7%）となっている。

小学校区別にみると、『閲読率』が最も高いのは太宰府東小学校区（65.7%）、一方、最も低いのは水城小学校区（46.0%）となっている。

問 62. あなたは「太宰府市議会だより」を読んでいますか。（○は1つ）



		標本数	い で つ い も る 読	ん た で ま い る 読	読 ほ と な ん ど い な い	読 ま な い	無 回 答	閲 読 率	非 閲 読 率
全体		483	96	166	98	80	43	262	178
性別	男性	199	22.1	34.2	17.1	18.6	8.0	56.3	35.7
	女性	269	18.6	35.3	22.7	15.6	7.8	53.9	38.3
	無回答	15	13.3	20.0	20.0	6.7	40.0	33.3	26.7
年代別	20歳代	40	-	35.0	22.5	42.5	-	35.0	65.0
	30歳代	64	10.9	34.4	18.8	32.8	3.1	45.3	51.6
	40歳代	71	22.5	25.4	26.8	16.9	8.5	47.9	43.7
	50歳代	60	15.0	43.3	20.0	15.0	6.7	58.3	35.0
	60歳代	143	21.0	37.1	21.7	9.1	11.2	58.1	30.8
	70歳以上	102	33.3	31.4	14.7	7.8	12.7	64.7	22.5
	無回答	3	-	33.3	-	-	66.7	33.3	-
小学校区別	太宰府小学校区	78	29.5	33.3	16.7	12.8	7.7	62.8	29.5
	太宰府東小学校区	38	28.9	36.8	15.8	7.9	10.5	65.7	23.7
	太宰府南小学校区	42	19.0	40.5	33.3	4.8	2.4	59.5	38.1
	水城小学校区	63	9.5	36.5	28.6	15.9	9.5	46.0	44.5
	水城西小学校区	54	20.4	27.8	27.8	11.1	13.0	48.2	38.9
	太宰府西小学校区	89	24.7	38.2	10.1	19.1	7.9	62.9	29.2
	国分小学校区	56	19.6	42.9	14.3	14.3	8.9	62.5	28.6
	わからない	55	7.3	18.2	27.3	40.0	7.3	25.5	67.3
	無回答	8	-	37.5	-	25.0	37.5	37.5	25.0

「太宰府市ホームページ」

●「太宰府市ホームページ」の閲覧率は27.7%で、紙媒体に比べて低くなっている。

「太宰府市ホームページ」について、『閲覧率』（「いつも見ている」（4.1%）と「たまに見ている」（23.6%）の合計）は27.7%、一方、『非閲覧率』（「見ていない」（31.9%）と「ほとんど見ていない」（16.4%）、「見る事ができない」（11.6%）の合計）は59.9%で、『閲覧率』は3割程度と、紙媒体である「広報だざいふ」（83.3%）に比べて低くなっている。

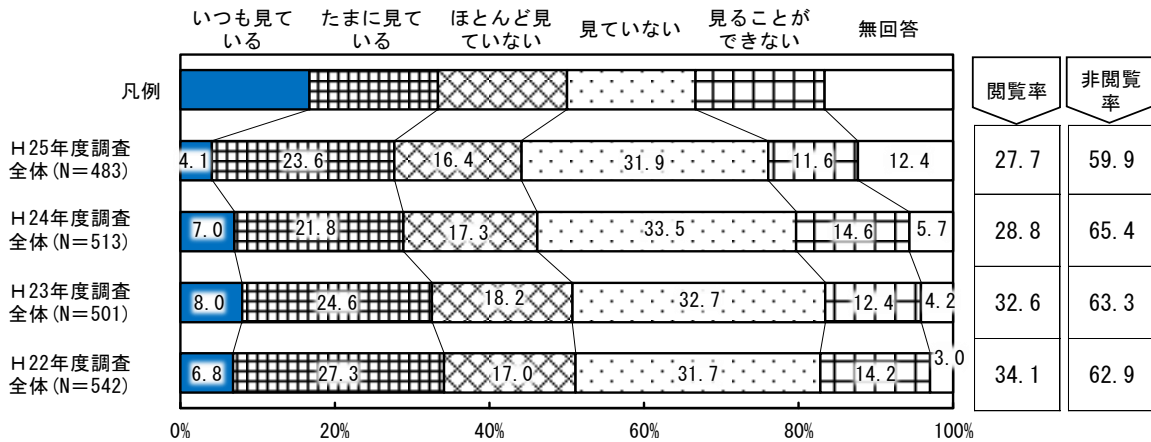
過去の調査結果と比べると、『閲覧率』は前回調査（28.8%）とほぼ同程度となっている。

性別にみると、『閲覧率』は男性（30.6%）の方が女性（26.0%）よりも高くなっている。

年代別にみると、30～50歳代と70歳以上は3割程度、60歳代は22.4%になっているが、20歳代は最も低く17.5%となっている。

小学校区別にみると、『閲覧率』が最も高いのは水城小学校区校区（41.2%）、一方、最も低いのは水城西小学校区（20.4%）となっている。

問 62. あなたは「太宰府市ホームページ」を見ていますか。（○は1つ）



	標本数	いつも見ている	たまに見ている	ほとんど見ていない	見ていない	見る事ができない	無回答	閲覧率	非閲覧率
全体	483	20	114	79	154	56	60	134	289
性別	100.0	4.1	23.6	16.4	31.9	11.6	12.4	27.7	59.9
男性	199	5.5	25.1	17.1	32.7	11.6	8.0	30.6	61.4
女性	269	3.0	23.0	16.4	31.6	11.9	14.1	26.0	59.9
無回答	15	6.7	13.3	6.7	26.7	6.7	40.0	20.0	40.1
年代別									
20歳代	40	-	17.5	17.5	47.5	12.5	5.0	17.5	77.5
30歳代	64	1.6	29.7	23.4	39.1	1.6	4.7	31.3	64.1
40歳代	71	2.8	26.8	19.7	39.4	2.8	8.5	29.6	61.9
50歳代	60	1.7	31.7	18.3	23.3	15.0	10.0	33.4	56.6
60歳代	143	3.5	18.9	16.1	30.8	17.5	13.3	22.4	64.4
70歳以上	102	10.8	22.5	8.8	22.5	13.7	21.6	33.3	45.0
無回答	3	-	-	-	33.3	-	66.7	-	33.3
小学校区別									
太宰府小学校区	78	6.4	17.9	19.2	35.9	9.0	11.5	24.3	64.1
太宰府東小学校区	38	2.6	31.6	15.8	18.4	15.8	15.8	34.2	50.0
太宰府南小学校区	42	7.1	16.7	14.3	38.1	19.0	4.8	23.8	71.4
水城小学校区	63	6.3	34.9	15.9	28.6	4.8	9.5	41.2	49.3
水城西小学校区	54	-	20.4	22.2	24.1	16.7	16.7	20.4	63.0
太宰府西小学校区	89	5.6	25.8	14.6	32.6	10.1	11.2	31.4	57.3
国分小学校区	56	1.8	26.8	16.1	25.0	14.3	16.1	28.6	55.4
わからない	55	1.8	14.5	14.5	50.9	9.1	9.1	16.3	74.5
無回答	8	-	25.0	-	12.5	12.5	50.0	25.0	25.0

第2章 調査結果の分析

性別にみると、「すべてのページ」は男女とも5割を超えている。なお、男性は「特集記事」(27.8%)、女性は「なんでも情報コーナー」(28.5%)、「太宰府館イベント情報」(27.7%)、「ヘルシークッキング」(22.1%)などの割合が高く、性差がみられる。

年代別にみると、30～40歳代、60歳以上は「すべてのページ」が5割を超えている。中でも40歳代は71.4%と高い。なお、50歳代は「特集記事」(43.8%)が他の年代に比べて高くなっているほか、「太宰府館イベント情報」(39.6%)、「なんでも情報コーナー」(31.3%)、「まちのトピックス」(31.3%)、「ヘルシークッキング」(29.2%)、「防犯だより」(27.2%)、「防災だより」(22.9%)、「消費者コーナー」(22.9%)などの割合が他の年代より高くなっている。

小学校区別にみると、「すべてのページ」は水城小学校区(49.0%)を除く6小学校区で5割を超えており、太宰府小学校区(69.7%)が最も高い。

		(%)																									
		標本数	すべてのページ	情報太宰府館イベント	特集記事	なんでも情報コーナー	まちのトピックス	防犯だより	太宰府の文化財	ヘルシークッキング	おめでとう1さい	防災だより	ですこんには保健師	消費者コーナー	みんなのとしよか	地球にやさしいエコライフ	にこにこ通信	句の花・短歌・俳句のコーナー	生け花・短歌・俳句	料室だより	太宰府の文華(資)	手と手をつないで(人権のページ)	より文化振興審議会だ	「つながる」教育委員会だより	国際交流・韓国	うさあ協働を進めよ	無回答
全体		402	227	101	97	95	87	77	67	62	61	56	46	44	39	32	26	24	18	17	14	12	12	6	7		
		100.0	56.5	25.1	24.1	23.6	21.6	19.2	16.7	15.4	15.2	13.9	11.4	10.9	9.7	8.0	6.5	6.0	4.5	4.2	3.5	3.0	3.0	1.5	1.7		
性別	男性	158	55.7	20.3	27.8	17.1	24.1	19.0	17.7	5.7	10.8	13.9	7.0	8.2	6.3	5.1	7.6	3.8	2.5	2.5	4.4	5.7	1.3	1.3	2.5		
	女性	235	57.9	27.7	22.1	28.5	20.0	19.6	15.3	22.1	18.3	14.0	14.9	12.3	11.5	9.8	5.5	7.7	6.0	5.5	3.0	1.3	4.3	1.7	0.4		
	無回答	9	33.3	44.4	11.1	11.1	22.2	11.1	33.3	11.1	11.1	11.1	-	22.2	22.2	11.1	11.1	-	-	-	-	-	-	-	-	22.2	
年代別	20歳代	24	29.2	4.2	25.0	20.8	20.8	8.3	16.7	20.8	33.3	12.5	12.5	16.7	8.3	8.3	8.3	4.2	-	8.3	4.2	4.2	-	-	-	-	
	30歳代	54	59.3	14.8	13.0	18.5	14.8	11.1	11.1	9.3	25.9	5.6	9.3	3.7	13.0	7.4	11.1	7.4	1.9	3.7	3.7	7.4	5.6	1.9	-	-	
	40歳代	63	71.4	15.9	20.6	15.9	22.2	12.7	4.8	6.3	15.9	11.1	4.8	6.3	9.5	1.6	3.2	3.2	-	1.6	-	-	-	3.2	-	-	
	50歳代	48	41.7	39.6	43.8	31.3	31.3	27.1	18.8	29.2	16.7	22.9	16.7	22.9	14.6	14.6	6.3	10.4	12.5	12.5	2.1	2.1	4.2	2.1	-	-	
	60歳代	127	50.4	26.8	27.6	26.8	25.2	21.3	18.9	15.7	10.2	15.7	11.8	11.8	5.5	9.4	8.7	3.1	4.7	3.1	1.6	1.6	0.8	1.6	3.1	-	
	70歳以上	85	69.4	32.9	17.6	24.7	14.1	24.7	23.5	16.5	9.4	14.1	14.1	8.2	11.8	7.1	2.4	9.4	5.9	2.4	9.4	4.7	4.7	4.7	2.4	3.5	
無回答	1	-	100.0	-	-	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
小学校区別	太宰府小学校区	66	69.7	22.7	27.3	19.7	18.2	16.7	22.7	7.6	15.2	13.6	4.5	6.1	6.1	1.5	6.1	6.1	6.1	6.1	1.5	3.0	3.0	1.5	1.5	1.5	
	太宰府東小学校区	31	61.3	22.6	22.6	29.0	12.9	12.9	6.5	12.9	9.7	9.7	12.9	9.7	16.1	6.5	3.2	3.2	-	3.2	6.5	-	3.2	-	-	-	
	太宰府南小学校区	39	53.8	25.6	23.1	25.6	23.1	23.1	10.3	20.5	17.9	15.4	15.4	17.9	7.7	12.8	5.1	-	10.3	5.1	-	-	2.6	2.6	-	-	
	水城小学校区	51	49.0	31.4	27.5	29.4	23.5	23.5	21.6	29.4	27.5	15.7	15.7	19.6	17.6	13.7	9.8	9.8	5.9	11.8	2.0	3.9	5.9	2.0	3.9	3.9	
	水城西小学校区	48	58.3	29.2	22.9	25.0	18.8	16.7	14.6	10.4	14.6	10.4	12.5	8.3	4.2	8.3	4.2	4.2	4.2	2.1	6.3	4.2	2.1	4.2	2.1	4.2	
	太宰府西小学校区	80	56.3	21.3	18.8	23.8	22.5	21.3	16.3	17.5	10.0	16.3	12.5	10.0	5.0	10.0	8.8	8.8	5.0	2.5	6.3	3.8	1.3	-	1.3	-	
	国分小学校区	47	53.2	21.3	21.3	17.0	23.4	12.8	14.9	10.6	12.8	10.6	6.4	8.5	8.5	6.4	4.3	8.5	-	4.3	4.3	8.5	4.3	2.1	-	-	
	わからない	34	47.1	26.5	32.4	26.5	26.5	23.5	17.6	17.6	14.7	17.6	14.7	14.7	8.8	23.5	-	5.9	2.9	5.9	-	-	-	2.9	2.9	2.9	
無回答	6	33.3	50.0	33.3	-	50.0	33.3	33.3	-	-	16.7	16.7	16.7	-	33.3	16.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

(4) 情報公開・提供に対する意識 (問 63)

- 市の情報公開について『肯定派』は53.4%、『否定派』は41.6%となっている。
- 女性は男性に比べて『肯定派』の割合が高い。

市が積極的に情報公開をしているかという質問に対して、『肯定派』(「そう思う」(5.8%)と「どちらかといえばそう思う」(47.6%)の合計)は53.4%、一方、『否定派』(「そう思わない」(11.8%)と「どちらかといえばそう思わない」(29.8%)の合計)は41.6%で、『肯定派』の方が『否定派』よりも高くなっている。

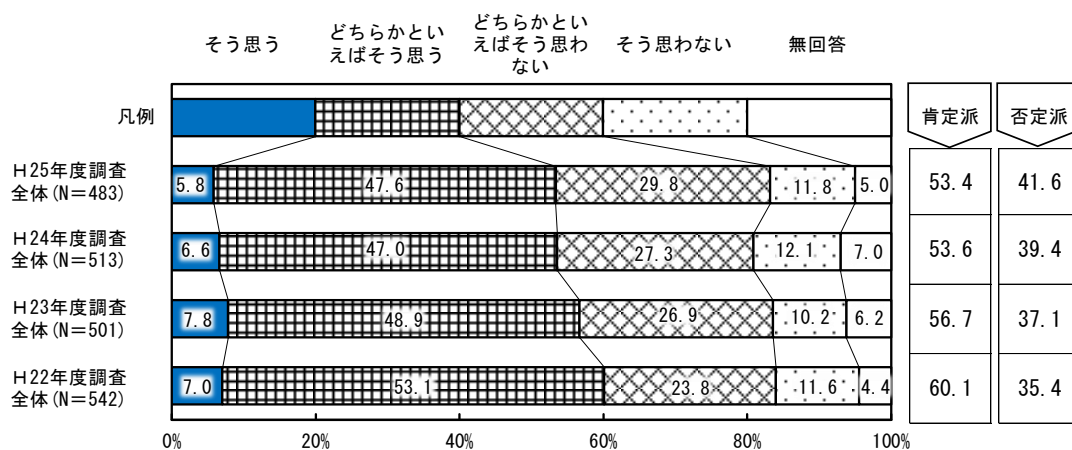
過去の調査結果と比べると、『肯定派』は前回調査(53.6%)と同程度となっている。

性別にみると、『肯定派』は女性(61.3%)の方が男性(43.7%)よりも高くなっている。

年代別にみると、60歳代を除いていずれの年代も『肯定派』の方が『否定派』よりも高くなっており、60歳代は『否定派』の方が『肯定派』よりも高くなっている。

小学校区別にみると、国分小学校区を除いて『肯定派』の方が『否定派』よりも高くなっている。なお、国分小学校区は『否定評価』(53.6%)の方が『肯定評価』(42.9%)よりも高くなっている。

問 63. あなたは市が積極的に情報を公開・提供していると思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派	否定派
全体		483	28	230	144	57	24	258	201
		100.0	5.8	47.6	29.8	11.8	5.0	53.4	41.6
性別	男性	199	4.5	39.2	34.7	17.6	4.0	43.7	52.3
	女性	269	6.7	54.6	26.8	7.1	4.8	61.3	33.9
	無回答	15	6.7	33.3	20.0	20.0	20.0	40.0	40.0
年代別	20歳代	40	7.5	60.0	20.0	12.5	-	67.5	32.5
	30歳代	64	3.1	53.1	34.4	9.4	-	56.2	43.8
	40歳代	71	7.0	52.1	31.0	8.5	1.4	59.1	39.5
	50歳代	60	6.7	50.0	35.0	5.0	3.3	56.7	40.0
	60歳代	143	4.2	41.3	32.2	16.8	5.6	45.5	49.0
	70歳以上	102	7.8	44.1	24.5	12.7	10.8	51.9	37.2
	無回答	3	-	33.3	-	-	66.7	33.3	-
小学校区別	太宰府小学校区	78	6.4	42.3	33.3	12.8	5.1	48.7	46.1
	太宰府東小学校区	38	2.6	47.4	26.3	13.2	10.5	50.0	39.5
	太宰府南小学校区	42	-	57.1	23.8	16.7	2.4	57.1	40.5
	水城小学校区	63	4.8	52.4	28.6	7.9	6.3	57.2	36.5
	水城西小学校区	54	11.1	50.0	29.6	7.4	1.9	61.1	37.0
	太宰府西小学校区	89	7.9	47.2	32.6	7.9	4.5	55.1	40.5
	国分小学校区	56	5.4	37.5	35.7	17.9	3.6	42.9	53.6
	わからない	55	5.5	49.1	27.3	12.7	5.5	54.6	40.0
	無回答	8	-	62.5	-	25.0	12.5	62.5	25.0

(5) 個人情報の適正な管理 (問 64)

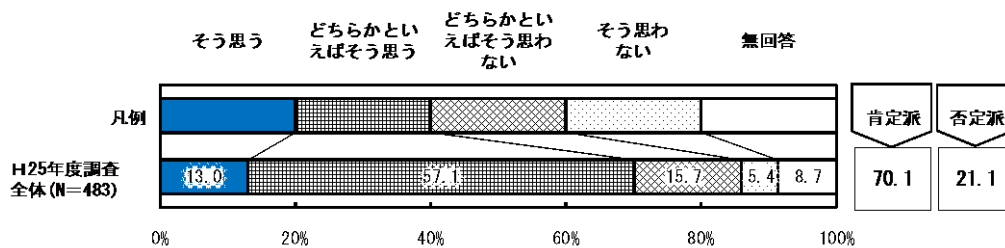
●市の個人情報の管理について『肯定派』は70.1%、『否定派』は21.1%となっている。
 ●女性は男性に比べて『肯定派』の割合が高い。

市が所有する個人情報に適切に管理されているかという質問に対して、『肯定派』（「そう思う」(13.0%)と「どちらかといえばそう思う」(57.1%)の合計)は70.1%、一方、『否定派』（「そう思わない」(5.4%)と「どちらかといえばそう思わない」(15.7%)の合計)は21.1%で、『肯定派』が7割を占めて高くなっている。

性別にみると、『肯定派』は女性(78.4%)の方が男性(60.9%)よりも高くなっている。年代別にみると、いずれも『肯定派』の方が『否定派』よりも高くなっている。

小学校区別にみると、いずれも『肯定派』の方が『否定派』よりも高くなっており、特に水城西小学校区は77.8%と他の小学校区より高くなっている。

問 64. 市が保有するあなたに関する情報が、適切に管理されていると思いますか。
 (○は1つ)



凡例	標本数	回答					肯定派	否定派
		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答		
全体	483	63	276	76	26	42	339	102
	100.0	13.0	57.1	15.7	5.4	8.7	70.1	21.1
性別								
男性	199	10.1	50.8	23.1	8.0	8.0	60.9	31.1
女性	269	15.6	62.8	10.4	3.0	8.2	78.4	13.4
無回答	15	6.7	40.0	13.3	13.3	26.7	46.7	26.6
年代別								
20歳代	40	15.0	62.5	15.0	7.5	-	77.5	22.5
30歳代	64	9.4	71.9	14.1	1.6	3.1	81.3	15.7
40歳代	71	18.3	56.3	12.7	7.0	5.6	74.6	19.7
50歳代	60	10.0	63.3	18.3	1.7	6.7	73.3	20.0
60歳代	143	9.1	54.5	18.9	7.7	9.8	63.6	26.6
70歳以上	102	18.6	47.1	13.7	4.9	15.7	65.7	18.6
無回答	3	-	33.3	-	-	66.7	33.3	-
小学校区別								
太宰府小学校区	78	12.8	51.3	17.9	6.4	11.5	64.1	24.3
太宰府東小学校区	38	18.4	50.0	15.8	2.6	13.2	68.4	18.4
太宰府南小学校区	42	11.9	59.5	14.3	11.9	2.4	71.4	26.2
水城小学校区	63	14.3	55.6	15.9	4.8	9.5	69.9	20.7
水城西小学校区	54	11.1	66.7	11.1	3.7	7.4	77.8	14.8
太宰府西小学校区	89	15.7	56.2	14.6	3.4	10.1	71.9	18.0
国分小学校区	56	8.9	64.3	16.1	5.4	5.4	73.2	21.5
わからない	55	12.7	56.4	18.2	7.3	5.5	69.1	25.5
無回答	8	-	50.0	25.0	-	25.0	50.0	25.0

(6) パソコンの有無 (問 65)

●パソコンの家庭全体の所有率は77.0%となっている。

パソコンの所有について、「持っている」が56.3%で最も高く、「家族が持っている」(20.7%)と合わせた『所有率』は77.0%となっている。

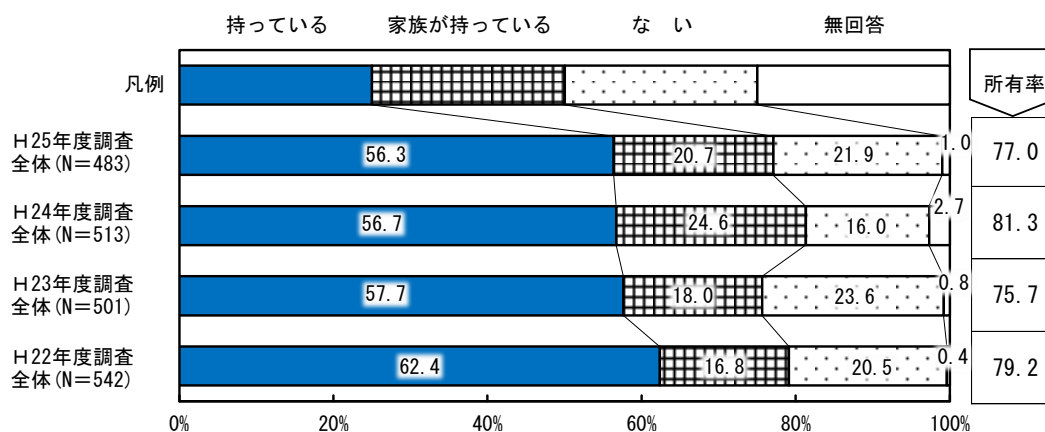
過去の調査結果と比べると、『所有率』は前回調査(81.3%)から4.3ポイント減少している。

性別にみると、『所有率』は男女ともに7割を超えているものの、「持っている」は男性(63.8%)の方が女性(52.4%)よりも高くなっている。

年代別にみると、『所有率』が最も高いのは40歳代(95.8%)、一方、最も低いのは70歳以上(54.9%)となっている。

小学校区別にみると、『所有率』はいずれも7割を超えている。

問 65. あなたはパソコンを持っていますか。(〇は1つ)



		標本数	持っている (%)	家族が持っている (%)	ない (%)	無回答 (%)	所有率 (%)
全体		483	272	100	106	5	372
		100.0	56.3	20.7	21.9	1.0	77.0
性別	男性	199	63.8	12.6	23.1	0.5	76.4
	女性	269	52.4	25.7	20.4	1.5	78.1
	無回答	15	26.7	40.0	33.3	-	66.7
年代別	20歳代	40	55.0	17.5	27.5	-	72.5
	30歳代	64	76.6	10.9	12.5	-	87.5
	40歳代	71	81.7	14.1	4.2	-	95.8
	50歳代	60	63.3	21.7	11.7	3.3	85.0
	60歳代	143	45.5	31.5	22.4	0.7	77.0
	70歳以上	102	39.2	15.7	43.1	2.0	54.9
	無回答	3	-	66.7	33.3	-	66.7
小学校区別	太宰府小学校区	78	65.4	17.9	16.7	-	83.3
	太宰府東小学校区	38	60.5	10.5	26.3	2.6	71.0
	太宰府南小学校区	42	54.8	28.6	16.7	-	83.4
	水城小学校区	63	54.0	20.6	25.4	-	74.6
	水城西小学校区	54	61.1	16.7	20.4	1.9	77.8
	太宰府西小学校区	89	49.4	27.0	22.5	1.1	76.4
	国分小学校区	56	57.1	25.0	16.1	1.8	82.1
	わからない	55	56.4	12.7	30.9	-	69.1
	無回答	8	12.5	37.5	37.5	12.5	50.0

(7) パソコンによるインターネット利用の有無 (問 65 付問 1)

●パソコンによるインターネット利用率は 78.8%となっている。

パソコンによるインターネットの利用について、「利用している」は 78.8%、一方、「利用していない」は 19.9%で、約 8 割が利用している。

過去の調査結果と比べると、利用率は前回調査 (82.7%) から 3.9 ポイント減少している。

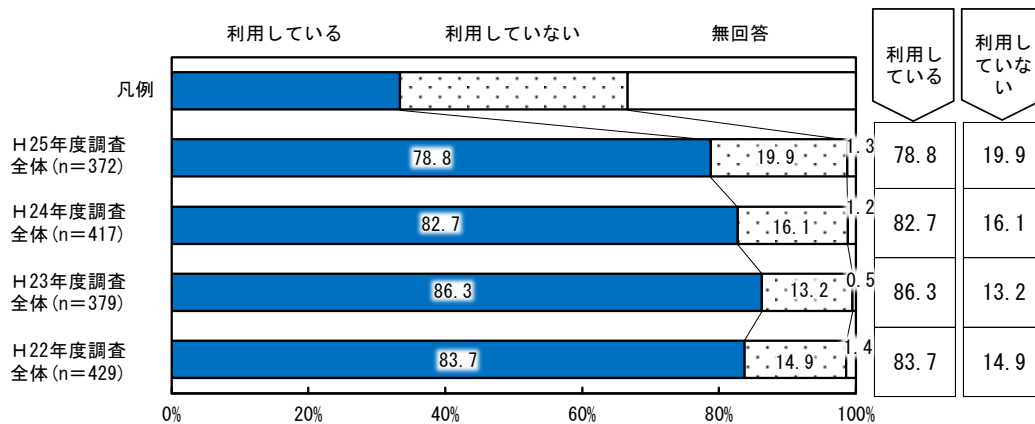
性別にみると、利用率は男性 (82.9%) の方が女性 (76.2%) よりも高くなっている。

年代別にみると、利用率が最も高いのは 40 歳代 (92.6%)、一方、最も低いのは 70 歳以上 (64.3%) となっている。

小学校区別にみると、利用率はいずれも 7 割を超えている。

問 65 付問 1. 【持っている・家族が持っていると答えた方】におたずねします。

そのパソコンを使ってインターネットを利用していますか。(○は 1 つ)



		標本数	利用している (%)	利用していない (%)	無回答 (%)
全体		372	78.8	19.9	1.3
性別	男性	152	82.9	16.4	0.7
	女性	210	76.2	22.4	1.4
	無回答	10	70.0	20.0	10.0
年代別	20歳代	29	82.8	17.2	-
	30歳代	56	73.2	25.0	1.8
	40歳代	68	92.6	5.9	1.5
	50歳代	51	84.3	15.7	-
	60歳代	110	78.2	20.9	0.9
	70歳以上	56	64.3	33.9	1.8
	無回答	2	-	50.0	50.0
小学校区別	太宰府小学校区	65	78.5	20.0	1.5
	太宰府東小学校区	27	88.9	11.1	-
	太宰府南小学校区	35	85.7	14.3	-
	水城小学校区	47	83.0	14.9	2.1
	水城西小学校区	42	76.2	23.8	-
	太宰府西小学校区	68	75.0	25.0	-
	国分小学校区	46	76.1	21.7	2.2
	わからない	38	76.3	21.1	2.6
	無回答	4	50.0	25.0	25.0

(8) 携帯電話の有無 (問 66)

● 9割以上が携帯電話を所有している。

携帯電話を「持っている」は 91.7%、「持っていない」は 7.0%で、携帯電話の所有率は9割を超えている。

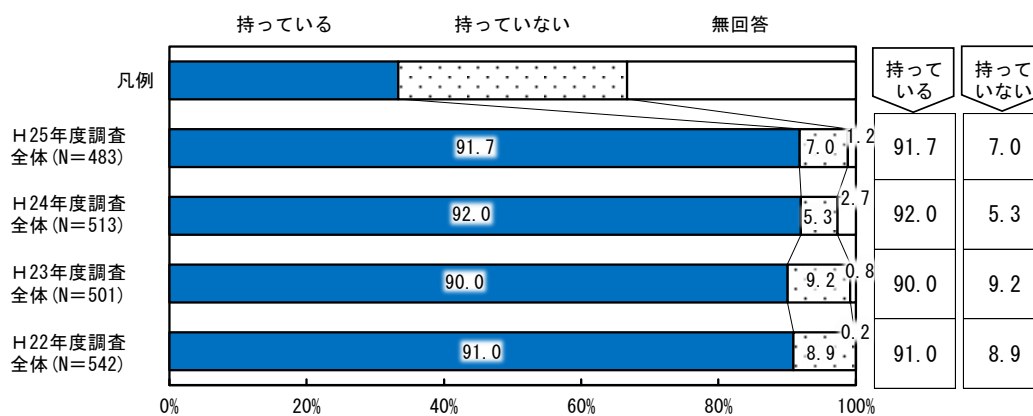
過去の調査結果と比べると、所有率は9割で推移しており、特に変化はみられない。

性別にみると、男女ともに所有率は9割を超えており、差はみられない。

年代別にみると、70歳以上を除いて所有率は9割を超えている。なお、70歳以上も「持っている」は76.5%と7割を超えている。

小学校区別にみると、いずれも所有率が9割程度みられる。

問 66. あなたは携帯電話を持っていますか。(〇は1つ)



		標本数	持っている (%)	持っていない (%)	無回答 (%)
全体		483	91.7	7.0	1.2
性別	男性	199	92.5	6.5	1.0
	女性	269	92.6	6.3	1.1
	無回答	15	66.7	26.7	6.7
年代別	20歳代	40	100.0	-	-
	30歳代	64	98.4	1.6	-
	40歳代	71	98.6	1.4	-
	50歳代	60	91.7	5.0	3.3
	60歳代	143	94.4	5.6	-
	70歳以上	102	76.5	19.6	3.9
	無回答	3	66.7	33.3	-
小学校区別	太宰府小学校区	78	89.7	10.3	-
	太宰府東小学校区	38	92.1	5.3	2.6
	太宰府南小学校区	42	90.5	9.5	-
	水城小学校区	63	92.1	7.9	-
	水城西小学校区	54	90.7	7.4	1.9
	太宰府西小学校区	89	91.0	5.6	3.4
	国分小学校区	56	94.6	3.6	1.8
	わからない	55	94.5	5.5	-
	無回答	8	87.5	12.5	-

(9) 携帯電話によるインターネット利用の有無 (問 66 付問 1)

- 携帯電話によるインターネット利用は 50.3%となっている。
- 20～30 歳代は 9 割、40 歳代は 8 割が利用している。

携帯電話によるインターネットの利用については、「利用している」は 50.3%、「利用していない」は 49.4%となっている。なお、パソコンによる利用 (78.8%) に比べると、利用率は低くなっている。

過去の調査結果と比べると、利用率は増加傾向がみられる。

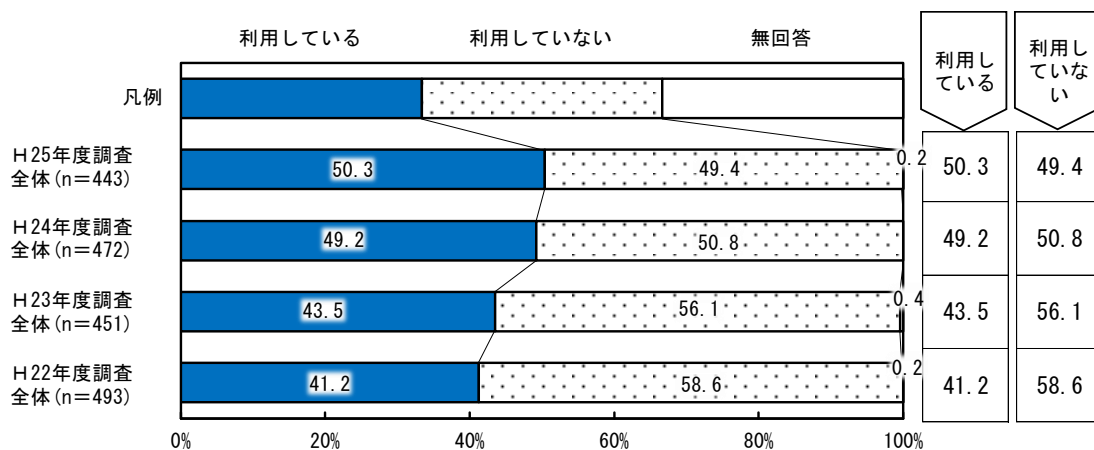
性別にみると、男女ともに利用率は 5 割程度みられ、差はほとんどみられない。

年代別にみると、年齢が若い層で利用率が高くなっており、20～30 歳代は 9 割、40 歳代は 8 割と高くなっている。

小学校区別にみると、利用率が最も高いのは水城小学校区 (58.6%)、一方、最も低いのは太宰府南小学校区 (36.8%) となっている。

問 66 付問 1. 【持っていると答えた方】におたずねします。

その携帯電話を使ってインターネットを利用していますか。(○は 1 つ)



		標本数	利用している (%)	利用していない (%)	無回答 (%)
全体		443	50.3	49.4	0.2
性別	男性	184	49.5	50.0	0.5
	女性	249	51.4	48.6	-
	無回答	10	40.0	60.0	-
年代別	20歳代	40	87.5	12.5	-
	30歳代	63	90.5	9.5	-
	40歳代	70	82.9	17.1	-
	50歳代	55	52.7	47.3	-
	60歳代	135	23.7	75.6	0.7
	70歳以上	78	15.4	84.6	-
	無回答	2	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	70	51.4	48.6	-
	太宰府東小学校区	35	48.6	48.6	2.9
	太宰府南小学校区	38	36.8	63.2	-
	水城小学校区	58	58.6	41.4	-
	水城西小学校区	49	57.1	42.9	-
	太宰府西小学校区	81	39.5	60.5	-
	国分小学校区	53	43.4	56.6	-
	わからない	52	71.2	28.8	-
	無回答	7	28.6	71.4	-

2. 市民のための行政運営

(1) 効果的な行政運営（問67）

●効果的な行政運営について『肯定派』は52.4%、『否定派』は40.2%となっている。

太宰府市が効果的に行政運営を行っているかについて、『肯定派』（「そう思う」（5.8%）と「どちらかといえばそう思う」（46.6%）の合計）は52.4%、一方、『否定派』（「そう思わない」（8.5%）と「どちらかといえば思わない」（31.7%）の合計）は40.2%で、『肯定派』の方が『否定派』よりも高くなっている。

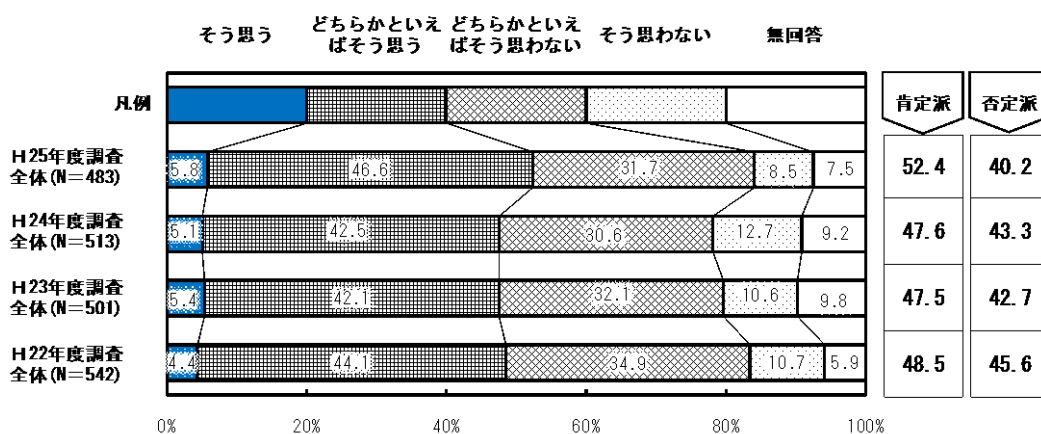
過去の調査結果と比べると、『肯定派』は前回調査（47.6%）よりも4.8ポイント増加している。

性別にみると、男女ともに『肯定派』は5割程度みられ、差はほとんどみられない。

年代別にみると、いずれも『肯定派』の方が『否定派』よりも高くなっている。

小学校区別にみると、『肯定派』が最も高いのは水城小学校区（61.9%）、一方『否定派』が最も高いのは太宰府小学校区（51.2%）で、『肯定派』（43.6%）よりも上回っている。

問67. あなたは太宰府市が効果的に行政運営を行っていると思いますか。（○は1つ）



		標本数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえば思わない	そう思わない	無回答	肯定派	否定派
全体		483	5.8	46.6	31.7	8.5	7.5	52.4	40.2
性別	男性	199	3.0	48.7	29.6	12.1	6.5	51.7	41.7
	女性	269	7.8	45.7	32.7	6.3	7.4	53.5	39.0
	無回答	15	6.7	33.3	40.0	-	20.0	40.0	40.0
年代別	20歳代	40	-	60.0	32.5	7.5	-	60.0	40.0
	30歳代	64	4.7	53.1	31.3	9.4	1.6	57.8	40.7
	40歳代	71	5.6	47.9	39.4	7.0	-	53.5	46.4
	50歳代	60	-	53.3	36.7	-	10.0	53.3	36.7
	60歳代	143	6.3	41.3	30.8	11.2	10.5	47.6	42.0
	70歳以上	102	11.8	41.2	24.5	10.8	11.8	53.0	35.3
	無回答	3	-	-	33.3	-	66.7	-	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	78	6.4	37.2	39.7	11.5	5.1	43.6	51.2
	太宰府東小学校区	38	2.6	39.5	28.9	13.2	15.8	42.1	42.1
	太宰府南小学校区	42	2.4	47.6	26.2	21.4	2.4	50.0	47.6
	水城小学校区	63	4.8	57.1	30.2	4.8	3.2	61.9	35.0
	水城西小学校区	54	9.3	48.1	25.9	1.9	14.8	57.4	27.8
	太宰府西小学校区	89	6.7	47.2	31.5	6.7	7.9	53.9	38.2
	国分小学校区	56	8.9	41.1	37.5	7.1	5.4	50.0	44.6
	わからない	55	3.6	54.5	29.1	5.5	7.3	58.1	34.6
	無回答	8	-	50.0	25.0	12.5	12.5	50.0	37.5

(2) 市職員の応対や行動に対する満足度 (問 68)

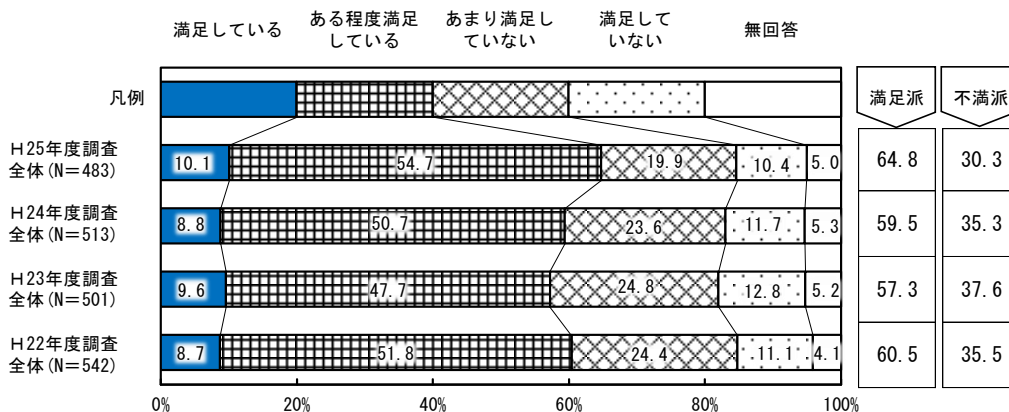
●市職員の仕事への取り組みについて『満足派』は 64.8%、『不満派』は 30.3%となっている。

市職員の応対や行動などの仕事への取り組みについて、『満足派』（「満足している」(10.1%)と「ある程度満足している」(54.7%)の合計)は 64.8%、一方、『不満派』（「満足していない」(10.4%)と「あまり満足していない」(19.9%)の合計)は 30.3%で、『満足派』の方が『不満派』よりも高くなっている。

過去の調査結果を比べると、平成 23 年度から『満足派』は増加傾向となっている。性別にみると、男女ともに『満足派』は 6 割を超えており、差はほとんどみられない。年代別にみると、いずれも『満足派』の方が『不満派』よりも高くなっている。

小学校区別にみると、いずれも『満足派』の方が『不満派』よりも高くなっている。なお、『満足派』が最も高いのは水城西小学校区 (74.1%)、一方『不満派』が最も高いのは太宰府南小学校区 (40.5%) となっている。

問 68. あなたは市職員の応対や行動などの仕事に対する取り組みについて、満足していますか。(○は1つ)



		標本数	満足している	ある程度満足している	あまり満足していない	満足していない	無回答	満足派	不満派
全体		483	49	264	96	50	24	313	146
		100.0	10.1	54.7	19.9	10.4	5.0	64.8	30.3
性別	男性	199	11.1	53.3	21.1	10.6	4.0	64.4	31.7
	女性	269	10.0	56.5	18.2	10.4	4.8	66.5	28.6
	無回答	15	-	40.0	33.3	6.7	20.0	40.0	40.0
年代別	20歳代	40	10.0	65.0	15.0	10.0	-	75.0	25.0
	30歳代	64	6.3	62.5	17.2	14.1	-	68.8	31.3
	40歳代	71	5.6	60.6	22.5	9.9	1.4	66.2	32.4
	50歳代	60	11.7	48.3	23.3	11.7	5.0	60.0	35.0
	60歳代	143	7.7	54.5	21.0	11.2	5.6	62.2	32.2
	70歳以上	102	18.6	46.1	17.6	6.9	10.8	64.7	24.5
	無回答	3	-	33.3	33.3	-	33.3	33.3	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	78	12.8	43.6	28.2	10.3	5.1	56.4	38.5
	太宰府東小学校区	38	7.9	52.6	26.3	5.3	7.9	60.5	31.6
	太宰府南小学校区	42	9.5	47.6	23.8	16.7	2.4	57.1	40.5
	水城小学校区	63	12.7	57.1	15.9	12.7	1.6	69.8	28.6
	水城西小学校区	54	7.4	66.7	11.1	9.3	5.6	74.1	20.4
	太宰府西小学校区	89	12.4	55.1	19.1	6.7	6.7	67.5	25.8
	国分小学校区	56	7.1	66.1	12.5	10.7	3.6	73.2	23.2
	わからない	55	9.1	52.7	20.0	12.7	5.5	61.8	32.7
	無回答	8	-	37.5	37.5	12.5	12.5	37.5	50.0

(3) 市役所窓口の利用の有無 (問 69)

●過去1年間の市役所窓口の利用率は8割を超えている。

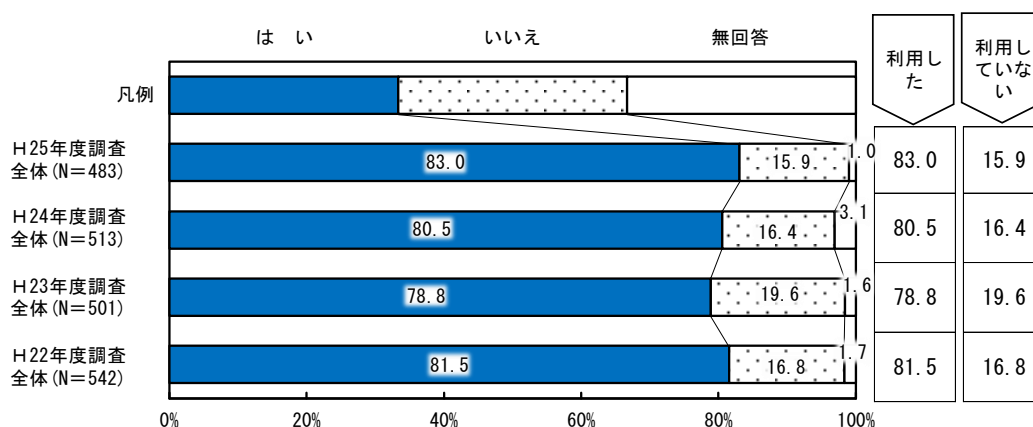
過去1年間での市役所の窓口の利用の有無については、「はい」(利用した)は83.0%、「いいえ」(利用していない)は15.9%となっている。

過去の調査結果を比べると、平成23年度から利用率は増加傾向となっている。

性別にみると、男女ともに利用率は8割を超えている。

年代別にみると、いずれも利用率は7割を超えており、最も高いのは30歳代(90.6%)となっている。

問 69. あなたは過去1年間で、市役所の窓口を利用したことがありますか。(○は1つ)



		標本数	はい (%)	いいえ (%)	無回答 (%)
全体		483	83.0	15.9	0.1
性別	男性	199	85.9	13.6	0.5
	女性	269	81.8	16.7	1.5
	無回答	15	66.7	33.3	-
年代別	20歳代	40	75.0	25.0	-
	30歳代	64	90.6	9.4	-
	40歳代	71	87.3	12.7	-
	50歳代	60	80.0	16.7	3.3
	60歳代	143	83.9	15.4	0.7
	70歳以上	102	78.4	19.6	2.0
	無回答	3	100.0	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	78	85.9	14.1	-
	太宰府東小学校区	38	84.2	13.2	2.6
	太宰府南小学校区	42	83.3	16.7	-
	水城小学校区	63	84.1	15.9	-
	水城西小学校区	54	83.3	14.8	1.9
	太宰府西小学校区	89	78.7	20.2	1.1
	国分小学校区	56	83.9	14.3	1.8
	わからない	55	81.8	16.4	1.8
	無回答	8	87.5	12.5	-

(4) 事務処理の迅速性に対する意識 (問 69 付問 1)

●窓口の事務処理について『満足派』は 81.0%、『不満派』は 14.5%となっている。

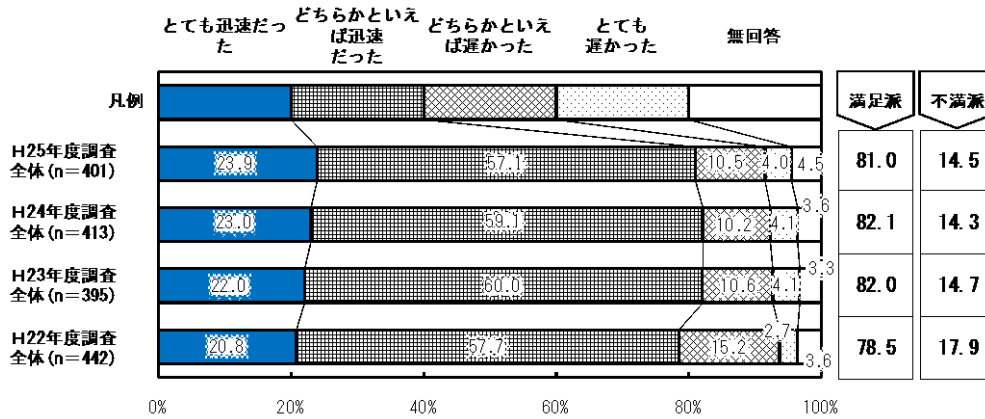
市役所を利用した 401 人に窓口の事務処理が迅速だったかをたずねたところ、『満足派』(「とても迅速だった」(23.9%)と「どちらかといえば迅速だった」(57.1%)の合計)は 81.0%、一方、『不満派』(「とても遅かった」(4.0%)と「どちらかといえば遅かった」(10.5%)の合計)は 14.5%で、『満足派』が 8 割を占めて高くなっている。

過去の調査結果と比べると、『満足派』は平成 23 年度から 8 割で推移しており、特に変化はみられない。

性別にみると、男女ともに『満足派』が 8 割を占めているものの、最も肯定的な「とても迅速だった」の割合は女性 (28.2%)の方が男性 (18.1%)よりも高くなっている。

年代別にみると、いずれも『満足派』が 7 割を超えているものの、最も肯定的な「とても迅速だった」の割合は 20 歳代 (43.3%)が他の年代に比べて高くなっている。なお、『不満派』が最も高いのは 50 歳代 (18.7%)となっている。

問 69 付問 1. 【はいと答えた方】におたずねします。窓口での事務処理は迅速でしたか。(○は 1 つ)



		標本数	だ と つ つ も 迅 速	だ い ど つ え ち た ば ら 迅 か 速 と	か い ど つ え ち た ば ら 遅 か と	遅 と か つ も た	無 回 答	満 足 派	不 満 派
全 体		401	96	229	42	16	18	325	58
		100.0	23.9	57.1	10.5	4.0	4.5	81.0	14.5
性 別	男 性	171	18.1	62.6	9.9	5.8	3.5	80.7	15.7
	女 性	220	28.2	53.2	10.9	2.7	5.0	81.4	13.6
	無回答	10	30.0	50.0	10.0	-	10.0	80.0	10.0
年 代 別	20歳代	30	43.3	36.7	10.0	3.3	6.7	80.0	13.3
	30歳代	58	17.2	65.5	13.8	3.4	-	82.7	17.2
	40歳代	62	27.4	54.8	11.3	4.8	1.6	82.2	16.1
	50歳代	48	10.4	66.7	10.4	8.3	4.2	77.1	18.7
	60歳代	120	20.0	58.3	10.0	5.0	6.7	78.3	15.0
	70歳以上	80	32.5	55.0	7.5	-	5.0	87.5	7.5
	無回答	3	33.3	-	33.3	-	33.3	33.3	33.3
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	67	20.9	62.7	11.9	3.0	1.5	83.6	14.9
	太宰府東小学校区	32	25.0	62.5	9.4	-	3.1	87.5	9.4
	太宰府南小学校区	35	25.7	51.4	17.1	2.9	2.9	77.1	20.0
	水城小学校区	53	30.2	47.2	11.3	5.7	5.7	77.4	17.0
	水城西小学校区	45	28.9	64.4	-	4.4	2.2	93.3	4.4
	太宰府西小学校区	70	24.3	58.6	7.1	2.9	7.1	82.9	10.0
	国分小学校区	47	21.3	55.3	6.4	6.4	10.6	76.6	12.8
	わからない	45	17.8	55.6	17.8	6.7	2.2	73.4	24.5
	無回答	7	14.3	42.9	42.9	-	-	57.2	42.9

(5) 職員の対応・姿勢に対する満足度 (問 69 付問 2)

●職員の対応・姿勢について『満足派』は 78.6%、『不満派』は 18.4%となっている。

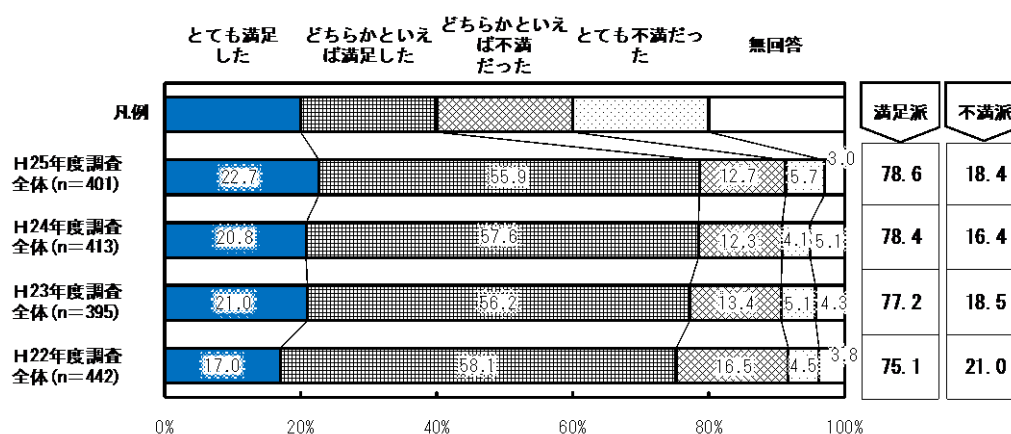
窓口での職員の対応や姿勢について、『満足派』(「とても満足した」(22.7%)と「どちらかといえば満足した」(55.9%)の合計)は 78.6%、一方、『不満派』(「とても不満だった」(5.7%)と「どちらかといえば不満だった」(12.7%)の合計)は 18.4%で、『満足派』が7割を超えて高くなっている。

過去の調査結果と比べると、『満足派』は前回調査(78.4)と同程度となっている。

性別にみると、男女ともに『満足派』が8割程度となっているものの、最も肯定的な「とても満足した」の割合は女性(27.3%)の方が男性(18.1%)よりも高くなっている。

年代別にみると、いずれも『満足派』が7割を超えているものの、最も肯定的な「とても迅速だった」の割合は70歳以上(37.5%)と20歳代(36.7%)が他の年代に比べて高くなっている。なお、『不満派』が最も高いのは30歳代(25.8%)となっている。

問 69 付問 2. 【はいと答えた方】におたずねします。窓口での職員の対応や姿勢に満足しましたか。(○は1つ)



		標本数	とても満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	とても不満	無回答	満足派 (%)	不満派 (%)
全体		401	91	224	51	23	12	78.6	18.4
性別	男性	171	18.1	60.8	12.3	5.8	2.9	78.9	18.1
	女性	220	27.3	52.3	12.3	5.5	2.7	79.6	17.8
	無回答	10	-	50.0	30.0	10.0	10.0	50.0	40.0
年代別	20歳代	30	36.7	46.7	13.3	3.3	-	83.4	16.6
	30歳代	58	20.7	51.7	17.2	8.6	1.7	72.4	25.8
	40歳代	62	21.0	54.8	14.5	6.5	3.2	75.8	21.0
	50歳代	48	14.6	62.5	10.4	10.4	2.1	77.1	20.8
	60歳代	120	15.0	61.7	12.5	5.8	5.0	76.7	18.3
	70歳以上	80	37.5	50.0	8.8	1.3	2.5	87.5	10.1
	無回答	3	-	66.7	33.3	-	-	66.7	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	67	23.9	56.7	11.9	6.0	1.5	80.6	17.9
	太宰府東小学校区	32	25.0	68.8	-	6.3	-	93.8	6.3
	太宰府南小学校区	35	22.9	57.1	11.4	5.7	2.9	80.0	17.1
	水城小学校区	53	28.3	45.3	17.0	5.7	3.8	73.6	22.7
	水城西小学校区	45	24.4	60.0	6.7	2.2	6.7	84.4	8.9
	太宰府西小学校区	70	25.7	55.7	11.4	2.9	4.3	81.4	14.3
	国分小学校区	47	21.3	59.6	14.9	4.3	-	80.9	19.2
	わからない	45	11.1	48.9	22.2	13.3	4.4	60.0	35.5
	無回答	7	-	57.1	28.6	14.3	-	57.1	42.9

3. 広域連携の推進（問 70）

●住民サービスの向上について『肯定派』は 39.6%、『否定派』は 21.5%となっている。

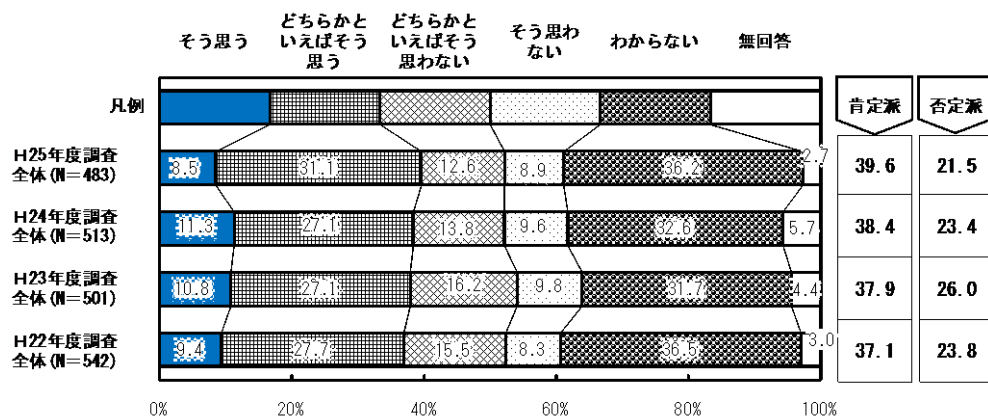
広域的な取り組みによる住民サービスの向上については、『肯定派』（「そう思う」（8.5%）と「どちらかといえばそう思う」31.1%）の合計は 39.6%、一方、『否定派』（「そう思わない」（8.9%）と「どちらかといえばそう思わない」（12.6%）の合計）は 21.5%で、『肯定派』の方が『否定派』よりも高くなっている。なお、「わからない」は 36.2%となっている。

過去の調査結果と比べると、『肯定派』は微増傾向がみられる。

性別にみると、『肯定派』は男性（46.2%）の方が女性（34.9%）よりも高くなっている。

年代別にみると、いずれも『肯定派』の方が『否定派』よりも高くなっている。なお、『肯定派』が最も高いのは 50 歳代（43.4%）となっている

問 70. 福岡都市圏では道路等交通基盤整備や水資源の確保、図書館や体育館の広域利用による生涯学習の体制づくりなど、都市圏に共通する課題に対し、圏域全体の一体的発展と、魅力と活力にあふれた住みよい都市圏の形成に向けて取組を進めています。あなたは福岡都市圏の広域的な取組によって住民サービスが向上したと思いますか。（○は1つ）



		標本数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない	無回答	肯定派	否定派
全体		483	8.5	31.1	12.6	8.9	36.2	2.7	39.6	21.5
性別	男性	199	8.0	38.2	13.1	11.1	28.6	1.0	46.2	24.2
	女性	269	8.9	26.0	11.9	7.1	42.8	3.3	34.9	19.0
	無回答	15	6.7	26.7	20.0	13.3	20.0	13.3	33.4	33.3
年代別	20歳代	40	7.5	32.5	5.0	5.0	50.0	-	40.0	10.0
	30歳代	64	4.7	37.5	10.9	9.4	37.5	-	42.2	20.3
	40歳代	71	9.9	23.9	14.1	14.1	36.6	1.4	33.8	28.2
	50歳代	60	6.7	36.7	16.7	5.0	26.7	8.3	43.4	21.7
	60歳代	143	8.4	31.5	14.0	9.8	35.0	1.4	39.9	23.8
	70歳以上	102	11.8	28.4	10.8	7.8	36.3	4.9	40.2	18.6
	無回答	3	-	-	33.3	-	66.7	-	-	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	78	11.5	23.1	12.8	14.1	37.2	1.3	34.6	26.9
	太宰府東小学校区	38	7.9	36.8	10.5	7.9	31.6	5.3	44.7	18.4
	太宰府南小学校区	42	7.1	21.4	21.4	9.5	40.5	-	28.5	30.9
	水城小学校区	63	4.8	38.1	12.7	7.9	34.9	1.6	42.9	20.6
	水城西小学校区	54	7.4	44.4	9.3	5.6	29.6	3.7	51.8	14.9
	太宰府西小学校区	89	11.2	31.5	13.5	6.7	33.7	3.4	42.7	20.2
	国分小学校区	56	8.9	25.0	12.5	7.1	42.9	3.6	33.9	19.6
	わからない	55	5.5	30.9	9.1	10.9	40.0	3.6	36.4	20.0
	無回答	8	12.5	25.0	12.5	12.5	37.5	-	37.5	25.0

第5節 まちづくりに対する自由意見

小学校区	性別	年代	●子育て支援の推進についての意見【13】
太宰府	男性	30歳代	子育て支援の充実。
太宰府南	女性	30歳代	保育園の料金が高すぎて、預けることが出来ません。子育て支援取り組みよろしくお願い致します。
水城	男性	30歳代	保育料が福岡市に比べて高い。
水城	女性	40歳代	体育館なんていらぬ。児童館がほしい。
水城西	男性	40歳代	子育てする人にもっとやさしい市になってほしい。
水城西	女性	30歳代	子育てへの支援がもっとあれば、少子化対策にもなり、近所との交流も活発になると思う。
太宰府西	女性	40歳代	子育てしやすい環境づくり。
太宰府西	女性	60歳代	現在の社会では両親が共働きの人が多いが、子育てで環境をもっと整備して、若い人が働きやすいようにしてもらいたい！
国分	男性	30歳代	公立の幼稚園の設立
国分	女性	30歳代	子育てをしやすい環境を作ってほしい。観光や史跡に力を入れ過ぎていると思う。子どもが遊べる商業施設をもっと作ってほしい。
国分	女性	30歳代	日・祝も開いている、子どもを預けられる場所がほしい。
不明	男性	40歳代	共働きをしたいのに、待機児童が多い為働けない為、保育所など増やしてほしい。
不明	女性	30歳代	保育所が不十分。アンケート内容も、そういったことがほとんど書かれておらず、答えるのもあまり意味がないように感じる。
小学校区	性別	年代	●高齢者福祉の推進についての意見【11】
太宰府	女性	50歳代	高齢者が多いと感じるので、高齢者にとっても住みやすく。
太宰府南	男性	70歳代	核家族化と高齢者の急増に伴い、特に独居高齢者の入居施設の充実を市の重要課題として早急に取り組んでもらいたい。そして太宰府市が高齢者にやさしい、安心出来る先進的な自治体としての発展を望む。
太宰府南	男性	70歳代	お年寄りが多くなっているの、施設をつくるのが良い。
太宰府南	女性	70歳代	満75才単身生活出来る限り、現住所に住み続けたいと願っています。足元、手元が多少不自由になりました。拙い文字ですみません。これから先手足の自由などどうなるやも多少の不安を感じています。でも前向きで自分なりの楽しみを探して楽しみたいと存じます。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。
水城	女性	70歳代	松川運動公園は不便ですけど、どんな施設になっているんですか？高齢者の憩いの場所(風呂、娯楽など)を作ってはどうですか？
水城	女性	70歳代	個人で交通手段を持たない単身生活をしている老人が、日用品の買い物弱者にならないようなまちにして頂きたいと思えます。
水城西	男性	60歳代	個人住宅の団地、高齢化が進んでいますが、地域のスーパーがなくなると買い物が不便となる。バスでなく乗り合いタクシー等で安い料金で買い物に行けるなどの対策が必要。
太宰府西	男性	60歳代	高齢化社会を迎えて地域タクシーの活用(福岡県八女市の取り組み)。
太宰府西	男性	60歳代	スーパーマーケットバスの開発(高齢者社会を迎えて買い物等が厄介になる)。
太宰府西	女性	70歳代	家庭では介護が難しい者が入所できるような施設やホームがあればと思うが、少ない。
国分	女性	70歳代	高齢者がとても多くなっているけど、老人施設等をもっと充実してほしい。特に入浴施設を。甘木等はすばらしく、皆車であちこち行ってますけど、会話・食事・入浴でとても楽しそうです。認知症の予防にもなると思います。体育館よりもたった一つしかない老人施設等、特に入浴施設は度々故障したり時間も夏でも3時位までだし、水の入れ替えも週1回。女子の方は木曜のみで、せめて月曜日に入れ替えてほしいです。皆我慢していますけど、ここに来てる老人は皆元気で明るいですよ。たった一つの施設、いつまでも使えるようお願いしたいです。
小学校区	性別	年代	●障がい福祉の推進についての意見【3】
太宰府	女性	70歳代	太宰府身障協の事です、障がい者は泣いています。他市町とのスポーツイベントには会長お気に入りの健常者を多くだし、心待ちにしている障がい者には声もかけず。4年の総会には鳥栖市から偏った障がい者に「執行部一任」と声をあげてもらって乗り切ってます。
太宰府西	女性	40歳代	障がい者の住みやすい環境づくり。他市と比べてもかなり遅れを感じる。ぜひ見直してほしい。
不明	女性	60歳代	市長さんが市民がどんな事をしてもらいたいのか声を聴く事も大事です。特に高齢者、障がい者福祉施策が遅れている。他の市は市民の障がいの人の子どもを持っている人(市長その他人)関係する人が話し合い持って少しでも良くなるようにして力を入れています。太宰府市ももう少し協力して頂きたいです。(障がい者の親の気持ちになって考えて下さい。)
小学校区	性別	年代	●地域福祉の推進についての意見【3】
太宰府	男性	70歳代	観光よりも住民福祉の充実を。
太宰府南	女性	60歳代	住み始めた頃に比べれば、上下水道、道路、公園などがずいぶんと整備され、自治会行事やサークル活動なども活発になり、まあまあ文化的な生活を送ることが出来ています。今後は少子化、高齢化が急速に進む中、年老いたり身体が不自由になっても住みながら家・地域で長く過ごすことが出来るよう、施設・介護他総合的な福祉の環境を整えてほしい。
太宰府西	女性	50歳代	福祉の充実。他市と比べてもかなり遅れを感じる。ぜひ見直してほしい。太宰府市に住んでの良いところなど思いつかない。
小学校区	性別	年代	●生涯健康づくりの推進についての意見【3】
太宰府	男性	20歳代	ジムを手軽に使えるようにしてほしい。
水城西	男性	60歳代	医療関係者をもっと活用し、地元で健康講座や健診の予防に動いてもらう。
太宰府西	女性	70歳代	夏に水辺公園の健康整備ルームを使用するため入場券を買うのに長い列ができる。プールを使用する人と一緒でしたので日照の中並んで困りました。どうかして下さい。

小学校区	性別	年代	●社会保障の適正な運営についての意見【3】
国分	不明	60歳代	保険料金が春日市に比べてとても高いですね、年金生活にはとても苦しいです。
国分	女性	60歳代	健康保険証が夫婦一緒なので、同じときに病院に行くときは困る。
不明	女性	40歳代	健康保険証がいまだに紙なのは不便なので、なるべく早くカードにかえてほしい。
小学校区	性別	年代	●防災・消防体制の整備充実についての意見【3】
太宰府	女性	30歳代	市内に多数ある池・貯水池のガードをしっかりとしてほしい。子どもが落ちそうで怖い。(国分、観世)
不明	女性	40歳代	町内放送が聞こえづらい。雨や夜は窓を閉めているので、大雨注意や警報等を聞き漏らすと惨事になりかねない。ボリュームを上げる、連呼する、スピーカーを増設する、ネット配信する等してほしいです。
不明	女性	60歳代	安心安全に生活していくため、災害時に備えた避難所の整備を進めていく必要がある。
小学校区	性別	年代	●防犯・暴力追放運動の推進についての意見【4】
太宰府	女性	50歳代	夜歩いても怖くない明るい街づくりを希望する。
水城	女性	50歳代	通りに人が少ないせいか夜等少し不安を感じる事(灯りが少ない?交通が少ない?)
太宰府西	女性	30歳代	女性が夜でも安心して歩きやすい明るい道を増やしてほしいです。
太宰府西	女性	40歳代	不審者情報があった場合すぐに相談できる交番が近くにあると、子どもたちもより安心できると思う。
小学校区	性別	年代	●交通安全対策の推進についての意見【15】
太宰府	男性	20歳代	太宰府から宇美方面へ行く道の道路整備(歩道)。
太宰府	男性	30歳代	通学路における横断歩道の設置(現在非常に危険)。
太宰府	男性	60歳代	五条交差点の信号なんとかならないか。スムーズに車が流れるように変えるべきと思う。
太宰府	男性	60歳代	街灯が少ない。
太宰府	男性	70歳代	観光客の車の混雑はぜひぶん緩和されたが、近隣市町村の通勤・通学の車が猛スピードで通過していく。スピード制限の対策をしてほしい。
水城	女性	20歳代	街灯の数を増やす、又明るさをもう少し明るくしてほしい。
水城西	女性	40歳代	子どもの登下校の通行量が多くても、狭い道路や信号のないところなどまだまだたくさんある。
太宰府西	男性	60歳代	信号のない交差点→止まれの標識の設置→五条交差点より学園通に入って(一方通行)最初の信号のない交差点
国分	男性	40歳代	西日本新聞社のヘルスセンター出入り口から球場を利用する小～高校生らが、前面道路へ飛び出してくる。とくに自転車は、敷地内が坂道のため勢いがついたまま出てくることがあり、反対側に車がいた場合、避けるのが難しい。前を走る車が急ブレーキをかけるのを何度か見た。ミラーの設置と、敷地内に「とまれ」の道路標示が欲しい。
国分	男性	60歳代	街灯が少ないすぎる。
国分	女性	20歳代	川沿いのガードレールにフェンスをつけてほしい。
不明	男性	40歳代	街灯が暗すぎる!LED化してほしい。
不明	女性	40歳代	自転車のマナーが悪い。
不明	女性	40歳代	朱雀から西鉄二日市駅の間を、学生が歩道に広がって歩いたり、車道や歩道の真ん中を自転車で走ったりして、危険を感じる。改善するよう学校に申し入れてほしい。
不明	女性	60歳代	歩行者の安全を考えた道路整備を充実させる必要がある。
小学校区	性別	年代	●人権を尊重するまちづくりの推進についての意見【1】
太宰府南	男性	70歳代	同和の件だが、皆日本人である以上差別はないのだから、お金を使わないでほしい。それをするから図にのる。
小学校区	性別	年代	●生涯学習の推進についての意見【7】
太宰府	男性	60歳代	図書館の蔵書が少ない。
太宰府	女性	30歳代	子どもが自由に遊べる児童館や体育館にしてほしい。
太宰府西	男性	40歳代	体育館建設に反対します。(都府楼地区の)その費用を小、中学校の改修に充ててください。
太宰府西	男性	70歳代	新体育館の建設は現在の市の財政力ではムリです。他にやってもらいたいことがあります。優先順位を考えてほしい。
太宰府西	女性	70歳代	「体育複合施設」について、市民の中で反対の声が多数あり、もっと早く市民にわかりやすく説明すべきだった。プールの駐車場が少ないので困っています。
国分	女性	20歳代	体育館反対。市民は決まるまで何も知らされていないのはおかしい。他にすることがあるだろう。
国分	女性	30歳代	体育館等は必要ないと思う。
小学校区	性別	年代	●学校教育の充実についての意見【7】
太宰府	女性	30歳代	太宰府は近隣の都市に比べ、待機児童も多く子育てがしにくい。私達は昨年、太宰府に家を購入したが、それも少し後悔するほどです。高齢者が多く増加するのも仕方ない。しかし学問の神の基で教育の制度がきちんとしていないのは、もはやがっかりどころではありません。素晴らしい歴史の街だからこそ教育面はもっと力を入れるべきです。お金がなくても高齢の方、歴史を知っている方はたくさんいるはずです。高齢者の方、子ども共に生きていく環境づくりをして下さい。教育すれば子どもは大きく羽ばたけます。これからの社会を作っていくのは子ども達です。今のままでは福岡県の中でも過疎化してしまいます。
太宰府	女性	30歳代	中学校を給食制度にしてほしい。
太宰府	女性	30歳代	市内の中学校(市立)を完全給食にしてほしい。
水城西	男性	30歳代	体育館建設前に給食センターを建設してもらいたい。
水城西	男性	40歳代	中学校の給食を改善するべき。
水城西	女性	40歳代	小学校、中学校に冷房をつけてほしいです。ついている学校とついでない学校では学力に差が出てくるとおもいます。暑すぎて集中出来ないと言っています。早急に対応してほしいと思っています。
太宰府西	女性	60歳代	学童保育に昼食を用意してほしい。中学校で給食を是非とも実施してほしい。

小学校区	性別	年代	●生活環境の向上についての意見【19】
太宰府	女性	30歳代	近所のノラ猫がたまっているところがとても不衛生。どうにかならないのか。(観世団地内)
太宰府	女性	60歳代	ペットの散歩のときのフンを持ち帰ってほしい。最近とくに、御笠川(白川周辺)沿いの歩道によく落ちている。
太宰府南	男性	70歳代	犬の散歩時の後始末。糞の処理してないのが多い。
太宰府南	女性	60歳代	市内やバイパスを走っていて、雑草が気になる。中でも、飲食店の駐車場や外壁の雑草は気になる。敷地内なので、店の人の責任だと思うが、その店なり不動産屋なりに、お願いという形で指導できないものだろうか。
水城	女性	50歳代	ゴミの出し方にとても不便を感じました。(袋を買う等)道路に4軒ずつ出ているのは不思議に思いましたが、これは思いやりだと思いました。年を取った方がゴミを出すのはとても大変な事だと思いますので。
水城西	女性	40歳代	道路脇に犬のフンが多い。飼い主のマナーが大事。
水城西	女性	60歳代	ゴミ収集車が夜間作業する時、とてもうるさい。昼間は車の関係で無理なのでしょう。
太宰府西	男性	20歳代	野良猫が多いので迷惑である。
太宰府西	男性	60歳代	ベスト電器ニュー太宰府店横の池、物が捨てられていていつも汚い。マナーが悪くなっている。
太宰府西	男性	70歳代	近くのスポーツ公園の使用について。健康の為に歩く人が多い場所ですが、草はのびきり、犬のフンもあり、夏場は汚くて歩けません。掃除の人も見かけるけど、働く人と休んでいる人の差が見られます。
太宰府西	女性	70歳代	公園などのゴミの散乱、犬のフンをなくさなければ環境が悪い。一人一人のモラルの問題だが、そういうところから是正しないと、住みよいまちづくりは進まないと思う。
国分	男性	20歳代	夜間に変な騒々しいバイクが恐らく複数は走っている。個人であるのなら仕方ないかもしれないが、暴走族の類であるなら何かしらの対応を取って頂ければ有難く思う。
国分	男性	40歳代	外飼い猫もいてどんどん増えている。市が、外飼いやノラ猫に餌をあげないなどの注意をもっとしてほしい。
国分	男性	60歳代	ノラ猫が多すぎて困っている。
国分	女性	20歳代	国分地区をきれいにしてほしい。
不明	不明	不明	航空機の騒音について。大佐野・青葉台地区は福岡空港を発着する航空機の騒音に大きな影響を受けている。現在空港の再整備が計画されているが、これにより数千便の増便が予定されている。これに対し、太宰府市としてどう考えているのか。これまでどう対応され、今度どう対処していくのか知りたい。「広報だざいふ」で市民に知らせしてほしい。
不明	男性	50歳代	犬のフンの後始末ができていない飼い主が多いと思う。出来れば、指導してほしい。回覧板等で不始末が発覚した場合どういう罪を受けるのか知らせてほしい。
不明	女性	40歳代	ネコの放し飼いはやめてほしい。
不明	女性	40歳代	早朝から深夜におよぶ電車・航空機による騒音対策や防音に力を入れてほしい。
小学校区	性別	年代	●自然共生社会の構築についての意見【2】
太宰府	女性	50歳代	この街は自然も美しいし、なんとなくのんびりしているのどかな雰囲気があり、朝はいつもウグイスの声で目が覚め、虫やカエルの声が聞こえて良い感じだ。
太宰府南	男性	70歳代	湖沼や河川が少なく、子どもたちが安全に水遊びできるような小川が少ない。その意味ではメダカなどの小魚や水生昆虫などに接する機会が乏しいと言える。大規模に改造することは不可能だろうから、現在ある河川の一部を改造して公園化するなどの方策はできないものだろうか。当然、水かさが増したときの対策は必要だが、高雄にできた新しい公園には小川と小さな池が配置されているが、夏は水が腐っていて水生昆虫が棲めるような状態ではない。
小学校区	性別	年代	●循環型社会の構築についての意見【1】
国分	女性	20歳代	リサイクルボックスを増やしてほしい。できれば点在させるのではなく、まとまった場所に。イオン筑紫野のように、いろいろ持って行ける場所が近所にほしい。
小学校区	性別	年代	●低炭素社会の構築についての意見【1】
太宰府南	男性	60歳代	地域社会の変身。地域社会への太陽光発電への転換(学校、庁舎、公民館、一般家庭などへ利用。残りは充電)。
小学校区	性別	年代	●未来に伝える景観づくりについての意見【3】
水城西	男性	20歳代	全国的に太宰府は有名であり誇りに思っています。街並みを統一するともっと素敵になると思う場所があります。・都府楼跡から観世音寺 ・小鳥居小路 ・太宰府駅前
水城西	女性	30歳代	公園や緑の多さ。史跡が多いせいかそれに伴い、公園が多く、子ども達が安全に遊べる環境があり、嬉しく思います。国際観光都市として太宰府の美しい景観を残しつつ更なる発展を期待します。街が美しくなればるほど、市民の意識も高くなっていくと思います。
太宰府西	男性	60歳代	最近マンション等の乱立で、太宰府としての景観が損なわれている。

小学校区	性別	年代	●計画的なまちづくりについての意見【21】
太宰府	男性	40歳代	吉松に計画中のJR新駅の早期着工。そしてJR二日市駅も含め市内各地からJRへのアクセスを充実させてほしい。
太宰府	男性	70歳代	道路整備や発展の余地がある地域の開発を積極的に推進することが望まれる。将来的な市の発展に最適な利活用を検討する必要がある。
太宰府	男性	70歳代	近くに20年以上も放置された空き家がある。親子で所有について争いがあるようで、荒れ放題。急速に高齢化が進む中、早急な空き家条例の制変が必要に思う。
水城西	男性	40歳代	田畑の土地買収を行い、企業誘致・集合住宅設置を行う。以上を積極的に進めることを求める。
水城西	男性	60歳代	歴史スポーツ公園、昔は梅の木が多かったのですが、今少なくなって寂しいです。またショウブ園が枯れていますので、再生をお願いします。
水城西	女性	40歳代	歩道の整備と公園の設置を切望する。公園は、以前のように吉松公民館の前に遊具を置くなどしてもらえればと思う。
水城西	女性	40歳代	子どもにはのびのび育ってほしいが、外で自由に遊ばせる場所がなかなかないといつも思っている。
太宰府西	男性	60歳代	近くの公園の休園日は、周辺道路に駐車している。朝夕に鍵の開け閉めが出来ないものか。
太宰府西	男性	70歳代	太宰府ってどこ？太宰府＝天満宮・政庁跡・街はどこ？どこかしら。人から聞かれて案内する場所がない。南部・北部を分析している現状を考え、一体的な街づくり、都市計画が欲しい。
太宰府西	男性	70歳代	市として取得した大学跡地（国士館？）の有効利用で、宝満山と四王寺を結ぶ歩道など、有智山城・北谷を含めた地域の広域公園的な活用を考えられないだろうか。
太宰府西	男性	70歳代	川の護岸工事はなるべく石垣でしてほしい。（韓国ソウルに見習って）
太宰府西	女性	30歳代	公園が近所がないのでキレイで小さい子どもでも安心して遊べる公園があったらいいと思います。
太宰府西	女性	60歳代	春日公園のように安心してウォーキングやジョギングが出来る場所があると良い。
太宰府西	女性	60歳代	市内西地区の都市整備計画を示してほしい。
国分	男性	30歳代	JRの仮称、太宰府駅や都府楼前と下大利の間に駅を作ること。この2つの駅を含め、駅周辺をもっと広域に商集地として再度区画整理を行なう。国道3号線の側道と踏み切りまでの距離を伸ばすことや太宰府天満宮までの道の渋滞緩和。
国分	男性	30歳代	春日公園のような大きな公園があればよい
国分	男性	40歳代	JRの新駅はいらない。
国分	女性	40歳代	史跡や景観ばかりを第一に考えていて、市民の生活にはお金を使う事ができていないと思う。史跡を大切にすあまり、商店の商業施設の進出を妨げたり、住宅街の近くにスーパーがないような不便な生活にしていると思う。昔から住んでいる高齢者の方達の中には「景観を守る」ために看板はだめ、商店はだめ、ビルや工場もだめとだめだめづくしの考えの方も多くおられるようだが、このままでは史跡に太宰府は首を絞められ続けると思います。看板やスーパー等は「太宰府カラーを使ってもらえば可」など、どきつい色ではなく、大分の湯泉地域のように緑や茶色などの渋い色使いで出店してもらうように考える事、現代生活の利便性と昔の跡を守るということをもっと追求するべきだと思う。今のままでは年を取ったら太宰府は不便なので住みたくありません。
国分	女性	40歳代	西鉄の太宰府駅があるのに、中途半端な位置に市の税金を使ってJR太宰府駅を新たに設置することは断固反対。市の税金を個人の利益にするなど思う。
国分	女性	60歳代	家の周りは子どもたちが遊ぶ場所がなく、道路やマンションの玄関で遊んでいるのを見かける。個人一人一人が住みやすいところにするのは難しいかもしれないが、目標にしてもらいたい。
不明	女性	40歳代	小さい子どもが遊べる遊具を備えた公園を増やしてほしい。
小学校区	性別	年代	●地域交通体系の整備についての意見【33】
太宰府	男性	30歳代	渋滞の緩和、歩道の設置。
太宰府	男性	40歳代	歴史的にも観光的にも有名なところなのに、太宰府天満宮周辺（とくに北側と西側）の道路の幅および歩道の整備が不十分。整備してほしい。京都や奈良に比べると、景観的に残念な感じがする。国内でも有名な観光地なので本当に残念だ。
太宰府	男性	70歳代	市内の道路事情が悪いです。
太宰府	男性	70歳代	いまの太宰府では、どのような都市を目指すにしても幹線道路（基幹道路）がないので。パークアイランド方式を採用するなど。
太宰府	女性	40歳代	年中と書いていいほどの道路渋滞をどうにかしてほしい。ところどころにガードマンがいるが、その他の交差点は自分勝手なドライバーが突っ込んできて、何回も信号待ちをしなければいけない。自然があって良いが、道路整備をどうにかしてほしい。
太宰府	女性	50歳代	道路の幅を広くし、交通渋滞のないようにして頂きたい。
太宰府	女性	50歳代	車道脇の歩道がとても狭いところがあって、歩いていてひやひやするので、何か対策をお願いしたい。五条通りや、太宰府駅から連歌屋橋に向かう道など。
太宰府	女性	60歳代	天満宮の周辺に住んでいて、正月・土日の車の渋滞で外出するのに苦労する。道路の整備をどうにかしてほしい。
太宰府南	女性	60歳代	近くに太宰府高校があり、以前よりバイパスから高校までの道が整備されたものの、自動車道と一体なので、自転車専用道路ができないものかといつも思っている。
水城西	男性	30歳代	歴史的環境・自然環境と都市的な要素のバランスがとれた非常に良い街だと思います。マイナス面を言うと、年末年始の渋滞を改善してほしい。
水城西	男性	40歳代	太宰府市内の鉄道駅の誘致を早急に実施する。
水城西	男性	60歳代	道路が狭くて特に通古賀地区の道路を4mに広げてほしい。真面目に無償で提供した者はバカをみている。議員はどれもこれも自分の収入ばかり考えている。裏表が激しく、一番信用できないのは議員である。今時、救急車、消防自動車も通らない時はまれである。真剣に意見を書いてもムダであると思うが、税金を払っているのでも何とかしてほしい。
水城西	女性	20歳代	JR駅まで行けるバスの本数、まほろば号の本数を増やしてほしい。車がないと生活ができない。結局歩いて行ける距離にスーパーや商店街もないので、車で筑紫野や春日へと行くことになる。
水城西	女性	40歳代	自転車も多く利用しているが、車道には自転車用のスペースが狭く、とても恐ろしい。車道優先なんて悲しい。
水城西	女性	50歳代	太宰府市に住み始めて2年近くになりますが、道路の幅が狭い所が多いのでとても気になります。どうしようもない事でしょうけど、車が通る時など危ないです。

第2章 調査結果の分析

小学校区	性別	年代	●地域交通体系の整備についての意見【33】（つづき）
水城西	男性	60歳代	大きい道路から生活道路に入ったところ、道路のくぼみが多すぎる。修理されていない。道路パトロールをされたらよいと思う。
水城西	女性	30歳代	吉松区に住んでいるが、歩道が整備されていないのに生活道路を車が飛ばしていくので、幼い子どもを連れて、散歩すら安心してできない。
水城西	女性	40歳代	せっかく「太宰府」という世界に誇れる街なので、道路の整備や街並みづくりに力を入れていくべきだと思う。
水城西	女性	40歳代	子どもの登下校の通行量が多くても、狭い道路や信号のないところなど、まだまだたくさんある。
水城西	女性	50歳代	道路、歩道等の整備の方にも力を入れてほしい。
水城西	女性	60歳代	向佐野の信号から吉松方向へのトラック（マルキョウ関係）や車が多すぎる。通学時間にも大型が何台も通るのは困る。
水城西	女性	60歳代	交通渋滞（洗出、水辺公園etc）をどうにかしてほしい。夕方6時前後の混みようはすごいですよ。
太宰府西	男性	60歳代	側溝が整備されている地区とそうでない地区があり、不平等なので早急に整備してほしい。
太宰府西	男性	60歳代	私は嫁の親と同居するために移り住んできた。市内の移動には自家用車がないと不便きわまりない。
太宰府西	男性	60歳代	これからますます高齢化社会になるのに、西鉄はバスの運行削減を行っている。コストの問題でそのようにしていると思うが、地区全体で考えてもらいたい。
太宰府西	女性	30歳代	市役所近くの五条交差点から、五条駅付近、特に情報国際大から五条駅に出るための道が一本しかないため、朝や夕方は渋滞します。（佐賀銀行と別府内科の間の道路）右折する車と左折の車があり、道も狭く右折ににくいので大変。朝は学生が通行するが危険。新しい道を作ってほしい。
太宰府西	女性	50歳代	長浦台4丁目と大野城市の境目に車が駐車できないように、最近市はガードレールを設置しているが、そのガードレールが見た目が悪く環境美化されていない。大野城市のようにパイプ式で美しい物を設置してほしい。井上市長一度見に来て下さい。お願いします。
太宰府西	女性	50歳代	太宰府天満宮への道路が大変混んでおり、毎年のことなので何か効果的な対策をしてほしい。
太宰府西	女性	60歳代	道路の整備をお願いしたい。一部の道路はきれいだが、とり残されているところかなりあり、町が貧弱に見え、住宅街・通学路・小さな商店街はシャッターが下り、暗い。せめて花いっぱい運動など道路沿いに花を置いたり、邪魔にならない程度に工夫し、通りがかりに心を癒す豊かで緑いっぱいのまちづくりができれば、散歩も楽しくなる。
太宰府西	女性	70歳代	まほろば号を利用しており、市役所等行く時に（内山方面）直通が何便かあると聞くがわからない。
太宰府西	女性	70歳代	まほろば号について ①急勾配の長い坂道まで運行していただきたい ②都府楼駅で乗り換える時、延着すると（僅か1〜2分）乗り換えバスが待ってくれないので30分待ちになります。 ③大佐野回り、吉松回りで都府楼下車して水城方面に行く時の連絡バスがありません。上記の件、ご検討下さい。
不明	女性	40歳代	最寄駅までの交通の便が悪い。
不明	女性	40歳代	道路が狭い。歩道が歩きづらい。段差がきつい。
小学校区	性別	年代	●良質な水道水の安定供給についての意見【9】
太宰府	男性	30歳代	水道代が高い。
太宰府	男性	70歳代	筑紫野市と連携して、宝満川水系の水源確保が急務と考えている。
太宰府	女性	60歳代	水道代が特に高い。
水城西	女性	40歳代	水道料金の高さが気になる。
太宰府西	男性	60歳代	水道料金が非常に高い。福岡市並みとは言いませんが、せめて今の半額程度に下げしてほしい。
国分	不明	60歳代	水道料金が春日市に比べてとても高いですね、年金生活にはとても苦しいです。
不明	男性	40歳代	水道料金、基本料金高いと思います。使用量少ないのに毎月請求される意味がわからない。福岡市民の時は2ヶ月に1度だった。他県の時も。
不明	男性	40歳代	水質が悪すぎる。
不明	女性	40歳代	水道代が高い。
小学校区	性別	年代	●下水道の整備と普及促進についての意見【3】
太宰府南	女性	60歳代	雨のひどい日は、バイパスから入ったパチンコ屋の駐車場の横の水はげが悪く、車も通れないほどの水たまりができる。雨の日こそ市内を巡回してみてもどうだろうか。日頃は気づかないものが見えてくるのでは。
水城	女性	40歳代	都府楼前駅の前を流れる川（御笠川？）に家庭から排水が流れ込んでいるが、なぜそのまま放置しているのか。川は夏は子どもが遊び、きれいな鳥もたくさんいる。他県や他国からの観光客を呼び込むなら、まず自然や遺跡を守るべきだと思う。※この件については以前もメールで意見しました。
水城西	男性	60歳代	大雨の時、用水路が小さいため毎年水があふれるので、駐車場まで上がるので用水路の巾を拡張し、安心して生活できるよう。

小学校区	性別	年代	●産業の振興についての意見【8】
太宰府	男性	40歳代	五条から北の方（～北谷方面）は時に商業施設がなく不便。松川辺りにディスカウントストアとか、コストコみたいな業務スーパーを誘致したら結構いいかと思う。
太宰府南	男性	70歳代	農地水田は稲作が減少し、市民農園になった畑作地が点在する現況にあるが、これが農具保管等に利用するいわゆる掘立小屋の建造物が乱立し、著しく景観を害している。よって今少し建造物の体裁を整えるようご指導できないかと考えます。
水城	女性	40歳代	休耕中？の畑を貸し出す制度をすすめてほしい。使っていない畑がもったいないと思う。（マンションや宅地誘致などは絶対やめてほしい）・太宰府市は自然と遺跡の重要さを自覚すべきと思います。
水城	女性	50歳代	太宰府市に転居して約1年になります。自然豊かで落ち着いた街。子ども達が活き活きして見えるのが印象的でした。現在感じているのは買い物（徒歩圏内）が不便である事。
水城	女性	70歳代	西鉄都府楼駅前にコンビニがあると良い。私は足が悪いので、病院帰りに買い物をする。一人暮らしなのでスーパーに行くときは帰りはタクシーを使う。少しのときはコンビニがあると便利だ。
太宰府西	男性	60歳代	中心的な商店街がない。
太宰府西	男性	60歳代	地産地消の活性化→第6次産業の発展。休眠農地の貸し出し→自給自足の喜び。
国分	女性	30歳代	太宰府天満宮の参道だけでなく、周辺ももっと活性化してほしい。京都や鎌倉のようにしてほしい。
小学校区	性別	年代	●文化遺産の保存と活用についての意見【5】
太宰府	男性	60歳代	観光案内、史跡案内板のメンテがなされてない。朽ちている案内板が多い。市策28に反する。
太宰府	女性	50歳代	歴史的にも深い街なので興味は尽きない。そういった良さを、これからも十分生かしてもらえるとうれしい。
水城	女性	70歳代	太宰府は日本有数の歴史遺産を有する都市だと思っているが、宅地制限をし土地を保有されているが、文化遺産・史跡としてどのようにその土地を利活用されていくのか、私たちにはまったく展望・計画がみえない。ただ民間から買い上げ更地にして管理されているように思えてならない。たとえば熊本城のように、史跡の再建などをしていく（都府楼跡の復元など）などの考えなどはないのか。全国各地から来る観光客は、奈良・京都のイメージを持って（古の朝廷）来ていると思うが、ただ草原に点々と礎石などがあるのみで、一回来れば二度目はないとなってしまうのではと考える。
国分	不明	60歳代	水城堤の整備について。あまりきれいになりすぎると、昔の様子を想像しにくくなる。
国分	女性	30歳代	太宰府ふれあい館が何の施設なのか、説明や表示が少ないと思う。
小学校区	性別	年代	●観光基盤の整備充実についての意見【12】
太宰府	男性	30歳代	観光に予算をかけすぎ。
太宰府	男性	60歳代	太宰府天満宮で全国区になってはいるが、これに次いで名を知らしめるモノがない。全国から人が集まる企画、イベントがほしい。天満宮に年間600万人の参拝者がありながら、太宰府市に入って1時間後には出て行く。天満宮と文化遺産を調和させ、観光客の滞在時間を長くする。観光ホテルを造る。都府楼跡を復元。宝満山の登山道を整備し、登山イベントの大規模化。その為の駐車場の整備。太宰府駅から天満宮駐車場への大規模道路整備。公害センター跡に大劇場を造り、有名芸人を招いて市外から人を集める。そこに観光物産館？をオープンさせ地域の観光土産、農産物販売、公害センター跡近辺の水田を開発し、大型アウトレット（P2000台）。松川貯水地横の山林を開発し、イベント会場を造る。他。
太宰府	女性	60歳代	①国道からの太宰府市入口にはもっと歴史を感じさせる目立つ標識がほしいです。②西鉄太宰府駅でよく太宰府天満宮への道順や方向を聞かれます。電車から降りたらすぐわかる大きな案内標識があればと思います。
太宰府南	男性	70歳代	太宰府市の史跡や天満宮の知名度を上げるようにした方がよい。箱物を造る無駄金を使うなら、もっと観光に力を入れるべきだ。
水城	男性	30歳代	太宰府という歴史の街を、もっと国内外にアピールしていった方がよいと思う。海外旅行ではさまざまなツアーオプションがあり、いろんな体験ができるが、そのように外国から来たツアー客にいろいろと日本の文化を体験させたり。資格を持っていたり教えたりできるのに、そのようなことをできる場所や応募する場所がないのはとても残念だ。太宰府館をもっとPRしてほしい。市外の人の知名度が低すぎる。
水城	女性	50歳代	天満宮はアジアからの客が多いので福岡や日本としてのPRも必要な気がします。
水城	女性	50歳代	天満宮へもよく足を運びます。お土産の種類が増えたらありがたいです。梅が枝もちをいつも26日に買いに出かけます。（ヨモギ入りは健康に良さそうで大好きです）県外の人にも喜ばれます。個人的には白い梅が枝もちの中に梅味のあんが入った紅白梅が枝もちも食べてみたい気がします。
水城西	女性	30歳代	ここ数年外国人の観光客の方が急増していますので、これからは外国人観光客の人達とのコミュニケーションなども課題になっていくと思います。
太宰府西	男性	60歳代	天満宮があるので観光客が来るのはやむを得ないが、住民にとっては交通事情が悪くなり迷惑でもある。住民にもメリットがある観光対策をしてほしい。
国分	男性	30歳代	博多駅や福岡空港からの天満宮ツアーの企画
不明	女性	40歳代	太宰府天満宮近くの駐車場をもう少し増やして、渋滞を緩和してほしい。
不明	女性	60歳代	今後さらに、観光地として地域振興していくために環境整備を充実させる必要がある。
小学校区	性別	年代	●国際交流・友好都市交流の推進についての意見【2】
水城西	女性	40歳代	太宰府はここ近年留学生や観光客が増えて、スーパーやコンビニに外国人の姿（特に中国、韓国？などのアジア人）を多く見かけます。時々マナーが違うのでそれに気づく程ではありませんが、外国人の向けにももう少し案内があれば親切かなと思ったりします。
国分	女性	20歳代	韓国人と中国人との交流はやめてほしい。

第2章 調査結果の分析

小学校区	性別	年代	●情報の共有化と活用についての意見【5】
太宰府	女性	60歳代	「広報だざいふ」は市長の写真が多すぎる。各行事は、子どもたちや市民のためのもので、真中に市長がいるのはおかしい。
太宰府	女性	60歳代	市役所の前の電光掲示板は、前を通るたびに誰のためのものか不思議に思うし、もったいない。
太宰府南	男性	60歳代	体育館建設を考えられる前に市民にこれこそアンケートを取ってほしかったと記入しながら思いました。テレビ等で建物の管理に地方が財政的に苦労している事を報道しておりました。いずれ市民の負担になるのではないかと案じています。
水城西	男性	60歳代	(質問内容が)良く解りませんでした。
不明	女性	50歳代	自治会に入らなければ市の情報を受けられないというシステムはやめてほしい。
小学校区	性別	年代	●市民のための行政運営についての意見【17】
太宰府	男性	40歳代	財政状況の改善を一番に考えてほしいと思います。
太宰府	女性	60歳代	数年前に引っ越しして来た時の窓口で、税金関係のこちらの質問に答えられない職員がいてびっくりした。
太宰府南	女性	60歳代	私たちに市役所の仕事になかなか見えないので、勝手な印象かもしれないが、なんとなくぬるま湯につかって、事なかれ主義で、一日が過ぎていけばそれで良いという感じがする。公務員という守られた環境の中で仕事をしているせいかもしれない。一般社会の中で仕事をしている人は、営業努力や企業努力、売上、人によるこんでもらえるための努力など、たえず努力している気がする。太宰府市役所の職員も、もっといろんなアイデアを出し合って、市民のための努力をしてほしいと願っている。テレビで見たある市では、市民に気がついたところをネットで書き込んでもらい、即、補修したり手配をしたりとお互いにとって良い仕組みを作っている。太宰府市には天満宮もあり、他の市や県と違ったこんな素晴らしいところがあるんだよと、その名を知らしめてほしいと願っている。
水城	男性	60歳代	職員はいつも市に金がないと言う(補助金をあてにする)職員ほど市民寄りと思っている。職員は考え方が浅ま(勉強が足りない)。
水城	女性	50歳代	市役所内の臨職は必要なのか?暇そうだし、いつもおしゃべりしている。臨職に個人情報を見てほしくない。採用が近隣なので知人も多い。図書館も個人データを持ちすぎだと思う。改善はまったく期待していないが、あまりにひどい。
水城西	男性	60歳代	税金という金は一部の人のものではないと思う。観光にばかり金をかけ、見えない所では道路に穴が開き、不自由を強いられている所がある事を知っていますか。わからないだろうな。自分の姿(市の)は・・・という感じである。
水城西	女性	30歳代	他の市から2年程前に引越してきました。市役所や図書館の職員も以前いた市と比べてとても感じ良く親切で、違いに驚かされました。これからも質の高い案内を維持して行ってほしいです。その反面まだまだ迅速に対応できていない面も多く、サービスの向上に努力してほしいと思います。
水城西	女性	50歳代	住民票などの発行が、平日5時までと隔週土曜日午前のみということで、なかなか日程が取れず困っている。福岡市のようにできたらいいと思う。
水城西	女性	60歳代	ケーブルテレビにQテレタイムという地域情報があります。正月は近隣の市長さんが出られ抱負や予定など言われ、筑紫野市は工場団地の企画、誘致を披露され、市が経済的に豊かになるよう、方向性を考えている事で感心しました。太宰府市は観光で滞在時間が長くなるよう、工場団地を考えられ、生産性、活性化し、若い人が多くなる市作りを考えられているようです。今後、保育園の全員入園できるよう若い人が希望を持って仕事、家庭づくりができるよう先を見られ行政運営よろしくお願い致します。
太宰府西	女性	30歳代	不特定多数の方にアンケートを取ってより良いまちづくりへの取り組むとも良いと思います。ありがとうございます。
太宰府西	女性	60歳代	福岡市や春日市、大野城市に「右へ倣え」という印象がある。財政状況や市全体の状況などに独自性があまり感じられない。
太宰府西	女性	60歳代	住民は行政に対して、良いサービスを求めています。住民はボランティア精神で取り組んでいます。行政も同様な姿勢で積極的に取り組むべきではありませんか。行政は住民に何を求めているのですか。高齢化が進むこの太宰府市で生きていく喜びを住民に感じさせる行政であってほしいと思います。年を重ねた私達に太宰府市に住んで良かったと思える人生の総まとめをさせて頂きたいと考えています。
太宰府西	女性	70歳代	太宰府は行く所に住む所ではないという声を良く聞きます。どうか住人に対して優しい、解りやすい行政の町作りをお願い申し上げます。
国分	男性	30歳代	休日の窓口業務の実施(月3回程度)。
国分	女性	70歳代	住民に思いやりある行政にしてほしいと思います。もっと関心を持てるように住民の声を聴く体制をとってほしい。役員人事に天下りが多く、驚く程です。都合の良い行政をしてほしくない。
不明	女性	40歳代	税金を使つての沢山の方々からの意見を大事にして頂き、検討、改善しもらい、より住み良い太宰府にして頂きたいと思います。
不明	女性	60歳代	市役所の事務の効率化を推進し、住民サービスの向上を進めてもらいたい。たとえば、住民票発行などの窓口業務における住基カードの活用、申請書類の簡略化など。
小学校区	性別	年代	●広域連携の推進についての意見【1】
太宰府西	男性	70歳代	広域連携については具体的なことがわからないため回答できなかった。

第5節 まちづくりに対する自由意見

小学校区	性別	年代	●その他の意見【57】
太宰府	男性	20歳代	ちうめちゃんを全面的に出してほしい。
太宰府	男性	70歳代	東日本震災、オリンピックの施設の目途がたつまで地方の箱物工事は控えるべきだと思います。
太宰府	男性	70歳代	旧国士館大学跡の利用について。市の機関、スポーツ施設としての利用があるようだが、教育（小学校）・医療（市民病院）・防災などの総合的活用が望まれる。
太宰府	女性	30歳代	まちづくりとは関係ないが、市民税の納付月がおかしいと思う。期限について色々決まりがあるのだろうが、1月の徴収はよくわからない。年末年始でみな厳しい月なのに、市民税の納付があるとさらに辛い。なんとか見直しできないものか。
太宰府	女性	60歳代	アンケートにしっかり答えられない自分を発見し、自分がかかりしている。子育てが終わって何も考えずにいたようだ。反省している。
太宰府	女性	70歳代	個人の持ち物でも年数の経った大木等は勝手に切ったりしないで許可(市)制にする。神奈川県箱根町ではそれが実施されていて、とても見事だと思った。
太宰府	女性	70歳代	春、秋の観光シーズンになると市民生活に影響が出る道路の大渋滞。天満宮、参道の土産物店、駐車場屋さん・・・この人達から少しは市民の皆様迷惑をかけてます料を取ったらどうですか。何も収入向上につながらない市民は迷惑を受けるばかりで困惑しています。
太宰府	女性	70歳代	不要な物に予算をつけて、ムダ使いさせることをやめることができないか。①毎年ほぼ同額必要な費用。②数年に1度必要な費用。③年によって増減する費用。④毎年増加していく費用。⑤毎年減少していく費用。①～⑤の費用を一律に前年同様であれば横滑りに予算荷上げ、3月末までに使用してしまわなければ翌年は予算がつけにくい様子だが、不要な支出を抑え、残金を戻してあげることが出来るようにできないか。
太宰府南	男性	60歳代	もう少し市長始め役員も現場に足を運んで現状を良く見てほしい。例、道路整備など議員の入る地区は道路の蓋を設置し、舗装しているが、入らない地区は蓋を設置して斜めになぶり付けしているだけで、歩くには非常に危ない。皆の税金、差別するな。
太宰府南	男性	70歳代	市議の政務調査費について必要か？①高い ②活動の様子が不明
太宰府南	男性	70歳代	当市は森や林などの緑、史跡に恵まれた地域であり、私たちもその恵みを十分に享受している。
太宰府南	男性	70歳代	太宰府市のお金をアンケートで使わないでほしい。
太宰府南	女性	60歳代	太宰府市全体が活気がない。天満宮や参道だけが賑っている感じ。
太宰府南	女性	60歳代	市議会が、議員さんが選挙の時だけ活動している。
太宰府南	女性	60歳代	太宰府市には天満宮もあり、他の市や県と違ったこんな素晴らしいところがあるんだよと、その名を知らしめてほしいと願っている。
水城	男性	30歳代	環境・健康・観光に配慮したまちづくりをしていって下さい。
水城	女性	20歳代	ブルム・カルコアやらっきいいい！まほろば号などのネーミングはよく意味がわかりません。市民会館の方が素朴で良かったし、まほろば号のマイクロ版はもっと良い名前があったと思います。また市民会館の視聴覚室の利用を断られた事があります。日付が空いていないという理由でしたが、対応が冷たく悲しかったです。太宰府市民として出来るだけ協力したいと思っていますのですが、なんとなく不信任感を覚える出来事でした。公共施設の利用をもっとしやすくしてほしいです。ネットでの情報も見にくいように感じました。
水城	女性	40歳代	踏切の遮断機の下りるタイミングが長すぎる。調整してほしい。
水城	女性	40歳代	太宰府市は自然と遺跡の重要さを自覚すべきだと思います。
水城	女性	50歳代	これは提案ですが、川になるべく側に座るベンチがあったら一休みしやすい気がするのですが・・・。京都とかの哲学の道ならぬ、何か親しみやすい小径の名前があっても良い気がします。
水城	女性	50歳代	市職員は公共交通を利用して通勤するべき。朝、市役所周辺の道路は歩行者は横断できない。職員の駐車場に税金を使わないでほしい。
水城	女性	50歳代	1月娘の成人式でした。派手な格好をした若者もいたようですが、式ではきちんと前に座っていたそうで、品の良い街だと改めて感じました。近所や知人も良い人ばかりです。市役所に行くと職員の方がきちんと対応して下さいます。住みやすいまちだと満足しています。
水城	女性	70歳代	税金などを考えてほしい。
水城西	男性	40歳代	箱物つくるよりも、この程度の市の規模なら、その前にやらないといけないことはたくさんあるはず。
水城西	男性	60歳代	太宰府市の特徴を生かして学園都市のイメージをもっと活用し、更に大学の誘致、空き家を利用して学生や留学生に家(部屋)を提供する。
水城西	女性	30歳代	産婦人科医院が少ないと思う。不妊症だけでなく、不育症にも目を向けてもらえればと思う。
水城西	女性	30歳代	吉松は非常に無断駐車が多く困っている。市の方でもう少し駐車禁止をうたってほしい。
水城西	女性	40歳代	若い世代に住みやすい街になりますように。
水城西	女性	50歳代	まちづくりという観点からの意見ではないかもしれませんが、ひとづくりに力を入れて頂く事は難しいでしょうか？太宰府に20数年生活し、結婚後15年程県内数か所で暮らし、10年前に太宰府に家族で住み始めましたが、学校、教師、保護者の質の低さに憤りを感じています。水城小、学業院中学校に子どもが通いましたが、最低でした。こちらに住むまで通勤族の多い地域ばかりだったこともありますが、太宰府は田舎者の集まりで、とても住みにくいまちです。モラルや想像力がなく、プライドだけは高い保守的な人間が多いです。様々な価値観があることを太宰府に根付いている大人に理解してもらうことは無理でしょうか。
水城西	女性	70歳代	住宅街を歩いて感じるのは立派に刈り込まれた生垣ではあるけれどもそれが道路の側溝(蓋あり)上までのみ出しているのはおかしいと思う。車を避けようとしても生垣が邪魔になる状態である。市の方でその件を徹底できないのか。

第2章 調査結果の分析

小学校区	性別	年代	●その他の意見【57】（つづき）
太宰府西	男性	40歳代	太宰府市東小学校のすぐそばのN T Tの電話の基地局を速やかに撤去させ保育所や学校周辺の電磁波の環境を良好なものにして下さい。予防原則に立って下さい。電磁波を規制する市の法案を成立させて下さい。体育館を作るより、今小、中学校に通っている子ども達の健やかな成長のために予算を使って下さい。老朽化した建物を改修し、現に健康被害の出ている、太宰府東小学校の児童のために携帯基地局の撤去をお願いします。
太宰府西	男性	60歳代	地域医療の取り組みとして家庭往診の充実。
太宰府西	男性	60歳代	魅力ある太宰府市になるためには、歴史と文化は守りつつ、若者に魅力あるまちづくり。例えば佐賀県武雄市のような図書館運営。ペットタウンとしての発展（新宮市、福津市、糸島市を参考）。外国語教育の向上と留学等の勧め（広く世界を学ぶ）
太宰府西	男性	60歳代	やたらと電柱・電線が多い。とくに光ケーブルの影響で、電線がクモの巣状で、観光の町としてふさわしくない。
太宰府西	男性	60歳代	太宰府市行政員、特に市トップを始めとする幹部、議員、地区委員 e t c 高齢者が多く保守的である。もっと若手に市政を始めとする地域活性化を願いたい。
太宰府西	男性	60歳代	民間企業の取り組み（発想の転換）。開発、研究。営業（売り込み）。施工、取り付け。販売。利益を上げる。社員還元。安全、社会保障、環境保全。
太宰府西	男性	70歳代	盆、正月くらい、駐車場を1回500円位で開放したらいかがなものでしょう。
太宰府西	男性	70歳代	一言。何かと言えば、太宰府市は予算がないないと聞かされる今日この頃ですが！計画力、行動力、挑戦意欲、明確な目的意識のなさに考えさせられ、市当局のずさんさに呆れている次第です。一例です。長浦台のメイン道路の舗装の件。市当局の担当者の管理の把握、現場の把握！出来栄え調査等、如何な事かと思われお伺いいたします。施工時の確認検査、竣工検査、出来栄え評価、施工時の写真、竣工抜き取り検査、等々は実施され記録は残されていますでしょうか！疑問です。※「抜き取りの跡が見当たらない一抜き取り表は標本」。車に乗って走行していても凸凹が身体で感じます。中央線が波を打っている一連の管理を後帰りのない仕事を管理者の教育は！事務所では解らない現場での高騰管理を！市長、担当部長の現地視察の評価は！「例」大野城つつじが丘の施工時の状況と大きな差があります！※現地確認をお勧めします。
太宰府西	女性	20歳代	太宰府市は私にとって「ふるさと」です。これからも良いふるさとであるよう願っています。
太宰府西	女性	60歳代	議員宅の近くの道が整備されるのは不思議だ。
太宰府西	女性	60歳代	安易な考えで必要性のない物づくりをして、結局他の物に代えるなど無駄なことが多い。赤字財政と言いながら、市民の血税を使い必要のない物づくりをするのはなんのためなのか。市民税も払いたくなくなる。他市と比べることではなく、太宰府市、市民のことを考えてまちづくりを行ってほしい。
太宰府西	女性	60歳代	いまからますます高齢化が進む中、少子化など問題が山積みで、結婚しない若者が多いと感じている。若者が夢を持てる豊かな太宰府市になってほしい。高齢化が進む中、体育館が必要なのか疑問に思う。
太宰府西	女性	60歳代	議員の数が多と思う。税金対策。
太宰府西	女性	60歳代	市民の意見や財政を考えずに政策を行っている議会に失望している。
太宰府西	女性	70歳代	太宰府市の地名は有名でもまだまだ全域の方々まで行き届かない面が多々、文化…交通面・・・。
国分	女性	30歳代	公共交通機関に、わかりやすくイベントや施設の表示をしてほしい。
国分	女性	30歳代	市内に住んでまだ一年程度だが、わからないことも多く、答えにくいアンケートだった。コインパーキングがまったくない。以前賃貸物件に住んでいたときは、家族や友人が来た際に車を駐車する場所がなく困った。天拝山登山口駐車場のよう、高速などの高架下を有効利用できないのか。夏期は市民プールの臨時駐車場として利用されている場所もあるので、そこを常設にするなど。
国分	女性	40歳代	夜中でも病人に対応してくださっている中嶋医院を表彰して下さい。本当にありがたい病院です。
国分	女性	60歳代	体育館などの公共の施設など、大野城・春日・筑紫野に比べて狭くて不便なのに、天満宮や国博は、駐車場代は500円もする。住民割引があってもいいのではと思う。渋滞で迷惑を被っている分として。
国分	女性	60歳代	自分の生活とはかけ離れたアンケートだったので悩んだ。太宰府ということで、外の人からはいいねと言われることがあるが、いまの暮らしに不満は多い。
不明	男性	40歳代	市民税納付ぐらいコンビニで手続きできるようにして下さい。
不明	男性	40歳代	公共料金が他の市に比べ高すぎる。
不明	女性	20歳代	自然もあって、まあスーパーも充実していて住みやすいと思います。
不明	女性	30歳代	私は地域の地主さんに良いイメージがありません。無茶な言いがかりやクレームをつけてくるのは地主さんばかりでした。なぜですか？土地を持ってエライと言わんばかりでした。住んでみてわかってきましたが良い人もたくさんいるし、かわいそうな野良猫にえさをあげてる心あたたまる人もいます。これからは好きになっていけるように積極的な活動をよろしくお願いします。
不明	女性	50歳代	手当等年収が多い家庭にはカットしてもいいのでは？低年収の家庭には多く支給されてもいいと思います。
不明	女性	50歳代	問10に関しては自分自身が直面していないのでよくわからなかった。
不明	女性	60歳代	太宰府は、他の市や九州の他県に比べ税金が高いように思う。いろいろな取り組みは大切だが、適切かどうか見直しや、削減できるところの見極めも必要と思う。

平成25年度太宰府まちづくり市民意識調査 自由意見の分類

目 標	分類番号	施策名	意見数
健やかで安らぎのある 福祉のまちづくり	01	子育て支援の推進	13
	02	高齢者福祉の推進	11
	03	障がい福祉の推進	3
	04	地域福祉の推進	3
	05	生涯健康づくりの推進	3
	06	社会保障の適正な運営	3
安全で安心して暮らせる まちづくり	07	防災・消防の体制の整備充実	3
	08	防犯・暴力追放運動の推進	4
	09	交通安全対策の推進	15
	10	安全な消費生活の推進	0
豊かな心を育み ふれあいを大切にするまちづく り	11	人権を尊重するまちづくりの推進	1
	12	男女共同参画の推進	0
	13	生涯学習の推進	7
	14	社会教育の推進	0
	15	学校教育の充実	7
	16	文化芸術の推進	0
人と自然が共生する 環境にやさしいまちづくり	17	生活環境の向上	19
	18	自然共生社会の構築	2
	19	循環型社会の構築	1
	20	低炭素社会の構築	1
	21	環境教育・学習の推進	0
魅力的な生活空間が整い 産業が活気づくまちづくり	22	未来に伝える景観づくり	3
	23	計画的なまちづくり	21
	24	地域交通体系の整備	33
	25	良質な水道水の安定供給	9
	26	下水道の整備と普及促進	3
	27	産業の振興	8
歴史を活かし 文化を守り育てるまちづくり	28	文化遺産の保存と活用	5
	29	観光基盤の整備充実	12
	30	国際交流・友好都市交流の推進	2
市民とともに考え共に創る まちづくり	31	市民参画の推進	0
	32	情報の共有化と活用	5
	33	市民のための行政運営	17
	34	広域連携の推進	1
その他			57
合計			272

附属資料 使用した調査票

附属資料 使用した調査票

太宰府まちづくり市民意識調査

アンケートご協力をお願い

太宰府市では、「歴史とみどり豊かな文化のまち」を将来像として掲げた第五次太宰府市総合計画（計画期間：平成23年度～平成32年度）を平成23年3月に策定し、まちづくりに取り組んでいます。その実施にあたり、市民の皆様のご意見や市の取組についての考えをお聞きして、これを今後のまちづくりに反映させていきたいと考えています。

そこでお忙しい中恐縮ですが、調査票の質問に○印でご回答いただき、2月21日（金）までに同封の返信用封筒によりポストに投函してください。（切手は不要です）

設問数が多くお手数をおかけしますが、これからのまちづくりにとって非常に重要なものですので、ぜひご協力をお願いいたします。

※このアンケートは、太宰府市にお住まいの20歳以上の方1,000人を無作為に抽出し、お願いしています。

※アンケート結果は数字で統計処理いたします。回答結果をそのまま公表することはありませんので個人情報の観点でご迷惑をおかけすることはありません。

※氏名や住所などの記入の必要はありません。

※この調査は、株式会社西日本リサーチ・センターに委託して実施しています。

平成26年2月

太宰府市長 井上保廣

ご記入にあたって

問5. あなたの住んでいる小学校区を次の中から選びください。

1. 太宰府小学校区
2. 太宰府東小学校区
3. 太宰府南小学校区
4. 水城小学校区
5. 水城西小学校区
6. 太宰府西小学校区
7. 国分小学校区
8. わからない

問6. あなたは太宰府市に住んで何年になりますか。(平成26年3月末時点で)
次の中から選びください。

1. 3年未満
2. 3年以上～5年未満
3. 5年以上～10年未満
4. 10年以上～15年未満
5. 15年以上～20年未満
6. 20年以上～25年未満
7. 25年以上

問7. あなたのお住まいを次の中から選びください。

1. 持ち家・分譲マンション
2. 賃貸住宅・アパート
3. 社宅・寮
4. 間借り・下宿
5. その他()

(まちの住みやすさについておたずねします)

問8. あなたは太宰府市が住みやすいまちだと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 住みやすい | 4. どちらかといえば住みにくい |
| 2. どちらかといえば住みやすい | 5. 住みにくい |
| 3. どちらともいえない | |

問9. あなたはこれからも太宰府市に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|-----------|-------------|----------|
| 1. 住み続けたい | 2. 住み続けたくない | 3. わからない |
|-----------|-------------|----------|

付問1. 【住み続けたいと答えた方】におたずねします。「住み続けたい」と思う主な理由は何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|-----------------|------------------------|
| 1. 友人・知人が多い | 10. 生涯学習・スポーツの事業が盛ん |
| 2. 自宅周辺の環境がよい | 11. 高齢者施設が充実している |
| 3. サークル活動が盛ん | 12. 子育てしやすい制度や環境が整っている |
| 4. まちづくりに参加しやすい | 13. 医療機関が多い |
| 5. 史跡や文化財が身近にある | 14. 教育・文化施設の整備が進んでいる |
| 6. まちの知名度が高い | 15. 健康づくりのための事業が充実している |
| 7. 大学・短大が多い | 16. 道路や上下水道の整備が進んでいる |
| 8. 通勤通学の交通の便がよい | 17. 公園や街路樹などの緑が多い |
| 9. 商店が多く買い物が便利 | 18. その他 () |

→ 付問2. 【住み続けたくないと答えた方】におたずねします。「住み続けたくない」と思う主な理由は何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|-----------------|------------------------|
| 1. 近所づきあいが苦手 | 10. 生涯学習・スポーツの事業が少ない |
| 2. 自宅周辺の環境が悪い | 11. 高齢者や障がい者福祉施策が遅れている |
| 3. サークル活動が少ない | 12. 子育て支援の制度や環境が不十分 |
| 4. まちづくりに参加しにくい | 13. 大型総合病院がない |
| 5. 税金や公共料金が高い | 14. 教育・文化施設の整備が不十分 |
| 6. 災害対策に不安がある | 15. 健診や健康づくり事業などが不十分 |
| 7. 通勤通学の交通の便が悪い | 16. 道路や上下水道の整備が遅れている |
| 8. 近所に商店が少ない | 17. 公園や街路樹などの緑が少ない |
| 9. 就職先が少ない | 18. その他 () |

(あなた自身のお考えや日頃の暮らし、行動についておたずねします)

問 10. あなたは第五次太宰府市総合計画前期基本計画に掲げた次の34の施策について、今後どのように取り組むべきだと思いますか。

(○は施策ごとに1つ)

	1. 最優先で力を掛けて取り組むべきである	2. どちらかといえば今までより力を掛けて取り組むべきである	3. 今までどおりでよい	4. どちらかといえば今までより力を掛けないで取り組むべきである	5. 今までより力を掛けずに取り組むべきである	6. わからない
施策01 子育て支援の推進(子育て家庭への支援や保育サービスの充実、児童虐待の防止など)	1	2	3	4	5	6
施策02 高齢者福祉の推進(高齢者の介護予防や在宅支援の充実、生きがいづくりの推進など)	1	2	3	4	5	6
施策03 障がい福祉の推進(障がい者の生活支援や就労支援、相談体制の充実など)	1	2	3	4	5	6
施策04 地域福祉の推進(地域での福祉活動の推進や災害の被災者への援護、雇用・労働対策など)	1	2	3	4	5	6
施策05 生涯健康づくりの推進(健康づくりの支援や人材の育成、環境の整備など)	1	2	3	4	5	6
施策06 社会保障の適正な運営(国民健康保険、後期高齢者医療、国民年金、介護保険、生活保護など)	1	2	3	4	5	6
施策07 防災・消防体制の整備充実(防災体制や消防・救急体制の整備充実など)	1	2	3	4	5	6
施策08 防犯・暴力追放運動の推進(防犯体制の充実や暴力追放運動の推進など)	1	2	3	4	5	6
施策09 交通安全対策の推進(交通安全啓発の推進や交通安全施設の整備など)	1	2	3	4	5	6
施策10 安全な消費生活の推進(消費生活相談の充実や消費者意識の啓発など)	1	2	3	4	5	6
施策11 人権を尊重するまちづくりの推進(人権教育・啓発の推進や同和問題の解決など)	1	2	3	4	5	6
施策12 男女共同参画の推進(男女共同参画の啓発や女性の支援・相談・参画など)	1	2	3	4	5	6
施策13 生涯学習の推進(生涯学習・スポーツの推進や公民館・図書館・スポーツ施設の充実など)	1	2	3	4	5	6
施策14 社会教育の推進(社会教育の充実や関係団体の育成、青少年の健全育成など)	1	2	3	4	5	6
施策15 学校教育の充実(学校教育の内容や教育環境の向上、生徒指導の拡充など)	1	2	3	4	5	6
施策16 文化芸術の振興(文化芸術活動の育成・支援や市史の活用など)	1	2	3	4	5	6

	1. 最優先で力を掛けて取り組むべきである	2. どちらかといえば今までより力を掛けて取り組むべきである	3. 今までどおりでよい	4. どちらかといえば今までより力を掛けないで取り組むべきである	5. 今までより力を掛けずに取り組むべきである	6. わからない
施策17 生活環境の向上（生活環境の保全や環境マナーの向上、環境美化の推進など）	1	2	3	4	5	6
施策18 自然共生社会の構築（みどりや水環境の保全と創造、水とみどりのネットワークづくりなど）	1	2	3	4	5	6
施策19 循環型社会の構築（ごみの減量やリサイクルの推進、廃棄物の適正処理など）	1	2	3	4	5	6
施策20 低炭素社会の構築（省エネ対策や新エネルギー導入の促進、温室効果ガスの排出抑制など）	1	2	3	4	5	6
施策21 環境教育・学習の推進（環境教育・学習の推進や環境に優しいライフスタイルの推進など）	1	2	3	4	5	6
施策22 未来に伝える景観づくり（景観形成のための仕組みづくりや個性ある地域景観の保全など）	1	2	3	4	5	6
施策23 計画的なまちづくり（秩序ある土地利用の推進や市街地の整備、公園機能の向上など）	1	2	3	4	5	6
施策24 地域交通体系の整備（幹線道路や生活道路の整備や公共交通の利便性の向上など）	1	2	3	4	5	6
施策25 良質な水道水の安定供給（水道施設の整備・維持や健全経営など）	1	2	3	4	5	6
施策26 下水道の整備と普及促進（下水道施設の整備・維持や健全経営など）	1	2	3	4	5	6
施策27 産業の振興（商工業の振興や都市近郊農業の推進など）	1	2	3	4	5	6
施策28 文化遺産の保存と活用（史跡地の公有化や文化財の調査・保護・整備、市民遺産の活用など）	1	2	3	4	5	6
施策29 観光基盤の整備充実（観光宣伝の充実や観光資源の整備、太宰府ブランドの展開など）	1	2	3	4	5	6
施策30 国際交流・友好都市交流の推進（国際交流活動の推進や友好都市交流の推進など）	1	2	3	4	5	6
施策31 市民参画の推進（自治基本条例の制定や地域コミュニティ活動、NPO・ボランティア支援など）	1	2	3	4	5	6
施策32 情報の共有化と活用（行政情報の開示や情報セキュリティの確保、広聴・広報の充実など）	1	2	3	4	5	6
施策33 市民のための行政運営（行政改革や財政健全化の推進、行政職員の能力開発資質向上など）	1	2	3	4	5	6
施策34 広域連携の推進（広域行政の推進や道州制・市町村合併の調査・研究など）	1	2	3	4	5	6

各施策について
具体的におたずねします

子育て支援の推進

【中学生までのお子さまをお持ちの保護者の方だけにおたずねします。】

問 11. あなたは太宰府市では子育てがしやすいと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 子育てがしやすい | 3. どちらかといえば
子育てがしにくい |
| 2. どちらかといえば
子育てがしやすい | 4. 子育てがしにくい |

高齢者福祉の推進

【65歳以上の方だけにおたずねします】

問 12. あなたは日頃から生きがいを感じて生活していますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. とても感じている | 3. どちらかといえば
感じていない |
| 2. どちらかといえば
感じている | 4. 全く感じていない |

問 13. あなたは太宰府市の高齢者福祉サービスは充実していると思いますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------|--------------|
| 1. そう思う | 3. あまりそう思わない |
| 2. ややそう思う | 4. そう思わない |

障がい福祉の推進

問 14. あなたは太宰府市の障がい者福祉サービスは充実していると思いますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------|--------------|
| 1. そう思う | 3. あまりそう思わない |
| 2. ややそう思う | 4. そう思わない |

問 15. あなたは市内の公共施設(駅、市役所等)が高齢者や障がい者などに配慮されていると思いますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------|--------------|
| 1. そう思う | 3. あまりそう思わない |
| 2. ややそう思う | 4. そう思わない |

問 16. あなたは市内の民間施設(商業施設等)が高齢者や障がい者などに配慮されていると思いますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------|--------------|
| 1. そう思う | 3. あまりそう思わない |
| 2. ややそう思う | 4. そう思わない |

地域福祉の推進

問 17. あなたがお住まいの地域では、地域での住民相互の支え合いなどによる福祉活動が活発に行われていると思いますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------|--------------|
| 1. そう思う | 3. あまりそう思わない |
| 2. ややそう思う | 4. そう思わない |

生涯健康づくりの推進

問 18. あなたのここ数週間の健康状態はいかがですか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. とても健康である | 3. あまり健康ではない |
| 2. 健康な方である | 4. 健康ではない |

問 19. あなたは健康増進のために日頃から取り組んでいるものがありますか。(○は1つ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問 20. あなたはこの一年間に、「健康診査」(がん検診、人間ドッグを含む)を受けましたか。(○は1つ)

- | | |
|--------|-----------|
| 1. 受けた | 2. 受けなかった |
|--------|-----------|

防災・消防体制の整備充実

問 21. あなたは日頃から災害に対する備えをしていますか。以下の項目について、「はい」か「いいえ」のいずれかを選んでください。(○はそれぞれ1つ)

- ① 2日分程度の食料・飲料の備蓄をしている。
1. はい 2. いいえ
- ② 避難場所を知っている。
1. はい 2. いいえ
- ③ 避難勧告などの災害情報がどこから来るかを知っている。
1. はい 2. いいえ
- ④ 家具の転落防止策をとっている。
1. はい 2. いいえ
- ⑤ 避難時に身近に手助けできる方がいる。
1. はい 2. いいえ

防犯・暴力追放運動の推進

問 22. あなたは市内に住むことに対して防犯の面で安心していただけますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. とても安心している | 3. どちらかといえば不安である |
| 2. どちらかといえば安心している | 4. とても不安である |

付問 1. あなたの家の周囲や市内において、防犯上危険と思われるような場所がありましたら、具体的に記述してください。

()

安全な消費生活の推進

問 23. あなたやあなたの家族が、この1年間に架空・不当請求や不適正な取引行為(点検商法やキャッチセールス等)の被害を受けたり、被害にあいそうな不安を感じたことがありますか。(○は1つ)

- 1. 被害を受けた
- 2. 直接の被害はないが不安を感じた
- 3. 特になかった

→付問 1. 【被害を受けた・直接の被害はないが不安を感じたと答えた方】におたずねします。具体的には、どのような被害や不安ですか。(○はいくつでも)

- 1. 架空請求・不当請求
- 2. 点検商法、訪問販売(消火器・浄水器・シロアリ駆除等)
- 3. キャッチセールス・催眠商法による被害
- 4. 振り込め詐欺
- 5. その他(具体的に)

人権を尊重するまちづくりの推進

問 24. あなたやあなたの家族が、この1年間に人権を侵害されたことがありますか。(○は1つ)

- 1. ある
- 2. ない

→付問 1. 【あると答えた方】におたずねします。それはどのような人権侵害ですか。

(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 同和問題 | 5. 高齢者の人権 |
| 2. 性別(男女)に関する人権 | 6. 外国人の人権 |
| 3. 子どもの人権 | 7. HIV感染者などの人権 |
| 4. 障がい者の人権 | 8. その他(具体的に) |

問 25. あなたは今の太宰府市では同和問題をはじめ、あらゆる人権が尊重されていると思いますか。(○は1つ)

1. 尊重されている
2. どちらかといえば尊重されている
3. どちらかといえば尊重されていない
4. 尊重されていない

問 26. 同和地区の起源について、あなたはどのように受けとめていますか。(○は1つ)

1. 人種(民族)がちがう
2. 宗教がちがう
3. 職業(仕事)がちがう
4. 生活が貧しかった
5. 中世から近世にかけての封建時代に社会的・政治的につくられた
6. その他()

問 27. あなたは結婚を決めるときに、家柄とか血筋を問題にする風習についてどのように思いますか。(○は1つ)

1. 当然のことと思う(いつも気にしている)
2. おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う
3. 不合理だから、なくしていかなければならないと思う

男女共同参画の推進

問 28. あなたは「男は仕事、女は家庭」というように、性別によって固定化された役割分業の考え方にどの程度同感しますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 同感する | 3. あまり同感しない |
| 2. ある程度同感する | 4. 同感しない |

問 29. あなたは社会全体でみた場合、男女の地位は平等になっていると思いますか。

(○は1つ)

1. 女性の方が優位である
2. どちらかといえば、女性の方が優位である
3. 平等である
4. どちらかといえば、男性の方が優位である
5. 男性の方が優位である
6. わからない

問 30. 次の言葉のうち、あなたが見たり聞いたりしたことがありますか。(○はいくつでも)

1. 男女共同参画社会
2. 女性差別撤廃条約
3. ポジティブ・アクション(積極的改善措置)
4. ジェンダー(社会的・文化的に形成された性別)
5. 男女雇用機会均等法
6. ワーク・ライフ・バランス(仕事と社会の調和)
7. DV(配偶者からの暴力)相談窓口「ちくし女性ホットライン」
8. わからない

生涯学習の推進

問 31. あなたは日頃から学習テーマを持って生涯学習活動に取り組んでいますか。

(○は1つ)

1. ほぼ毎日取り組んでいる
2. 週に1回程度取り組んでいる
3. 月に数回程度取り組んでいる
4. 年に数回程度取り組んでいる
5. ほとんど取り組んでいない

問 32. あなたは運動・スポーツをどれくらいの頻度で行っていますか。(○は1つ)

1. ほぼ毎日行っている
2. 週に2回程度行っている
3. 週に1回程度行っている
4. 月に数回程度行っている
5. 年に数回程度行っている
6. ほとんど行っていない

文化芸術の振興

問 33. あなたは日頃から文化芸術活動(鑑賞、参加等を含む)をしていますか。(○は1つ)

1. ほぼ毎日行っている
2. 週に1回程度行っている
3. 月に数回程度行っている
4. 年に数回程度行っている
5. ほとんど行っていない

生活環境の向上

問 34. あなたは自宅周辺の環境は清潔で衛生的だと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------|--------------|
| 1. そう思う | 3. あまりそう思わない |
| 2. ややそう思う | 4. そう思わない |

問 35. あなたがお住まいの地域では環境マナー（ごみ出しのマナー、ごみのポイ捨て、犬・猫の飼い方、雑草など空き地の管理、近隣騒音など）が守られていると思いますか。
(○は1つ)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. かなり守られている | 3. あまり守られていない |
| 2. ある程度守られている | 4. ほとんど守られていない |

問 36. あなたは地域一斉清掃活動などの地域の美化活動に参加していますか。(○は1つ)

1. いつも参加している
2. たまに参加している
3. 参加していない

自然共生社会の構築

問 37. あなたは市内の自然は豊かであると感じますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------|--------------|
| 1. そう思う | 3. あまりそう思わない |
| 2. ややそう思う | 4. そう思わない |

問 38. あなたは市内で、野鳥や昆虫等を観察したり、ふれあう場所がありますか。(○は1つ)

1. 観察したり、ふれあう場所があり、満足している
2. 観察したり、ふれあう場所がわからない
3. 観察したり、ふれあう場所がなく不満に思う

循環型社会の構築

問 39. あなたは日頃から、生ごみの堆肥化に取り組んでいますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 取り組んでいる | 3. あまり取り組んでいない |
| 2. ときどき取り組んでいる | 4. 取り組んでいない |

低炭素社会の構築

問 40. あなたは日頃から、省エネルギー・省資源の活動（節電・節水や、エコバックや簡易包装をこころがけるなど）を行っていますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 行っている | 3. あまり行っていない |
| 2. ある程度行っている | 4. ほとんど行っていない |

環境教育・学習の推進

問 41. あなたはこの1年間で、環境に関する学習会や講演会等に参加したことがありますか。
(○は1つ)

1. 年に2回以上参加している
2. 年に1回程度は参加している
3. 参加したことはない

未来に伝える景観づくり

問 42. あなたは市内の自然は美しいと思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

問 43. あなたは史跡地・神社仏閣及びその周辺など、市内の歴史的な景観は美しいと思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

問 44. あなたが住んでいる地区は、良好なまちなみだと思えますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

計画的なまちづくりの推進

問 45. あなたのお住まいの周辺地域は、道路や公園などの都市基盤が整えられるなど、快適で住環境がよいところだと思えますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

問 46. あなたは商店や学校、病院等が周辺にあり、生活するうえで便利だと思えますか。
(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

付問 1. あなたの家の近くにあると便利だと思う施設がありましたら、具体的に記述してください。

()

地域交通体系の整備

問 47. あなたは市内のバスは便利だと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. そう思う | 4. そう思わない |
| 2. どちらかといえばそう思う | 5. バスを利用しないのでわからない |
| 3. どちらかといえばそう思わない | |

付問 1. 市内のバスの中でコミュニティバスまほろば号についてお尋ねします。
まほろば号は便利だと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|-------------------------|
| 1. そう思う | 4. そう思わない |
| 2. どちらかといえばそう思う | 5. 「まほろば号」を利用しないのでわからない |
| 3. どちらかといえばそう思わない | |

問 48. あなたは市内の鉄道は便利だと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. そう思う | 4. そう思わない |
| 2. どちらかといえばそう思う | 5. 鉄道を利用しないのでわからない |
| 3. どちらかといえばそう思わない | |

問 49. あなたは市内の道路全般について、渋滞もなく円滑に移動できると思いますか。
(○は1つ)

- | | |
|-------------------|-----------|
| 1. そう思う | 4. そう思わない |
| 2. どちらかといえばそう思う | 5. わからない |
| 3. どちらかといえばそう思わない | |

問 50. あなたは日頃、どのような手段で外出しますか。(○は1つ)

- | | |
|---------|--------------------|
| 1. 徒歩 | 5. コミュニティバス(まほろば号) |
| 2. 自転車 | 6. 路線バス |
| 3. 自家用車 | 7. タクシー |
| 4. 鉄道 | 8. その他() |

産業の振興

問 51. あなたは日頃、主にどこで買い物していますか。(○は1つ)

- | | |
|---------|---------------|
| 1. 太宰府市 | 5. 大野城市 |
| 2. 福岡市 | 6. 那珂川町 |
| 3. 筑紫野市 | 7. 宇美町 |
| 4. 春日市 | 8. 1から7以外の市町村 |

文化遺産の保存と活用

問 52. あなたは市内の歴史文化遺産を誇りに思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

観光基盤の整備充実

問 53. あなたは市内に多くの観光客が訪れることについて、どのように思いますか。

(○は1つ)

1. 地域の活気や発展につながり、好ましいと思う
2. どちらかといえば好ましいと思う
3. どちらかといえば好ましくないと思う
4. ごみや渋滞などが発生し、好ましくないと思う
5. その他 ()

問 54. 市内を訪れた観光客との交流やおもてなしのために、あなた自身ができると思うことがありますか。(○はいくつでも)

1. 観光客に笑顔で接する
2. まちの美観づくりに努める
3. 市外・県外の友人・知人に太宰府市をPRする
4. 観光ガイドなどのボランティア活動に取り組む
5. できることはない
6. その他 ()

国際交流・友好都市交流の推進

問 55. あなたは日頃から市内在住の外国人と交流していますか。(○は1つ)

1. ほぼ毎日交流している
2. 週に1回程度交流している
3. 月に数回程度交流している
4. 年に数回程度交流している
5. ほとんど交流していない

問 56. あなたは太宰府市が大韓民国の扶餘郡と姉妹都市を、奈良県奈良市と宮城県多賀城市とは友好都市をそれぞれ締結していることをご存じでしたか。(○はいくつでも)

1. 扶餘郡との姉妹都市締結は知っていた
2. 奈良市との友好都市締結は知っていた
3. 多賀城市との友好都市締結は知っていた
4. どれも知らなかった

問 57. あなたは日頃から市の姉妹都市である大韓民国の扶餘郡や友好都市である奈良市、多賀城市の人たちと交流をしていますか。(○は1つ)

1. ほぼ毎日交流している
2. 週に1回程度交流している
3. 月に数回程度交流している
4. 年に数回程度交流している
5. ほとんど交流していない

問 58. あなたは外国人や留学生とどのような交流をしたいと思いますか。(○はいくつでも)

1. 意見交換会
2. スポーツ交流
3. 語学講座
4. ホームステイ
5. その他 ()

市民参画の推進

問 59. あなたは自治会活動に参加していますか。(○は1つ)

1. 積極的に参加している
2. どちらかといえば参加している
3. どちらかといえば参加していない
4. 参加していない

問 60. あなたは自治会活動以外のボランティア活動に参加していますか。(○は1つ)

1. 積極的に参加している
2. どちらかといえば参加している
3. どちらかといえば参加していない
4. 参加していない

情報の共有化と活用

問 61. あなたは市民と行政とがお互いに情報を共有できていると思いますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. そう思う | 3. どちらかといえばそう思わない |
| 2. どちらかといえばそう思う | 4. そう思わない |

問 62. あなたは「広報だざいふ」「太宰府市議会だより」を読んだり、「太宰府市ホームページ」を見ているですか。(○はそれぞれ1つ)

広報だざいふ	議会だより	太宰府市ホームページ
1. いつも読んでいる	1. いつも読んでいる	1. いつも見ている
2. たまに読んでいる	2. たまに読んでいる	2. たまに見ている
3. ほとんど読まない	3. ほとんど読まない	3. ほとんど見ていない
4. 読まない	4. 読まない	4. 見ていない
		5. 見ることができない

→付問 1. 「広報だざいふ」を【いつも読んでいる・たまに読んでいる】と答えた方にお尋ねします。どのページを読みますか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. すべてのページ | 12. 防犯だより |
| 2. 特集記事 | 13. 防災だより |
| 3. まちのトピックス | 14. おめでとう1さい |
| 4. 消費者コーナー | 15. にこにこ通信 |
| 5. 地球にやさしいエコライフ | 16. こんにちは保健師です |
| 6. 手と手をつないで(人権のページ) | 17. ヘルシークッキング |
| 7. 教育委員会だより「つながる」 | 18. 生け花・短歌・俳句のコーナー |
| 8. 文化振興審議会だより | 19. 国際交流・韓国 |
| 9. みんなのとしょかん | 20. 太宰府館イベント情報 |
| 10. 太宰府の文華(資料室だより) | 21. なんでも情報コーナー |
| 11. さあ協働を進めよう | 22. 太宰府の文化財 |

問 63. あなたは市が積極的に情報を公開・提供していると思いますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. そう思う | 3. どちらかといえばそう思わない |
| 2. どちらかといえばそう思う | 4. そう思わない |

問 64. 市が保有するあなたに関する情報が、適正に管理されていると思いますか。

(○は1つ)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. そう思う | 3. どちらかといえばそう思わない |
| 2. どちらかといえばそう思う | 4. そう思わない |

問 65. あなたはパソコンを持っていますか。(○は1つ)

- 1. 持っている
- 2. 家族が持っている
- 3. ない

→ 付問 1. 【持っている・家族が持っていると答えた方】におたずねします。そのパソコンを使ってインターネットを利用していますか。(○は1つ)

- 1. 利用している
- 2. 利用していない

問 66. あなたは携帯電話を持っていますか。(○は1つ)

- 1. 持っている
- 2. 持っていない

→ 付問 1. 【持っていると答えた方】におたずねします。その携帯電話を使ってインターネットを利用していますか。(○は1つ)

- 1. 利用している
- 2. 利用していない

市民のための行政運営

問 67. あなたは太宰府市が効果的に行政運営を行っていると思いますか。(○は1つ)

- 1. そう思う
- 2. どちらかといえばそう思う
- 3. どちらかといえばそう思わない
- 4. そう思わない

問 68. あなたは市職員の対応や行動などの仕事に対する取組について、満足していますか。
(○は1つ)

- 1. 満足している
- 2. ある程度満足している
- 3. あまり満足していない
- 4. 満足していない

問 69. あなたは過去 1 年間で、市役所の窓口を利用したことがありますか。(○は 1 つ)

1. はい
2. いいえ

→付問 1. 【はいと答えた方】におたずねします。窓口での事務処理は迅速でしたか。(○は 1 つ)

1. とても迅速だった
2. どちらかといえば迅速だった
3. どちらかといえば遅かった
4. とても遅かった

→付問 2. 【はいと答えた方】におたずねします。窓口での職員の対応や姿勢に満足しましたか。(○は 1 つ)

1. とても満足した
2. どちらかといえば満足した
3. どちらかといえば不満だった
4. とても不満だった

広域連携の推進

問 70. 福岡都市圏では道路等交通基盤整備や水資源の確保、図書館や体育館の広域利用による生涯学習の体制づくりなど、都市圏に共通する課題に対し、圏域全体の一体的発展と、魅力と活力にあふれた住みよい都市圏の形成に向けて取組を進めています。

あなたは福岡都市圏の広域的な取組によって住民サービスが向上したと思いますか。(○は 1 つ)

【福岡都市圏の概要】

福岡都市圏は福岡市とその周辺 16 市町（筑紫野市・春日市・大野城市・太宰府市・那珂川町・古賀市・宇美町・篠栗町・志免町・須恵町・新宮町・久山町・粕屋町・宗像市・福津市・糸島市）を圏域とし、これら 17 市町で構成する福岡都市圏広域行政推進協議会を設置しています。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

(最後にまちづくりについてご意見などがありましたら、お聞かせください)

《自由意見欄》

貴重なご意見をありがとうございました。
今後も、市政へのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。



◎ご記入が済みましたら、同封の返信用封筒(切手は不要です)
に入れて、2月21日(金)までに投函してください。

太宰府まちづくり市民意識調査 報告書

発行年月日 平成 26 年 3 月
編集・発行 太宰府市 総務部 経営企画課
〒818-0198
福岡県太宰府市観世音寺一丁目 1 番 1 号
TEL 092-921-2121
FAX 092-921-1601